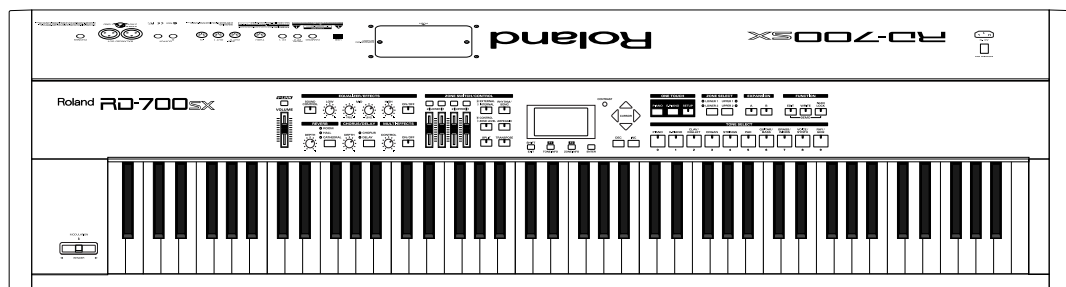


RD-700SX

取扱説明書

この機器を正しくお使いいただくために、ご使用前に「安全上のご注意」(P.2)と「使用上のご注意」(P.4)をよくお読みください。また、この機器の優れた機能を十分ご理解いただくためにも、取扱説明書をよくお読みください。取扱説明書は必要なときにすぐに見ることができるよう、手元に置いてください。



© 2004 ローランド株式会社

本書の一部、もしくは全部を無断で複写・転載することを禁じます。

安全上のご注意

マークについて

この機器に表示されているマークには、次のような意味があります。

	注意 感電の恐れがあります。 キャビネットをあけないでください。	
注意： 感電防止のため、パネルやカバーを外さないでください。 この機器の内部には、お客様が修理／交換できる部品はありません。 修理は、お買い上げ店またはローランド・サービスに依頼してください。		



このマークは、機器の内部に絶縁されていない「危険な電圧」が存在し、感電の危険があることを警告しています。



このマークは、注意喚起シンボルです。取扱説明書などに、一般的な注意、警告、危険の説明が記載されていることを表わしています。

火災・感電・傷害を防止するには

⚠ 警告と ⚠ 注意の意味について

 警告	取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を表わしています。
 注意	取扱いを誤った場合に、使用者が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される内容を表わしています。 ※物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を表わしています。

図記号の例

	△は、注意（危険、警告を含む）を表わしています。具体的な注意内容は、△の中に描かれています。左図の場合は、「一般的な注意、警告、危険」を表わしています。
	⊘は、禁止（してはいけないこと）を表わしています。具体的な禁止内容は、⊘の中に描かれています。左図の場合は、「分解禁止」を表わしています。
	●は、強制（必ずすること）を表わしています。具体的な強制内容は、●の中に描かれています。左図の場合は、「電源プラグをコンセントから抜くこと」を表わしています。

----- 以下の指示を必ず守ってください -----

警告

- この機器を使用する前に、以下の指示と取扱説明書をよく読んでください。



- この機器を分解したり（取扱説明書に記載されている指示（15 ページ）を除く）、改造したりしないでください。



- 修理／部品の交換などで、取扱説明書に書かれていないことは、絶対にしないでください。必ずお買い上げ店またはローランド・サービスに相談してください。



警告

- 次のような場所での使用や保存はしないでください。



- 温度が極端に高い場所（直射日光の当たる場所、暖房機器の近く、発熱する機器の上など）
- 水気の近く（風呂場、洗面台、濡れた床など）や湿度の高い場所
- 雨に濡れる場所
- ホコリの多い場所
- 振動の多い場所



- この機器の設置には、ローランドが推奨するKS-17を使用してください。



- この機器の設置にKS-17を使用する場合、ぐらつくような所や傾いた所にKS-17を設置しないでください。安定した水平な所に設置してください。機器を単独で設置する場合も、同様に安定した水平な所に設置してください。



警告

- 電源プラグは、必ず AC100V の電源コンセントに差し込んでください。



- 電源コードは、必ず付属のものを使用してください。また、付属の電源コードを他の製品に使用しないでください。



- 電源コードを無理に曲げたり、電源コードの上に重いものを載せたりしないでください。電源コードに傷がつき、ショートや断線の結果、火災や感電の恐れがあります。



- この機器を単独で、あるいはヘッドホン、アンプ、スピーカーと組み合わせて使用した場合、設定によっては永久的な難聴になる程度の音量になります。大音量で、長時間使用しないでください。万一、聴力低下や耳鳴りを感じたら、直ちに使用をやめて専門の医師に相談してください。



- この機器に、異物（燃えやすいもの、硬貨、針金など）や液体（水、ジュースなど）を絶対に入れないでください。



- 次のような場合は、直ちに電源を切って電源コードをコンセントから外し、お買い上げ店またはローランド・サービスに修理を依頼してください。



- 電源コードやプラグが破損したとき
- 煙が出たり、異臭がしたとき
- 異物が内部に入ったり、液体がこぼれたりしたとき
- 機器が（雨などで）濡れたとき
- 機器に異常や故障が生じたとき

- お子様のいるご家庭で使用する場合、お子様の取り扱いやいたずらに注意してください。必ず大人のかたが、監視／指導してあげてください。



- この機器を落としたり、この機器に強い衝撃を与えないでください。



- 電源は、タコ足配線などの無理な配線をしないでください。特に、電源タップを使用している場合、電源タップの容量（ワット／アンペア）を超えると発熱し、コードの被覆が溶けることがあります。



警告

- 外国で使用する場合は、お買い上げ店またはローランド・サービスに相談してください。



- 基板（SRX シリーズ）を取り付ける前に、機器本体の電源を切って電源プラグをコンセントから外してください（21 ページ）。



- CD-ROM を、一般のオーディオ CD プレーヤーで再生しないで下さい。大音量によって耳を痛めたり、スピーカーを破損する恐れがあります。



- 電源コードのアースを確実に取り付けてください。感電の恐れがあります（18 ページ）。



- 本機の上に水の入った容器（花びんなど）、殺虫剤、香水、アルコール類、マニキュア、スプレー缶などを置かないでください。また、表面に付着した液体は、すみやかに乾いた柔らかい布で拭き取ってください。



⚠ 注意

- この機器は、風通しのよい、正常な通気が保たれている場所に設置して、使用してください。



- 本製品は当社製のスタンド (KS-17) とのみ、組み合わせて使用できるよう設計されています。他のスタンドやカートと組み合わせて使うと、不安定な状態となって落下や転倒を引き起こし、けがをするおそれがあります。



- 電源コードを機器本体やコンセントに抜き差しするときは、必ずプラグを持ってください。



- 定期的に電源プラグを抜き、乾いた布でゴミやほこりを拭き取ってください。また、長時間使用しないときは、電源プラグをコンセントから外してください。電源プラグとコンセントの間にゴミやほこりがたまると、絶縁不良を起して火災の原因になります。



- 接続したコードやケーブル類は、複雑にならないように配慮してください。特に、コードやケーブル類は、お子様の手が届かないように配慮してください。



⚠ 注意

- この機器の上に乗ったり、機器の上に重いものを置かないでください。



- 濡れた手で電源コードのプラグを持って、機器本体やコンセントに抜き差ししないでください。



- この機器を移動するときは、電源プラグをコンセントから外し、外部機器との接続を外してください。



- お手入れをするときには、電源を切って電源プラグをコンセントから外してください (21 ページ)。



- 落雷の恐れがあるときは、早めに電源プラグをコンセントから外してください。



- 指定の基板 (SRX シリーズ) だけを取り付け、指定されたネジだけを外してください (15 ページ)。



- 取り外したエクステンション・ボードのカバーの取り付けネジは、小さなお子様が悪戯で飲み込んだりすることのないようお子様の手の届かないところへ保管してください。



使用上のご注意

2、3 ページに記載されている「安全上のご注意」以外に、次のことに注意してください。

電源について

- 本機を冷蔵庫、洗濯機、電子レンジ、エアコンなどのインバーター制御の製品やモーターを使った電気製品が接続されているコンセントと同じコンセントに接続しないでください。電気製品の使用状況によっては、電源ノイズにより本機が誤動作したり、雑音が発生する恐れがあります。電源コンセントを分けることが難しい場合は、電源ノイズ・フィルターを取り付けてください。
- 接続するときは、誤動作やスピーカーなどの破損を防ぐため、必ずすべての機器の電源を切ってください。

- 電源スイッチを切った後、本機上の LCD や LED などは消えますが、これは主電源から完全に遮断されているわけではありません。完全に電源を切る必要があるときは、この機器の電源スイッチを切った後、コンセントからプラグを抜いてください。そのため、電源コードのプラグを差し込むコンセントは、この機器にできるだけ近い、すぐ手の届くところのものを使用してください。

設置について

- この機器の近くにパワー・アンプなどの大型トランスを持つ機器があると、ハム（うなり）を誘導することがあります。この場合は、この機器との間隔や方向を変えてください。
- テレビやラジオの近くでこの機器を動作させると、テレビ画面に色ムラが出たり、ラジオから雑音が出ることがあります。この場合は、この機器を遠ざけて使用してください。
- 携帯電話などの無線機器を本機の近くで使用すると、着信時や発信時、通話時に本機から雑音が出ることがあります。この場合は、それらの機器を本機から遠ざけるか、もしくは電源を切ってください。
- 直射日光の当たる場所や、発熱する機器の近く、閉め切った車内などに放置しないでください。変形、変色することがあります。
- 極端に湿度の違う場所に移動すると、内部に水滴がつく（結露）ことがあります。そのまま使用すると故障の原因になりますので、数時間放置し、結露がなくなってから使用してください。
- 鍵盤の上に物を置いたままにしないでください。発音しなくなるなどの故障の原因になります。

お手入れについて

- 通常のお手入れは、柔らかい布で乾拭きするか、堅く絞った布で汚れを拭き取ってください。汚れが激しいときは、中性洗剤を含んだ布で汚れを拭き取ってから、柔らかい布で乾拭きしてください。
- 変色や変形の原因となるベンジン、シンナーおよびアルコール類は、使用しないでください。

修理について

- お客様がこの機器を分解（取扱説明書に記載されている指示（p.15）を除く）、改造された場合、以後の性能について保証できなくなります。また、修理をお断りする場合もあります。
- 修理に出される場合、記憶した内容が失われることがあります。大切な記憶内容は、他の MIDI 機器（シーケンサーなど）に保存するか、記憶内容をメモしておいてください。修理するときには記憶内容の保存に細心の注意を払っておりますが、メモリー部の故障などで記憶内容が復元できない場合もあります。失われた記録内容の修復に関しましては、補償も含めご容赦願います。
- 当社では、この製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打切後 6 年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。なお、保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、お買い上げ店、または最寄りのローランド・サービスにご相談ください。

その他の注意について

- 記憶した内容は、機器の故障や誤った操作などにより、失われることがあります。失っても困らないように、大切な記憶内容はバックアップとして他の MIDI 機器（シーケンサーなど）に保存しておいてください。
- 他の MIDI 機器（シーケンサーなど）の失われた記憶内容の修復に関しましては、補償を含めご容赦願います。
- 故障の原因になりますので、ボタン、つまみ、入出力端子などに過度の力を加えないでください。
- ディスプレイを強く押したり、叩いたりしないでください。
- ケーブルの抜き差しは、ショートや断線を防ぐため、プラグを持ってください。
- この機器は多少発熱することがありますが、故障ではありません。
- 音楽をお楽しみになる場合、隣近所に迷惑がかけられないように、特に夜間は、音量に十分注意してください。ヘッドホンを使用すれば、気がねなくお楽しみいただけます。
- 輸送や引っ越しをするときは、この機器が入っていたダンボール箱と緩衝材、または同等品で梱包してください。
- この機器が入っていた梱包箱や緩衝材を廃棄する場合、各市町村のゴミの分別基準に従って行ってください。
- エクスプレッション・ペダルは、必ず指定のもの（別売：EV-5/7）をお使いください。他社製品を接続すると、本体の故障の原因になる場合があります。

CD-ROM の取り扱い

- ディスクの裏面（信号面）に触れたり、傷をつけたりしないでください。データの読み出しがうまくいかないことがあります。ディスクの汚れは、市販の CD 専用クリーナーでクリーニングしてください。

※ MIDI は社団法人 音楽電子事業協会（AMEI）の登録商標です。

※ GM（)、GM2（) は、社団法人 音楽電子事業協会（AMEI）の登録商標です。

主な特長

■ プログレッシブ・ハンマー・アクション鍵盤を搭載

グランドピアノの自然で心地よいタッチをリアルに再現し、ご好評をいただいている「プログレッシブ・ハンマー・アクション鍵盤」を搭載。連打性や静粛性といった基本性能により、低音部から高音部への移行に伴うタッチの微妙な変化まで再現することができます。

また、プログレッシブ・ハンマー・アクション鍵盤は、ハンマー部に鉛をいっさい使用しない、環境を配慮した設計です。

■ 新開発ピアノ音色

広いダイナミックレンジと豊かな表現力を持った本格的なピアノ音色を新開発。バンド演奏やバラードのソロプレイなど、あらゆるジャンルやシチュエーションに対応した、ステージピアノの最高峰です。

また、88 鍵マルチサンプル・ピアノ音色が、プロのサウンド・エンジニアによる録音によってついに実現。音質だけでなく、高い臨場感と、これまでにない「本物」の音を実現しました。

さらにエレクトリック・ピアノ、オルガン、ストリングス、シンセ・パッドなど、ステージ・ピアノとしての重要な音色を強化。ステージでその存在感を発揮します。

■ ピアノに特化した機能

「ピアノ・エディット」機能で、ピアノ音色やエレクトリック・ピアノ音色の微妙な変化を設定することができます。あらゆるシチュエーションに合わせた音作りが可能です (P.70)。

■ 余裕の 128 ボイス

あらゆる演奏方法に対応できる最大同時発音数 128 の音源を搭載。複数の音を重ねて演奏しても自然な演奏をお楽しみいただけます。

■ ボタンを押すだけの簡単操作

スプリット、エフェクトなど、主な操作はボタン一つで設定可能です (P.12)。

また、ONE TOUCH [PIANO] ボタンを押せば、どんな状態でもすぐにピアノ演奏に最適な設定になります (P.30)。

■ 高品位エフェクト搭載

2 系統のマルチエフェクトの他に、リバーブ、コーラスを独立して使うことができます。

また、ダンパー・ペダルを踏んだときの共鳴音 (P.72) や、グランド・ピアノの屋根の開き具合の調節 (P.71) など、アコースティック・ピアノのリアルな音色変化を再現します。

さらにサウンド・コントロール (P.42) やデジタル・イコライザー (P.43) による、幅広い音色調整が可能です。

■ オルガン用トーン・ホイール音源搭載

オルガン音色には、ローランド・コンボ・オルガンゆずりのオルガン用パーチャル・トーンホイール音源を搭載。各フィートのレベルを変えるオルガンの音作りを再現しています (P.51)。

■ リズム、アルペジエーター機能を搭載

ボタン一つでリズム・パターンの再生やアルペジオ演奏が可能。

リアルなドラム演奏をバックにセッション感覚で演奏したり、和音を押さえるだけでアルペジオやカッティング演奏するなど、多彩な演奏が楽しめます (P.44、P.46)。

■ 素早い外部 MIDI コントロール

音量調節、音色選択など、外部 MIDI 機器も簡単にコントロール可能。ステージ・キーボードとして、直感的な素早いコントロールを実現します (P.58)。

■ 充実のインターフェース

PC との接続用に、USB 端子を装備。PC から MIDI データを受信して演奏したり、RD-700SX のセットアップ・ファイルを保存することができます。

また、2 系統の MIDI Out 端子を搭載し、同時に 2 台の MIDI 音源を使い分けることができます。

さらに、オーディオ機器との接続には、バランス出力に対応した XLR 端子を装備し、安定したオーディオ出力を供給できます。

■ 優れた拡張性

好評のウェーブ・エクステンション SRX シリーズを 2 枚搭載可能。「SRX-02 Concert Piano」をはじめ、今後続々と発表される最新の音色で演奏することができます (P.15)。

■ 洗練されたデザイン

ステージ映えする存在感のあるブラック・ボディ。洗練されたデザインのパネルは操作性も考慮されており、リアのケーブル接続も簡単に行えます。

また、ウェーブ・エクステンション・ボードのカバーはネジを外しても簡単に落ちないように設計されています。

■ SMF Play 機能

RD-700SX は GM/GM2 に対応しています。また、USB 端子から SMF ミュージックデータを RD-700SX に転送し再生すること可能です。外部シーケンサーを使わずに、SMF ミュージックデータを鳴らしながら演奏できます。

文中の表記について

- [] で囲まれた英数字は、パネル上のボタンを表しています。
例：[SPLIT] は SPLIT ボタンを表しています。
- (P.***) は参照ページを表しています。
- 本書では、画面を使用して機能説明をしていますが、工場出荷時の設定（音色名など）と本文中の画面上の設定は一致していません。あらかじめご了承ください。

目次

使用上のご注意	4
主な特長	6
各部の名称と働き	12
フロント・パネル	12
リア・パネル	14
演奏する前に	15
ウェーブ・エクスパンション・ボードを取り付ける	15
ウェーブ・エクスパンション・ボードを取り付けるときの注意	15
ウェーブ・エクスパンション・ボードの取り付けかた	16
取り付けたウェーブ・エクスパンション・ボードを確認する	17
電源コードを接続する	18
外部機器と接続する	19
ペダルの接続	20
電源を入れる／切る	21
電源を入れる	21
電源を切る	22
音量を調節する	22
工場出荷時の設定に戻す（ファクトリー・リセット）	22
表示の濃さを調節する（LCD コントラスト）	24
他の楽器と音の高さを合わせる（マスター・チューニング）	25
RD-700SX の概要	26
RD-700SX の基本構成	26
音の単位	26
RD-700SX の基本操作	26
主な画面	26
特殊な表示	27
ファンクション・ボタンの働き	27
CURSOR ボタンの働き	28
設定値の変更	28
デモ曲を聴いてみよう（DEMO）	29
鍵盤で演奏しよう	30
ピアノ演奏をする（ONE TOUCH）	30
いろいろな音色（トーン）で演奏する	31
トーン・ナンバーを指定してトーンを選ぶ（[NUM LOCK]）	32
ウェーブ・エクスパンション・ボードのトーンを選ぶ	33
鍵盤で複数のトーンを鳴らす	35
トーンを重ねて演奏する	35
鍵盤を 2 つの音域に分けて別々のトーンで演奏する（[SPLIT]）	36
ゾーンのトーンの変えかた	38
ゾーンごとの音量を調節する（ZONE SWITCH/ZONE LEVEL スライダー）	39
鍵盤の音の高さを変える（[TRANSPOSE]）	40
音に響きをつける（[REVERB]）	41
音に広がりをつける（[CHORUS/DELAY]）	41
音の高さをリアルタイムに変化させる（ピッチ・ベンド／モジュレーション・レバー）	42
音にメリハリをつける（[SOUND CONTROL]）	42
音の低域・中域・高域のレベルを調節する（[EQUALIZER]）	43
多彩な機能を使って演奏しよう	44
アルペジオ演奏をする（[ARPEGGIO]）	44
アルペジオのスタイルを変える	45
アルペジオのテンポを変える	45
リズムを鳴らす（[RHYTHM/SONG]）	46
リズムのパターンを変える	47
リズムのテンポを変える	47
曲を再生する（[RHYTHM/SONG]）	48
ソングを選ぶ	49
ソングのテンポを変える	49

音に効果を加える (MULTI EFFECTS).....	50
オルガンの音作りをシミュレートする (トーン・ホイール・モード).....	51
オルガン音色のうねりを変える (ロータリー効果).....	52
ZONE LEVEL スライダーのフィートの割り当てを変える (Harmonic Bar).....	52
ボタンを効かないようにする (パネル・ロック).....	53
記憶させた設定を選ぶ ([SETUP]).....	54
お気に入りのセットアップを登録する (フェイバリット・セットアップ).....	55
設定をセットアップに記憶する ([WRITE]).....	56
RD-700SX をマスター・キーボードにする.....	58
MIDI とは.....	58
MIDI 端子について.....	58
外部 MIDI 音源との接続例.....	58
出力する MIDI 端子を選ぶ (MIDI OUT Port).....	59
MIDI 送信チャンネルを設定する.....	60
外部 MIDI 音源の音色を切り替える.....	61
ゾーンごとに音量を調節する (EXTERNAL ゾーン).....	62
MIDI 送信パートの詳細設定をする (EXTERNAL).....	63
設定のしかた.....	63
音量／パンを設定する (Volume/Pan).....	63
リバース／コーラスのレベルを設定する (Reverb/Chorus).....	63
単音で発音させる (Mono/Poly).....	64
ゾーンごとに移調の設定をする (Transpose).....	64
鍵域を設定する (Key Range).....	64
鍵盤を弾く強さによって鳴る鍵域を変える (Velocity Range).....	64
トーンの要素を変化させる (ATK / DCY / REL / COF / RES).....	64
音を滑らかに変化させる (Portamento).....	65
鍵盤を弾く強さによる音量変化を設定する (Velocity Sensitivity/Max).....	65
音の高さを変える (Coarse Tune / Fine Tune).....	65
ベンダーによる音程変化の幅を設定する (Bend Range).....	65
モジュレーションのかかり具合を設定する (Modulation Depth).....	65
各コントローラーのオン／オフを設定する.....	65
コントロール・チェンジを送信する (User CC).....	65
音色の詳細設定をする.....	66
ゾーンの設定をする (Zone Info).....	66
設定のしかた.....	66
音色を選ぶ (Tone).....	66
音量／パンを設定する (Volume / Pan).....	66
マルチエフェクトをかけるゾーンを設定する (MFX1/MFX2 Source).....	66
ゾーンごとに移調の設定をする (Transpose).....	66
ゾーンごとの鍵域を設定する (Key Range).....	67
鍵盤を弾く強さによる音量変化を設定する (Velocity Range/Sens/Max).....	67
内部パートを INTERNAL ゾーンに割り当てる (Part Assign).....	67
ゾーンごとにコントローラーのオン／オフをする.....	67
トーンの設定をする (Tone Info).....	68
設定のしかた.....	68
設定するパート、トーンを選ぶ (Part/Tone).....	68
リバース／コーラスの深さを設定をする (Reverb / Chorus Amount).....	68
トーンにける効果を変える (MFX Type).....	68
単音で発音させる (Mono / Poly).....	69
音の高さ (ピッチ) を変える (Coarse Tune / Fine Tune).....	69
音をなめらかに変化させる (Portamento Switch / Time).....	69
トーンの要素を変化させる (Attack Time / Release Time / Cutoff / Resonance / Decay Time).....	69
ベンド・レンジを変える (Bend Range).....	69

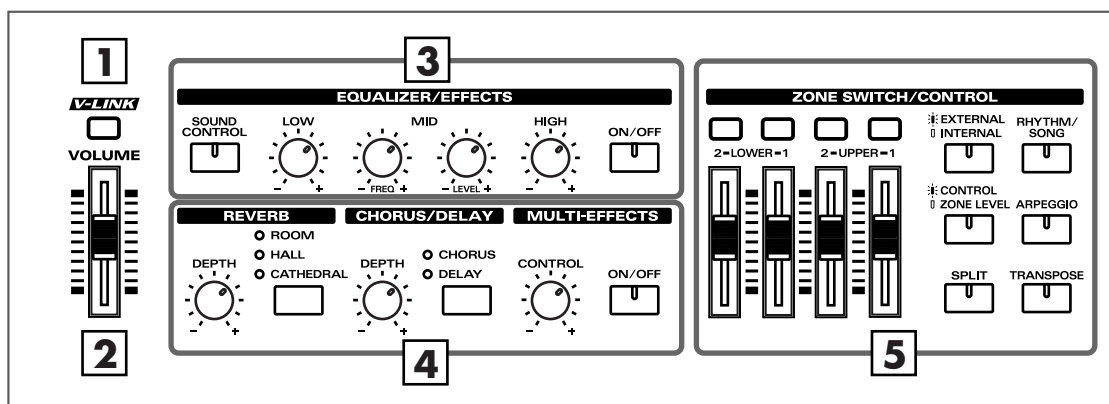
ONE TOUCH 音色の詳細設定をする	70
ピアノ音色の詳細設定をする (ピアノ・エディット)	70
設定のしかた	70
音色を選ぶ	70
音の広がりかたを変える (Stereo Width)	70
音色のニュアンスを変える (Nuance)	70
音の空気感を変える (Ambience)	70
リバーブ効果のかかり具合を変える (Reverb Level)	70
大屋根の開き具合を変える (Lid)	71
マイクを再現する (Mic Type/Distance)	71
鍵盤を弾いたときの共鳴音を調節する (String Resonance)	71
中音域のイコライザーを設定する (EQ SW / EQ Gain / EQ Frequency / EQ Q)	71
鍵盤のタッチ感を変える (Key Touch)	71
鍵盤のタッチ感を微調整する (Key Touch Offset)	72
弾く強さによる音量を一定にする (Velocity)	72
弾く強さによって発音のタイミングを変える (Velocity Delay Sens)	72
鍵域によるタッチ感を変える (Velocity Keyfollow Sens)	72
チューニングを微調整する (Micro Tune)	72
ペダルを踏んだときの共鳴音を変える (Sympathetic Resonance)	72
音の特徴を変える (Tone Modify)	73
設定を初期状態にする (Initialize)	73
E. ピアノ音色の詳細設定をする (E. ピアノ・エディット)	73
設定のしかた	73
音色を選ぶ	73
アンプの種類を選ぶ (AMP Type)	74
音に効果をつける (Effect Type/Depth/Rate)	74
中音域のイコライザーを設定する (EQ SW / EQ Gain / EQ Frequency / EQ Q)	74
音の特徴を変える (Tone Modify)	74
各機能の詳細設定をする ([EDIT])	75
設定できる項目	75
パラメーターの選び方	76
システムの設定 (System)	76
設定のしかた	76
全体の音量を設定する (Master Volume)	77
イコライザーの設定が切り替わらないようにする (EQ Mode)	77
ペダルの設定が切り替わらないようにする (Pedal Mode)	77
トーンを変えても発音中の音を残す (Tone Remain)	78
外部 MIDI 機器と同期する (Clock Source)	78
同期情報を送る (Clock Out)	78
プログラム・チェンジ情報でセットアップを切り替える (SETUP Control Channel)	78
デバイス ID ナンバーを設定する (Device ID)	78
ペダルの極性を切り替える (Pedal / FC1 / FC2 Polarity)	79
ディスプレイの表示のしかたを選ぶ (Display Mode)	79
パート数を選ぶ (Part Mode)	79
調律法を設定する (Temperament / Key)	79
和音の響きを微妙に変える (Stretch Tune)	80
GM/GM2 システム・オン、GS リセットの受信を切り替える (Rx GM / GM2 System On、Rx GS Reset)	80
鍵盤タッチの設定 (Key Touch)	80
設定のしかた	80
鍵盤のタッチ感を変える (Key Touch)	81
鍵盤のタッチ感を微調整する (Key Touch Offset)	81
弾く強さによる音量を一定にする (Velocity)	81
弾く強さによって発音のタイミングを変える (Velocity Delay Sens)	81
鍵域によるタッチ感を変える (Velocity Keyfollow Sens)	81
ペダル / [CONTROL] つまみの設定 (Control)	82
設定のしかた	82
ペダルに機能を割り当てる (FC1 / FC2 Pedal Assign)	82

[CONTROL] つまみの設定を変える (Control Knob Assign)	83
スライダーに機能を割り当てる (Slider Assign)	83
マルチエフェクト／リバーブ／コーラスの設定 (Effects)	83
設定のしかた	83
マルチエフェクトの設定をする	84
リバーブの設定をする	85
コーラス／ディレイの設定をする	85
サウンド・コントロールの設定 (Sound Control)	86
設定のしかた	86
コンプレッサーの種類を選ぶ (Sound Control Type)	86
コンプレッサーの詳細を設定する	86
ファイルの管理 (File Utility/USB)	87
セットアップ・ファイルをメモリに保存する (Save SETUP File)	87
セットアップ・ファイルをメモリから呼び出す (Load SETUP File)	88
ファイルをメモリから削除する (File Delete)	89
内部パートのMIDI受信の設定 (Part Parameter)	90
設定のしかた	90
設定するパート、音色を選ぶ (Part/Tone)	90
受信チャンネルを設定する (Receive Channel)	90
音量／パンを設定する (Volume / Pan)	90
必要な発音数を設定する (Voice Reserve)	90
パートを鳴らさないようにする (Part Switch)	91
エフェクトのオン／オフを設定する (MFX Switch)	91
外部MIDIコントローラーのMIDI情報を受ける／受けないを設定する	91
リズム、アルペジエーターの設定 (Rhythm/Arpeggio)	91
設定のしかた	91
リズムの設定をする	92
アルペジエーターの設定をする	94
V-LINKを使う (V-Link)	96
接続例	96
V-Linkをオン／オフする	96
V-LINKの設定	96
V-Linkの詳細を設定する	97
その他の機能 (Utility)	97
本体の設定を外部MIDI機器に転送する (バルク・ダンプ)	97
設定を工場出荷時の状態に戻す (ファクトリー・リセット)	99
外部MIDI機器との接続.....	101
RD-700SXの演奏を外部MIDIシーケンサーに録音する	101
外部シーケンサーと接続する	101
録音するときの設定 (Rec Setting)	101
演奏を録音する	102
Rec Modeを解除する	102
ローカル・スイッチについて	102
外部MIDI機器からRD-700SXの音源部を鳴らす	103
接続のしかた	103
チャンネルを設定する	103
外部MIDI機器からRD-700SXの音色を切り替える	103
セットアップの切り替え	103
トーンの切り替え	103
USBを使ってコンピューターと接続する	104
USB機能について	104
ストレージ・モードとMIDIモードを切り替える	104
コンピューターとファイルのやりとりをする (ストレージ・モード)	105
接続のしかた	105
フォルダおよびファイルについての注意点	105
ファイルをやりとりする	105
ストレージ・モードを終了する	105
コンピューターとMIDI情報のやりとりをする (MIDIモード)	106
USBドライバーを切り替える	106

資料.....	108
故障かな？と思ったら.....	108
エラー・メッセージ/その他のメッセージ.....	111
エラー・メッセージ.....	111
その他のメッセージ.....	111
エフェクト/パラメーター一覧.....	112
マルチエフェクト・パラメーター.....	112
コーラス・パラメーター.....	138
リバーブ・パラメーター.....	139
トーン一覧.....	140
リズム・セット一覧.....	143
アルペジオ・スタイル一覧.....	146
リズム・パターン一覧.....	147
セットアップ一覧.....	148
ショート・カット一覧.....	149
MIDI インプリメンテーション.....	150
主な仕様.....	166
索引.....	167
目的別索引.....	174
音量に関する設定.....	174
鍵盤タッチ、ペロシティに関する設定.....	174
コントロールに関する設定.....	174
鍵域（キー・レンジ）に関する設定.....	174
EQ（イコライザー）に関する設定.....	174
ピッチ、音高に関する設定.....	174
エフェクト（リバーブ、コーラス、 マルチエフェクト）に関する設定.....	174

各部の名称と働き

フロント・パネル



1. [V-LINK]

オンにすると、接続した V-LINK 対応の外部映像機器をコントロールすることができます (P.96)。

2. VOLUME スライダー

リア・パネルの OUTPUT 端子と PHONES 端子から出力される全体の音量を調節します (P.22)。

3. EQUALIZER/EFFECTS

[SOUND CONTROL]

オンにすると、音量のばらつきをおさえ、まとまりのある音質にします (P.42)。

[LOW] つまみ

音の低域を調節します (P.43)。

[MID FREQ] つまみ

中域の周波数を調節します (P.43)。

[MID LEVEL] つまみ

音の中域を調節します (P.43)。

[HIGH] つまみ

音の高域を調節します (P.43)。

[ON/OFF]

イコライザーをオン／オフします (P.43)。

4. REVERB、CHORUS/DELAY、MULTI-EFFECTS

REVERB [DEPTH] つまみ

リバーブ効果（残響）のかかり具合を調節します (P.41)。

[REVERB]

リバーブ効果（残響）の種類を選びます (P.41)。

CHORUS/DELAY [DEPTH] つまみ

コーラス効果のかかり具合を調節します (P.41)。

[CHORUS/DELAY]

コーラス効果の種類を選びます (P.41)。

MULTI EFFECTS [CONTROL] つまみ

マルチエフェクトのかかり具合を調節します (P.50)。

MULTI EFFECTS [ON/OFF]

マルチエフェクトをオン／オフします (P.50)。

5. ZONE SWITCH/CONTROL

ZONE SWITCH

ゾーンのオン／オフをします (P.39)。

ZONE LEVEL スライダー

ゾーンの音量を調節します (P.39)。

[EXTERNAL/INTERNAL] がオンになっているときは、外部 MIDI 音源の各パートをコントロールします (P.62)。

また、[CONTROL/ZONE LEVEL] がオンになっているときは、割り当てられたパラメーターや機能に応じて、音色をリアルタイムに変化させます (P.83)。

[EXTERNAL/INTERNAL]

RD-700SX で外部 MIDI 音源をコントロールします (P.60)。

[RHYTHM/SONG]

リズムやソングをオン／オフします (P.46、P.48)

[CONTROL/ZONE LEVEL]

ZONE LEVEL スライダーの働きを決めます (P.83)。

[ARPEGGIO]

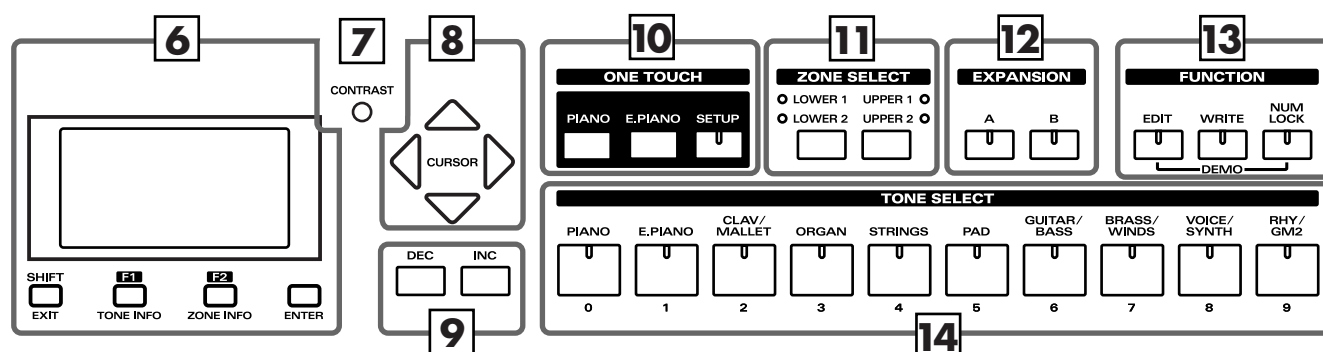
アルペジエーターをオン／オフします (P.44)。

[SPLIT]

鍵域を分けて複数の音色で演奏する「スプリット・モード」にします (P.36)。

[TRANPOSE]

鍵盤の音域の移調を設定します (P.40)。



6. ディスプレイ

トーン名や、さまざまな設定を表示します。

[SHIFT/EXIT]

もとの画面に戻ったり、実行中の機能を中断します。
また、このボタンを押しながら、ボタンやつまみ、コントローラーを操作すると、関係する設定画面を呼び出すことができます (P.149)。

[F1/TONE INFO]

トーンの設定を変更することができます (P.68)。
また、画面によって、機能が割り当てられます。

[F2/ZONE INFO]

ゾーンの設定を変更することができます (P.66)。
また、画面によって、機能が割り当てられます。

[ENTER]

値の確定や操作の実行に使います。

7. CONTRAST つまみ

ディスプレイの表示の濃さを調節します (P.24)。

8. CURSOR [▲]、[▼]、[◀]、[▶]

画面の切り替えや、カーソルを移動するときに押します。

9. [DEC]、[INC]

値を変更します。
片方のボタンを押しながら、もう一方のボタンを押すと、値が速く変わります。

10.ONE TOUCH

[PIANO]

ピアノ演奏に最適な設定にします (P.30)。

[E.PIANO]

ピアノ演奏に最適な設定にします (P.30)。

[SETUP]

記憶した設定 (セットアップ) を呼び出します (P.54)。

11.ZONE SELECT ボタン

音色 (トーン) を選択するゾーンを選びます (P.38)。

12.EXPANSION [A]、[B]

ウェーブ・エクスパンション・ボードの音色を選ぶときに押します (P.33)。

13.FUNCTION

[EDIT]

いろいろな設定を変更します (P.75)。

[WRITE]

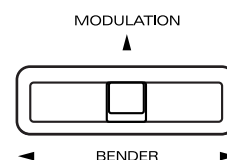
現在の設定を「セットアップ」に記憶します (P.56)。

[NUM LOCK]

このボタンをオンにすると、TONE SELECT ボタンで数値を入力することができます (P.28)。
また、このボタンと [EDIT] を同時に押すと、デモ曲を聴くことができます (DEMO PLAY) (P.29)。

14.TONE SELECT ボタン

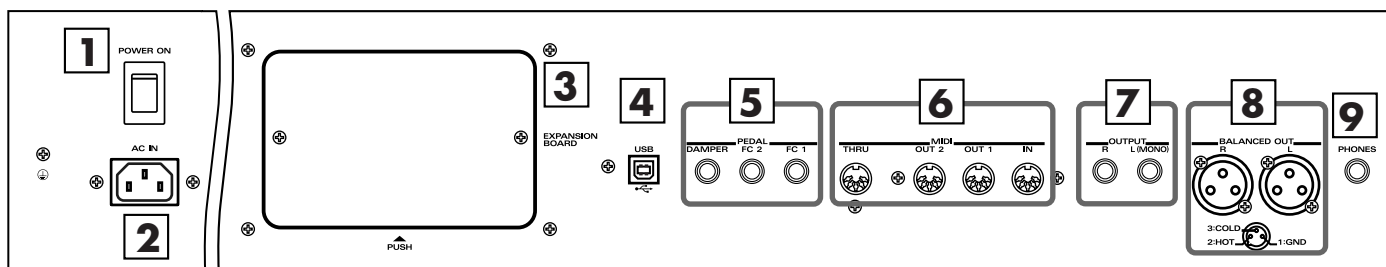
音色 (トーン) のカテゴリーを選びます (P.31)。
[NUM LOCK] がオンになっているときは、このボタンで数値を入力することができます。エディット画面などでは、[NUM LOCK] が自動でオンになり、数値を入力するボタンになります。



ピッチ・ベンド／モジュレーション・レバー

ピッチ (音の高さ) を変化させたり、ピブラートをかけたりします (P.42)。

リア・パネル



1. [POWER ON] スイッチ

電源をオン／オフします (P.21)。

2. AC インレット

付属の電源コードを接続します (P.18)。

3. ウェーブ・エクスパンション・ボード 取り付け口

カバーを外して、別売のウェーブ・エクスパンション・ボード (SRX シリーズ) を取り付けます (P.15)。

4. USB 端子

コンピューターと接続して、演奏情報やセットアップなどのファイルをやりとります (P.104)。

5. PEDAL 端子 (DAMPER、FC1、FC2)

DAMPER 端子に付属のペダルを接続すると、ダンパー・ペダルとして使用することができます。

また、FC-1、FC-2 端子に接続したペダルにいろいろな機能を割り当てることができます (P.67、P.82)。

6. MIDI 端子 (IN、OUT1、OUT2、THRU)

外部 MIDI 機器と接続して、MIDI メッセージを送受信します (P.58、P.90、P.101)。

7. OUTPUT L (MONO) /R 端子

オーディオ信号の出力端子です。アンプなどと接続します。モノラルで出力するときは、L (MONO) 端子に接続してください (P.19)。

8. BALANCED OUT L/R 端子

オーディオ信号のバランス出力端子です。ミキサーなどと接続します (P.19)。

9. PHONES 端子

ヘッドホンを接続します (P.19)。

ヘッドホンを接続しても、OUTPUT 端子からはオーディオ信号が出力されます。

演奏する前に

ウェーブ・エクспанション・ボードを取り付ける

RD-700SXは、別売のウェーブ・エクспанション・ボードを2枚（SRX シリーズ）まで取り付けることができます。

ウェーブ・エクспанション・ボードには、パッチ（RD-700SX ではトーンといいますが）、リズム・セットが記録されており、RD-700SX に取り付けることによって音色を増やすことができます。

ウェーブ・エクспанション・ボードの音色については、ウェーブ・エクспанション・ボードに付属のパッチ・リストをご覧ください。なお、RD-700SX では、一部の音色名の表示が異なります。P.34 を合わせてご覧ください。

ウェーブ・エクспанション・ボードを取り付けるときの注意

- この基板は、静電気により部品が破壊される恐れがあります。基板を取り扱うときは、次の点に注意してください。
 - 基板を持つときは、あらかじめ何らかの金属に触れて、体や衣類にたまっている静電気を放電してください。
 - 基板を持つときは、基板の縁を持ち、部品やコネクターの部分に直接手を触れないでください。
 - 使用するプラス・ドライバーは、ネジの頭に合ったものを使ってください（No.2 のドライバー）。ネジの頭に合っていないと、ネジの頭をつぶしてしまうことがあります。
 - ネジを外すときは、反時計方向にドライバーを回してください。ネジを締めるときは、時計方向にドライバーを回してください。
-
- 指定の基板（SRX シリーズ）だけを取り付け、指定されたネジだけを外してください。
 - 外したネジは、RD-700SX 内部に落とさないように注意してください。
 - 外した背面のカバーをそのまま放置しておくことはおやめください。ウェーブ・エクспанション・ボードの取り付けが終わったら、必ず元通りに取り付けてください。
 - 回路部やコネクタ一部には手を触れないでください。
 - 基板を無理に押し込まないでください。装着しにくい場合、いったん基板を外してやり直してください。
 - 取り付けを終えたら、正しく取り付けられていることを再度確認してください。
 - 取り付け開口部で手を切らないように注意してください。

ウェーブ・エクспанション・ボードは背面のカバーを外して取り付けます。ボードの取り付け場所には、A スロットと B スロットがあります。ウェーブ・エクспанション・ボードのトーン（パッチ）／リズム・セットを使うときは、フロント・パネルの EXPANSION [A]、[B] でこれらのスロットを指定します。

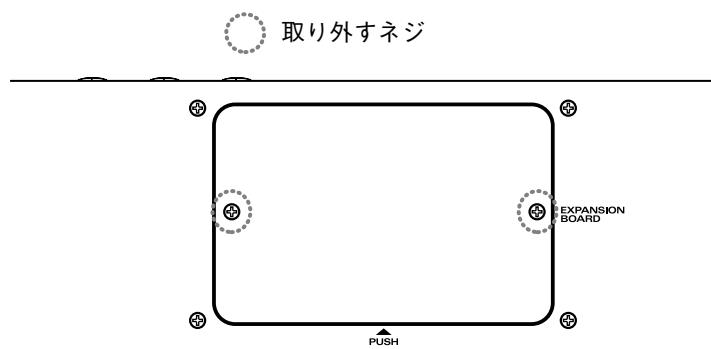
ウェーブ・エクスパンション・ボードの取り付けかた

1

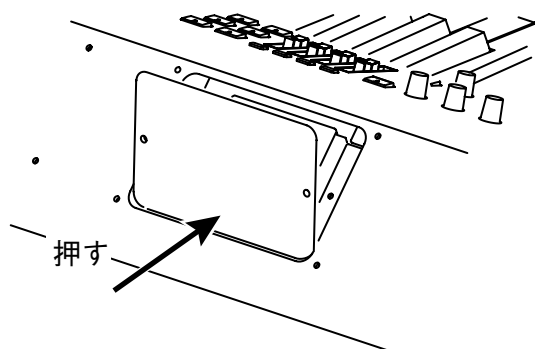
ウェーブ・エクスパンション・ボードを取り付ける前に、RD-700SX と接続機器の電源を切ります。

2

RD-700SX 背面の、次図で指定された銀色のネジだけを外して、カバーを取り外します。



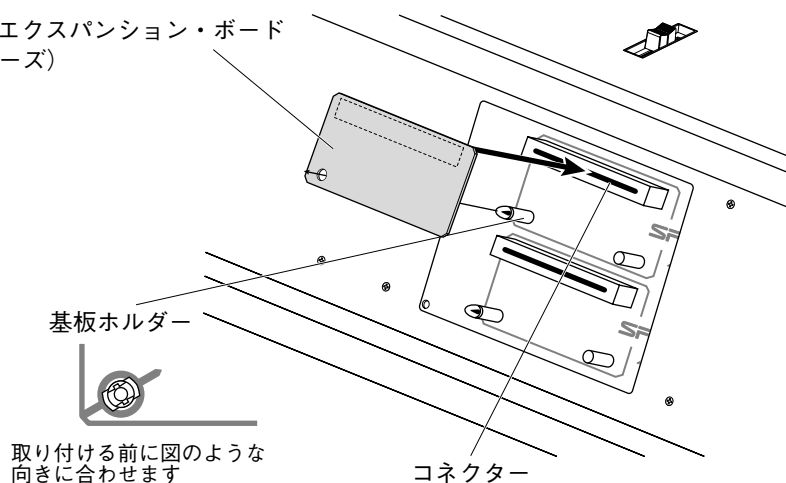
カバーの下部（**PUSH**印の上）を押すと、カバーを簡単に取り外すことができます。



3

いずれかのスロット（SRX A、SRX B）にウェーブ・エクスパンション・ボードのコンネクターを差し込み、同時に基板ホルダーをウェーブ・エクスパンション・ボードの穴にはめ込みます。

ウェーブ・エクスパンション・ボード
(SRXシリーズ)

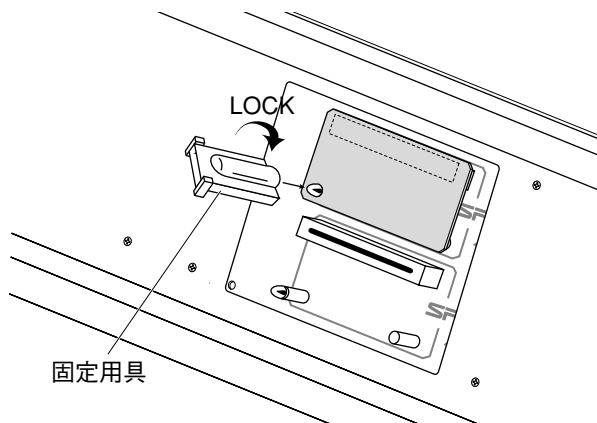


注意

SRX A スロットと SRX B スロットに、同じ種類のウェーブ・エクスパンション・ボードを取り付けた場合は、SRX A スロットに取り付けたウェーブ・エクスパンション・ボードのデータのみ選ぶことができます。

4

ウェーブ・エクスパンション・ボードに付属の固定用具で基板ホルダーをLOCK方向に回し、ウェーブ・エクスパンション・ボードを固定します。

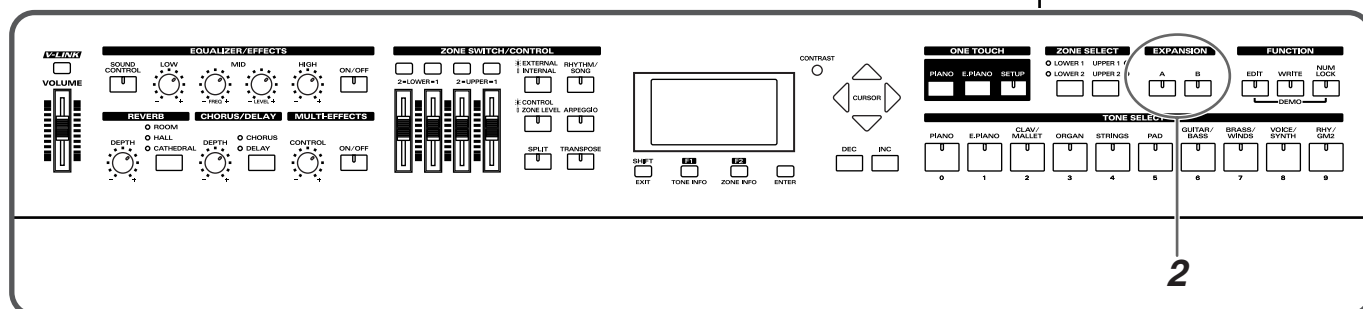


5

手順2で外したネジで、カバーを元通りに取り付けます。

取り付けたウェーブ・エクスパンション・ボードを確認する

ウェーブ・エクスパンション・ボードの取り付けが終わったら、次に、取り付けしたウェーブ・エクスパンション・ボードが正しく認識されるかを確認しましょう。



1

「電源を入れる」(P.21)にしたがって電源を入れます。

2

EXPANSION [A] または [B] を押している間、取り付けしたウェーブ・エクスパンション・ボードの名称が表示されます。

エクスパンション・ボードに搭載されているトーン数とリズム・セット数が表示されます。

SRX A スロットにウェーブ・エクスパンション・ボード SRX-02「Concert Piano」を取り付けた場合の表示例です。

Expansion Board Info	
A	SRX-02ConcertPno
Tone:	50
Rhythm:	0
B	-----
Tone:	---
Rhythm:	-

ボタンを離すと元の画面に戻ります。



「ウェーブ・エクスパンション・ボードのトーンを選ぶ」(P.33)



取り付けしたスロット名の横に「-----」と表示された場合は、ウェーブ・エクスパンション・ボードが正しく認識されていない可能性があります。「電源を切る」(P.22)にしたがって電源を切り、ウェーブ・エクスパンション・ボードを正しく取り付けなおしてください。

電源コードを接続する

付属の電源コードを本体につなぎ、電源コンセントに差し込みます。



感電を防ぐために付属の電源コードを使用し、アースを確実に取り付けてください。付属の電源コードには、感電と機器の損傷を防ぐためにアース用電極端子を加えた 3 端子のプラグがついています。

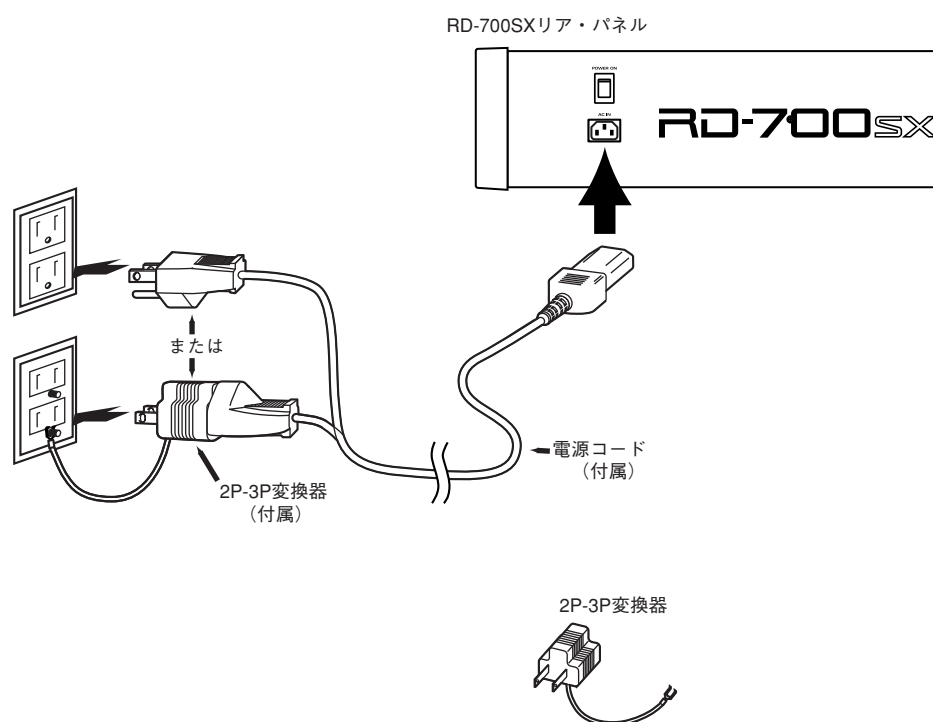
- コンセントが接地コンセント（端子穴が 3 個）の場合
そのままコンセントにプラグを挿し込んでください。
- コンセントがアースターミナル付コンセント（端子穴が 2 個）の場合
プラグに 2P-3P 変換器をつけ、アース接続後コンセントに挿し込みます。

※ アース接続は必ず、電源プラグをコンセントに挿し込む前に行なってください。

アース接続を外す場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてから行なってください。

コンセントにアース端子がない場合は、電気工事店に接地工事を依頼してください。

なお、接続方法がわからないときは、ローランド・サービスにご相談ください。



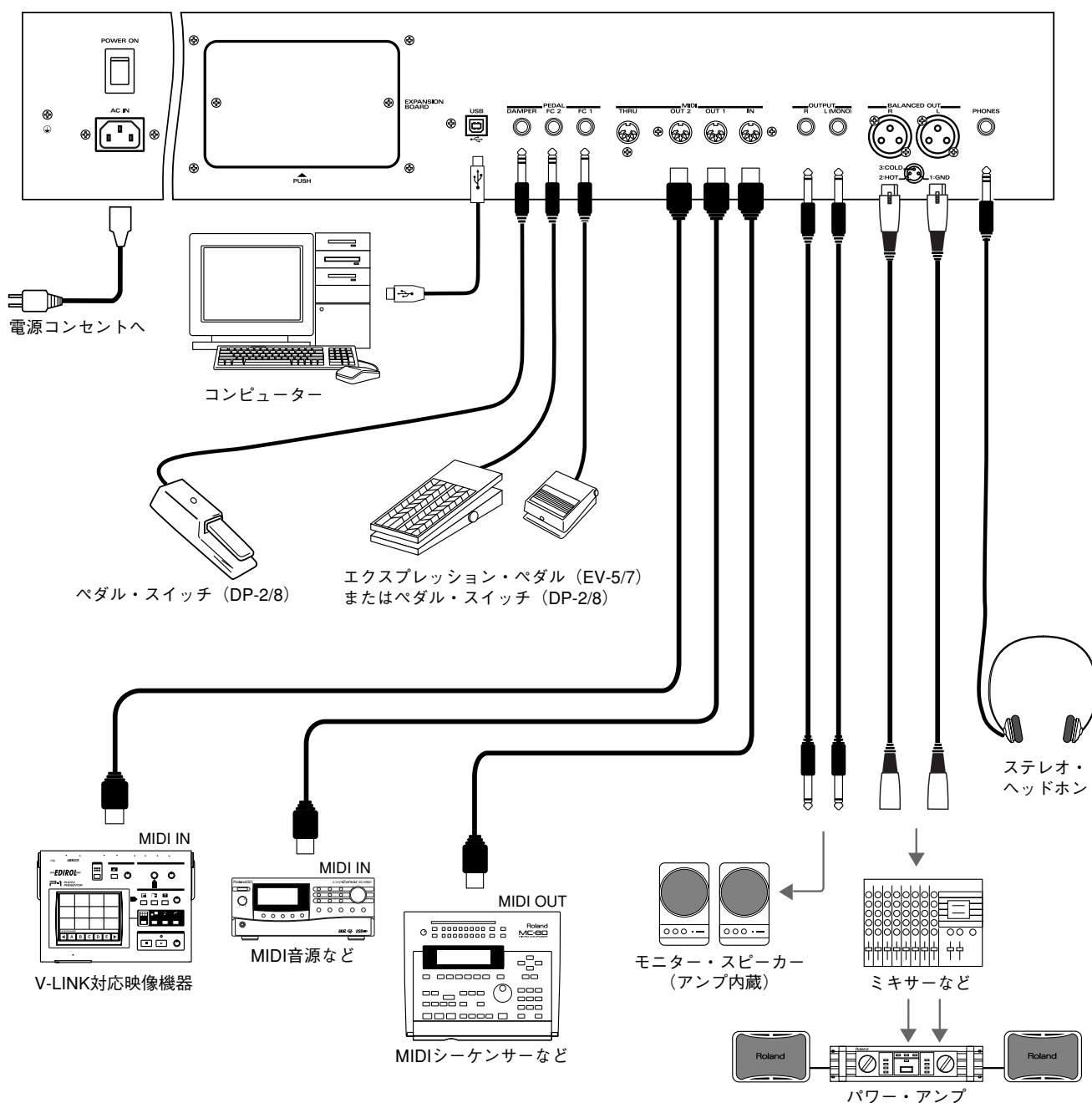
外部機器と接続する

RD-700SXは、アンプやスピーカーを内蔵していません。音を出すにはモニター・スピーカーやステレオ・セットなどのオーディオ機器、または、ヘッドホンなどをご用意ください。

- ※ オーディオ・ケーブル、USB ケーブル、MIDI ケーブル、ヘッドホン、エクスプレッション・ペダルは付属していません。ご購入の際は、本機をお求めになった販売店にお問い合わせください。



他の機器と接続するときは、誤動作やスピーカーなどの破損を防ぐため、必ずすべての機器の音量を絞った状態で電源を切ってください。



演奏する前に

1

接続をはじめる前に、次のことを確認します。

本体および接続するアンプなどの音量が最小になっていますか？
本体および接続するアンプなどの電源がオフになっていますか？

2

付属の電源コードを本体につなぎ、電源コンセントに差し込みます。

3

RD-700SX と外部機器を接続します。

アンプやスピーカーなどのオーディオ機器を接続するには、オーディオ・ケーブルを使います。MIDI 機器は MIDI ケーブルを使って接続します。

ヘッドホンを使う場合は、PHONES 端子にプラグを差し込みます。

また必要に応じて、ペダル・スイッチ、エクスプレッション・ペダルも接続します。

△注意

ヘッドホンはステレオ標準タイプのもをお使いください。また、ヘッドホンは、ローランド製品をお使いください。他のものを使用すると、十分な音量を得られないことがあります。

△注意

エクスプレッション・ペダルは、必ず指定のもの（別売：EV-5/7）をお使いください。他社製品を接続すると、本体の故障の原因になる場合があります。

ペダルの接続

付属のペダルを、PEDAL 端子のいずれかに接続します。

DAMPER 端子に接続すると、ダンパー・ペダルとして使用することができます。

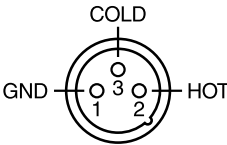
FC1 または FC2 端子に接続すると、さまざまな機能を割り当てることができます（P.67、P.82）。

△注意

付属のペダルを接続するときは、ペダル側面のスイッチを「Continuous」にしてお使いください。

出力端子について

RD-700SX はバランス（XLR）タイプの端子を装備しており、次のように配線されています。接続する機器の配線をご確認のうえ、接続してください。



電源を入れる／切る

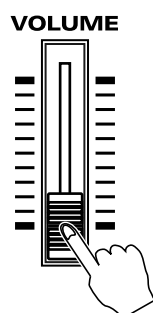
正しく接続したら、必ず次の手順で電源を投入してください。手順を間違えると、誤動作をしたりスピーカーなどが破損する恐れがあります。

電源を入れる

1

電源を入れる前に、VOLUME スライダーで、音量を最小にします。

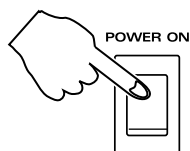
接続している外部オーディオ機器などの音量も最小にしてください。



2

RD-700SX の背面にある [POWER ON] スイッチの上部を押します。

電源が入り、ディスプレイが点灯します。



3

接続している外部機器の電源を入れます。

4

接続している外部機器の音量を調節します。

5

RD-700SX の音量を適当な音量に調節します。



万が一、ファクトリー・リセット (P.22) の途中で電源を切るなどした場合、本体内のデータが破損し、次回起動時に時間がかかることがあります。



ピッチ・ベンド／モジュレーション・レバー (P.42) 操作時の誤動作を防ぐため、電源投入時にはピッチ・ベンド／モジュレーション・レバーに触れないようにしてください。



この機器は回路保護のため、電源をオンしてからしばらくは動作しません。

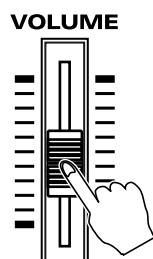
電源を切る

- 1 電源を切る前に、VOLUME スライダーで、音量を最小にします。
接続している外部オーディオ機器などの音量も最小にしてください。
- 2 接続している外部機器の電源を切ります。
- 3 RD-700SX の背面にある [POWER ON] スイッチの下部を押します。
電源が切れます。



完全に電源を切る必要があるときは、この機器の電源スイッチを切った後、コンセントからプラグを抜いてください。詳しくは「電源について」(P.4) をご覧ください。

音量を調節する



- 1 VOLUME スライダーで音量を調節します。
上に動かすと音が大きくなり、下に動かすと音が小さくなります。
接続している機器も適当な音量に調節してください。

工場出荷時の設定に戻す（ファクトリー・リセット）

RD-700SX をはじめてお使いになるときは、取扱説明書の手順にそって正しく動作させるために、最初に工場出荷時の設定に戻してください。

ご注意



ファクトリー・リセット中（「Executing... Don't Power OFF」表示中）は、絶対に電源を切らないでください。

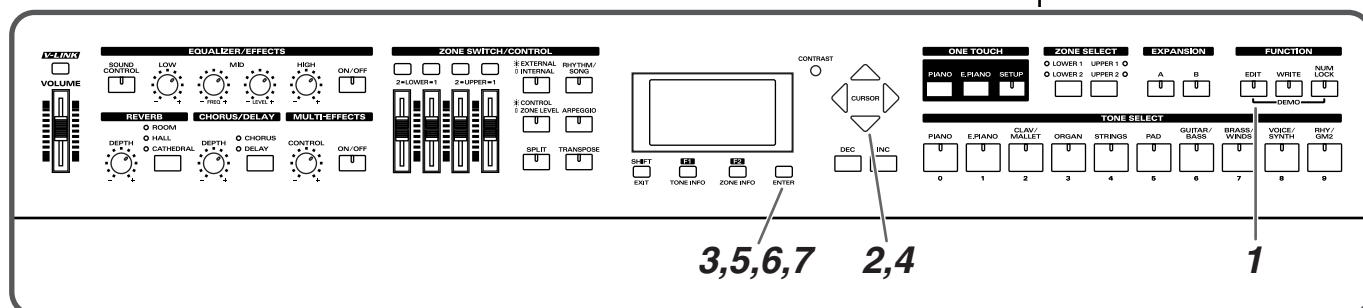
ファクトリー・リセット中に電源を切ると、本体内のデータが破壊されたり電源が入らなくなる場合があります。本体内のデータが失われているなどの症状が確認された場合には、お買い上げ店またはローランド・サービスにご相談ください。ただし、失われた記録内容の修復に関しましては、補償も含めご容赦願います。



この操作を行うと、セットアップ (P.54) の設定が失われます。記憶させた内容を残しておきたい場合は、RD-700SX のメモリーに保存してください (P.87)。



USB 接続している場合は、必ず USB ケーブルを抜いてから実行してください。



1

[EDIT] を押して、インジケータを点灯させます。
エディット・メニュー画面が表示されます。

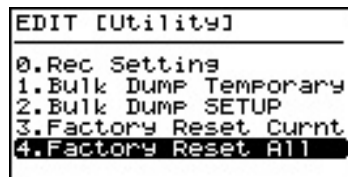


2

CURSOR [▼] を押して「9.Utility」を選びます。

3

[ENTER] を押して、ユーティリティー画面を表示します。

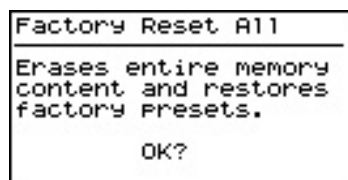


4

CURSOR [▼] を押して、「Factory Reset All」を選びます。

5

[ENTER] を押します。
次のような画面が表示されます。



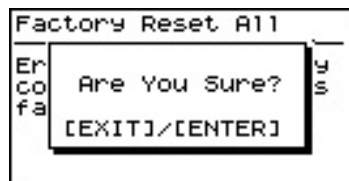
ファクトリー・リセットを中止するときは、[EXIT] を押します。



CURSOR で選ぶかわりに
TONE SELECT [9] を押すと、
直接 Utility のエディット画面を表示することができます。

6

[ENTER] を押します。
確認のメッセージが表示されます。



ファクトリー・リセットを中止するときは、[EXIT] を押します。

7

もう一度 [ENTER] を押すと、ファクトリー・リセットが実行されます。
実行中は「Executing... Don't Power OFF」と表示されます。
ファクトリー・リセットが終わると、ワンタッチ・ピアノ画面に戻ります。

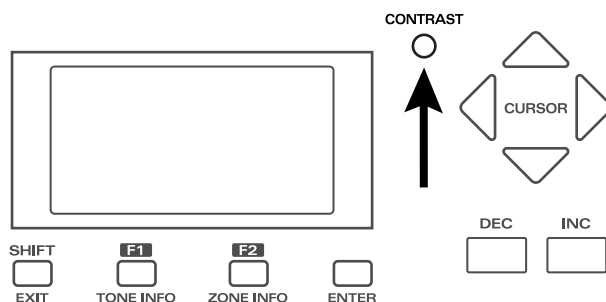
8

RD-700SX の電源を入れ直します。

選んだセットアップ (P.54) だけを工場出荷時の設定に戻すこともできます。
「設定を工場出荷時の状態に戻す (ファクトリー・リセット)」(P.99) をご覧ください。

表示の濃さを調節する (LCD コントラスト)

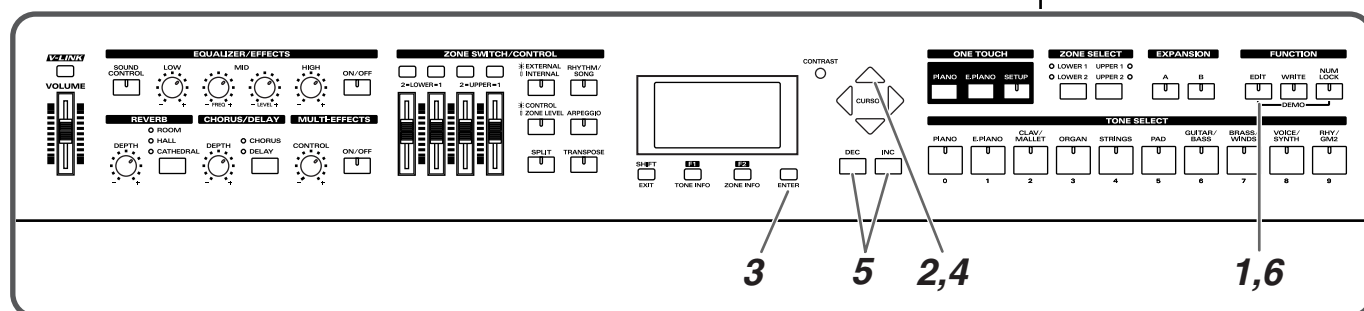
電源を入れた直後や長時間使用した後、または設置条件などによって、ディスプレイの文字が見づらくなることがあります。このようなときは、フロント・パネルにある CONTRAST つまみを回して表示の濃さを調節してください。



他の楽器と音の高さを合わせる（マスター・チューニング）

他の楽器と一緒に演奏するときには、きれいな演奏をするために基準となる音の高さを合わせておきます。一般には、中央のA（中央のラ）の音の高さが何ヘルツ（Hz）かを基準にして、他の楽器と音の高さを合わせます。

他の楽器と基準となる音の高さを合わせることを、「チューニング」といいます。



1

[EDIT] を押して、インジケータを点灯させます。

エディット・メニュー画面が表示されます。

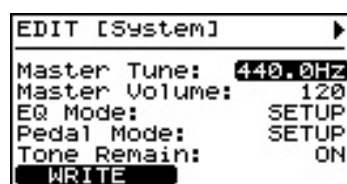


2

CURSOR [▲] を押して「0.System」を選びます。

3

[ENTER] を押して、エディット画面を表示します。



4

CURSOR [▲] を押して、「Master Tune」のパラメーターにカーソルを移動します。

5

[INC] / [DEC] を押して値（415.3 ～ 440.0 ～ 466.2）を設定します。

6

[EDIT] を押して、インジケータを消灯させます。

トーン画面に戻ります。



CURSOR で選ぶかわりに
TONE SELECT [0] を押す
と、直接 Systemのエディッ
ト画面を表示することができます。



値を速く大きくしたいときは、
[INC] を押しながら [DEC]
を押します。逆に、[DEC] を
押しながら [INC] を押すと、
値が速く小さくなります。

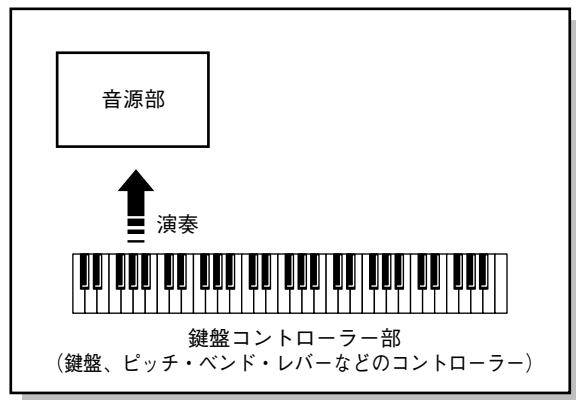


設定を保存したいときは、[F1
(WRITE)] を押します。保存
された設定は、電源を切っ
ても失われません。

RD-700SX の概要

RD-700SX の基本構成

RD-700SX は大きく分けて、鍵盤コントローラー部と音源部で構成されており、これらの間は MIDI で内部接続されています。



鍵盤コントローラー部

鍵盤、ピッチ・ベンド／モジュレーション・レバー、パネル上のつまみ、スライダー、およびリア・パネルに接続したペダルなどが含まれます。キーを押す／離す、ホールド・ペダルを踏むなどの演奏情報を MIDI メッセージに変換して、音源部や外部 MIDI 機器に送信します。

音源部

音を発生させる部分です。鍵盤コントローラー部や外部 MIDI 機器からの MIDI メッセージを楽音信号に変換して、OUTPUT ジャックや PHONES ジャックからアナログ信号として出力します。

音の単位

RD-700SX を使う場合、いくつかの音の単位があります。ここでは、それぞれの音の単位について簡単に説明します。

トーン

RD-700SX では、演奏に使う 1 つの音色を「トーン」と呼びます。RD-700SX には 488 個のトーンが記憶されています。トーンは、パートに割り当てて鳴らします。

また、トーンの中には、複数の打楽器音を集めた「リズム・セット」も含まれます。リズム・セットでは、押さえる鍵盤（ノート・ナンバー）によって異なった打楽器音が鳴るようになっています。

パート

1 台で複数の音色を鳴らすことのできる音源のことを「マルチティンバー音源」といいます。RD-700SX は 16 種類の音色を同時に鳴らすことができるマルチティンバー音源です。「パート」とは、RD-700SX をマルチティンバー音源として使うときのトーンを割り当てるところです。16 個のパートには、それぞれ異なるトーンを割り当ててコントロールすることができますので、複数のトーンを重ねて鳴らしたり、鍵盤域を分割し別々のトーンで鳴らしたり（スプリット）、アンサンブル演奏を楽しむことができます。

RD-700SX では、内部音源を鳴らす 16 個のパートのことを、「内部パート（Internal Part）」といいます。

ゾーン（Zone）

RD-700SX は、内部パートを本体のボタンと鍵盤で自由にコントロールするための 4 つのパート（UPPER1、UPPER2、LOWER1、LOWER2）を持っています。内部パートをコントロールするこの 4 つのパートを「INTERNAL ゾーン」といいます。16 個の内部パートのうち 4 つを各ゾーンに割り当ててコントロールします（RHYTHM パートはパート 10 に固定です）。また、RD-700SX では、外部 MIDI 音源をゾーンと同じ感覚で自由にコントロールすることができます。外部 MIDI 音源も 4 つのパート（UPPER1、UPPER2、LOWER1、LOWER2）でコントロールでき、この 4 つのパートを「EXTERNAL ゾーン」といいます。外部 MIDI 音源をこの 4 つの External ゾーンに割り当ててコントロールします（RHYTHM パートについても一部設定できます）。

RD-700SX の基本操作

主な画面

ワンタッチ画面

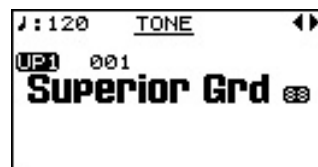
ONE TOUCH [PIANO] ボタンまたは ONE TOUCH [E.PIANO] ボタンを押すと、RD-700SX はピアノ演奏や E.ピアノに最適な状態になり、ワンタッチ画面を表示します（P.30）。



トーン画面（基本画面）

現在 INTERNAL ゾーンに選んでいるトーン名が表示されます。通常は、トーン画面が表示されます。

各 INTERNAL ゾーン（UPPER1、UPPER2、LOWER1、LOWER2）のトーンやテンポを変えることができます。

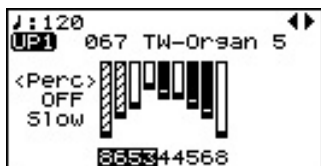


トーン・ホイール画面

トーン画面で、INTERNAL ゾーンのいずれかのパートに、ORGAN 音色の「TW-Organ 1～10」のいずれかを選択し、

CURSOR [◀] を押すとこの画面が表示されます。この画面が表示されている状態を「トーン・ホイール・モード」といい、オルガンのハーモニック・バーを使った音作りをシミュレートすることができます（P.51）。

この画面が表示されているときに、CURSOR [▶] を押すと、トーン画面に戻ります。



セットアップ画面

現在選んでいるセットアップ (P.54) が表示されます。トーン画面またはトーン・ホイール画面が表示されているときに、CURSOR [◀] を押すとこの画面になります。また、[SETUP] ボタンを押しても、この画面が表示されます。セットアップを変えることができます。

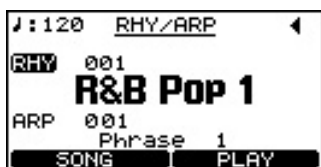
この画面が表示されているときに、CURSOR [▶] を押すと、トーン画面またはトーン・ホイール画面に戻ります。



リズム／ソング／アルペジオ画面

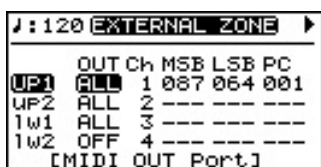
トーン画面が表示されているときに、CURSOR [▶] を押すとこの画面になります。ソング、リズム・パターン、アルペジオ・パターン、テンポを変えることができます (P.45、P.47、P.49)。

この画面が表示されているときに、CURSOR [◀] を押すと、トーン画面に戻ります。



EXTERNAL 画面

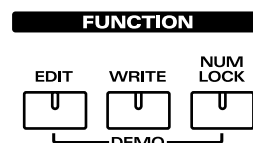
[EXTERNAL/INTERNAL] を押してボタンのインジケータを点灯させると、RD-700SX で外部 MIDI 音源をコントロールする状態になります。RD-700SX のボタンで INTERNAL ゾーンをコントロールするか ([EXTERNAL/INTERNAL] がオフ)、EXTERNAL ゾーンをコントロールするか ([EXTERNAL/INTERNAL] がオン) を切り替えることになります。また、外部音源に送信する MIDI 情報の詳細設定をすることができます (P.60)。



特殊な表示

- 88 KEYS 88 トーン画面で 88 鍵マルチサンプル・ピアノ音色を選ぶと、音色名の右側にこのマークが表示されます。
- トーン画面で「TW-Organ 1～10」を選ぶと、音色名の左側にこのマークが表示されます。このマークが表示されているときに CURSOR [◀] を押すと、トーン・ホイール画面 (P.51) を表示します。
- M: Clock Source の設定 (P.78) を「MIDI」にしているときは、画面左上のテンポ表示の音符が「M:」マークに変わります。このマークが表示されているときは、外部 MIDI 機器で RD-700SX のテンポを設定することができます。
- EQ EQ Mode の設定 (P.77) を「SYSTEM」にしているときは、画面右上に「EQ」マークが表示されます。このマークが表示されているときは、セットアップを切り替えてもイコライザーの設定は変わりません。
- PD Pedal Mode の設定 (P.77) を「SYSTEM」にしているときは、画面右上に「PD」マークが表示されます。このマークが表示されているときは、セットアップを切り替えてもペダルの設定は変わりません。

ファンクション・ボタンの働き



[EDIT]

[EDIT] を押してボタンのインジケータを点灯させると、エディット・モードになります。エディット・モードでは、さまざまな機能の詳細設定をすることができます (P.75)。

[EDIT] を押して、ボタンのインジケータを消灯させると、エディット・モードを抜けます。

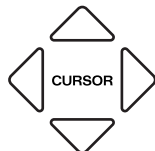
[WRITE]

現在の設定をセットアップに記憶させます (P.56)。

[NUM LOCK]

[NUM LOCK] を押してボタンのインジケータを点灯させると、TONE SELECT ボタンで数値を入力することができます。設定する項目によっては自動的にボタンのインジケータが点灯します。

CURSOR ボタンの働き

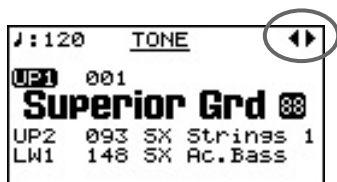


CURSOR（カーソル）ボタンは画面の切り替えや、設定を変更したい項目の移動（カーソルの移動）に使います。

画面の切り替え

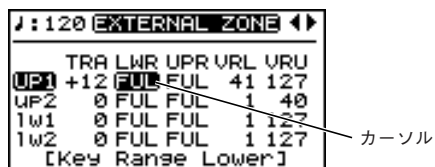
画面の右上に矢印記号（◀▶）が表示されているときは、矢印方向に画面があること示しています。

CURSOR [◀] / [▶] で画面を切り替えます。

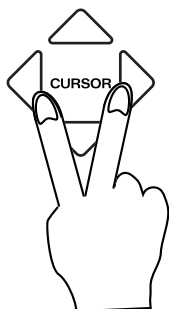


設定項目（カーソル）の移動

1つの画面に複数の項目が表示されている場合、設定を変更したい項目名や値が黒枠で囲まれます。この黒枠を「カーソル」といい、CURSOR ボタンで移動します。

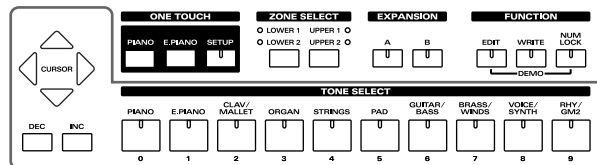


また、EXTERNAL 画面のように、複数の設定項目が横に並んでいるとき、動かしたい方向の CURSOR ボタンを押しながら、逆方向の CURSOR ボタンを押すと、カーソルを速く移動することができます。



動かしたい方向を押しながら、逆方向を押すと、カーソルが速く移動

設定値の変更



設定値を変更するときは、[DEC]、[INC] や、TONE SELECT ボタン（テン・キー）を使います。

[DEC]、[INC]

値を大きくするときは [INC] を押し、小さくするときは [DEC] を押します。連続して大きく（または小さく）するときにはボタンを押し続けます。値を速く大きくしたいときは、[INC] を押しながら [DEC] を押します。逆に、[DEC] を押しながら [INC] を押すと、値が速く小さくなります。[DEC] と [INC] を同時に押すと、その項目の基準値、またはオフになります。

TONE SELECT ボタン（テン・キー）

[NUM LOCK] をオン（点灯）にすると、TONE SELECT ボタンを [0] ～ [9] のテン・キーにして、数値を直接指定します。数値を指定すると値が点滅します。点滅している状態では値が確定されていないので、[ENTER] を押して確定させます。設定する項目によっては、自動的に [NUM LOCK] がオンになり、TONE SELECT ボタンで数値を入力することができます。

メモ

テン・キーで入力できるのは、数値のみです。

数値の正（+）／負（-）の切り替えは、[INC] または [DEC] を押して、連続的に数値を変化させておこないます。

デモ曲を聴いてみよう (DEMO)

デモ曲を聴いてみましょう。

RD-700SX には、特長を活かしたデモ曲が内蔵されています。

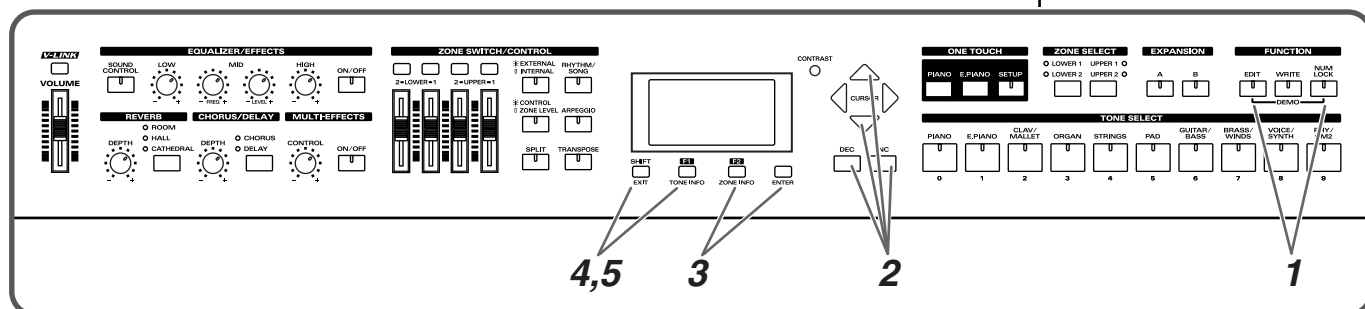
No.	ソング・ネーム	作曲者／コピーライト
01.	Take a Break	Scott Tibbs © 2004 Roland Corporation
02.	Superior Grand	Scott Tibbs © 2004 Roland Corporation
03.	Everything Cool	Scott Tibbs © 2004 Roland Corporation
04.	Tone Preview	Scott Tibbs © 2004 Roland Corporation

04「Tone Preview」は内蔵音色を効果的に使ったデモ曲です。TONE カテゴリーごとに 1 曲ずつ、計 10 曲を用意しています。



注意

これらのデモ曲を個人で楽しむ以外に権利者の許諾なく使用することは、法律で禁じられています。



※ デモ曲を再生すると、各種設定は電源投入時の状態になります。
残しておきたい設定は、セットアップに記憶してください (P.56)。

1

[NUM LOCK] を押しながら [EDIT] を押します。

デモ画面が表示されます。



2

CURSOR [▲] / [▼] または [INC] / [DEC] を押して曲を選びます。

3

[F2 (PLAY)] または [ENTER] を押して、デモ曲の再生を始めます。

最後の曲の再生が終わると、また最初の曲に戻って再生します。

4

曲を途中で止めるときは、[EXIT] または、[F1 (MENU)] を押します。

5

曲が止まっているときに、[EXIT] または、[F1 (EXIT)] を押すとデモを終わります。

元の画面に戻ります。



注意

デモ曲の演奏データは、MIDI OUT 端子からは出力されません。



メモ

「4 : Tone Preview」を選んだときは、いずれかの TONE SELECT ボタンを押します。押したボタンのデモ曲から連続して再生を始めます。曲の再生中に TONE SELECT ボタンを押すと、再生中の曲を停止して選んだ曲を再生します。



メモ

ONE TOUCH [PIANO] または [E.PIANO] を押すと、曲の再生中／停止中にかかわらず、デモが終わり元の画面が表示されます。

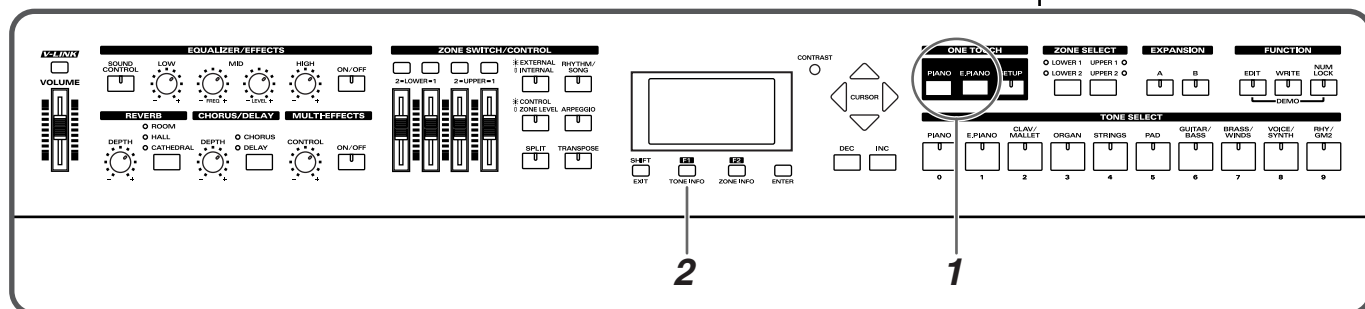
鍵盤で演奏しよう

ピアノ演奏をする (ONE TOUCH)

ピアノ演奏をしてみましょう。

RD-700SX では、ボタンひとつでいつでもピアノ演奏に最適な設定を呼び出すことができます。

好みの音色や設定を選び、ボタンに記憶させることもできます。



1

ONE TOUCH [PIANO] または [E.PIANO] を押します。



ONE TOUCH [PIANO] を押したときは、鍵盤全体でピアノ音色を演奏する設定になります。

ONE TOUCH [E.PIANO] を押したときは、鍵盤全体でE. ピアノ音色を演奏する設定になります。

2

[F1] を押して、タイプを選びます。

[F1] を押すたびに、タイプ A と B が切り替わります。



RD-700SX では、好みのピアノ演奏に合うように、より細かい設定をすることができます。その設定は [PIANO] と [E.PIANO] にそれぞれ 2 種類ずつ、計 4 種類記憶することができます。

詳しくは各項目をご覧ください。

- ピアノ音色の設定 (ピアノ・エディット) → P.70
- E. ピアノ音色の設定 (E. ピアノ・エディット) → P.73
- 鍵盤タッチの設定 → P.80



ONE TOUCH [PIANO] または [E.PIANO] を押すと、ピアノ・エディットの設定 (P.70) または E. ピアノ・エディットの設定 (P.73) を除く各種設定は、電源投入時の状態になります。
残しておきたい設定は、セットアップに記憶してください (P.56)。



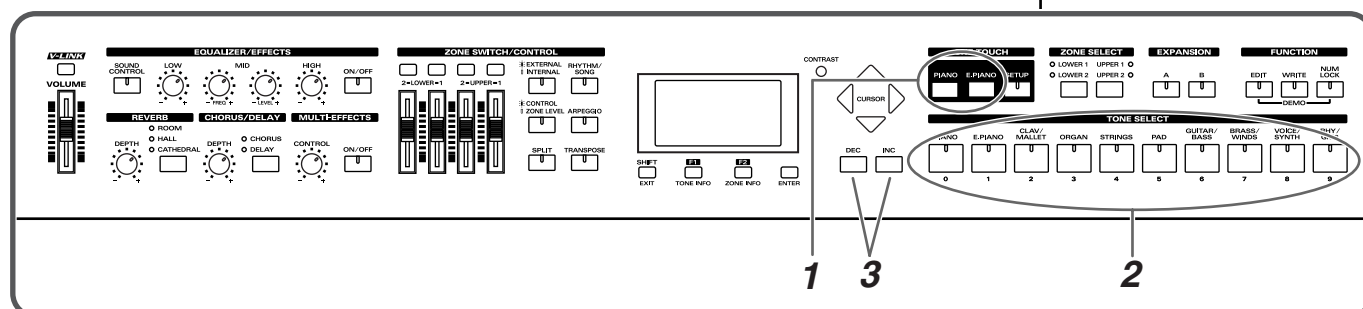
ONE TOUCH [PIANO] 画面では、CURSOR [▲] / [▼] を使ってグランドピアノの大屋根の開き具合 (P.71) を調節することができます。

いろいろな音色（トーン）で演奏する

RD-700SXには、488種類の音が内蔵されています。
このひとつひとつの音のことを「トーン」といいます。
トーンは音の種類（カテゴリー）によってTONE SELECTボタンに割り当てられています。
いろいろなトーンを選んで演奏してみましょう。



「トーン一覧」(P.140)



1

ONE TOUCH [PIANO] または [E.PIANO] を押します。
鍵盤全体で1つのトーンを演奏する設定になります。

2

TONE SELECT ボタンのいずれかを押して、トーンの種類（カテゴリー）を選びます。
TONE SELECT ボタンが点灯します。

3

[INC] / [DEC] でトーンを選びます。
鍵盤を弾くと、選んだトーンが鳴ります。
次に同じTONE SELECTボタンを押すと、ここで選ばれたトーンが鳴ります。



複数のトーンを鳴らしているときは、ONE TOUCH [PIANO] ボタンを押さずに、ZONE SELECT ボタンでトーンを変えるゾーンを選びます。
詳しくは「ゾーンのトーンの変えかた」(P.38)をご覧ください。



[NUM LOCK] のインジケータが点灯しているときは、TONE SELECT ボタンでトーンのカテゴリーを選ぶことはできません。詳しくは、P.32をご覧ください。



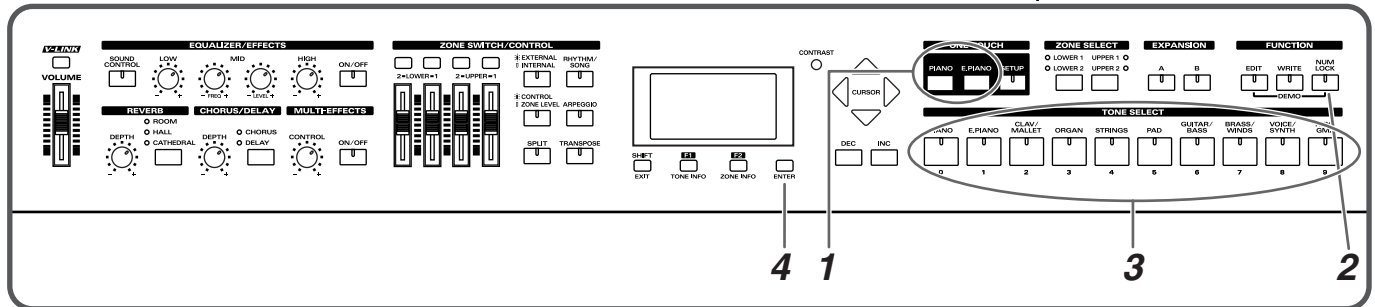
[RHY/GM2] で選べるトーンは、「リズム・セット」、「GM2のリズム・セット」、「GM2トーン」の順に登録されています。
詳しくは、「リズム・セッター一覧」(P.143)をご覧ください。

トーン・ナンバーを指定してトーンを選ぶ（[NUM LOCK]）

トーンのひとつひとつは、トーン・ナンバーという番号を持っています。
TONE SELECT ボタンで数字を入力し、トーン・ナンバーを指定してトーンを選ぶこともできます。
TONE SELECT ボタンで数字を入力するときは、[NUM LOCK] をオンにします。



「トーン一覧」(P.140)



1

ONE TOUCH [PIANO] または [E.PIANO] を押します。

鍵盤全体で 1 つのトーンを演奏する設定になります。

2

[NUM LOCK] を押して、インジケーターを点灯させます。

TONE SELECT ボタンで数字を入力できるようになります。

各ボタンで入力できる数値は、TONE SELECT ボタンの下に表記されています。

3

TONE SELECT ボタンでトーン・ナンバーを入力します。

4

[ENTER] を押します。

トーンが確定します。

鍵盤を弾くと、選んだトーンが鳴ります。

選んだトーンが含まれるカテゴリーの TONE SELECT ボタンが点灯します。



複数のトーンを鳴らしているときは、ONE TOUCH [PIANO] ボタンを押さずに、ZONE SELECT ボタンでトーンを変えるゾーンを選びます。詳しくは「ゾーンのトーンの変えかた」(P.38) をご覧ください。

リズム・セットを鳴らす

TONE SELECT で選べる音色のなかに、さまざまな打楽器を集めたリズム・セットがあります。リズム・セットを使って打楽器の演奏をしてみましょう。

1. ONE TOUCH [PIANO] または [E.PIANO] を押します。

2. TONE SELECT [RHY/GM2] を押します。

このとき、[NUM LOCK] がオンになっていると、リズム・セットのカテゴリーを選ぶことができません。[NUM LOCK] はオフにしてください。

3. 押さえる鍵によっていろいろな打楽器音が鳴ります。

4. 他のリズム・セットを選ぶときは、[INC] / [DEC] を押します。

リズム・セットによって、鍵盤に割り当てられている音の組み合わせが異なります。「リズム・セット一覧」(P.143) をご覧ください。

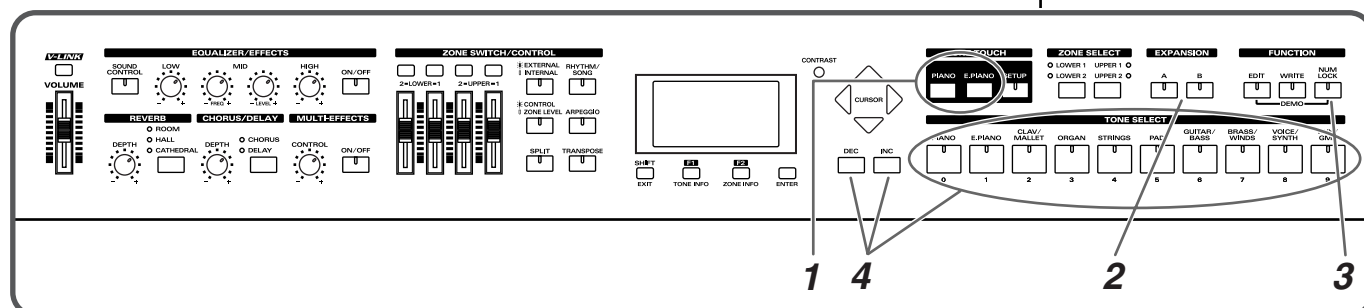


[RHY/GM2] で選べるトーンは、「リズム・セット」、「GM2 のリズム・セット」、「GM2 トーン」の順に登録されています。詳しくは、「リズム・セット一覧」(P.143) をご覧ください。

ウェーブ・エクスパンション・ボードのトーンを選ぶ

RD-700SX には、別売のウェーブ・エクスパンション・ボード（SRX シリーズ）を 2 枚まで取り付けることができます。

ウェーブ・エクスパンション・ボードのトーンを選ぶときは、次のように操作します。



1 ONE TOUCH [PIANO] または [E.PIANO] を押します。
鍵盤全体で 1 つのトーンを演奏する設定になります。

2 EXPANSION [A] または [B] を押して、インジケータを点灯させます。



EXPANSION [A] または [B] を押している間、取り付けたウェーブ・エクスパンション・ボードの名称が表示されます (P.17)。

3 [NUM LOCK] ボタンを押して、インジケータを点灯させます。

4 [INC] / [DEC] または TONE SELECT ボタンでトーン・ナンバーを選びます。

TONE SELECT ボタンでトーン・ナンバーを入力したときは、[ENTER] を押して、トーンを確定してください。

5 鍵盤を弾くと、選んだトーンが鳴ります。



ウェーブ・エクスパンション・ボードの取り付けかたは、P.16 をご覧ください。



ウェーブ・エクスパンション・ボードの音色リストについては、SRX シリーズ取扱説明書の RD-700 用の「Patch List」と「Rhythm Set List」をご覧ください。

なお、RD-700SX では、一部の音色名の表示が異なります。「ウェーブ・エクスパンション・ボード音色名対応表」(P.34) をご覧ください。

[NUM LOCK] せずにトーンを選ぶ

エクスパンション・ボードのトーンを選ぶとき、[NUM LOCK] をオフにしたままトーンを選ぶこともできます。

- 1. EXPANSION [A] または [B] を押して、インジケーターを点灯させます。
- 2. TONE SELECT ボタンや [DEC] / [INC] で、トーンを選びます。

ウェーブ・エクスパンション・ボードのトーンは次のように TONE SELECT ボタンに割り当てられます。

TONE SELECT									
PIANO	E.PIANO	CLAV/MALLET	ORGAN	STRINGS	PAD	GUITAR/BASS	BRASS/WINDS	VOICE/ SYNTH	RHY/ GM2
0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
001	011	021	031	041	051	061	071	081	リズム・
:	:	:	:	:	:	:	:	:	セット
010	020	030	040	050	060	070	080	090	
								091	
								:	
								100	
								101	
								:	

- 3. 鍵盤を弾くと、選んだトーンが鳴ります。

ウェーブ・エクスパンション・ボードのリズム・セットのトーン・ナンバー

RD-700SX でウェーブ・エクスパンション・ボードのリズム・セットを選ぶとき、ウェーブ・エクスパンション・ボードのリズム・セットは、パッチ (RD-700SX ではトーンといいます) の後に配置されます。

そのため、RD-700SX でウェーブ・エクスパンション・ボードのリズム・セットをトーン・ナンバーで指定するときは、パッチ・リスト末尾のパッチ・ナンバーに、リズム・セット・リストの鳴らしたいリズム・セット・ナンバーを足した数がトーン・ナンバーになります。

ウェーブ・エクスパンション・ボード音色名対応表

RD-700SX では、SRX シリーズの一部の音色名が下記の通り表示されます。
SRX シリーズの取扱説明書とは表示が異なりますのでご注意ください。

SRX-03 (STUDIO SRX)		SRX-05 (Supreme Dance)		SRX-07 (Ultimate Keys)		SRX-08 (Platinum Trax)	
No.	Tone Name	No.	Tone Name	No.	Tone Name	No.	Tone Name
005	Taxi EP	236	Tri EP	011	TouchEP SRX	378	Echo EP SRX
021	US EP	239	EP Chd Menu	013	Stage EP 2		
022	Studio EP	240	EP Maj 9th	015	80's EP		
023	All EP	241	EP Maj 11th	017	Padded EP		
024	Sens. EP	242	EP Min 11th	019	Sine EP		
				022	ClaviQ EP		
				024	70'EP Bs		
				033	The 70'EP		

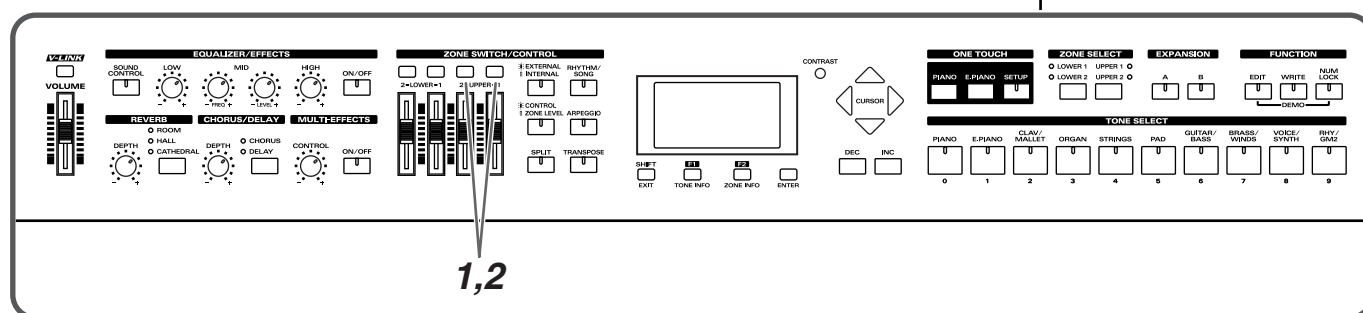
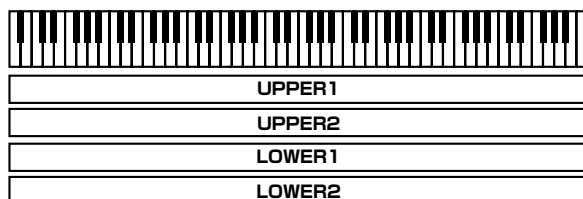
鍵盤で複数のトーンを鳴らす

RD-700SXには、4つのINTERNALゾーン（UPPER1、UPPER2、LOWER1、LOWER2）があり、各ゾーンにトーンが一つずつ割り当てられます。

ゾーンをオン／オフすることで、複数のトーンを鳴らすことができます。音を重ねて同時に複数のトーンを鳴らしたり、右手側と左手側で別々のトーンを鳴らすこともできます。

トーンを重ねて演奏する

全鍵で4つまでトーンを重ねて演奏することができます。



1

ZONE SWITCH [UPPER1] と [UPPER2] を押して、インジケータを点灯させます。

鍵盤を弾いてみましょう。



UPPER1 と UPPER2 のトーンが重なって鳴ります。

2

もう一度 [UPPER2] を押すと、インジケータが消灯します。

UPPER1 のトーンのみが鳴ります。

同じように [LOWER1] や [LOWER2] を押すと、4つのトーンを重ねることができます。

2 つの TONE SELECT ボタンを同時に押す

- ※ この操作をするときは、[NUM LOCK] はオフにしてください。
- ZONE SWITCH を押さなくても、2 つの TONE SELECT ボタンを同時に押すことで、2 つのトーンを重ねて鳴らすことができます。
- 例えば、ピアノの音とストリングスの音を重ねたいときは、[PIANO] と [STRINGS] を同時に押します。
- [UPPER1] と [UPPER2] のインジケーターが自動的に点灯し、鍵盤を弾くとピアノの音とストリングスの音が重なって鳴ります。
- このとき、先に押されたボタンのトーンが UPPER1、もう一方が UPPER2 に割り当てられます。画面のパート名は UP1 と UP2 の両方が反転し、両方のパートが選ばれている状態になります。
- 2 つの TONE SELECT ボタンが選ばれているとき、TONE SELECT ボタンのいずれかひとつを押すと、押したボタンのトーンが [UPPER1] に選ばれます。[UPPER2] のインジケーターは消灯し、音は鳴らなくなります。
- ※ 以上の操作は、ZONE SELECT ボタンの [UPPER1] または [UPPER2] のみが選ばれているときに有効です。

鍵盤を 2 つの音域に分けて別々のトーンで演奏する ([SPLIT])

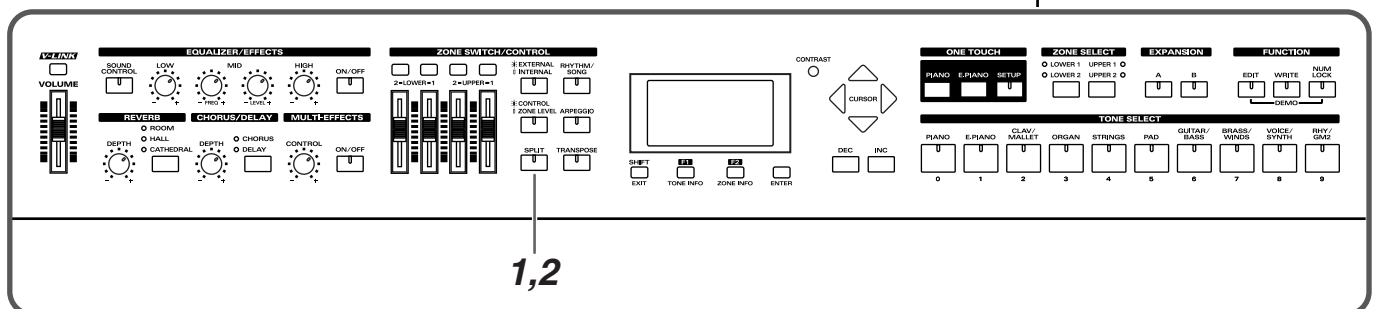
ある鍵を境に鍵盤が右側と左側に分かれることを「スプリット」といい、鍵盤が分かれる位置を「スプリット・ポイント」といいます。

鍵盤右側で鳴るパートを UPPER、鍵盤左側で鳴るパートを LOWER といい、スプリット・ポイントの鍵は LOWER に含まれます。

スプリット・ポイントは、電源投入時は「B3」に設定されています。



スプリット・ポイントは変えることができます。「音域の分かれる位置を変える (スプリット・ポイント)」(P.37) をご覧ください。



1

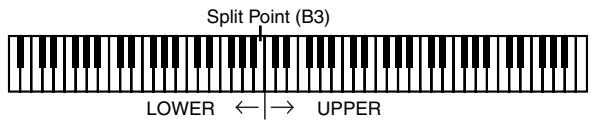
[SPLIT] を押して、インジケーターを点灯させます。

ZONE SWITCH の [LOWER1] が点灯します。

鍵盤を弾いてみましょう。



鍵盤右側で UPPER のトーン、鍵盤左側で LOWER のトーンが鳴ります。



2

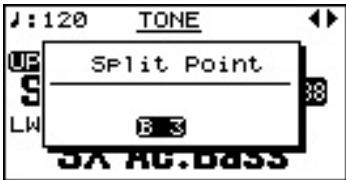
もう一度 [SPLIT] を押すと、インジケーターが消灯し、スプリットが解除されます。

音域の分かれる位置を変える（スプリット・ポイント）

スプリット・モードの鍵盤の分かれる位置（スプリット・ポイント）を変えることができます。

1

[SPLIT] を数秒間押し続けます。
次のような画面が表示され、現在の設定値が表示されます。



2

[SPLIT] を押したまま、鍵を押します。
[SPLIT] から指を離すと画面が元に戻ります。
スプリット・ポイントの鍵は、LOWER に含まれます。

スプリット・ポイントを設定すると、各ゾーンの Key Range (P.67) はスプリット・ポイントを境に左右に分かれ、以下の値に設定されます。

- UPPER1、UPPER2：スプリット・ポイント+1～C8
- LOWER1、LOWER2：A0～スプリット・ポイント



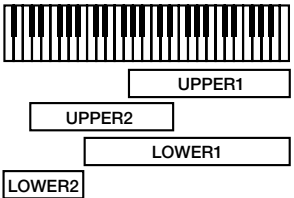
[SPLIT] を押しながら [INC] や [DEC] を押すと、スプリット・ポイントを半音ずつ変えることができます。



スプリット・ポイントを変更すると、各ゾーンの Key Range (P.67) も変わります。



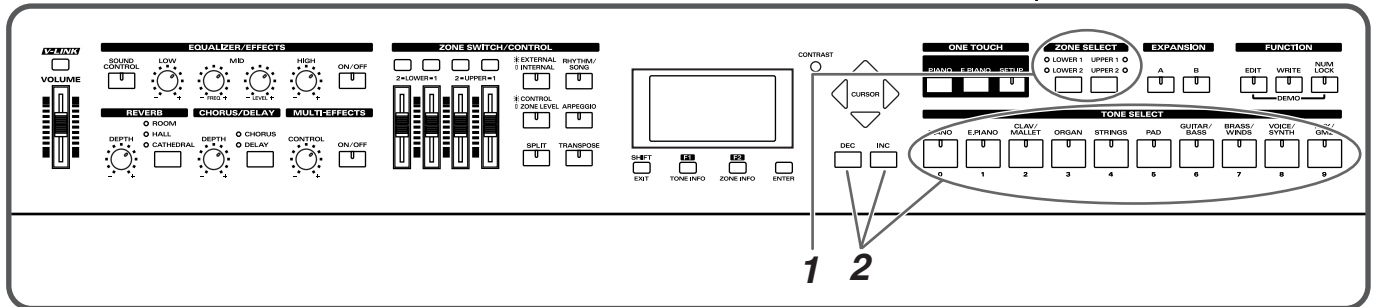
以下のように、ゾーンごとに鍵域を自由に設定することができます。



「ゾーンごとの鍵域を設定する (Key Range)」(P.67) をご覧ください。

ゾーンのトーンの変えかた

ゾーンに割り当てられたトーンを変えたいときは、ZONE SELECT ボタンを使って、変更するトーンのゾーンの指定します。



1

ZONE SELECT ボタンを押して、トーンを変えたいゾーンのインジケータを点灯させます。

現在選ばれている TONE SELECT ボタンのインジケータが、選んだゾーンのインジケータと同じ色で点灯します。

2

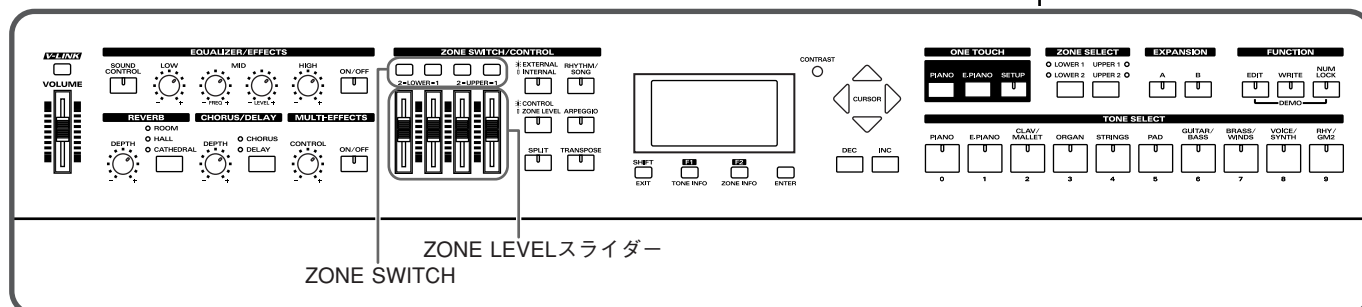
TONE SELECT ボタンでトーンのカテゴリーを選び、[INC] / [DEC] でトーンを選びます。

[NUM LOCK] をオンにすると、TONE SELECT ボタンでトーン・ナンバーを指定することができます (P.32)。



ZONE SWITCH がオフ（消灯）になっているゾーンの ZONE SELECT ボタンを押すと、押したゾーンの ZONE SWITCH と、ZONE SELECT、[ENTER] の3つのボタンが点滅します。このとき点滅しているいずれかのボタンを押すと、そのゾーンの ZONE SWITCH がオン（点灯）になります。

ゾーンごとの音量を調節する (ZONE SWITCH/ZONE LEVEL スライダー)



RD-700SX では、内蔵音源のトーンで演奏するパートのことを INTERNAL ゾーンといいます。

ゾーン (UPPER1、UPPER2、LOWER1、LOWER2) ごとに、ZONE SWITCH、ZONE LEVEL スライダーで音のオン／オフや音量を設定することができます。

ZONE SWITCH

各ゾーンの音を出す／出さないを設定します。

ZONE SWITCH のインジケーターが点灯 (オン) しているゾーンは、鍵盤を弾くと音が出ます。画面にゾーン名が大文字で表示されます。

ZONE SWITCH のインジケーターが消灯 (オフ) しているゾーンは、鍵盤を弾いても音は出ません。また、画面にゾーン名が表示されません (UPPER1 のみ、小文字で表示されます)。

ZONE SWITCH のオン／オフは、ボタンを押すごとに切り替わります。

ZONE LEVEL スライダー

各ゾーンの音量を調節します。

ZONE SWITCH のインジケーターが消灯しているときは、スライダーを動かしても音は出ません。

外部音源のトーンを割り当てるゾーンは、EXTERNAL ゾーンといいます。RD-700SX では、EXTERNAL ゾーンも INTERNAL ゾーンと同じようにコントロールすることができます。

詳しくは、「ゾーンごとに音量を調節する (EXTERNAL ゾーン)」(P.62) をご覧ください。



全体の音量を調節するときは、VOLUME スライダーを使います (P.22)。



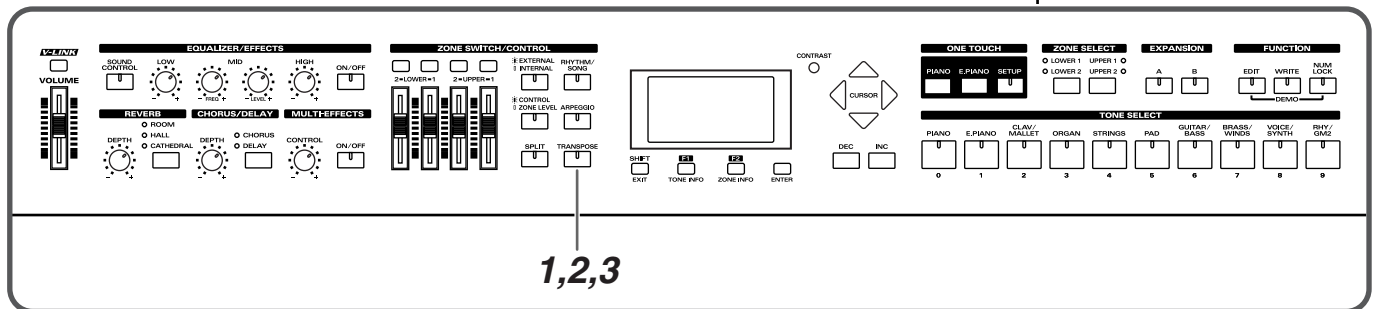
[CONTROL/ZONE LEVEL] が点灯しているときは、ZONE LEVEL スライダーで音量を調節することができません (P.83)。

鍵盤の音の高さを変える（[TRANPOSE]）

自分が弾く鍵盤の位置を変えずに移調したり、音の高さのオクターブを変えて演奏することができます。このような機能を「トランスポーズ」といいます。歌う人の声の高さに合わせて演奏したいときや、トランペットなどの移調楽器の譜面どおりに演奏したいときなどに使うと便利です。トランスポーズの設定はC4を基準に半音単位で-48～0～+48の範囲で設定できます。

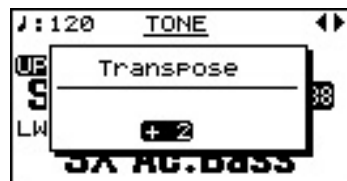


MIDI IN 端子からのノート情報は、移調されません。



1

[TRANPOSE] を数秒間押し続けます。
次のような画面が表示され、現在の設定値が表示されます。



2

[TRANPOSE] を押したまま、鍵を押します。
例えば、「ド」の鍵を弾いたときに「ミ」の音がでるようにするには、[TRANPOSE] を押しながら、E4（ミ）の鍵を押します。このときの、トランスポーズ量は「+4」になります。
[TRANPOSE] から指を離すと、画面は元に戻ります。
トランスポーズ量が設定されると、トランスポーズがオンになり、[TRANPOSE] が点灯します。
トランスポーズ量が「0」のときは、[TRANPOSE] を押しても、インジケータは点灯しません。

3

トランスポーズをオフにするときは、[TRANPOSE] を押してインジケータを消灯させます。
次に [TRANPOSE] を押すと、ここで設定した値でトランスポーズされます。



[TRANPOSE] を押しながら [INC] や [DEC] を押しても、トランスポーズ量を変えることができます。



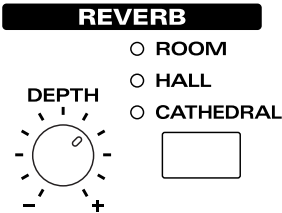
トランスポーズをオンにしても、スプリット・ポイント (P.37) は変わりません。



ゾーンごとに異なるトランスポーズ量を設定することができます。「ゾーンごとに移調の設定をする (Transpose)」 (P.66) をご覧ください。

音に響きをつける（[REVERB]）

鍵盤で弾く音に「リバーブ効果」（残響）をかけることができます。リバーブ効果をかけると、コンサート・ホールなどで演奏しているような心地よい響きが得られます。



1

[REVERB] を押します。
[REVERB] を押すたびに、リバーブの種類が切り替わります。

種類	説明
OFF（消灯）	リバーブを使いません。
ROOM	室内での残響
HALL	ホールでの残響
CATHEDRAL	大聖堂での残響

2

REVERB [DEPTH] つまみで、リバーブ効果のかかり具合を調節します。
つまみを右側に回すとリバーブ効果が深くなり、左側に回すとリバーブ効果が浅くなります。



「リバーブの設定をする」
(P.85)



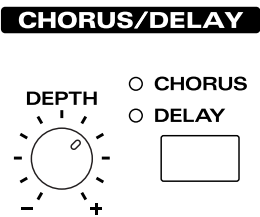
エディット画面、「3. Effects」の「**Reverb Type**」(P.85)で、左の表以外のリバーブを選ぶことができます。そのときは、選んだタイプに応じて、[REVEB] のいずれかのインジケーターが点滅します。



トーンの設定（Tone Info）の「**Reverb Amount**」の値が「0」になっているときは、REVERBつまみを回しても、効果はかかりません（P.68）。

音に広がりをつける（[CHORUS/DELAY]）

鍵盤で弾く音に「コーラス効果」や「ディレイ効果」をかけることができます。コーラス効果やディレイ効果をかけると、音に立体的な広がりや厚みを持たせることができます。



1

[CHORUS/DELAY] を押します。
[CHORUS/DELAY] を押すたびに、コーラスの種類が切り替わります。

種類	説明
OFF（消灯）	コーラス／ディレイを使いません。
CHORUS	音に立体的な広がりや厚みを持たせることができます。
DELAY	音を遅らせ、山びこ（こだま）のような効果を演出するエフェクトです。



「コーラス／ディレイの設定をする」(P.85)



エディット画面、「3. Effects」の「**Chorus Type**」(P.85)で、左の表以外のコーラスを選ぶことができます。そのときは、選んだタイプに応じて、[CHORUS/DELAY] のいずれかのインジケーターが点滅します。

2

CHORUS [DEPTH] つまみで、コーラス効果のかかり具合を調節します。

つまみを右側に回すとコーラス効果が深くなり、左側に回すとコーラス効果が浅くなります。



トーンの設定 (Tone Info) の「Chorus Amount」の値が「0」になっているときは、CHORUSつまみを回しても、効果はかかりません (P.68)。

音の高さをリアルタイムに変化させる (ピッチ・ベンド／モジュレーション・レバー)

鍵盤を弾きながらレバーを左に倒すとピッチ (音程) が下がり、右に倒すとピッチが上がります。これをピッチ・ベンド効果といいます。

また、レバーを向こう側に倒すとビブラートがかかります。これをモジュレーション効果といいます。

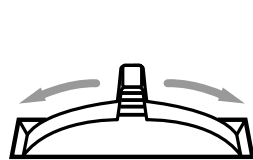
レバーを左または右に倒しながら向こう側に倒したときは、両方の効果が同時に得られます。



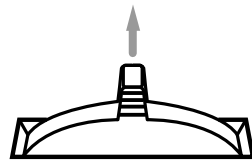
トーンによって、レバーを動かしたときの効果が異なるものがあります。また、このレバーによる効果は、トーンごとに決まっており、変更することはできません。



トーン・ホイール画面を表示しているときは、ピッチ・ベンド・レバーを左右に倒すとロータリー効果の遅い／速いが切り替わります。詳しくは、「オルガンの音作りをシミュレートする (トーン・ホイール・モード)」(P.51) をご覧ください。



ピッチ・ベンド効果

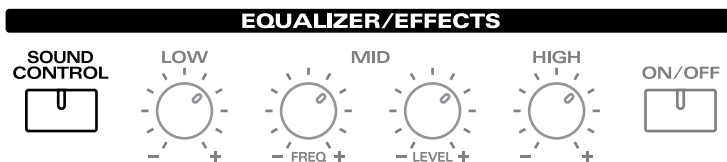


モジュレーション効果

音にメリハリをつける ([SOUND CONTROL])

サウンド・コントロールをオンにすると、音量のばらつきをおさえ、まとまりのある音質になります。

電源投入時は、オフに設定されています。



1

[SOUND CONTROL] ボタンを押して、ボタンのランプを点灯させます。

2

サウンド・コントロールを解除するときは、もう一度 [SOUND CONTROL] ボタンを押して、ランプを消灯させます。



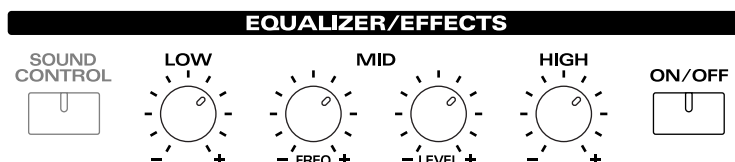
音色によっては、音がひずむ場合があります。



「サウンド・コントロールの設定 (Sound Control)」(P.86)

音の低域・中域・高域のレベルを調節する（[EQUALIZER]）

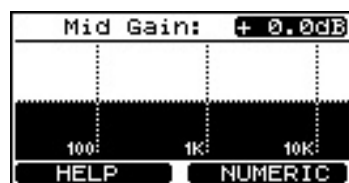
RD-700SXには、3バンドのイコライザーが装備されています。
EQUALIZER [LOW]、[MID LEVEL]、[HIGH] の各つまみで、それぞれ音の低域、中域、高域のレベルを自由に調節できます。
また、[MID FREQ] では中域の周波数を調節できます。



1

EQUALIZER [ON/OFF] を押して、インジケータを点灯させます。

次のような画面が表示され、イコライザーがオンになります。



2

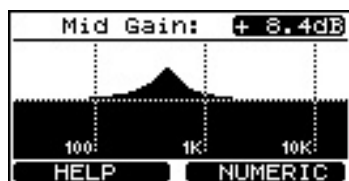
つまみで各音域のレベルや周波数を調節します。

[LOW]、[MID LEVEL]、[HIGH] の各つまみを－（マイナス）側に回すと各音域が弱くなり、＋（プラス）側に回すと各音域が強くなります。

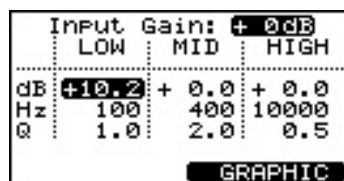
また、[MID FREQ] を－（マイナス）側に回すと周波数が低くなり、＋（プラス）側に回すと周波数が高くなります。

[F2] を押すと、設定値の表示が数字に変わります。[F2] を押すたびに、表示が「NUMERIC（数字）」と「GRAPHIC（グラフ）」で交互に切り替わります。

GRAPHIC



NUMERIC



画面の状態によって、設定のしかたが以下のように変わります。

Graphic 表示のとき

- 値を変えたい音域のつまみを少し動かしてカーソルを移動します。
- CURSOR [◀] / [▶] を押して周波数を調節します
- CURSOR [▲] / [▼] を押してQを調節します

Numeric 表示のとき

- CURSOR [▲] / [▼] / [◀] / [▶] を押してカーソルを移動します
- [INC] / [DEC] で値を変えます

3

イコライザーをオフにするときは、EQUALIZER [ON/OFF] を押して、インジケータを消灯させます。



イコライザーは OUTPUT 端子から出力される音全体に効果がかかります。



セットアップ (P.54) を変えても、イコライザーの設定は変わらないようにすることができます。「イコライザーの設定が切り替わらないようにする (EQ Mode)」(P.77) をご覧ください。

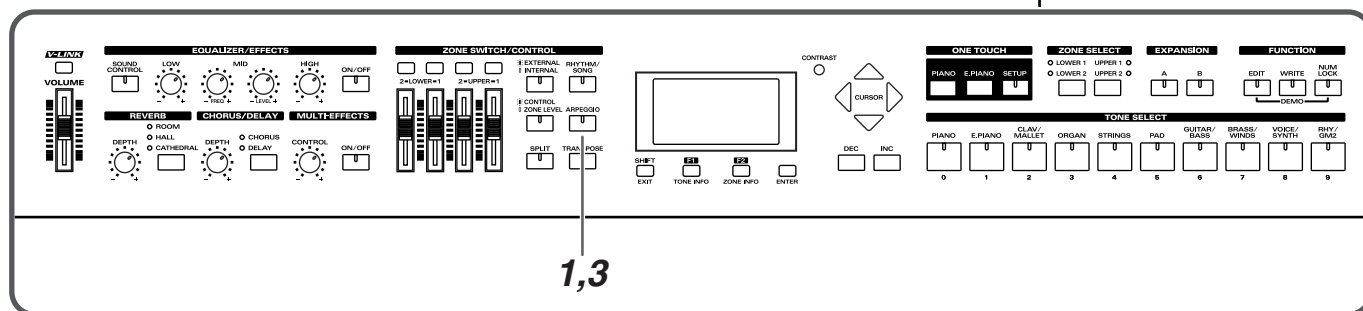


つまみの設定によっては、音がひずむことがあります。そのときは、Input Gain を調節してください。

多彩な機能を使って演奏しよう

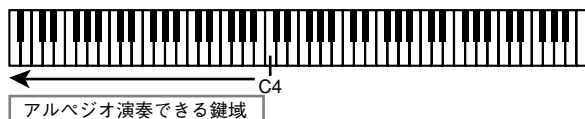
アルペジオ演奏をする（[ARPEGGIO]）

RD-700SX は自動的にアルペジオを演奏できる「アルペジオ機能」を搭載しています。この機能を使うと、押さえた鍵に従い自動的にアルペジオ演奏をします。



1 [ARPEGGIO] を押して、インジケータを点灯させます。

2 中央の C（C4）よりも低音側の鍵を押します。
鍵を押した順番でアルペジオ演奏が始まります。



3 もう一度 [ARPEGGIO] を押して、インジケータを消灯させると、通常の演奏状態に戻ります。



工場出荷時の設定では、鍵盤を離してもアルペジオが鳴り続けますが、鍵盤を離すとアルペジオを止めることもできます（P.95）。



エディット・モード、Arpeggio の Arpeggio Hold の設定（P.95）が ON になっているとき、[ARPEGGIO] のインジケータが点滅します。



アルペジオ演奏する鍵域や鳴らし方など、細かい設定をすることができます。P.94 をご覧ください。



リズムを鳴らしながらアルペジオ演奏しているとき、リズムが止まると同時にアルペジオ演奏が止まります。

アルペジオのスタイルを変える

アルペジオは、いろいろなジャンルに合わせて演奏のしかた（スタイル）を選ぶことができます。

1

[ARPEGGIO] を押して、インジケーターを点灯させます。

2

トーン画面で CURSOR [▶] を押して、リズム／ソング／アルペジオ画面を選びます。



3

CURSOR [▼] でカーソルを「ARP」に移動します。

4

[INC] / [DEC] でスタイルを選びます。
アルペジオのスタイルが変わります。

5

鍵盤を弾いてみましょう。

6

もう一度 [ARPEGGIO] を押して、インジケーターを消灯させると、通常の演奏状態に戻ります。



「アルペジオのスタイルを選ぶ (Arpeggio Style)」 (P.94)



「アルペジオ・スタイル一覧」 (P.146)



トーン画面が表示されているときに、CURSOR [▶] を押すと、リズム／ソング／アルペジオ画面が表示されます。リズム／ソング／アルペジオ画面が表示されているときに、CURSOR [◀] を押すと、トーン画面が表示されます。

アルペジオのテンポを変える

1

リズム／ソング／アルペジオ画面で、CURSOR [▲] を押して、カーソルを画面上段のテンポに移動させます。

2

[INC] / [DEC] でテンポを変えます。
鍵盤を弾くと、設定したテンポでアルペジオが演奏されます。

[SHIFT] を押しながら [ARPEGGIO] を押すと、アルペジオのスタイルやテンポのほかにも、さまざまな設定を変えることができます。
詳しくは「アルペジエーターの設定をする」(P.94) をご覧ください。



アルペジオのスタイルによっては、鳴り方とテンポ表示が異なる場合があります。

リズムを鳴らす（[RHYTHM/SONG]）

RD-700SXには、ジャズやロックなどさまざまな音楽ジャンルのドラム・パターンを内蔵しています。このドラム・パターンのことを「リズム」といいます。
リズムを鳴らしながらアルペジオ演奏をするなど、いろいろな機能と組み合わせで演奏することができます。

リズム／ソング／アルペジオ画面が「SONG/ARP」のときは、[RHYTHM/SONG] を押すと曲が再生されます。
リズムを鳴らす前に、まず以下の手順で画面を確認してください。

1. トーン画面でCURSOR [▶] を押して、リズム／ソング／アルペジオ画面を選びます。

リズム／ソング／アルペジオ画面

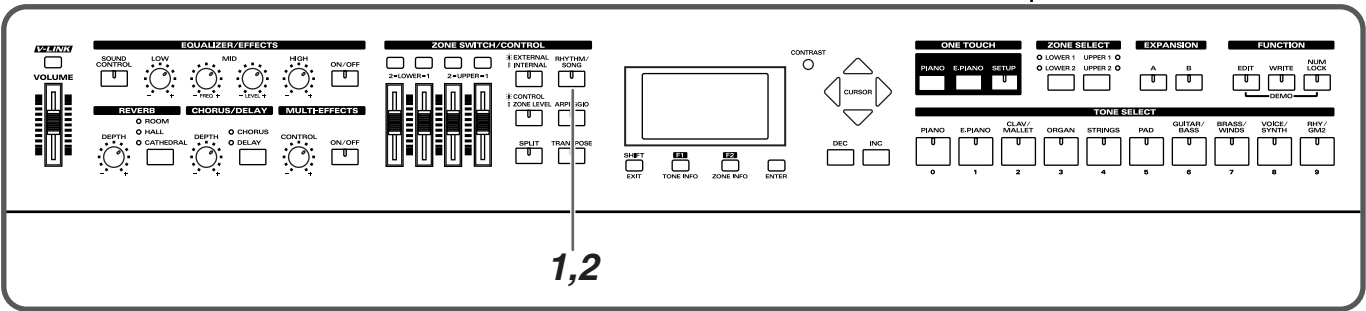
「SONG/ARP」画面
(曲を再生)



「RHY/ARP」画面
(リズムを再生)



2. 画面が「SONG/ARP」画面のときは、[F1 (RHYTHM)] を押して「RHY/ARP」画面を表示します。
リズムを再生できるようになります。



1

[RHYTHM/SONG] を押して、インジケータを点灯させます。
リズムが鳴り始めます。

2

もう一度 [RHYTHM/SONG] を押して、インジケータを消灯させると、
リズムが止まります。
[F2] を押しても、リズムを再生／停止することができます。



リズムを鳴らしながらアルペジオ演奏しているとき、リズムを止めると、同時にアルペジオ演奏も止まります。

リズムのパターンを変える

リズムは、いろいろなジャンルに合わせて演奏のしかた（パターン）を選ぶことができます。

1

トーン画面で CURSOR [▶] を押して、リズム／ソング／アルペジオ画面を選びます。



画面が「SONG/ARP」画面のときは、[F1] を押して、「RHY/ARP」画面を表示します。

2

[RHYTHM/SONG] を押して、インジケーターを点灯させます。
リズムが鳴り始めます。

3

CURSOR [▲] / [▼] でカーソルを「RHY」に移動します。

4

[INC] / [DEC] でパターンを選びます。
リズムのパターンが変わります。

5

リズムを止めるときは、[RHYTHM/SONG] を押して、インジケーターを消灯させます。



「リズム・パターン一覧」
(P.147)



トーン画面が表示されているときに、CURSOR [▶] を押すと、リズム／ソング／アルペジオ画面が表示されます。リズム／ソング／アルペジオ画面が表示されているときに、CURSOR [◀] を押すと、トーン画面が表示されます。

リズムのテンポを変える

1

リズム／ソング／アルペジオ画面で、CURSOR [▲] を押して、カーソルを画面上段のテンポ表示に移動させます。

2

[INC] / [DEC] でテンポを変えます。
リズムが設定したテンポで鳴ります。



リズムのパターンによっては、鳴り方とテンポ表示が異なる場合があります。

[SHIFT] を押しながら [RHYTHM/SONG] を押すと、リズムのテンポやパターンのほかにも、さまざまな設定を変えることができます。
詳しくは、「リズム、アルペジエーターの設定 (Rhythm/Arpeggio)」(P.91) をご覧ください。

曲を再生する（[RHYTHM/SONG]）

SMF ミュージックデータを再生することができます。

リズム／ソング／アルペジオ画面が「RHY/ARP」のときは、[RHYTHM/SONG]を押すとリズムが鳴ります。

曲を再生する前に、以下の手順で画面を確認してください。

1. トーン画面で CURSOR [▶] を押して、リズム／ソング／アルペジオ画面を選びます。

リズム／ソング／アルペジオ画面

「SONG/ARP」画面
(曲を再生)



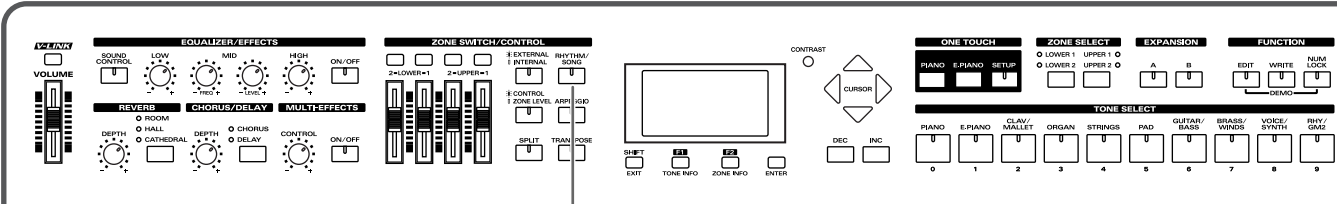
「RHY/ARP」画面
(リズムを再生)



2. 画面が「RHY/ARP」画面のときは、[F1 (SONG)] を押して「SONG/ARP」画面を表示します。
ソングを再生できるようになります。



USB 端子を使って、コンピューターとソング・データをやりとりすることができます。
「コンピューターとファイルのやりとりをする（ストレージ・モード）」(P.105) をご覧ください。



1,2

1

[RHYTHM/SONG] を押して、インジケータを点灯させます。
ソングが再生されます。

2

もう一度 [RHYTHM/SONG] を押して、インジケータを消灯させると、
ソングが止まります。
[F2] を押しても、ソングを再生／停止することができます。

ソングを選ぶ

1

トーン画面で CURSOR [▶] を押して、リズム／ソング／アルペジオ画面を選びます。



画面が「RHY/ARP」画面のときは、[F1] を押して、「SONG/ARP」画面を表示します。

2

CURSOR [▲] / [▼] でカーソルを「SONG」に移動します。

3

[INC] / [DEC] でソングを選びます。

4

[RHYTHM/SONG] を押して、インジケーターを点灯させます。
選んだソングが再生されます。

ソング番号「000」には、プリセット曲が内蔵されています。

曲を鳴らしながらピアノ演奏をお楽しみください。

No.	ソング・ネーム	作曲者／コピーライト
000.	Enjoy Yourself	Scott Tibbs © 2004 Roland Corporation



トーン画面が表示されているときに、CURSOR [▶] を押すと、リズム／ソング／アルペジオ画面が表示されます。リズム／ソング／アルペジオ画面が表示されているときに、CURSOR [◀] を押すと、トーン画面が表示されます。



MIDI OUT Port (P.59) で曲データの出力端子を変えることができます。

ソングのテンポを変える

1

リズム／ソング／アルペジオ画面で、CURSOR [▲] を押して、カーソルを画面上段のテンポ表示に移動させます。

2

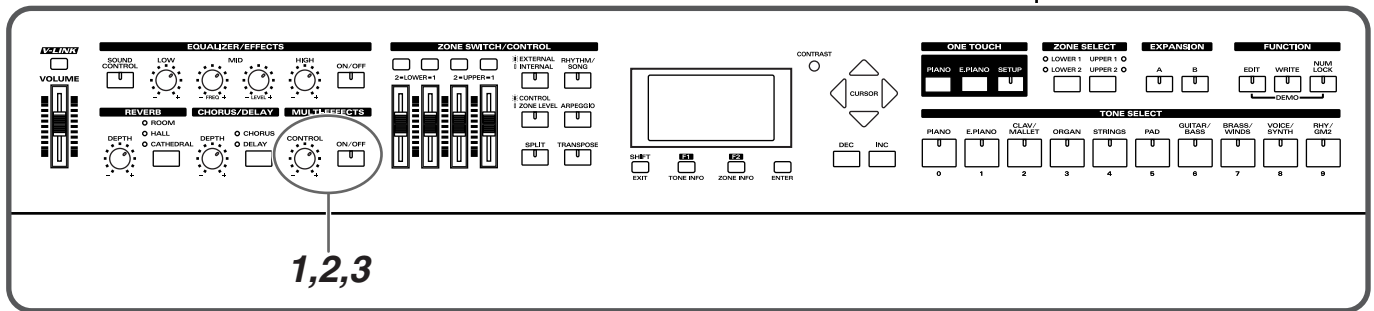
[INC] / [DEC] でテンポを変えます。
ソングを再生すると、設定したテンポで鳴ります。

音に効果をかける (MULTI-EFFECTS)

RD-700SX では、コーラス (P.41) やリバーブ (P.41) のほかに「マルチエフェクト」をかけることができます。マルチエフェクトは、ディストーションやロータリーを始めとする 125 種類のエフェクト・タイプから選ぶことができます。マルチエフェクトは、同時に 2 種類使うことができ、それぞれ MFX1、MFX2 と呼びます。
工場出荷時の設定では、各トーンにあったエフェクトが設定されています。



「エフェクト/パラメーター一覧」(P.112)



1

MULTI-EFFECTS [ON/OFF] を押して、インジケーターを点灯させます。

2

MULTI-EFFECTS [CONTROL] つまみで、マルチエフェクトのかかり具合を調節します。

3

マルチエフェクトをかけないときは、MULTI-EFFECTS [ON/OFF] を押して、インジケーターを消灯させます。

マルチエフェクトをかけるゾーンを指定する

RD-700SX では、同時に使うことができるマルチエフェクトは 2 種類までです。そのため、どのマルチエフェクトの設定を使うかを選ぶ「MFX Source」と、そのマルチエフェクトをどのゾーンにかけられるかを選ぶ「MFX Dest」という設定項目があります。したがって、複数のゾーンを鳴らしているときは、MFX Source や MFX Dest の設定によって、マルチエフェクトが効かないゾーンがありますのでご注意ください。
詳しくは、「MFX1/2 Source」(P.84)、「MFX1 Dest」(P.84) をご覧ください。



MULTI-EFFECTS

[CONTROL] つまみで調節できる設定は、選ばれているエフェクトによって異なります。「エフェクト/パラメーター一覧」(P.112) の各エフェクトの MFX Control をご覧ください。



トーンの設定 (Tone Info) の MFX の設定が「00 THRU」になっているトーンには効果はかかりません (P.68)。



「エフェクト/パラメーター一覧」(P.112) の「*」印がついたエフェクトは、ウェーブ・エクスパンション SRX シリーズの音色を選ぶときに使われます。

オルガンの音作りをシミュレートする（トーン・ホイール・モード）

INTERNAL ゾーン（UPPER1、UPPER2、LOWER1、LOWER2）に「TW-Organ 1～10」のいずれかのトーンを選ぶと、オルガンの音作りをシミュレートする「トーン・ホイール・モード」で演奏することができます。

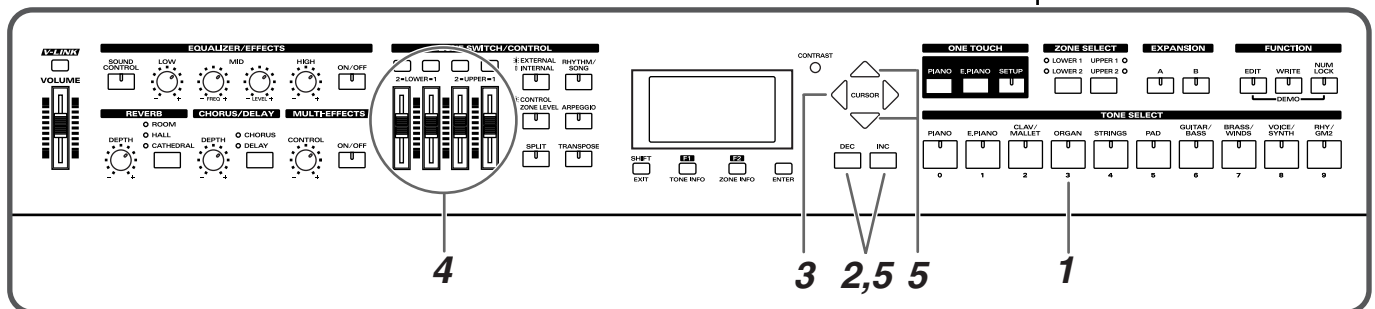
オルガンでは、ハーモニック・バーという9本のバーを前後にスライドさせて、その組み合わせでさまざまな音色を作ります。各バーには異なるフィートが割り当てられており、フィートによって音の高さが決まっています。

このハーモニック・バーを使った音作りを、ZONE LEVEL スライダーにフィートを割り当ててシミュレートすることができます。

ZONE LEVEL スライダーは4本ですが、ZONE SWITCH ボタンをオン／オフすることで、フィートを切り替え、計8つのフィートをスライダーに割り当てることができます。

「フィート」とは

フィートは、もともとパイプ・オルガンのパイプの長さによ来します。各鍵盤に与えられた本来の音の高さ（基音）を生み出すパイプの長さは8フィートとされています。パイプの長さを半分に縮めると1オクターブ高いピッチを生み出し、逆にパイプの長さを倍にすると1オクターブ低いピッチを生み出します。したがって基音である8'の1オクターブ下が16'、1オクターブ上が4'、さらにその1オクターブ上が2'になります。



1

トーン画面を表示させ、[ORGAN] ボタンを押します（P.26）。

トーン画面が表示されていないときは、ONE TOUCH [PIANO] を押してから [ORGAN] を押してください。

2

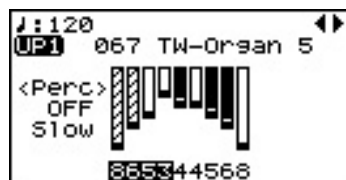
[INC] / [DEC] を押して「TW-Organ 1～10」のうちいずれかのトーンを選びます。

3

CURSOR [◀] を押します。

次のようなトーン・ホイール画面が表示されます。

このトーン・ホイール画面はトーン画面でいずれかのゾーンに「TW-Organ 1～10」を選んでいるときだけ表示されます。



4

ZONE LEVEL スライダーを動かすと、画面のハーモニック・バーがスライドし、音色が変わります。

各 ZONE SWITCH ボタンをオン／オフすると、異なるフィートの音を調節することができます。

カーソルを画面下段の値に移動させると、[DEC] ／ [INC] でフィートの音を調節することができます。

5

CURSOR [▲] ／ [▼] を押して、カーソルを「Perc」に移動すると、[DEC] ／ [INC] で値を変えることができます。

Perc（パーカッション）は、音の立ち上がり部分にアタック感のある音を加えて、音にメリハリをつけます。値によって立ち上がりの音色が変わります。

設定値	解説
OFF	パーカッションがつきません。
2nd	押した鍵盤の高さより1オクターブ高い音のパーカッションが鳴ります。
3rd	押した鍵盤の高さより1オクターブと5度高い音のパーカッションが鳴ります。
Slow	パーカッションの減衰時間が長くなります。アタック感がやわらくなります。
Fast	パーカッションの減衰時間が短くなります。アタック感のある、鋭い音になります。



パーカッションは、UPPER のトーンにしかかかりません。



パーカッションをオンにすると、ハーモニック・バーの 1' の音は出なくなります。



ここで変更した設定は各トーンに記憶されます。
トーン・ホイール・モードを抜けても、[ORGAN] を押して、設定を変更したトーンを選ぶことができます。

オルガン音色のうねりを変える（ロータリー効果）

トーン・ホイール画面を表示しているときは、ピッチ・ベンド・レバーでロータリー効果のうねりの速さを切り替えることができます。

ロータリー効果とは、オルガンの音に回転スピーカーを使ったときのようなうねりをつける効果のことです。

ピッチ・ベンド・レバーを左右に動かすと、動かす方向に関係なく、ロータリー効果の速い／遅いが交互に設定されます。



このピッチ・ベンド・レバーの設定はトーン・ホイール画面でのみ有効です。

ZONE LEVEL スライダーのフィートの割り当てを変える（Harmonic Bar）

トーン・ホイール・モードの各 ZONE LEVEL スライダーに割り当てられているフィートを変更することができます。

1

[EDIT] を押して、インジケータを点灯させます。

エディット・メニュー画面が表示されます。



2

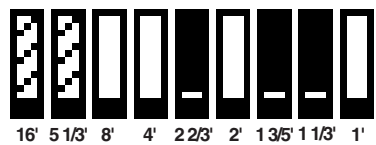
CURSOR [▲] ／ [▼] を押して「2.Control」を選びます。

3

CURSOR [ENTER] を押して、エディット画面を表示します。

- 4 CURSOR [◀] / [▶] を押して、「Harmonic Bar」を選びます。

トーン・ホイール画面のフィートの割り当て（画面左から）



EDIT [Harmonic Bar]◀			
	LED ON:LED OFF		
UP1	4'		1'
UP2	8'	1-1/3'	
LW1	5-1/3'	1-3/5'	
LW2	16'	2'	

- 5 CURSOR [▲] / [▼] を押して、フィートを変更するパラメーターにカーソルを移動します。

画面の「LED ON」「LED OFF」は、ZONE SWITCH のオン／オフ切り替えを表しています。

ZONE SWITCH	設定値
UP1	16'、5-1/3'、8'、4'、2-2/3'、 2'、1-3/5'、1-1/3'、1'
UP2	
LW1	
LW2	

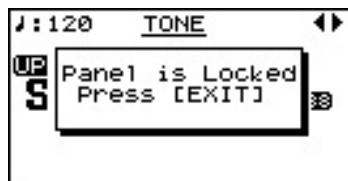
- 6 [INC] / [DEC] を押してフィートを設定します。

- 7 設定が終わったら、[EDIT] を押してインジケーターを消灯させます。
トーン画面に戻ります。

ボタンを効かないようにする（パネル・ロック）

パネル・ロックをすると、VOLUME スライダー、CONTRAST つまみ、ピッチ・ベンド／モジュレーション・レバー、ペダル、ONE TOUCH [PIANO]、ONE TOUCH [E.PIANO]、[EXIT] 以外のボタンが効かなくなります。ステージなどで、誤って設定を変えてしまうことはありません。

- 1 [EDIT] を押しながら [ENTER] を押します。
次のような画面が表示されます。



- 2 ONE TOUCH [PIANO] または [EXIT] を押すと、パネル・ロックが解除されます。

記憶させた設定を選ぶ（[SETUP]）

RD-700SX の INTERNAL ゾーン（P.26）や EXTERNAL ゾーン（P.26）のトーンやエフェクトなどの設定をまとめて「セットアップ」と呼びます。

気に入った設定や演奏する曲にあった設定をセットアップとして記憶しておけば、演奏時にセットアップを切り替えるだけで、まとめて設定を切り替えることができます。

セットアップは 100 個まで記憶することができ、工場出荷時は、おすすめのセットアップが用意されています。

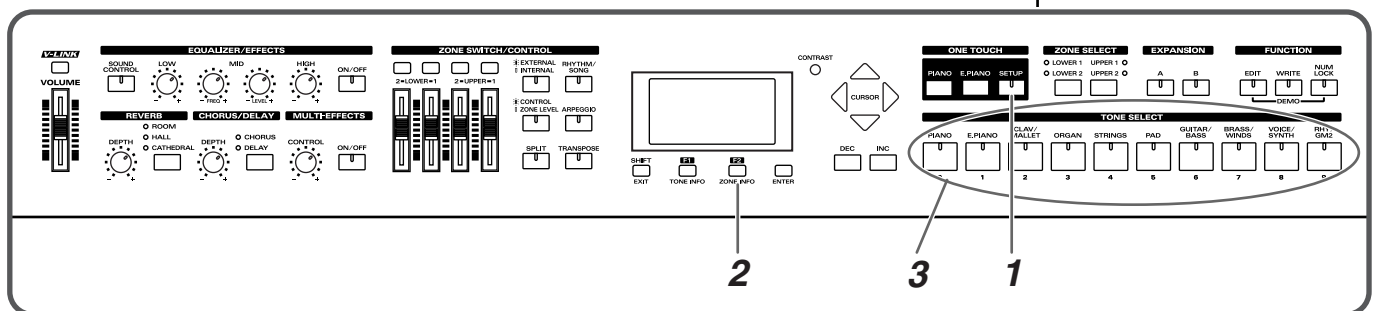
また、よく使用するお気に入りのセットアップを、TONE SELECT ボタンに登録しておくことができます。このセットアップを「フェイバリット・セットアップ」と呼びます。

この機能を使うと、セットアップを、よりすばやく選ぶことができます。

ここでは、実際にセットアップを呼び出してみましょう。



セットアップを呼び出すと、現在の設定は消えてしまいます。気に入った設定はあらかじめセットアップに記憶してください。セットアップへの記憶のしかたは、56 ページをご覧ください。



1

[SETUP] を押して、インジケータを点灯させます。

このとき、[NUM LOCK] はオフにしてください。

次のようなセットアップ画面が表示されます。



2

[F2 (BANK CHANGE)] を押して、バンクを選びます。

[F1] を押すと、選んだバンクのボタンに登録されているセットアップの一覧が表示されます。

[F1] を押しながら CURSOR [▲] / [▼] を押すと、画面が切り替わります。



3

いずれかの TONE SELECT ボタンを押して、セットアップを選びます。

4

鍵盤を弾いてみましょう。

呼び出したセットアップの設定になります。



バンクは A～D まで 4 個あります。[F2] を押すたびに、A → B → C → D → A → ... の順にバンクが切り替わります。

トーン画面が表示されているときに、CURSOR [◀] を押すと、[SETUP] のインジケーターが点灯し、セットアップ画面が表示されます。

セットアップ画面が表示されているときに、CURSOR [▶] を押すと、トーン画面に戻ります。

ただし、トーン画面で、いずれかのパートに「TW-Organ1～10」を選んでいるときは、「トーン・ホイール画面」が表示されます。

詳しくは「オルガンの音作りをシミュレートする（トーン・ホイール・モード）」(P.51) をご覧ください。



「RHY:」で始まるセットアップは、リズム (P.46) を鳴らして楽しみください。

フェイバリット・セットアップ以外のセットアップを選ぶ

1. [SETUP] を押して、インジケーターを点灯させます。
2. [INC] / [DEC] または TONE SELECT ボタンで呼び出すセットアップを選びます。

[INC] / [DEC] を押すと、次のような画面が表示され、しばらくすると、セットアップ画面に戻ります。

TONE SELECT ボタンでセットアップ・ナンバーを入力したときは、画面は変わりません。[ENTER] を押して、セットアップを確定してください。



お気に入りのセットアップを登録する（フェイバリット・セットアップ）

よく使用してお気に入りのセットアップを、TONE SELECT ボタンに登録しておくことができます。この機能を使うと、セットアップを、よりすばやく選ぶことができます。

フェイバリット・セットアップには、10 音色×4 バンクの合計 40 個までのセットアップを登録することができます。



登録したセットアップは、電源を切っても失われません。

1

[SETUP] を押し、登録したいセットアップを呼び出します。
このとき、[NUM LOCK] はオフにしてください。

2

[F2 (BANK CHANGE)] で登録先のバンクを選びます。

3

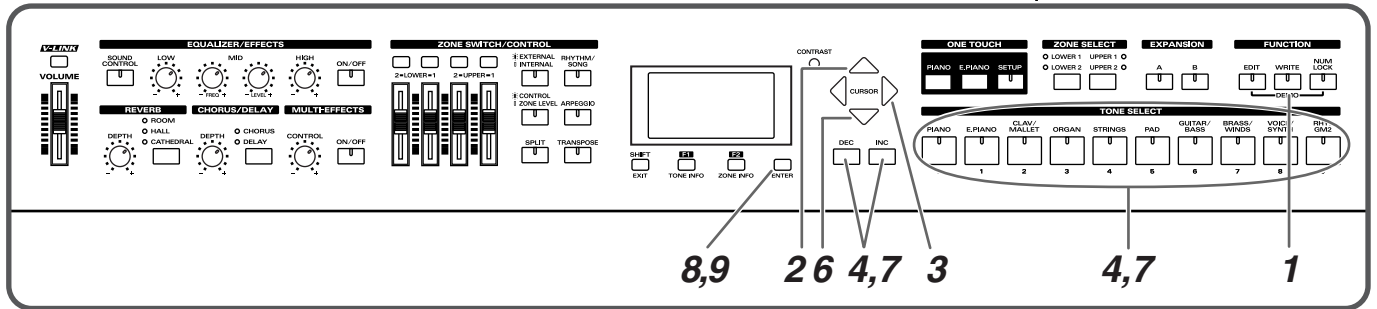
[F1] を押しながら、登録先の TONE SELECT ボタンを押します。
押したボタンにセットアップが登録されます。

設定をセットアップに記憶する（[WRITE]）

セットアップの変更した内容を新しいセットアップとして使うには、以下の操作でセットアップに記憶してください。

セットアップの名前は変更することもできます。

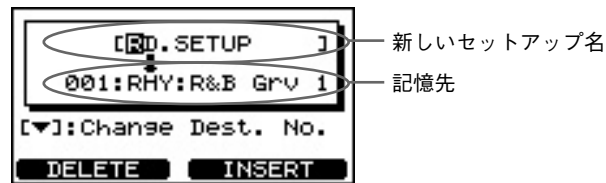
RD-700SXは、100 個のセットアップを記憶することができます。



1

[WRITE] を押して、インジケータを点灯させます。

次のような画面が表示されます。



2

CURSOR [◀] / [▶] を押して、文字を入力したい位置にカーソルを動かします。

3

[INC] / [DEC] を押して、名前を入力します。

選べる文字は次の通りです。

スペース、! " # \$ % & ' () * + , - . / 0 ~ 9 ; < = > ? @ A ~ Z [\] ^ _ ` a ~ z { | } ~

また、[F1] を押すと一文字削除し、[F2] を押すと一文字の空白が入ります。

4

操作 2 ~ 3 を繰り返して、名前を入力します。

5

CURSOR [▼] を押して、記憶先のセットアップ名にカーソルを移動します。

6

[INC] / [DEC] で記憶先のセットアップを選びます。

TONE SELECT ボタンでセットアップ・ナンバーを指定し、[ENTER] でセットアップを選ぶこともできます。



TONE SELECT ボタンで直接文字を指定して入力することもできます。



名前を入力している途中でも、CURSOR [▼] を押すと、カーソルは記憶先のセットアップ・ナンバーに移動します。

7

記憶先と新しいセットアップ名が決定したら、[ENTER] または [F1] を押します。

[ENTER] のインジケーターが点滅し、確認のメッセージが表示されます。



セットアップを記憶しないときは、[EXIT] または [WRITE] を押してください。操作を中断し、トーン画面に戻ります。



画面に「Writing...」と表示されている間は、決して電源を切らないでください。本機の内部メモリーが破壊され、使用できなくなります。

8

[ENTER] を押すと、セットアップの記憶が始まります。

セットアップの記憶が終わると、[WRITE] のインジケーターが消灯し、トーン画面に戻ります。

セットアップに記憶しない設定

以下の項目は、セットアップに記憶することができません。

- ・ ソング番号
- ・ ワンタッチ・ピアノ、ワンタッチ・E. ピアノ (P.70) の設定
- ・ System (P.76) の設定
- ・ Sound Control (P.86) の設定
- ・ V-LINK (P.96) の設定
- ・ Rec Setting (P.102) の設定

System、Sound Control、V-LINK の設定は、エディット画面で [F1 (WRITE)] を押して保存します。

SETUP < 000 > (ピアノ・セットアップ)

ONE TOUCH [PIANO] または [E.PIANO] ボタンを押してトーン画面を表示させてから CURSOR [◀] を押して、セットアップ画面を表示させると、SETUP < 000 > になります。



この SETUP < 000 > は、ONE TOUCH [PIANO] または [E.PIANO] の設定を記憶しているセットアップで、他のセットアップのように [WRITE] で内容を書き替えることはできません。

ONE TOUCH [PIANO] の設定から変更した内容を保存するときは、SETUP < 001 > 以降に書き込みます。

RD-700SX をマスター・キーボードにする

RD-700SX のリア・パネルにある MIDI OUT 端子に外部の MIDI 機器を接続して、RD-700SX でコントロールすることができます。

通常、RD-700SX は、ノート情報を MIDI OUT 端子から送信していますが、[EXTERNAL/INTERNAL] をオンにすると、ノート情報だけでなく、外部 MIDI 機器のさまざまな設定をコントロールすることができます。

内部音源と外部音源は独立してコントロールすることができます。

[EXTERNAL/INTERNAL] を押してインジケータを点灯させると、RD-700SX で外部 MIDI 音源（EXTERNAL ゾーン）をコントロールする状態になります。

[EXTERNAL/INTERNAL] のオン／オフで INTERNAL ゾーンをコントロールするか、EXTERNAL ゾーンをコントロールするかを切り替えます。

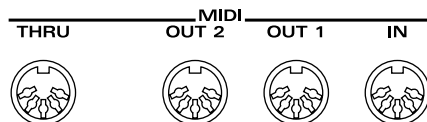
また、外部音源に送信する MIDI 情報の詳細設定をすることができます。

MIDI とは

MIDI（ミディ：Musical Instrument Digital Interface）とは、電子楽器やコンピューターの間で演奏などの情報をやりとりできる統一規格です。MIDI 端子を持つ機器同士を MIDI ケーブルで接続すると、1 台の MIDI キーボードで複数の楽器を鳴らす、複数の MIDI 楽器をアンサンブルで演奏する、曲の演奏の進行に合わせて自動的に設定を変える、などができるようになります。

MIDI 端子について

RD-700SX の MIDI 端子には次の 3 種類があり、それぞれ働きが異なります。



「外部機器と接続する」(P.19)

MIDI IN 端子

外部の MIDI 機器から送られてくる MIDI 情報を受信します。MIDI 情報を受信した RD-700SX は、音を出す、音色を切り替えるなどの動作をします。

MIDI OUT 端子

外部の MIDI 機器に対して MIDI 情報を送信します。RD-700SX では、MIDI OUT 端子から鍵盤コントローラー部の演奏情報を送信する、いろいろな設定の内容を保存するための情報を送信する（バルク・ダンブ→P.97）ときなどに使います。

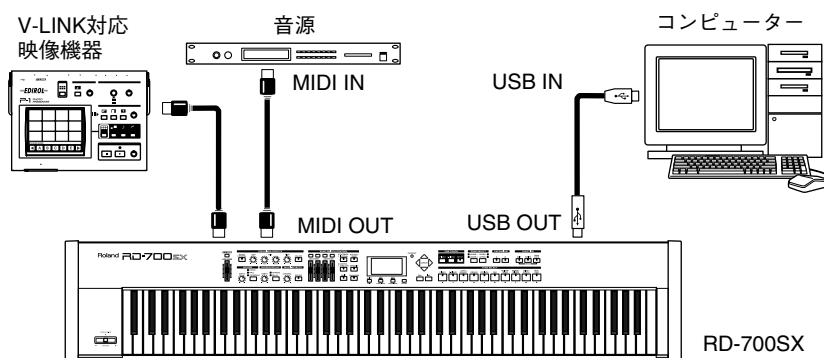


USB 端子で受信したメッセージは、MIDI THRU 端子から送信されません。

MIDI THRU 端子

MIDI IN 端子で受信したメッセージを、そのまま外部 MIDI 機器へ送信します。複数の MIDI 機器を同時に使用するときなどに使います。

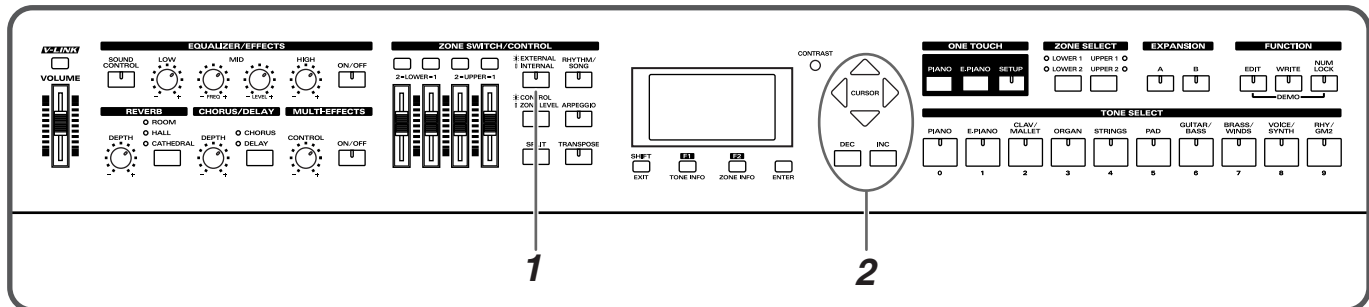
外部 MIDI 音源との接続例



USB ケーブルは 3m 以内のものをお使いください。

出力する MIDI 端子を選ぶ (MIDI OUT Port)

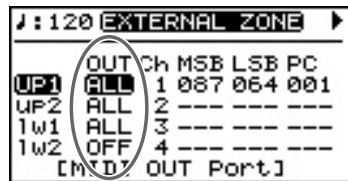
RD-700SX には、2 つの MIDI OUT 端子と USB 端子があります。
ゾーンごとに、出力する MIDI OUT 端子または USB 端子を選ぶことができます。



1

[EXTERNAL/INTERNAL] を押して、インジケーターを点灯させます。
EXTERNAL 画面が表示されます。

画面に「OUT」が表示されていないときは、CURSOR [◀] を数回押して、次のような画面を表示させます。



2

CURSOR [◀] / [▲] / [▶] / [▼] でカーソルを動かし、
[INC] / [DEC] で各ゾーンの MIDI 情報を出力する端子を設定します。

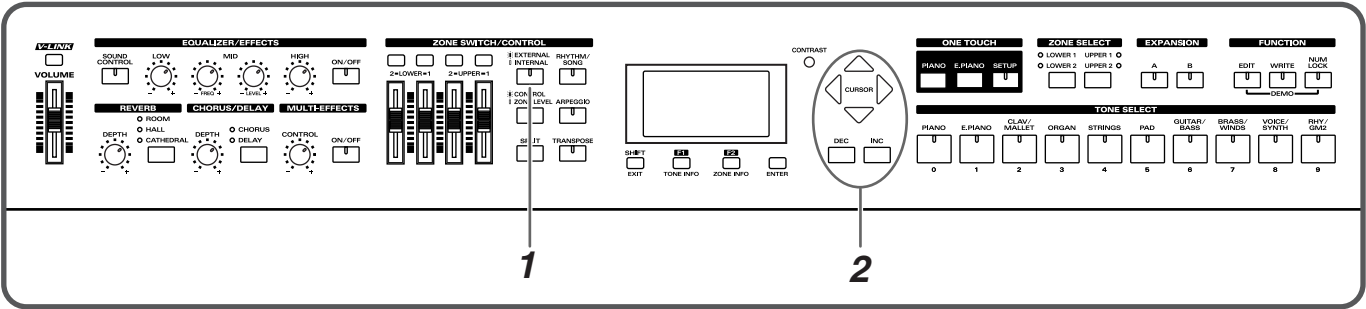
ゾーン	パラメータ名	設定値	解説
UP1 (UPPER1)	OUT (MIDI OUT Port)	ALL、 1 (MIDI OUT 1)、 2 (MIDI OUT2)、 USB	選んだ端子から RD-700SX の演奏情報が送信されます。
UP2 (UPPER2)			
LW1 (LOWER1)			
LW2 (LOWER2)			



エディットの Utility 内、Rec Setting の設定で、Rec Mode が「ON」になっていると、左図のような EXTERNAL 画面は表示されません。MIDI 送信チャンネルを設定するときは、Rec Mode を「OFF」にしてください (P.101)。

MIDI 送信チャンネルを設定する

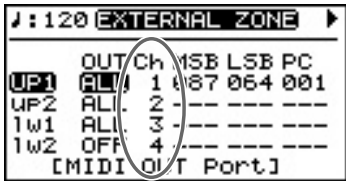
外部 MIDI 音源との接続が終わったら、鍵盤の送信チャンネルと外部 MIDI 音源の各パートの受信チャンネルを合わせます。送信側（RD-700SX）と受信側（外部 MIDI 音源）の MIDI チャンネルを同じチャンネルに合わせると音が鳴ります。



1

[EXTERNAL/INTERNAL] を押して、インジケーターを点灯させます。
EXTERNAL 画面が表示されます。

画面に「Ch」が表示されていないときは、CURSOR [◀] を数回押して、次のような画面を表示させます。



2

CURSOR [◀] / [▲] / [▶] / [▼] でカーソルを動かし、
[INC] / [DEC] で各パートの送信チャンネル（Ch）を設定します。

ゾーン	パラメーター名	設定値	解説
UP1 (UPPER1)	Ch (MIDI OUT Channel)	1～16	選んだチャンネルで RD-700SX の演奏情報 が送信されます。
UP2 (UPPER2)			
LW1 (LOWER1)			
LW2 (LOWER2)			



外部 MIDI 機器の各パートの受信チャンネルの設定のしかたは、それぞれの取扱説明書を参照してください。



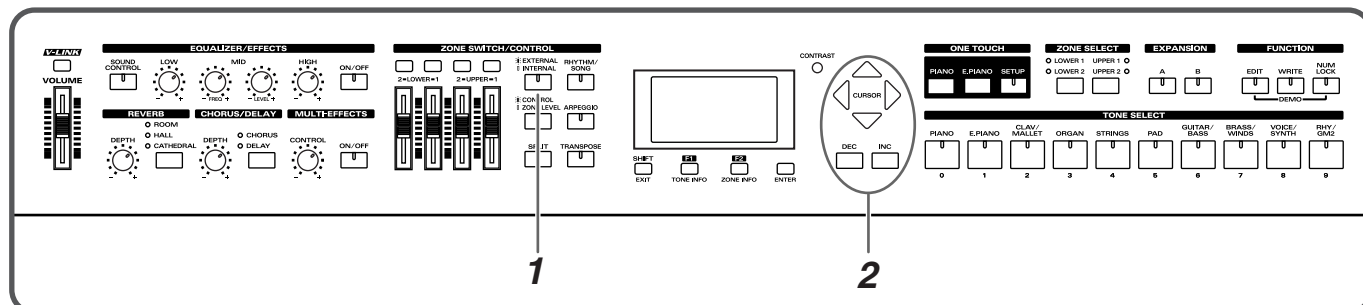
エディットの Utility 内、Rec Setting の設定で、Rec Mode が「ON」になっていると、左図のような EXTERNAL 画面は表示されません。MIDI 送信チャンネルを設定するときは、Rec Mode を「OFF」にしてください（P.101）。



ZONE SWITCH（P.39）がオフになっているパートは、画面のパート名が、「up1」「up2」「lw1」「lw2」と小文字で表示されます。ZONE SWITCH がオフになっているパートの MIDI 情報は送信されません。

外部 MIDI 音源の音色を切り替える

外部 MIDI 機器のトーンの切り替えは、RD-700SX でプログラム・ナンバーやバンク・セレクト MSB / LSB を数値で入力します。

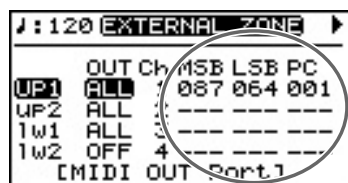


1

[EXTERNAL/INTERNAL] を押して、インジケーターを点灯させます。

EXTERNAL 画面が表示されます。

画面に「MSB」が表示されていないときは、CURSOR [◀] を数回押して、次のような画面を表示させます。



注意!

エディットの Utility 内、Rec Setting の設定で、Rec Mode が「ON」になっていると、左図のような EXTERNAL 画面は表示されません。MIDI 送信チャンネルを設定するときは、Rec Mode を「OFF」にしてください (P.101)。

パラメーター	Tx	設定値
OUT (MIDI OUT Port)	---	ALL、1、2、USB
Ch (MIDI Channel)	---	1 ~ 16
MSB (Bank Select MSB)	CC 00	0 ~ 127、--- (オフ)
LSB (Bank Select LSB)	CC 32	0 ~ 127、--- (オフ)
PC (Program Change)	Program Change	1 ~ 128、--- (オフ)

2

CURSOR [◀] / [▲] / [▶] / [▼] でカーソルを動かし、[INC] / [DEC] で各パートの PC、MSB、LSB を設定してください。

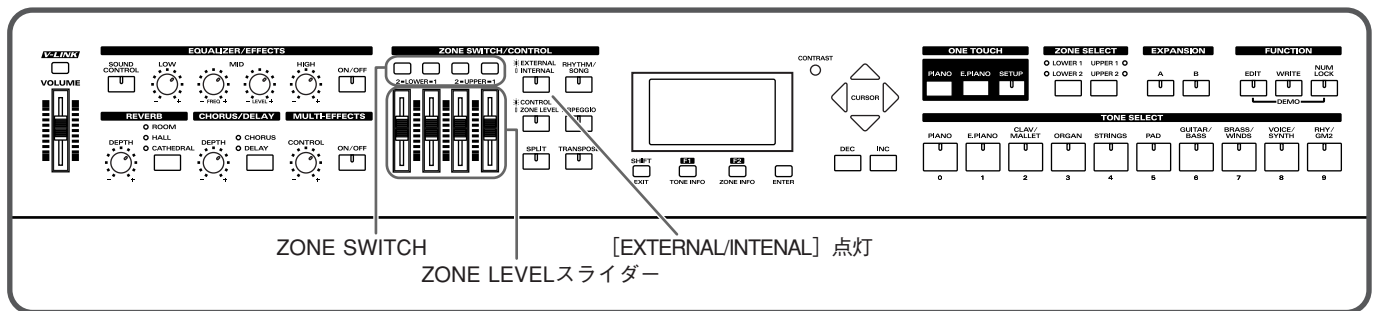
[INC] / [DEC] を同時に押すと、設定値は「--- (オフ)」になります。

「--- (オフ)」にすると、プログラム・チェンジやバンク・セレクトは送信されません。

注意!

外部 MIDI 音源に、音色が配置されていないプログラム・ナンバーやバンク・ナンバーを送信すると、代わりの音色が選ばれたり、場合によっては音が鳴らないこともあります。プログラム・チェンジやバンク・セレクトを送信したくないときは、左記の操作 2 で MSB / LSB の設定を「--- (オフ)」にしてください。「---」に設定されているときは、セットアップを切り替えても、音色切り替えの情報は送信されません。

ゾーンごとに音量を調節する (EXTERNAL ゾーン)



[EXTERNAL/INTERNAL] のインジケータが点灯しているときは、INTERNAL ゾーン (P.26) と同じように ZONE SWITCH や ZONE LEVEL スライダーで EXTERNAL ゾーンをコントロールすることができます。

ZONE SWITCH

[EXTERNAL/INTERNAL] のインジケータが点灯しているときは、EXTERNAL ゾーンの押鍵情報を含む MIDI 情報を MIDI OUT から送信する、送信しないを設定します。

ZONE SWITCH のインジケータが点灯 (オン) しているパートは、鍵盤を弾くと、その MIDI 情報が MIDI OUT から送信されます。

ZONE SWITCH のインジケータが消灯 (オフ) しているパートは、鍵盤を弾いても MIDI 情報は送信されません。

ZONE SWITCH のオン/オフは、ボタンを押すごとに切り替わります。

ZONE LEVEL スライダー

[EXTERNAL/INTERNAL] のインジケータが点灯しているときは、EXTERNAL ゾーンの各パートの音量を調節します。



「ゾーンごとの音量を調節する (ZONE SWITCH/ZONE LEVEL スライダー)」 (P.39)

MIDI 送信パートの詳細設定をする (EXTERNAL)

[EXTERNAL/INTERNAL] を押すと、EXTERNAL ゾーンの下
の項目を設定することができます。

```

J:120 EXTERNAL ZONE ▶
OUT Ch MSB LSB PC
UP1 ALL 1 087 064 001
UP2 ALL 2 -----
1w1 ALL 3 -----
1w2 OFF 4 -----
[MIDI OUT Port]

```

```

J:120 EXTERNAL ZONE ◀▶
VOL PAN REV CHO M/P
UP1 127 -----
UP2 -----
1w1 -----
1w2 -----
[Volume]

```

```

J:120 EXTERNAL ZONE ◀▶
TRA LWR UPR VRL VRU
UP1 +12 FUL FUL 41 127
UP2 0 FUL FUL 1 40
1w1 0 FUL FUL 1 127
1w2 0 FUL FUL 1 127
[Key Range Lower]

```

```

J:120 EXTERNAL ZONE ◀▶
ATK DCY REL COF RES
UP1 +10 -----
UP2 -----
1w1 -----
1w2 -----
[Attack Time]

```

```

J:120 EXTERNAL ZONE ◀▶
POR P.T Sns MAX
UP1 --- --- +32 127
UP2 --- --- +32 127
1w1 --- 10 +32 127
1w2 --- --- +32 127
[Portament Sw]

```

```

J:120 EXTERNAL ZONE ◀▶
C.T F.T B.R M.D
UP1 --- --- --- ---
UP2 --- --- --- ---
1w1 --- --- --- ---
1w2 --- --- --- ---
[Modulation Depth]

```

```

J:120 EXTERNAL ZONE ◀▶
DP F1 F2 PB Md
UP1 [X] [X] [X] [X] [X]
UP2 [X] [X] [X] [X] [X]
1w1 [X] [X] [X] [X] [X]
1w2 [X] [X] [X] [X] [X]
[Damper Pedal Switch]

```

```

J:120 EXTERNAL ZONE ◀▶
LW2 LW1 UP2 UP1
UP1 [X] [X] [X] [X]
UP2 [X] [X] [X] [X]
1w1 [X] [X] [X] [X]
1w2 [X] [X] [X] [X]
[Ctrl Slider Sw LW2]

```

```

J:120 EXTERNAL ZONE ◀▶
CC VAL CC VAL
UP1 2:127 -----
UP2 -----
1w1 -----
1w2 -----
[CC02: BREATH]

```

設定のしかた

1. [EXTERNAL/INTERNAL] を押して、インジケータを点灯させます。

RD-700SX で外部 MIDI 機器をコントロールする設定になります。

ご注意

エディットの Utility 内、Rec Setting の設定で、Rec Mode が「ON」になっていると、左図のような EXTERNAL 画面は表示されません。MIDI 送信チャンネルを設定するときは、Rec Mode を「OFF」にしてください (P.101)。

2. CURSOR [◀] / [▲] / [▶] / [▼] を押して、設定する項目にカーソルを移動させます。

動かしたい方向の CURSOR ボタンを押しながら、逆方向の CURSOR ボタンを押すと、カーソルを速く移動することができます。

3. [INC] / [DEC] を押して値を設定します。
[INC] と [DEC] を同時に押すと、設定値は「--- (オフ)」または基準値になります。

音量／パンを設定する (Volume/Pan)

各パートの音量と定位 (パン) を設定します。

音量の設定は、主に複数のトーンを鳴らしているときに、パート間の音量バランスをとるために使います。

パンの設定は、ステレオ出力するときの、各ゾーンの音像の定位です。L の数字が大きくなるほど左から音が聞こえます。R の数字が大きくなるほど、右から音が聞こえます。0 にすると、中央から音が聞こえます。

パラメーター	TX CC#	設定値
VOL (Volume)	CC07	--- (オフ)、0 ~ 127
PAN (Pan)	CC10	L64 ~ 0 ~ R63、--- (オフ)

リバーブ／コーラスのレベルを設定する (Reverb/Chorus)

リバーブ効果、コーラス効果の深さを設定します。

パラメーター	TX CC#	設定値
REV (Reverb)	CC91	--- (オフ)、0 ~ 127
CHO (Chorus)	CC93	

単音で発音させる (Mono/Poly)

トーンの鳴らしかたをポリフォニック (Poly) にするか、モノフォニック (Mono) にするかを設定します。
単音楽器 (サクソやフルートなど) のトーンを使うときは、MONO にすると効果的です。

パラメーター	設定値
M/P (Mono/Poly)	--- (オフ)、 M (Mono、CC126)、 P (Poly、CC127)

ゾーンごとに移調の設定をする (Transpose)

各ゾーンを、それぞれ異なる音の高さに移調させて演奏することができます。
複数のゾーンがオンのときに、ひとつのトーンをオクターブ違いに設定すると、厚みのあるトーンを作ることができます。また、スプリットにして、ロワーでベースのトーンを鳴らすような場合に、より低い音で鳴らすことができます。

パラメーター	設定値
TRA (Transpose)	-48 ~ 0 ~ +48

鍵域を設定する (Key Range)

各ゾーンの鍵域 (キー・レンジ) を設定します。
鍵域によってトーンを弾きわけるときなどに設定します。
設定する鍵域の下限 (LWR) と、上限 (UPR) を指定します。
指定する鍵を押し、[ENTER] を押して設定することもできます。

パラメーター	設定値
LWR (Key Range Lower)	A0 ~ C8
UPR (Key Range Upper)	

ご注意!

キー・レンジの設定は、[SPLIT] がオン (P.36) のときだけ有効です。

メモ

[SPLIT] がオフのときは、「FUL」と表示されます。このとき、[INC] / [DEC] で「FUL」以外に値を変えると、自動的に [SPLIT] がオンになります。

ご注意!

鍵域の下限を上限より上げたり、上限を下限より下げることとはできません。

メモ

MIDI のノート情報を送信する／しないは、ZONE SWITCH でゾーンごとに設定することができます (P.62)。

鍵盤を弾く強さによって鳴る鍵域を変える (Velocity Range)

鍵盤を弾く強さによってトーンの鳴る範囲の下限 (LWR) と、上限 (UPR) を指定します。キーを弾く強さでトーンを鳴らし分けたいときに設定します。

パラメーター	設定値
VRL (Velocity Range Lower)	1 ~ 127
VRU (Velocity Range Upper)	

ご注意!

キーを弾く強さの下限を上限より上げようとしたり、上限を下限より下げようすると、もう一方の設定が同じ値で変化します。

トーンの要素を変化させる (ATK / DCY / REL / COF / RES)

トーンの次の 4 つの要素を設定することで、音色に変化を与えることができます。

ATK (Attack Time Offset : アタック・タイム・オフセット) : キーを押さえてから、音が立ち上がるまでの時間です。

DCY (Decay Time Offset : ディケイ・タイム・オフセット) : 音が立ち上がってから、音量が下がっていくまでの時間です。

REL (Release Time Offset : リリース・タイム・オフセット) : キーを離してから、音が消えるまでの時間です。

COF (Cutoff Offset : カットオフ・オフセット) : フィルターの開き具合を調節します。

RES (Resonance Offset : レゾナンス・オフセット) : カットオフ周波数付近の音の成分を強調し、音にクセをつけます。設定値を上げすぎると発振して音が歪むことがあります。

パラメーター	TX CC#	設定値	解説
ATK	CC73	--- (オフ)、 -64 ~ +63	値を大きくすると立ち上がりがゆるやかに、小さくすると立ち上がりが鋭くなります。
DCY	CC75		値を大きくすると音量が下がるまでの時間が長くなり、小さくすると短くなります。
REL	CC72		値を大きくすると余韻の長い音になり、小さくすると歯切れの良い音になります。
COF	CC74		値を大きくすると音が明るくなり、小さくすると暗くなります。
RES	CC71		値が大きくなるとクセが強くなり、小さくすると弱くなります。

音を滑らかに変化させる (Portamento)

はじめに弾いた鍵と次に弾いた鍵との間の音程をなめらかに変化させる効果のことを「ポルタメント」といいます。

ポルタメント・タイムは、ポルタメント効果をかけた音の高さが増える時間を設定します。値が大きくなるほど、次の音の高さに移動する時間が長くなります。

パラメーター	TX CC#	設定値
POR (Portamento Switch)	CC65	---、OFF、ON
P.T (Portamento Time)	CC5	---、0 ~ 127

鍵盤を弾く強さによる音量変化を設定する (Velocity Sensitivity/Max)

鍵盤を弾く強さ（ベロシティー）に対する音量の変化のしかたと、変化の最大値を設定します。

パラメーター	設定値	解説
Sns (Velocity Sensitivity)	-63 ~ +63	ベロシティーに対する音量の変化のしかた。 設定値が+のときは、鍵盤を強く弾くほど音量が大きくなり、-のときは、鍵盤を強く弾くほど音量が小さくなります。設定値が0のときは、弾く強さに関わらず、音量は一定になります。
MAX (Velocity Max)	1 ~ 127	押鍵に対するベロシティーの最大値。 値を小さくすると、鍵盤を強く弾いても音量があまり大きくなりません。

音の高さを変える (Coarse Tune / Fine Tune)

トーンの音の高さ（ピッチ）を設定します。

パラメーター	RPN	解説	設定値
C.T (Coarse Tune)	00H/02H	音の高さを半音単位で設定します。	--- (オフ)、 -48 ~ +48 (+/- 4 オクターブ)
F.T (Fine Tune)	00H/01H	音の高さを 1 セント単位で設定します。	--- (オフ) -50 ~ +50 (+/- 50 セント)

メモ

1 セント = 半音の 100 分の 1

ベンダーによる音程変化の幅を設定する (Bend Range)

ピッチ・ベンド・レバーを動かしたときのピッチの変化量を半音単位で設定します（4 オクターブ）。

パラメーター	RPN	設定値
B.R (Bend Range)	00H/00H	--- (オフ)、 0 ~ 48 (半音単位)

モジュレーションのかかり具合を設定する (Modulation Depth)

モジュレーション・レバーを倒したときの効果のかかりかたを設定します。

パラメーター	RPN	設定値
M.D (Modulation Depth)	00H/05H	--- (オフ)、 0 ~ 127

各コントローラーのオン／オフを設定する

各 PEDAL 端子に接続したペダル、スライダー、モジュレーション・レバー、ベンダーで外部 MIDI 機器をコントロールするか (ON)、しないか (OFF) を設定します。

パラメーター	解説	設定値
Dp	ダンパー・ペダル	ON、OFF
F1	FC1 端子に接続したペダル	
F2	FC2 端子に接続したペダル	
PB	ピッチ・ベンダー	
Md	モジュレーション・レバー	
UP1	Control Slider (UP1)	
UP2	Control Slider (UP2)	
LW1	Control Slider (LW1)	
LW2	Control Slider (LW2)	

コントロール・チェンジを送信する (User CC)

2 種類のコントロール・チェンジ・メッセージを指定して送信することができます。

パラメーター	設定値
CC1 (User CC1)	--- (オフ)、0 ~ 127
Value (User CC1 Value)	
CC2 (User CC2)	
Value (User CC2 Value)	

音色の詳細設定をする

ゾーンの設定をする (Zone Info)

RD-700SX の内部で内蔵音源をコントロールする 16 個のパートのことを「内部パート (Internal Part)」と呼びます。16 個の内部パートのうち 4 パートを、本体のボタンと鍵盤で自由にコントロールするための 4 つのパート (UPPER1、UPPER2、LOWER1、LOWER2) に割り当てることができます。この 4 つのパートを「ゾーン (Zone)」といいます。ゾーンは、RD-700SX の鍵盤でスプリットなどの操作も簡単にでき、ゾーンごとにより細かい設定が可能です。

ご注意!

選んでいるトーンによっては、変更することができないパラメーターがあります。

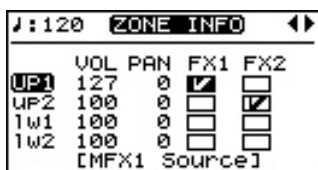
設定のしかた

1. トーン画面を表示した状態で [F2 (Zone Info)] を押します。
[F2] が点滅し、ZONE INFO 画面が表示されます。



Zone SW がオフのゾーンは、ゾーン名が小文字で表示されます。

2. CURSOR [◀] / [▶] を押して、画面を切り替えます。
3. CURSOR [◀] / [▶] / [▲] / [▼] を押して、設定するパラメーターにカーソルを移動します。



4. [INC] / [DEC] を押して値を設定します。
[INC] と [DEC] を同時に押すと、設定値は基準値になります。
5. 設定が終わったら、[F2] を押してインジケータを消灯させます。
トーン画面に戻ります。

音色を選ぶ (Tone)

ゾーンに割り当てられているトーンが表示されます。
TONE SELECT ボタンを使ってトーンを選ぶこともできます。

パラメーター	設定値
Tone	「トーン一覧」(P.140) をご覧ください。

音量／パンを設定する (Volume / Pan)

各ゾーンの音量と定位 (パン) を設定します。
音量の設定は、主に複数のトーンを鳴らしているときに、ゾーン間の音量バランスをとるために使います。
パンの設定は、ステレオ出力するときの、各ゾーンの音像の定位です。L の数字が大きくなるほど左から音が聞こえます。R の数字が大きくなるほど、右から音が聞こえます。0 にすると、中央から音が聞こえます。

パラメーター	設定値
VOL (Volume)	0 ~ 127
PAN	L64 ~ 0 ~ R63

マルチエフェクトをかけるゾーンを設定する (MFX1/MFX2 Source)

どのゾーンにマルチエフェクトをかけるかを設定します。

パラメーター	設定値
FX1 (MFX1 Source)	ON, OFF
FX2 (MFX2 Source)	

ご注意!

マルチエフェクトは、それぞれひとつのゾーンにのみ、かけることができます。あるゾーンをオンにすると、同じマルチエフェクトの他のゾーンはオフになります。

ご注意!

ひとつのゾーンには MFX1 と MFX2 のどちらかをかけることができます。同じゾーンで MFX1 と MFX2 の両方をオンにすると、MFX2 のみがかかります。

ゾーンごとに移調の設定をする (Transpose)

各ゾーンを、それぞれ異なる音の高さに移調させて演奏することができます。
複数のゾーンを鳴らしているときに、一方のトーンをオクターブ違いに設定すると、厚みのあるトーンを作ることができます。また、スプリットにして、ローでベースのトーンを鳴らすような場合に、より低い音で鳴らすことができます。

パラメーター	設定値
TRA (Transpose)	-48 ~ 0 ~ +48

メモ

[TRANPOSE] で、全パートに同じトランスポーズ量を設定することもできます。詳しくは、「**鍵盤の音の高さを変える** ([TRANPOSE])」(P.40) をご覧ください。

ゾーンごとの鍵域を設定する (Key Range)

通常の演奏状態で [SPLIT] を押すと、スプリット・ポイントで鍵域が分かれ、1 つの鍵盤で2 つのトーンを鳴らすことができます。

Key Range を使うと、さらに鍵域を細かく設定できます。

各パートの鍵域の下限と上限を設定します。

設定するパラメーターにカーソルを移動したら、指定する鍵を押し、[ENTER] を押して設定することもできます。

パラメーター	設定値
LWR (Key Range Lower)	A0 ~ C8
UPR (Key Range Upper)	

ご注意!

キー・レンジの設定は、[SPLIT] がオン (P.36) のときだけ有効です。

メモ

[SPLIT] がオフのときは、「FUL」と表示されます。このとき、[INC] / [DEC] で「FUL」以外に値を変えると、自動的に [SPLIT] がオンになります。

ご注意!

鍵域の下限を上限より上げたり、上限を下限より下げることはできません。

ご注意!

スプリット・ポイントを変更すると、キー・レンジ の値も変わります。

鍵盤を弾く強さによる音量変化を設定する (Velocity Range/Sens/Max)

鍵盤を弾く強さ（ペロシティー）に対する音量の変化のしかたと、変化の最大値を設定します。

ご注意!

トーンによって、この設定が無効なものがあります。

パラメーター	設定値	解説
VRL (Velocity Range Lower)	1 ~ 127	キーを弾く強さによってトーンの鳴る範囲の下限 (VLW) と、上限 (VUP)。
VRU (Velocity Range Upper)	1 ~ 127	キーを弾く強さでトーンを鳴らし分けたいときに設定します。

パラメーター	設定値	解説
Sns (Velocity Sensitivity)	-63 ~ +63	ペロシティーに対する音量の変化のしかた。設定値が+（プラス）のときは、鍵盤を強く弾くほど音量が大きくなり、-（マイナス）のときは、強く弾くほど小さくなります。設定値が0のときは、弾く強さに関わらず、音量は一定になります。
Max (Velocity Max)	1 ~ 127	押鍵に対するペロシティーの最大値。値を小さくすると、鍵盤を強く弾いても音量があまり大きくなりません。

内部パートを INTERNAL ゾーンに割り当てる (Part Assign)

INTERNAL ゾーンにどの内部パートを割り当てるかを設定します。

パラメーター	設定値
P.A (Part Assign)	1 ~ 16

ゾーンごとにコントローラーのオン/オフをする

各 PEDAL 端子に接続したペダル、モジュレーション・レバー、ベンダー、スライダーで各パートをコントロールするか (ON)、しないか (OFF) を設定します。

パラメーター	解説	設定値
Dp	ダンパー・ペダル	ON、OFF
F1	FC1 端子に接続したペダル	
F2	FC2 端子に接続したペダル	
PB	ピッチ・ベンダー	
Md	モジュレーション・レバー	
LW1	Control Slider (LW1)	
LW2	Control Slider (LW2)	
UP2	Control Slider (UP2)	
UP1	Control Slider (UP1)	

トーンの設定をする (Tone Info)

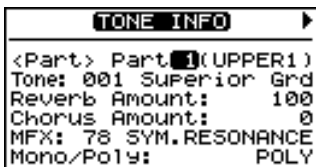
内部パート (Internal Part) に割り当てられているトーンを細かく設定することができます。

ご注意!

選んでいるトーンによっては、変更することができないパラメーターがあります。

設定のしかた

1. トーン画面を表示した状態で [F1 (Tone Info)] を押します。
[F1] が点滅し、Tone Info 画面が表示されます。



2. CURSOR [◀] / [▶] で、画面を切り替え、CURSOR [▲] / [▼] を押して、設定するパラメーターにカーソルを移動します。



3. [INC] / [DEC] を押して値を設定します。
4. 設定が終わったら、[F1] を押してインジケータを消灯させます。
トーン画面に戻ります。

ご注意!

選んでいる音色が、バーチャル・トーンホイール音色のとき、以下の項目は変更できません。

- Mono/Poly
- Coarse Tune
- Fine Tune
- Portamento Switch
- Portamento Time
- Attack Time
- Release Time
- Cutoff
- Resonance
- Decay Time

設定するパート、トーンを選ぶ (Part/Tone)

設定するパートとトーンを選びます。

パラメーター	設定値
<Part>	1 ~ 16 INTERNAL ソーンが割り当てられているパートは、パート名の後に (UPPER1) のように表示されます。
Tone	<Part> で選んだパートに割り当てられているトーンが表示されます。 TONE SELECT ボタンを使ってトーンを選ぶこともできます。

リバーブ／コーラスの深さを設定をする (Reverb / Chorus Amount)

リバーブ効果、コーラス効果の深さを設定します。

ご注意!

この設定値が「0」になっていると、REVERB [DEPTH] つまみまたは CHORUS [DEPTH] つまみを回しても、効果がかりません。

パラメーター	設定値
Reverb Amount	0 ~ 127
Chorus Amount	

ご注意!

この設定は、MFX1/2 Source (P.84) や MFX1 Dest (P.84) の設定によって、効果のかりかたが異なります。

- MFX1 Dest の設定が、ALL PART になっている場合
MFX Source で選ばれているパートの Reverb/Chorus Amount が、全体にかかります。
ただし、MFX Source が FIXED の場合には、UPPER1 のパートが、全体にかかります。
- MFX1 Dest の設定が SAME MFX になっている場合
MFX Source のパートと同じ MFX Type が割り当てられているパートに、MFX Source のパートの Reverb/Chorus Amount がかります。

トーンにかける効果を変える (MFX Type)

トーンにかけるマルチエフェクトを設定します。

ご注意!

MFX Source や MFX Dest の設定によっては、ここで選んだマルチエフェクトがかからないことがあります。詳しくは、MFX1/2 Source (P.84)、MFX1 Dest (P.84) をご覧ください。

パラメーター	設定値
MFX TYPE	「エフェクト／パラメーター一覧」(P.112) をご覧ください。

単音で発音させる (Mono / Poly)

トーンの鳴らしかたをポリフォニック (POLY) にするか、モノフォニック (MONO) にするかを設定します。
単音楽器 (サクスやフルートなど) のトーンを使うときは、「MONO」にすると効果的です。
また、「MONO LEGATO」に設定すると、モノフォニックで演奏するときにレガートをかけることができます。レガートとは、音と音の間をなめらかに切れ目を感じさせないで演奏する方法です。ギターの手マリング・オンやプリング・オフのような効果が得られます。

パラメーター	設定値	解説
Mono/Poly	MONO	1 音ずつ最後に押した鍵の音だけが鳴ります。
	POLY	複数の音が同時に鳴ります。
	MONO LEGATO	モノフォニックでレガートをかけます。

音の高さ (ピッチ) を変える (Coarse Tune / Fine Tune)

トーンの音の高さ (ピッチ) を設定します。

パラメーター	設定値	解説
Coarse Tune	-48 ~ +48 (+/- 4 オクターブ)	音の高さを半音単位で設定します。
Fine Tune	-50 ~ +50 (+/- 50 セント)	音の高さを 1 セント単位で設定します。

メモ

1 セント = 半音の 100 分の 1

ご注意!

トーンによっては、ピッチが思ったように変化しない音域があります。

音をなめらかに変化させる (Portamento Switch / Time)

はじめに弾いた鍵と次に弾いた鍵との間の音程をなめらかに変化させる効果のことを「ポルタメント」といいます。
Mono/Poly の値を MONO に設定したときにポルタメントをかけると、バイオリンなどのスライド奏法のような効果が得られます。

ポルタメント・タイムは、ポルタメント効果をかけた音の高さが変化する時間を設定します。値が大きくなるほど、次の音の高さに移動する時間が長くなります。

パラメーター	設定値
Portamento Sw	ON、OFF
Portamento Time	0 ~ 127

トーンの要素を変化させる (Attack Time / Release Time / Cutoff / Resonance / Decay Time)

トーンの次の 4 つの要素を設定することで、音色に変化を与えることができます。

Attack Time Offset (アタック・タイム・オフセット):
キーを押さえてから、音が立ち上がるまでの時間です。

Release Time Offset (リリース・タイム・オフセット):
キーを離してから、音が消えるまでの時間です。

Cutoff Offset (カットオフ・オフセット):
フィルタの開き具合を調節します。

Resonance Offset (レゾナンス・オフセット):
カットオフ周波数付近の音の成分を強調し、音にクセをつけます。設定値を上げすぎると発振して音が歪むことがあります。

Decay Time Offset (ディケイ・タイム・オフセット):
音が立ち上がってから、音量が下がっていくまでの時間です。

ご注意!

設定値を急激に変化させると、音が歪んだり、音が大きくなりすぎることがあります。音量に注意しながら設定してください。

パラメーター	設定値	解説
Attack Time (Offset)	-64 ~ +63	値を大きくすると立ち上がり がゆるやかに、小さくすると立ち上がり が鋭くなります。
Release Time (Offset)		値を大きくすると余韻の長い 音になり、小さくすると歯切れの 良い音になります。
Cutoff (Offset)		値を大きくすると音が明るく なり、小さくすると暗くなります。
Resonance (Offset)		値が大きくなるとクセが強くなり、小さくすると弱くなります。
Decay Time (Offset)		値を大きくすると音量が下がるまでの時間が長くなり、小さくすると短くなります。

ご注意!

この設定を変えても、音色によっては、思ったような効果が得られないことがあります。

ベンド・レンジを変える (Bend Range)

ピッチ・ベンド・レバーを動かしたときのピッチの変化量を半音単位で設定します (2 オクターブ)。

パラメーター	設定値
Bend Range	0 ~ 24 (半音単位)

ONE TOUCH 音色の詳細設定をする

ピアノ音色の詳細設定をする (ピアノ・エディット)

ONE TOUCH [PIANO] (P.30) を押したときのピアノ音色を、お好みの音色になるように詳細設定することができます。この機能を「ピアノ・エディット」といいます。また、変更した設定内容は2 つまで保存することができます。ピアノ・エディットの設定は、ONE TOUCH [PIANO] のタイプ A または B に記憶されます。

ご注意!

ONE TOUCH [PIANO] を押すと、ピアノ・エディットの設定を除く各種設定は、電源投入時の状態になります。残しておきたい設定は、セットアップに記憶してください (P.56)。

設定のしかた

- ONE TOUCH [PIANO] 画面で [F1] を押し、設定するタイプを選びます。
[F1] を押すたびに、タイプ A と B が切り替わります。
- [F2 (EDIT)] を押します。
ピアノ・エディット画面が表示されます。



- CURSOR [◀] / [▶] で、画面を切り替え、CURSOR [▲] / [▼] を押して、設定するパラメーターにカーソルを移動します。
以下のメニューは、カーソルを移動した後 [ENTER] を押し、次の画面で設定するパラメーターを選びます。
 - Key Touch Edit
 - Micro Tune Edit
 - Sym. Resonance
 - Tone Modify
 - Initialize
- [INC] / [DEC] を押して値を設定します。
- 設定を保存したいときは、[F1 (WRITE)] を押します。
[F1 (WRITE)] を押すと、確認画面が表示されます。
保存するときは [ENTER] を、保存をやめるときは [EXIT] を押します。
- 設定が終わったら、[EXIT] を押します。
ONE TOUCH [PIANO] 画面に戻ります。

ご注意!

選んでいるピアノ音色によっては、値を変えても効果が変わらないことがあります。

音色を選ぶ

ONE TOUCH [PIANO] を押したときに選ばれるピアノ音色を選びます。
選べるトーンは 20 個あります。

音の広がりかたを変える (Stereo Width)

音の広がりかたを設定します。

パラメーター	設定値	解説
Stereo Width	CENTER、 L01-01R ~ L63-63R	値が大きいほど音の広がりが増します。

音色のニュアンスを変える (Nuance)

左右の音の位相を変化させることで、音色の微妙なニュアンスを変えます。

パラメーター	設定値
Nuance	TYPE1、2、3

ご注意!

ヘッドホンをご使用の場合は、効果がわかりにくくなります。

音の空気感を変える (Ambience)

音の空気感を変えて、広い空間で演奏しているような音を得ることができます。

パラメーター	設定値	解説
Ambience	OFF、 1 ~ 5	値が大きいほど、効果のかかり具合が深くなります。

リバーブ効果のかかり具合を変える (Reverb Level)

リバーブ効果のかかり具合を変えます。REVERB つまみと同じ働きをしますが、ここで行った設定は、ONE TOUCH [PIANO] を押して簡単に呼び出すことができます。

パラメーター	設定値	解説
Reverb Level	0 ~ 127	値が大きいほどリバーブ効果のかかり具合が深くなります。

大屋根の開き具合を変える (Lid)

グランドピアノの大屋根の開き具合による音の明るさを再現します。

パラメーター	設定値	解説
Lid	1 ～ 6	値が大きいほど屋根が開き、明るい音になります。

マイクを再現する (Mic Type/Distance)

ピアノなどのアコースティック楽器をマイクで録音するような場合、マイクの特性や設置方法により楽器の音は変わります。この音の変化を再現します。

パラメーター	設定値	解説
Mic Type	OFF	マイクをしません。
	CONDENSER	楽器用スモール・コンデンサー・マイクを再現します。きらびやかな高域が特徴です。
	DYNAMIC	ボーカルや楽器用に広く使われるダイナミック・マイクを再現します。
Distance	0 ～ 10	値を大きくするとマイクの距離が近くなり、小さくすると遠くなります。

鍵盤を弾いたときの共鳴音を調節する (String Resonance)

アコースティック・ピアノでは、鍵盤を弾くと、すでに押さえている鍵の弦が共鳴します。この共鳴を再現する機能を「ストリング・レゾナンス」といいます。

パラメーター	設定値	解説
String Resonance	OFF、1 ～ 5	値が大きいほど効果のかかり具合が大きくなります。

中音域のイコライザーを設定する (EQ SW / EQ Gain / EQ Frequency / EQ Q)

中音域のイコライザーを設定します。

パラメーター	設定値	解説
EQ SW	ON、OFF	以下のEQ Gain、EQ Frequency、EQ Q の設定を有効にする (ON) かしないか (OFF) を切り替えます。
EQ Gain	-12.0 ～ +12.0 dB	イコライザーのかかりかた (ゲイン) を変えます。

パラメーター	設定値	解説
EQ Frequency	100、125、160、200、250、315、400、500、630、800、1000、1250、1600、2000、2500、3150、4000Hz	設定する周波数ポイント。この周波数を中心とする所定帯域のレベルが変わります。
EQ Q	0.5、1.0、2.0、4.0、8.0	帯域幅を変えます。数値が大きくなると、コントロールできる帯域が狭くなります。

鍵盤のタッチ感を変える (Key Touch)

鍵盤を弾くタッチ感を調節します。

パラメーター	設定値	解説
Key Touch	SUPER LIGHT	LIGHT よりもさらに軽い設定です。
	LIGHT	鍵盤のタッチ感を軽めの設定にします。標準より弱いタッチでフォルティッシモ (ff) が出せるので、鍵盤が軽くなったように感じられます。力の弱い方でも、演奏しやすい設定です。
	MEDIUM	鍵盤のタッチ感を標準設定にします。もっとも自然なタッチで弾けます。アコースティック・ピアノに一番近いタッチです。
	HEAVY	鍵盤のタッチ感を重めの設定にします。標準より強いタッチで弾かないとフォルティッシモ (ff) が出せなくなるので、鍵盤が重くなったように感じられます。ダイナミックに弾くとき、さらに感情がこめられます。
	SUPER HEAVY	HEAVY よりさらに重い設定です。

ご注意！

この設定は、次項目の Key Touch Offset の値によっては、自動的に切り替わります。

ご注意！

この設定を変えると、エディットの Key Touch の設定も変わります (P.80)。

ONE TOUCH 音色の詳細設定をする

鍵盤のタッチ感を微調整する (Key Touch Offset)

鍵盤のタッチ感を Key Touch の設定よりさらに細かく調節します。

Key Touch の設定値間をさらに細かく設定することができます。

パラメーター	設定値	解説
Key Touch Offset	-10 ～ +9	値が大きいほどタッチ感が重くなります。

ご注意

この設定値を＋（プラス）または－（マイナス）方向に変え続けると、その値にあわせて、Key Touch の 5 段階の値も自動的に切り替わります。

弾く強さによる音量を一定にする (Velocity)

鍵盤を弾く強さ（ペロシティー）に関わらず、一定の音量で鳴るように設定します。

パラメーター	設定値	解説
Velocity	REAL	鍵盤を弾く強さによって音量や音の鳴りかたが変化します。
	1 ～ 127	音量や音の鳴りかたが設定した値で一定になります。

弾く強さによって発音のタイミングを変える (Velocity Delay Sens)

鍵盤を押した瞬間から発音するまでのタイミングを設定します。値がマイナスのときは、強く弾いたときの発音のタイミングが遅くなります。値がプラスのときは、弱く弾いたときの発音のタイミングが遅くなります。

パラメーター	設定値
Velo Delay Sens	-63 ～ +63

鍵域によるタッチ感を変える (Velocity Keyfollow Sens)

鍵域による鍵盤のタッチ感を設定します。

値が大きいほど、鍵域の高い鍵はより重く、鍵域の低い鍵はより軽い設定になります。

パラメーター	設定値
Velo Keyfolw Sens	-63 ～ +63

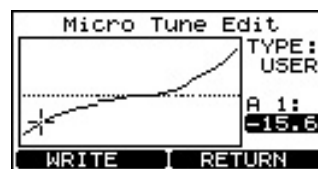
チューニングを微調整する (Micro Tune)

鍵盤をひとつずつ選んで、チューニングの微調整をします。

0.1 セント単位で、-50.0 から +50.0 セントの範囲で設定できます。（1 半音 = 100 セント）

パラメーター	設定値
Type	PRST (PRESET)、USER、 1 ～ 14

1. ピアノ・エディットの設定のしかた (P.70) の操作 3 で、「2. Micro Tune Edit」を選んで [ENTER] を押します。Micro Tune Edit 画面が表示されます。



[EXIT] を押すと、ひとつ前の画面に戻ります。

2. CURSOR [▲] を押して、「TYPE」にカーソルを移動します。
3. [INC] / [DEC] を押して、タイプを選びます。
4. CURSOR [▼] を押して、数値 (Offset) にカーソルを移動します。
5. 調節したい鍵を押して、指定します。
6. [INC] / [DEC] を押して値を設定します。
7. 設定を保存したいときは、[F1 (WRITE)] を押します。設定は「USER」に記憶されます。

ペダルを踏んだときの共鳴音を変える (Sympathetic Resonance)

ダンパー・ペダルを踏んだときの共鳴音（シンパセティック・レゾナンス）を調節します。

アコースティック・ピアノでは、ダンパー・ペダルを踏んだときに、弾いた鍵盤の音が他の弦に共鳴して、豊かな響きと広がりが加わります。この共鳴音を再現します。

パラメーター	設定値	解説
Resonance Depth	0 ～ 10	値が大きいほど、共鳴音の音量が大きくなります。
Resonance Pitch		うねり具合を調節します。値が大きいほど、うねりが大きくなります。
Resonance Level		値が大きいほど、うねりの音量が大きくなります。

音の特徴を変える (Tone Modify)

音の要素を設定して音色の特徴を変えます。

Decay Time (ディケイ・タイム・オフセット) :
音が立ち上がってから、音量が下がっていくまでの時間です。

Cutoff (カットオフ・オフセット) :
音色の Filter (フィルター) の効きかたを決めます。

Release Time (リリース・タイム・オフセット) :
鍵盤から指を離してから音が消えるまでの時間 (余韻の時間) を調節します。

パラメーター	設定値	解説
Decay Time (Offset)	-64 ~ +63	値を大きくすると音量が下がるまでの時間が長くなり、小さくすると短くなります。
Cutoff (Offset)		値を大きくするほど音が硬く (明るく) なり、小さくするほど音が柔らかく (暗く) なります。
Release Time (Offset)		値を大きくするほど余韻が長くなり、小さくすると短くなります。

ご注意!

音色によっては効果がからないものもあります。

設定を初期状態にする (Initialize)

One Touch Piano の設定を、初期状態に戻します。

1. ピアノ・エディットの設定のしかた (P.70) の操作3で「5. Initialize」を選んで [ENTER] を押します。
イニシャライズ画面が表示されます。初期化をやめるときは「EXIT」を押して、メニュー画面に戻ります。
2. [ENTER] を押します。
確認の画面が表示されます。
3. もう一度 [ENTER] を押します。
ONE TOUCH [PIANO] 音色が初期化されます。

E. ピアノ音色の詳細設定をする (E. ピアノ・エディット)

ONE TOUCH [E. PIANO] (P.30) を押したときの E. ピアノ音色を、お好みの音色になるように詳細設定することができます。この機能を「E. ピアノ・エディット」といいます。

E. ピアノ・エディットの設定は、ONE TOUCH [E. PIANO] に記憶されます。

ご注意!

ONE TOUCH [E. PIANO] を押すと、E. ピアノ・エディットの設定を除く各種設定は、電源投入時の状態になります。

残しておきたい設定は、セットアップに記憶してください (P.56)。

設定のしかた

1. ONE TOUCH [E. PIANO] 画面で [F1] を押し、設定するタイプを選びます。
2. [F2] を押します。



3. CURSOR [◀] / [▶] で、画面を切り替え、CURSOR [▲] / [▼] を押して、設定するパラメーターにカーソルを移動します。
4. [INC] / [DEC] を押して値を設定します。
5. 設定を保存したいときは、[F1 (WRITE)] を押します。
[F1 (WRITE)] を押すと、確認画面が表示されます。保存するときは [ENTER] を、保存をやめるときは [EXIT] を押します。
6. 設定が終わったら、[EXIT] を押します。
ONE TOUCH [E. PIANO] 画面に戻ります。

音色を選ぶ

ONE TOUCH [E. PIANO] を押したときに選ばれる E. ピアノ音色を選びます。

選べるトーンは 21 個あります。

ONE TOUCH 音色の詳細設定をする

アンプの種類を選ぶ (AMP Type)

電気ピアノの音は、従来何らかの楽器用アンプを通して鳴らされていました。この楽器用アンプの音質の特徴を再現していません。

パラメーター	設定値	解説
AMP Type	OFF	アンプを使いません。
	EP-AMP	往年の電気ピアノのアンプを再現します。
	GTR-AMP	ギター・アンプを再現します。

音に効果をつける (Effect Type/Depth/Rate)

エレクトリック・ピアノによく使われるエフェクトを使うことができます。

パラメーター	設定値	解説
Effect Type	OFF、 CHORUS、 TREMOLO、 AUTO-WAH、 PHASER	エフェクトの種類を設定します。
Effect Depth	0 ～ 127	エフェクトのかかり具合を設定します。値が大きいほどかかり方が深く、小さいほど弱くなります。
Effect Rate	1 ～ 200	エフェクトのうねりの速さを設定します。値が大きいほど速く、小さいほど遅くなります。

中音域のイコライザーを設定する (EQ SW / EQ Gain / EQ Frequency / EQ Q)

中音域のイコライザーを設定します。

パラメーター	設定値	解説
EQ SW	ON、OFF	以下の EQ Gain、EQ Frequency、EQ Q の設定を有効にする (ON) かしないか (OFF) を切り替えます。
EQ Gain	-12.0 ～ +12.0 dB	イコライザーのかかりかた (ゲイン) を変えます。
EQ Frequency	100、125、 160、200、 250、315、 400、500、 630、800、 1000、1250、 1600、2000、 2500、3150、 4000Hz	設定する周波数ポイント。この周波数を中心とする所定帯域のレベルが変わります。

パラメーター	設定値	解説
EQ Q	0.5、1.0、 2.0、4.0、8.0	帯域幅を変えます。数値が大きくなると、コントロールできる帯域が狭くなります。

ご注意!

選んでいる音色によっては、設定することができません。

音の特徴を変える (Tone Modify)

音の要素を設定して音色の特徴を変えます。

Decay Time Offset (ディケイ・タイム・オフセット) :

音が立ち上がってから、音量が下がっていくまでの時間です。

Cutoff Offset (カットオフ・オフセット) :

フィルタの開き具合を調節します。

Resonance Offset (レゾナンス・オフセット) :

カットオフ周波数付近の音の成分を強調し、音にクセをつけます。設定値を上げすぎると発振して音が歪むことがあります。

Release Time Offset (リリース・タイム・オフセット) :

鍵盤から指を離してから音が消えるまでの時間です。

ご注意!

設定値を急激に変化させると、音が歪んだり、音が大きくなりすぎることがあります。音量に注意しながら設定してください。

パラメーター	設定値	解説
Decay Time (Offset)	-64 ～ +63	値を大きくすると音量が下がるまでの時間が長くなり、小さくすると短くなります。
Cutoff (Offset)		値を大きくすると音が明るくなり、小さくすると暗くなります。
Resonance (Offset)		値が大きくなるとクセが強くなり、小さくすると弱くなります。
Release Time (Offset)		値を大きくすると余韻の長い音になり、小さくすると歯切れの良い音になります。

各機能の詳細設定をする（[EDIT]）

トーンのパラメーターを変更して好みの音色にしたり、さまざまな機能の設定を変えることをエディット（EDIT）といいます。

[EDIT] を押して、インジケーターを点灯させると「エディット・モード」になります。

エディットした設定は、セットアップに記憶することができません。エディットした設定は、電源を切ると消えてしまいますので、気に入った設定はセットアップに記憶してください（P.56）。

ただし、システム機能（0.System）の設定は、エディット画面で保存することができます。保存すると、電源を切っても変更した設定は失われません。

設定できる項目

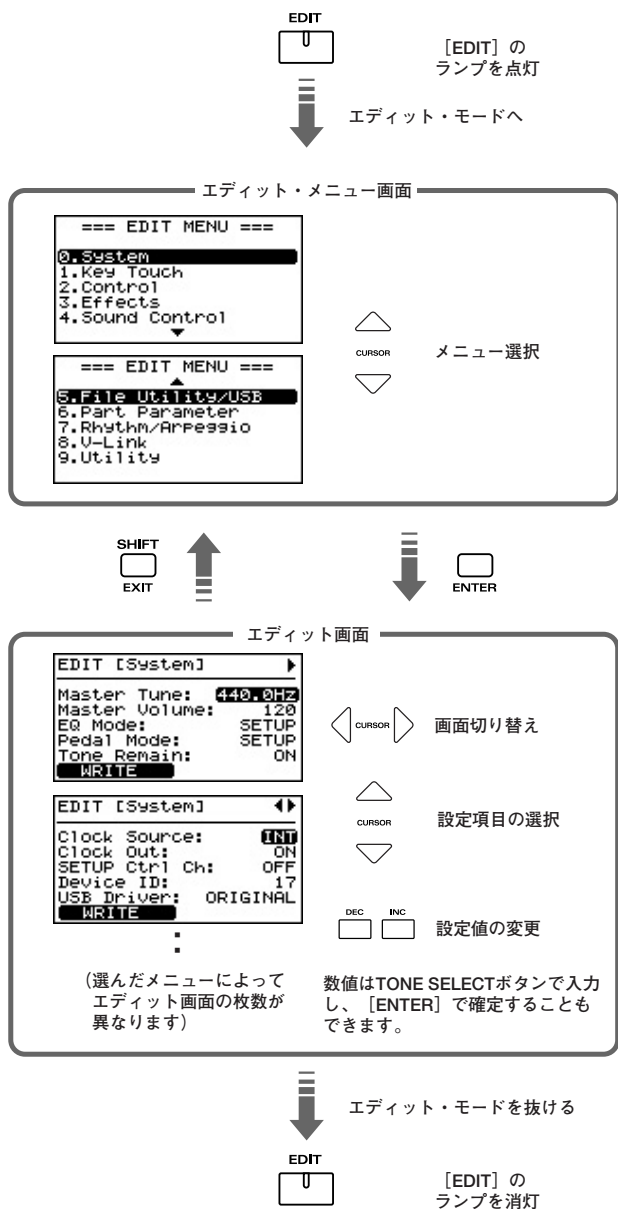
エディット・モードでは、次のようなパラメーターを設定することができます。

0.System	Master Tune	P.25
	Master Volume	P.77
	EQ Mode	P.77
	Pedal Mode	P.77
	Tone Remain	P.78
	Clock Source	P.78
	Clock Out	P.78
	SETUP Control Channel	P.78
	Device ID	P.78
	USB Driver	P.106
	Damper Polarity	P.79
	FC1 Polarity	P.79
	FC2 Polarity	P.79
	Display Mode	P.79
	Part Mode	P.79
	Temperament	P.79
	Temperament Key	P.79
	Stretch Tune	P.80
	Rx. GM/GM2 System ON	P.80
	Rx. GS Reset	P.80
1. Key Touch	Key Touch	P.81
	Key Touch Offset	P.81
	Velocity	P.81
	Velocity Delay Sensitivity	P.81
	Velocity Keyfollow Sensitivity	P.81
2. Control	FC1 Pedal Assign	P.82
	FC2 Pedal Assign	P.82
	MFX Control Knob Assign	P.83
	Slider Assign	P.83
	Harmonic Bar	P.51
3. Effects	MFX Structure	P.84
	MFX1 Source	P.84
	MFX2 Source	P.84
	MFX1 Destination	P.84
	Type	P.84
	MFX Control	P.84
	MFX Parameters	P.84
	Reverb Type	P.85
	Reverb Parameters	P.85
	Chorus Type	P.85
	Output Select	P.85
	Chorus Parameters	P.85

4. Sound Control	Type	P.86
	Split Frequency L	P.86
	Split Frequency H	P.86
	Level	P.86
	Attack Time	P.86
	Release Time	P.86
	Threshold	P.86
	Ratio	P.86
5. File Utility/USB	Save SETUP File	P.87
	Load SETUP File	P.88
	File Delete	P.89
	USB Setting	P.104
	USB Storage	P.105
6. Part Parameter	Part	P.90
	Tone	P.90
	Receive Channel	P.90
	Volume	P.90
	Pan	P.90
	Voice Reserve	P.90
	Part Switch	P.91
	MFX Switch	P.91
	Rx.Bank Select	P.91
	Rx.Program Change	P.91
	Rx.Modulation	P.91
	Rx.Pitch Bend	P.91
	Rx.Volume	P.91
	Rx.Hold - 1	P.91
	Rx.Pan	P.91
	Rx.Expression	P.91
7. Rhythm/Arpeggio	Rhythm	
	Rhythm Tempo	P.92
	Rhythm Volume	P.92
	Rhythm Pattern	P.92
	Rhythm Set	P.92
	Rhythm Set Change	P.92
	Rhythm Accent	P.92
	Rhythm/Arpeggio Grid	P.93
	Rhythm/Arpeggio Duration	P.93
	MIDI Out Port	P.93
	MIDI Out Channel	P.93
	Arpeggio	
	Arpeggio Tempo	P.94
	Arpeggio Style	P.94
	Arpeggio Motif	P.94
	Arpeggio Zone	P.95
	Arpeggio Key Range	P.95
	Arpeggio Velocity	P.95
	Rhythm/Arpeggio Grid	P.93
	Rhythm/Arpeggio Duration	P.93
	Arpeggio Accent	P.95
	Arpeggio Octave Range	P.95
	Arpeggio Hold	P.95
8. V-Link	V-Link Mode	P.97
	V-Link Tx Channel	P.97
	V-Link Out Port	P.97
	Key Range	P.97
	Lowest No.	P.97
	Local ON/OFF	P.97
9. Utility	Rec Setting	P.101
	Bulk Dump Temporary	P.98
	Bulk Dump SETUP	P.98
	Factory Reset Current	P.99
	Factory Reset All	P.99

各機能の詳細設定をする ([EDIT])

パラメーターの選び方



メモ

以下の設定は、エディットの各設定画面で [F1 (WRITE)] を押すと RD-700SX に共通の設定として記憶されます。

- 0. SYSTEM
- 4. Sound Control
- 8. V-Link

ただし、以下の設定は記憶されません。

- V-Link のオン／オフの状態
- Sound Control のオン／オフの状態

システムの設定 (System)

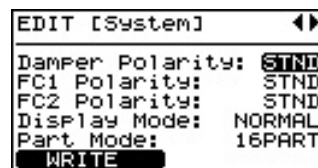
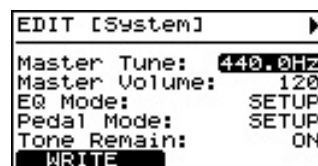
RD-700SX 全体の動作環境に関する機能をシステム機能といいます。

設定のしかた

- [EDIT] を押して、インジケーターを点灯させます。
エディット・メニュー画面が表示されます。



- CURSOR [▲] を押して、「0.System」を選びます。
- [ENTER] を押して、エディット画面を表示します。



- CURSOR [◀] / [▶] で、画面を切り替え、CURSOR [▲] / [▼] を押して、設定するパラメーターにカーソルを移動します。
- [INC] / [DEC] を押して値を設定します。
- 設定が終わったら、[EDIT] を押してインジケーターを消灯させます。

メモ

設定を保存したいときは、[F1 (WRITE)] を押します。保存された設定は、電源を切っても失われません。ただし、以下は保存されません。

Device ID → P.78

メモ

次のパラメータについては該当ページをご覧ください。

Master Tune → P.25 USB Driver → P.106

全体の音量を設定する (Master Volume)

RD-700SX 全体の音量を設定します。

パラメーター	設定値
Master Volume	0 ~ 127

イコライザーの設定が切り替わらないようにする (EQ Mode)

イコライザーの設定 (P.43) は、セットアップ (P.54) ごとに記憶することができます。

セットアップを切り替えたときに、イコライザーの設定をセットアップに記憶されている値に変えるか、変えないかを設定します。

パラメーター	設定値	解説
EQ Mode	SETUP	セットアップを切り替えると、イコライザーの設定も変わります。
	SYSTEM	セットアップを切り替えても、イコライザーの設定は変わりません。

メモ

この設定を、SYSTEM にすると、トーン画面やソング／リズム／アルペジオ画面の右上に「EQ」マークが表示されます。

ペダルの設定が切り替わらないようにする (Pedal Mode)

ペダルの設定 (P.82) は、セットアップ (P.54) ごとに記憶することができます。

セットアップを切り替えたときに、ペダルの設定をセットアップに記憶されている値に変えるか、変えないかを設定します。

パラメーター	設定値	解説
Pedal Mode	SETUP	セットアップを切り替えると、ペダルの設定も変わります。
	SYSTEM	セットアップを切り替えても、ペダルの設定は変わりません。

メモ

この設定を、SYSTEM にすると、各画面の右上に「PD」マークが表示されます。

Pedal Mode が「SYSTEM」のときのペダルの機能を割り当てる

Pedal Mode の設定を「SYSTEM」にすると、画面の右下に「Pedal Setting」と表示されます。ここで [F2] を押すと、ペダルに割り当てる機能の設定画面が表示されます。

パラメーター	設定値	機能／変化する設定項目
FC1 FC2	OFF	コントロールしません。
	CC01 ~ CC31、 CC33 ~ CC95	コントローラー・ナンバー 1 ~ 31、33 ~ 95
	96: BEND-UP	ベンダー・レバーを右に倒したときと同様に音程が上がります。
	97: BEND-DOWN	ベンダー・レバーを左に倒したときと同様に音程が下がります。
	98: AFTER TOUCH	アフタータッチ
	99: OCTAVE UP	ペダルを踏むごとに、鍵域がオクターブ単位 (最大 4 オクターブ) で上がります。
	100: OCTAVE DWN	ペダルを踏むごとに、鍵域がオクターブ単位 (最大 4 オクターブ) で下がります。
	101: START/STOP	外部シーケンサーをスタート／ストップします。
	102: TAP TEMPO	ペダルを踏む間隔でテンポを設定します。
	103: RHY PLY/STP	リズム (P.46) をスタート／ストップします。
	104: ARPEGGIO SW	[ARPEGGIO] と同じ働きです。アルペジエーター (P.44) をオン／オフします。
	105: MFX ON/OFF	MULTI EFFECTS [ON/OFF] と同じ働きです。マルチエフェクト (P.50) をオン／オフします。
	106: MFX CONTROL	マルチエフェクトのかかり具合 (P.74) を調節します。
	107: SNG PLY/STP	ソング (P.48) をスタート／ストップします。
	108: SETUP-UP	セットアップを昇順に切り替えます。
	109: SETUP-DOWN	セットアップを降順に切り替えます。

各機能の詳細設定をする（[EDIT]）

トーンを変えても発音中の音を残す（Tone Remain）

他のトーンを選んだときに、発音中の音を残すか（ON）、残さないか（OFF）を設定します。

パラメーター	設定値
Tone Remain	OFF、ON

ご注意！

エフェクトの設定は、Tone Remain の設定にかかわらず、トーンの切り替えと同時に切り替わります。したがって、Tone Remain を ON に設定していても、エフェクトの設定によっては発音中の音が残らない場合があります。

ご注意！

Tone Remain を ON に設定していても、バーチャル・トーンホイール音色からバーチャル・トーンホイール以外の音色に変えるときは、発音中の音は残りません。

外部 MIDI 機器と同期する（Clock Source）

テンポを外部 MIDI 機器からコントロールすることができます。外部 MIDI 機器のクロック（テンポ）に合わせるときは、MIDI に設定してください。

パラメーター	設定値	解説
Clock Source	INT	内部クロックに合わせます。
	MIDI	外部 MIDI 機器のクロックに合わせます。 RD-700SX でテンポを設定することはできません。 画面のテンポ表示「J:」が「M:」に変わります。

メモ

内部テンポの設定は、トーン画面（P.26）、リズムのエディット画面（P.92）、アルペジエーターのエディット画面（P.94）、ソング／リズム／アルペジオ画面（P.45～P.47）、バーチャル・トーンホイール画面（P.26）などで設定します。

ご注意！

外部 MIDI 機器に接続せずに ClockSource の設定を MIDI にすると、テンポが設定されません。そのため、アルペジオ演奏（P.44）やリズム（P.46）が鳴らなかったり、エフェクトによっては、かかりかたが変わってしまうことがあります。

同期情報を送る（Clock Out）

外部機器と同期するための MIDI 情報を、MIDI Out 端子から送信するかどうかを決めます。

パラメーター	設定値
Clock Out	ON、OFF

プログラム・チェンジ情報でセットアップを切り替える（SETUP Control Channel）

外部 MIDI 機器の MIDI メッセージで RD-700SX のセットアップを切り替えることができます。

外部 MIDI 機器から MIDI メッセージ（プログラム・チェンジ）を受信して、セットアップを切り替えるときの MIDI 受信チャンネルを設定します。

外部 MIDI 機器からセットアップを切り替えないときは OFF に設定します。

パラメーター	設定値
Control Channel	1～16、OFF

ご注意！

Control Channel の設定が、パートの MIDI 受信チャンネル（P.90）と重なったときは、音色切り替えよりもセットアップの切り替えが優先されます。セットアップを切り替えるプログラム・チェンジについては、「**セットアップの切り替え**」（P.103）をご覧ください。

デバイス ID ナンバーを設定する（Device ID）

デバイス ID ナンバーとは、MIDI のエクスクルーシブ情報を送受信するための認識番号です。エクスクルーシブ情報を使ってデータをやりとりするときは、相互の機器のデバイス ID ナンバーを合わせます。

パラメーター	設定値
Device ID	17～32

ペダルの極性を切り替える (Pedal / FC1 / FC2 Polarity)

RD-700SX に接続しているペダルの極性を切り替えます。
リア・パネルの Pedal ジャック（FC1、FC2、DAMPER）ごとに設定します。
ペダルによっては、ペダルを踏んだときと離れているときの動作が逆になるものがあります。動作が逆になるペダルを使うときは REVERSE にしてください。
ローランドのペダル（ポラリティー・スイッチが付いていない）を使うときは STANDARD にします。

パラメーター	設定値
Damper	STND (STANDARD)、 REV (REVERSE)
FC1	
FC2	

ディスプレイの表示のしかたを選ぶ (Display Mode)

ディスプレイの表示を切り替えます。「INVERT」を選ぶと、「NORMAL」での表示の白青が逆になります。

パラメーター	設定値
Display Mode	NORMAL、INVERT

パート数を選ぶ (Part Mode)

RD-700SX のパート数を選びます。
「16PART+PERF」にすると、鍵盤の演奏は MIDI IN 端子から受信する MIDI 情報やソング・データの影響を受けません。ソング・データを RD-700SX で鳴らしながら、鍵盤で演奏したいときなどに便利です。

パラメーター	設定値
Part Mode	16PART、 16PART+PERF (Performance)

調律法を設定する (Temperament / Key)

調律法と主音を設定します。
現在では、一般に平均率を前提に作曲され、演奏されるのがあたりまえとなっていますが、古典音楽の時代にはいろいろな調律法が存在していました。当時の調律法で演奏してみると、その曲が本来持っている和音の響きをあじわうことができます。また、平均律以外の調律法で演奏するときは、演奏する曲の調に合わせて主音（長調ならド、短調ならラに当たる音）を指定する必要があります。
平均律を選んでいる場合は、主音を選ぶ必要はありません。

パラメーター	設定値	解説
Temperament	EQUAL	平均律。オクターブを均等に 12 分割してできた調律です。どの音程も同じくらいわずかな濁りが生じます。
	JUST MAJ	純正調 [長]。5 度と 3 度の濁りをなくした調律です。メロディーの演奏には不向きで転調はできませんが、美しい和音の響きをもちます。
	JUST MIN	純正調 [短]。純正調は長調と短調で調律が異なります。長調のときと同じ効果を短調で得ることができます。
	PYTHAGORE (Pythagorean)	ピタゴラス音律。哲学者ピタゴラスによって考えられた 4 度と 5 度の濁りをなくした調律です。3 度の和音に濁りが生じますが、メロディーはきれいに聴こえます。
	KIRNBERGE (Kirnberger)	キルンベルガー。中全音律と純正調を改良し、転調の自由度を高めた調律法です。全ての調での演奏ができます（第三法）。
	MEANTONE	中全音律。純正調を一部妥協させて、転調を可能にした音律です。
	WERCKMEIS (Werckmeister)	ベルクマイスター。中全音律とピタゴラス音律を組み合わせた調律です。全ての調での演奏ができます（第一技法 第三番）。
Temperament Key	ARABIC	アラビア音階。アラビア音楽に適した調律です。
	C、C#、D、Eb、E、F、F#、G、G#、A、Bb、B	主音を設定します。

各機能の詳細設定をする（[EDIT]）

和音の響きを微妙に変える （Stretch Tune）

高音域はより高く、低音域はより低いピアノ独特の調律手法（ストレッチ・チューニング）でピッチを設定します。

パラメーター	設定値	解説
Stretch Tune	OFF	ストレッチ・チューニングを 使いません。
	DEFAULT	標準的な調律曲線です。

GM/GM2 システム・オン、GS リセッ トの受信を切り替える （Rx GM / GM2 System On、Rx GS Reset）

外部 MIDI 機器から GM システム・オン、GM2 システム・オン、GS リセットの MIDI 情報を受信するか（ON）、受信しないか（OFF）を設定します。

パラメーター	設定値
Rx GM/GM2 System On	ON、OFF
Rx GS Reset	

鍵盤タッチの設定 （Key Touch）

鍵盤のタッチ感を細かく設定することができます。

設定のしかた

1. [EDIT] を押して、インジケータを点灯させます。
エディット・メニュー画面が表示されます。



2. CURSOR [▲] / [▼] を押して「1.Key Touch」を選びます。
3. [ENTER] を押して、エディット画面を表示します。



4. CURSOR [▲] / [▼] を押して、設定するパラメーターにカーソルを移動します。
5. [INC] / [DEC] を押して値を設定します。
6. 設定が終わったら、[EDIT] を押してインジケータを消灯させます。
トーン画面に戻ります。

鍵盤のタッチ感を変える （Key Touch）

鍵盤を弾くタッチ感を調節します。

パラメーター	設定値	解説
Key Touch	SUPER LIGHT	LIGHT よりもさらに軽い設定です。
	LIGHT	鍵盤のタッチ感を軽めの設定にします。標準より弱いタッチでフォルティッシモ（ff）が出せるので、鍵盤が軽くなったように感じられます。力の弱い方でも、演奏しやすい設定です。
	MEDIUM	鍵盤のタッチ感を標準設定にします。もっとも自然なタッチで弾けます。アコースティック・ピアノに一番近いタッチです。
	HEAVY	鍵盤のタッチ感を重めの設定にします。標準より強いタッチで弾かないとフォルティッシモ（ff）が出せなくなるので、鍵盤が重くなったように感じられます。ダイナミックに弾くとき、さらに感情がこめられます。
	SUPER HEAVY	HEAVY よりさらに重い設定です。

鍵盤のタッチ感を微調整する （Key Touch Offset）

鍵盤のタッチ感を Key Touch の設定よりさらに細かく調節します。

Key Touch の設定値間をさらに細かく設定することができます。

パラメーター	設定値	解説
Key Touch Offset	-10 ～ +9	値が大きいほどタッチ感が重くなります。

ご注意！

この設定値を＋（プラス）または－（マイナス）方向に変え続けると、その値にあわせて、Key Touch の 5 段階の値も自動的に切り替わります。

弾く強さによる音量を一定にする （Velocity）

鍵盤を弾く強さ（ペロシティー）に関わらず、一定の音量で鳴るように設定します。

パラメーター	設定値	解説
Velocity	REAL	鍵盤を弾く強さによって音量や音の鳴りかたが変化します。
	1 ～ 127	音量や音の鳴りかたが設定した値で一定になります。

弾く強さによって発音のタイミングを変える （Velocity Delay Sens）

鍵盤を押した瞬間から発音するまでのタイミングを設定します。値がマイナスのときは、強く弾いたときの発音のタイミングが遅くなります。値がプラスのときは、弱く弾いたときの発音のタイミングが遅くなります。

パラメーター	設定値
Velo Delay Sens	-63 ～ +63

鍵域によるタッチ感を変える （Velocity Keyfollow Sens）

鍵域による鍵盤のタッチ感を設定します。

値が大きいほど、鍵域の高い鍵はより重く、鍵域の低い鍵はより軽い設定になります。

パラメーター	設定値
Velo Keyfolw Sens	-63 ～ +63

各機能の詳細設定をする（[EDIT]）

ペダル／[CONTROL] つまみの設定（Control）

ペダルや MULTI EFFECTS [CONTROL] つまみ、スライダーに割り当てられている機能を変更することができます。

設定のしかた

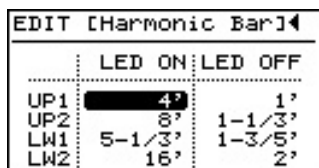
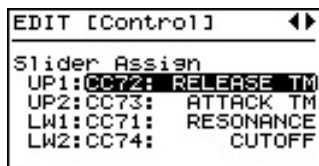
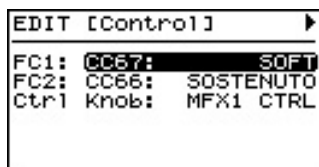
1. [EDIT] を押して、インジケータを点灯させます。

エディット・メニュー画面が表示されます。



2. CURSOR [▲] / [▼] を押して「2.Control」を選びます。

3. [ENTER] を押して、エディット画面を表示します。



4. CURSOR [◀] / [▶] で画面を切り替え、CURSOR [▲] / [▼] を押して、設定するパラメーターにカーソルを移動します。
5. [INC] / [DEC] を押して値を設定します。
6. 設定が終わったら、[EDIT] を押してインジケータを消灯させます。
トーン画面に戻ります。

メモ

次のパラメータについては該当ページをご覧ください。

Harmonic Bar → P.52

ペダルに機能を割り当てる（FC1 / FC2 Pedal Assign）

リア・パネルの FC1 / FC2 端子に接続したペダル・スイッチ（別売：DP-2/8）やエクスプレッション・ペダル（別売 EV-5/7）の動きを設定します。

パラメーター	設定値	機能／変化する設定項目
FC1/FC2 (Pedal Assign)	OFF	コントロールしません。
	CC01 ~ CC31, CC33 ~ CC95	コントローラー・ナンバー 1 ~ 31, 33 ~ 95
	96: BEND-UP	ペンダー・レバーを右に倒したときと同様に音程が上がります。
	97: BEND-DOWN	ペンダー・レバーを左に倒したときと同様に音程が下がります。
	98: AFTER TOUCH	アフタータッチ
	99: OCTAVE-UP	ペダルを踏むごとに、鍵域がオクターブ単位（最大 4 オクターブ）で上がります。
	100: OCTAVE-DWN	ペダルを踏むごとに、鍵域がオクターブ単位（最大 4 オクターブ）で下がります。
	101: START/STOP	外部シーケンサーをスタート／ストップします。
	102: TAP-TEMPO	ペダルを踏む間隔でテンポを設定します。
	103: RHY PLY/STP	リズム (P.46) をスタート／ストップします。
	104: ARPEGGIO SW	[ARPEGGIO] と同じ働きです。アルペジエーター (P.44) をオン／オフします。
	105: MFX ON/OFF	MULTI EFFECTS [ON/OFF] と同じ働きです。マルチエフェクト (P.50) をオン／オフします。
	106: MFX CONTROL	マルチエフェクトのかかり具合 (P.74) を調節します。
	107: SNG PLY/STP	ソング (P.48) をスタート／ストップします。

【CONTROL】つまみの設定を変える (Control Knob Assign)

通常、MULTI EFFECTS [CONTROL] つまみは、マルチエフェクトの効果を調節する設定（MFX1 CTRL）になっていますが、このつまみでテンポを変える設定にすることができます。

パラメーター	設定値	解説
Ctrl Knob (Control Knob Assign)	OFF	コントロールしません。
	MFX1 CTRL	MULTI EFFECTS [CONTROL] つまみで MFX1 の MFX Control の値を調節します。
	MFX2 CTRL	MULTI EFFECTS [CONTROL] つまみで MFX2 の MFX Control の値を調節します。
	MFX1&2 CTRL	MULTI EFFECTS [CONTROL] つまみで MFX1 と MFX2 両方の MFX Control の値を調節します。
	TEMPO	MULTI EFFECTS [CONTROL] つまみでテンポを変えます。

スライダーに機能を割り当てる (Slider Assign)

[CONTROL/ZONE LEVEL] が「CONTROL」（点灯）のときの、スライダーの働きを設定します。

パラメーター	設定値	機能／変化する設定項目
Slider Assign (UP1/UP2/LW1/LW2)	OFF	コントロールしません。
	CC01～CC31、 CC33～CC95	コントローラー・ナンバー 1～31、33～95
	96: BEND-UP	音程が上がります。
	97: BEND-DOWN	音程が下がります。
	98: AFTER TOUCH	アフタータッチ

マルチエフェクト／リバーブ／ コーラスの設定 (Effects)

RD-700SX には、マルチエフェクト（2 系統）、コーラス、リバーブの 4 系統のエフェクターが内蔵されています。各エフェクターは、独立して設定することができます。

ご注意！

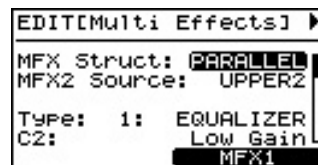
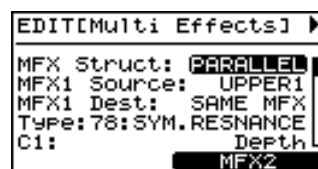
設定値を急激に変化させると、音が歪んだり、音が大きくなりすぎることがあります。音量に注意しながら設定してください。

設定のしかた

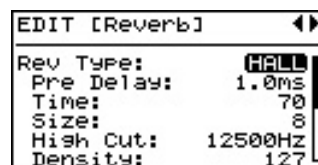
1. [EDIT] を押して、インジケーターを点灯させます。
エディット・メニュー画面が表示されます。



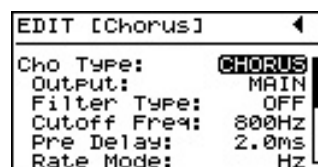
2. CURSOR [▲] / [▼] を押して「3.Effects」を選びます。
3. [ENTER] を押して、エディット画面を表示します。
[F2] を押すと、MFX1 と MFX2 が切り替わります。



「REVERB」の設定画面



「CHORUS」の設定画面



各機能の詳細設定をする（[EDIT]）

- CURSOR [◀] / [▶] で画面を切り替え、CURSOR [▲] / [▼] を押して、設定するパラメーターにカーソルを移動します。
- [INC] / [DEC] を押して値を設定します。
- 設定が終わったら、[EDIT] を押してインジケーターを消灯させます。
トーン画面に戻ります。

マルチエフェクトの設定をする

マルチエフェクトは、音そのものを変化させて、まったく違う種類の音に変える汎用マルチエフェクトです。125 種類のタイプを持ち、その中から目的に合ったものを選んで使います。ディストーション、フランジャーなどの単一のエフェクトで構成されたもの以外にそれらを直列や並列につないだもので、さまざまなタイプが用意されています。また、マルチエフェクトのタイプの中にもリバーブ、コーラスがありますが、後述のリバーブ（P.85）やコーラス（P.85）とは別系統で扱います。

ご注意!

MFX1 と MFX2 を並列にして、同じゾーン内で使うことはできません。

MFX Structure

MFX1 と MFX2 をどのように接続するかを設定します。

パラメーター	設定値	解説
MFX Struct	PARALLEL	並列に接続します。
	SERIAL	直列に接続します。

MFX1/2 Source

RD-700SX では、各パートに割り当てられている各トーンに MFX Type を記憶させておくことができます。ここでは、どのマルチエフェクトの設定を使うかを設定します。

パラメーター	設定値	解説
MFX1/2 Source	FIXED (MFX2 は「OFF」)	トーンを変えてもマルチエフェクトが切り替わらないようにします。 トーンを変えても同じマルチエフェクトをかけておきたいときに便利です。
	UPPER1、UPPER2、LOWER1、LOWER2	選んだゾーンに割り当てられているトーンの MFX Type が有効になります。

ご注意!

MFX Source を FIXED にすると、MFX Dest は ALL PART に固定され、すべてのパートにマルチエフェクトがかかる設定になります。

MFX1 Dest

MFX1 をどのパートにかけるかを設定します。

パラメーター	設定値	解説
MFX1 Dest (Destination)	SOURCE PART	MFX Source で選んだゾーンにだけ MFX1 のマルチエフェクトがかかります。
	SAME MFX	MFX Source で選んだゾーンのマルチエフェクトと同じマルチエフェクト（MFX2 以外）が設定されているパートに、マルチエフェクトがかかります。
	ALL PART	すべてのパートにマルチエフェクトがかかります。

Type

マルチエフェクトのタイプを選びます。125 種類のエフェクトがあります。

パラメーター	設定値
Type	「エフェクト／パラメーター一覧」（P.112）をご覧ください。

メモ

MFX Source の設定が UPPER1、UPPER2、LOWER1、LOWER2 のときは、各パートの音色エディット（Tone info）の MFX Type の設定（P.68）も変わります。

MFX Control

MULTI EFFECTS [CONTROL] つまみでマルチエフェクトのパラメーターをリアルタイムに変化させることができます。ここでは、どのパラメーターを変化させるかを設定します。
変化させることのできるパラメーターは Type に設定されているマルチエフェクトによって異なります。

パラメーター	設定値
C1/2 (MFX Control)	「エフェクト／パラメーター一覧」（P.112）をご覧ください。

マルチエフェクトのその他の設定

マルチエフェクトをさらに細かく設定することができます。マルチエフェクトの Type を選ぶと、それに合わせて個別に設定項目が表示されます。設定できる値は、「エフェクト／パラメーター一覧」（P.112）をご覧ください。

ご注意!

Part Parameter の MFX Switch の設定（P.91）が「OFF」になっているパートには、マルチエフェクトはかかりません。

メモ

マルチエフェクトのタイプによっては、マルチエフェクトをかけたパートの音量を下げると、エフェクトのかかり具合が変わってしまうことがあります。そのような場合は、MFX

パラメーター内のレベル（Level）を調節してください。

ご注意！

Feedback パラメーターの値が最小または最大になっていると、音が鳴り続けることがありますので、ご注意ください。

リバーブの設定をする

リバーブはホールで音を鳴らしているような響きを与えるエフェクトです。6 種類のタイプを持ち、その中から目的のものを選んで使います。

メモ

トーンごとにリバーブのかかり具合を設定することができます（P.68）。

Reverb Type

リバーブの種類を選びます。

リバーブ・タイプを変更すると、リバーブの設定項目が、自動的に最適な値に変更されます。リバーブの設定項目をひとつひとつ設定するより、リバーブ・タイプを先に設定し、その後必要な設定項目だけを変更するほうが、設定が楽にできます。選んだタイプに合わせて、[REVERB] のインジケータの点灯のしかたが変わります。

パラメーター	設定値	解説
Reverb Type	OFF	リバーブをしません。インジケータは点灯しません。
	REVERB	基本的なリバーブです。「HALL」のインジケータが点滅します。
	ROOM	室内での残響を再現したリバーブです。きれいの良い、広がりのある残響が得られます。「ROOM」のインジケータが点灯します。
	HALL	ホールでの残響を再現したリバーブです。Room より奥行き感のある響きが得られます。「HALL」のインジケータが点灯します。
	PLATE	プレート・エコー（金属板の振動を利用したリバーブ）を再現しています。「ROOM」のインジケータが点滅します。
	GM2 REVERB	GM2 のリバーブです。「CATHEDRAL」のインジケータが点滅します。
	CATHEDRAL	教会での残響を再現したリバーブです。「CATHEDRAL」のインジケータが点灯します。

リバーブのその他の設定

リバーブをさらに細かく設定することができます。

Reverb Type を選ぶと、それに合わせて個別に設定項目が表示されます。設定できる値は、P.139 をご覧ください。

コーラス／ディレイの設定をする

コーラスは音に厚みや広がりを与えるエフェクトです。コーラスとして使うか、ディレイとして使うか選ぶことができます。

メモ

トーンごとにコーラスのかかり具合を設定することができます（P.68）。

Chorus Type

コーラスの種類を選びます。

コーラス・タイプを変更すると、コーラスの設定項目が自動的に最適な値に変更されます。コーラスの設定項目をひとつひとつ設定するより、コーラス・タイプを先に設定し、その後必要な設定項目だけを変更するほうが、設定が楽にできます。選んだタイプに合わせて、[CHORUS/DELAY] のインジケータの点灯のしかたが変わります。

パラメーター	設定値	解説
Chorus Type	OFF	コーラス／ディレイをしません。インジケータは点灯しません。
	CHORUS	基本的なコーラスです。「CHORUS」のインジケータが点灯します。
	DELAY	基本的なディレイです。「DELAY」のインジケータが点灯します。
	GM2 CHORUS	GM2 のコーラスです。「CHORUS」のインジケータが点滅します。

出力先を選ぶ（OUTPUT SELECT）

コーラス音の出力のしかたを選びます。

パラメーター	設定値	解説
Output	MAIN	コーラス音がリバーブを通らずに出力されます。リバーブをかけないコーラス音とリバーブ音がミックスされてます。
	REVERB	コーラス音にリバーブをかけた音が出力されます。
	MAIN+ REVERB	リバーブをかけないコーラス音とリバーブをかけたコーラス音がミックスされます。

コーラスのその他の設定

コーラス／ディレイをさらに細かく設定することができます。

Chorus Type を選ぶと、それに合わせて個別に設定項目が表示されます。設定できる値は、P.138 をご覧ください。

各機能の詳細設定をする（[EDIT]）

サウンド・コントロールの設定 (Sound Control)

最終出力にかかるステレオ・コンプレッサー（リミッター）です。

高域／中域／低域ごとに独立して、指定した音量レベルよりも大きな音を圧縮し、音量のばらつきを抑えます。

設定のしかた

1. [EDIT] を押して、インジケータを点灯させます。

エディット・メニュー画面が表示されます。



2. CURSOR [▲] / [▼] を押して「4.Sound Control」を選びます。

3. [ENTER] を押して、エディット画面を表示します。



4. CURSOR [▲] を押して「Type」を選びます。
5. [INC] / [DEC] を押してコンプレッサーの種類を設定します。
6. CURSOR [◀] / [▶] で、画面を切り替え、CURSOR [▲] / [▼] を押して、設定するパラメーターにカーソルを移動します。
パラメーターによっては、[F2 (L-M-H)] を押して、低域／中域／高域を選びます。
7. [INC] / [DEC] を押して値を設定します。
8. 設定を保存したいときは、[F1 (WRITE)] を押します。
Sound Control Type の「USER」に設定が書き込まれます。
9. 設定が終わったら、[EDIT] を押してインジケータを消灯させます。
トーン画面に戻ります。

メモ

保存された設定は、電源を切っても失われません。

コンプレッサーの種類を選ぶ (Sound Control Type)

この設定値を変更すると、サウンド・コントロールの他の設定項目が自動的に最適な値に変更されます。サウンド・コントロール・タイプを先に設定し、その後必要な設定項目だけを変更すると、設定が楽にできます。

パラメーター	設定値	解説
Type (Sound Control Type)	HARD COMP	強めのコンプレッサーをかけます。
	SOFT COMP	弱めのコンプレッサーをかけます。
	LOW BOOST	低域を増強します。
	MID BOOST	中域を増強します。
	HI BOOST	高域を増強します。
	USER	保存した設定が書き込まれます。

コンプレッサーの詳細を設定する

パラメーター	設定値	解説
Split Freq L	200、250、315、400、500、630、800 [Hz]	低域（Lo）と中域（MID）の帯域分割周波数
Split Freq H	2000、2500、3150、4000、5000、6300、8000 [Hz]	高域（HI）と中域（MID）の帯域分割周波数
Level	0 ～ 24dB (1dB/1Step)	出力音量
Attack Time	0 ～ 100ms	THRESHOLD を超える入力があったときに、音量を圧縮するまでの時間
Release Time	50 ～ 5000ms	圧縮がかかっている状態から、入力が THRESHOLD より小さくなったときに、圧縮をやめるまでの時間
Threshold	Value: -36dB ～ 0dB (1dB/1step)	圧縮を始める音量レベル
Ratio	1:1.0、1:1.1、1:1.2、1:1.4、1:1.6、1:1.8、1:2.0、1:2.5、1:3.2、1:4.0、1:5.6、1:8.0、1:16、1:INF	圧縮比

ファイルの管理 (File Utility/USB)

RD-700SX にはメモリーがあり、RD-700SX のセットアップの設定を保存することができます。また、USB ケーブルで接続したコンピューターにファイルを保存したり、コンピューターからファイルを読み込むときなどに使います。

参照

USB を使ったセットアップ・ファイルの管理については、P.105 をご覧ください。

セットアップ・ファイルをメモリーに保存する (Save SETUP File)

RD-700SX に登録された 100 個のセットアップをまとめて 1 つのファイルにしたものを、「セットアップ・ファイル」といいます。

このセットアップ・ファイルを、メモリーに保存します。

メモ

メモリーに保存したセットアップ・ファイルは、USB ケーブルで接続したコンピューターに保存することができます (P.105)。

メモ

変更したシステム・パラメーター (P.88) の値も保存したいときは、[F1 (WRITE)] を押して保存してからセットアップ・ファイルを保存してください。

1. [EDIT] を押して、インジケーターを点灯させます。

エディット・メニュー画面が表示されます。



2. CURSOR [▲] / [▼] で「5.File Utility/USB」を選び、[ENTER] を押します。

エディット画面が表示されます。



3. CURSOR [▲] / [▼] で「0. SAVE SETUP File」を選び、[ENTER] を押します。

次のような画面が表示されます。



4. CURSOR [◀] / [▶] で文字を入力したい位置にカーソルを動かします。

5. [INC] / [DEC] を押して、名前を入力します。

名前は 16 文字以内で入力することができます。

選べる文字は以下の通りです。

スペース、!#\$%&'()+,-.0~9;=@A~Z[]^_`a~z{}~

また、[F1] を押すと 1 文字削除し、[F2] を押すと 1 文字空白が入ります。

ご注意!

「.(ドット)」から始まるセットアップ・ファイルは保存できません。名前の頭に「.(ドット)」を使わないでください。

6. 操作 4 から 5 を繰り返して、名前を入力します。

7. ファイル名の入力が終わったら、[ENTER] を押します。

セットアップ・ファイルがメモリーに保存されます。

ご注意!

保存している間は「Saving...」と表示されます。決して電源を切らないでください。

メモ

すでに同じ名前のファイルが保存されているときは、「Overwrite OK?」と確認のメッセージがあらわれます。ファイルを上書きするときは [ENTER] を、違うファイル名で保存し直すときは [EXIT] を押してください。

8. [EDIT] を押してインジケーターを消灯させます。

トーン画面に戻ります。

各機能の詳細設定をする ([EDIT])

セットアップ・ファイルをメモリから呼び出す (Load SETUP File)

メモリに保存したセットアップ・ファイルを呼び出します。

ご注意!

セットアップ・ファイルを呼び出すと、現在のセットアップ・ファイルは消えてしまいます。大切な設定は、あらかじめメモリに保存してください (P.87)。

1. [EDIT] を押して、インジケータを点灯させます。
エディット・メニュー画面が表示されます。



2. CURSOR [▲] / [▼] で「5.File Utility/USB」を選び、[ENTER] を押します。
エディット画面が表示されます。



3. CURSOR [▲] / [▼] で「1. Load SETUP File」を選び、[ENTER] を押します。
次のような画面が表示されます。



4. システムパラメーターの設定も読み込むときは、[F2 (System)] を押してチェックボックスにチェックします。

メモ

システムパラメーターとは

- エディットの「1. System」の設定 (P.76)
- エディットの「4. Sound Control」の設定 (P.86)
- エディットの「8. V-Link」の設定 (P.96)
- フェイバリット・セットアップの設定 (P.55)
- ワンタッチ・ピアノ、ワンタッチ・E.ピアノ (P.70) の設定

ご注意!

システムパラメーターは、[F1 (WRITE)] を押して設定を RD-700SX に記憶してから保存されたセットアップ・ファイルのみに記憶されています。

5. CURSOR [▲] / [▼] で呼び出したいファイルを選び、[ENTER] を押します。
確認のメッセージが表示されます。



ファイルの呼び出しをやめるときは、[EXIT] を押します。

6. もう一度 [ENTER] を押して、ファイルを読み込みます。
ファイルが RD-700SX に読み込まれます。

ご注意!

読み込みの途中では、決して電源を切らないでください。

メモ

RD-700SX では表示できない文字が使われているファイルを読み込むと、「?」と表示されます。

7. [EDIT] を押してインジケータを消灯させます。
トーン画面に戻ります。

ファイルをメモリから削除する (File Delete)

メモリに保存されたセットアップ・ファイルや、コンピュータから読み込んだソング・データを削除します。

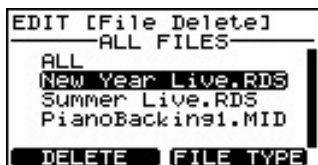
1. [EDIT] を押して、インジケータを点灯させます。
エディット・メニュー画面が表示されます。



2. CURSOR [▲] / [▼] で「5.File Utility/USB」を選び、[ENTER] を押します。
エディット画面が表示されます。



3. CURSOR [▲] / [▼] で「2. File Delete」を選び、[ENTER] を押します。
次のような画面が表示されます。



4. [F2 (FILE TYPE)] を押して、削除するファイルのタイプを選びます。
[F2] を押すごとに、タイプが切り替わります。

パラメーター	設定値	解説
File Type	ALL FILES	すべてのファイル
	SETUP FILES	セットアップ・ファイル
	SMF	スタンダードMIDI ファイル

5. CURSOR [▲] / [▼] を押して、削除したいファイルを選びます。
6. [F1 (DELETE)] を押します。
確認のメッセージが表示されます。



ファイルの削除をやめるときは、[EXIT] を押します。

7. [ENTER] を押して、ファイルを削除します。
8. [EDIT] を押してインジケータを消灯させます。
トーン画面に戻ります。

各機能の詳細設定をする（[EDIT]）

内部パートの MIDI 受信の設定 (Part Parameter)

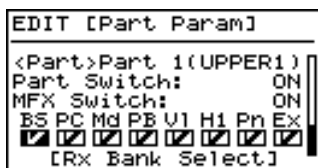
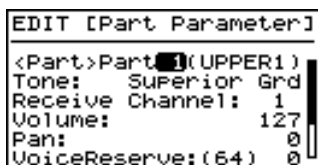
RD-700SX の内部で内蔵音源をコントロールする 16 個のパートのことを「内部パート (Internal Part)」と呼びます。
外部 MIDI 機器にシーケンサーなどを接続しているときは、内部パートに受信チャンネルを割り当てることで、外部 MIDI 機器から MIDI 情報を受信して、内部パートをコントロールすることができます。
パートごとに MIDI 情報の受信のしかたを設定します。

設定のしかた

1. [EDIT] を押して、インジケーターを点灯させます。
エディット・メニュー画面が表示されます。



2. CURSOR [▲] / [▼] を押して「6.Part Parameter」を選びます。
3. [ENTER] を押して、エディット画面を表示します。



4. CURSOR [▲] / [▼] を押して、設定するパラメーターにカーソルを移動します。
5. [INC] / [DEC] を押して値を設定します。
6. 設定が終わったら、[EDIT] を押してインジケーターを消灯させます。
トーン画面に戻ります。

設定するパート、音色を選ぶ (Part/Tone)

設定するパートを選びます。

パラメーター	設定値
Part	1 ~ 16 INTERNAL ゾーンが割り当てられているパートは、パート名の後に (UPPER1) のように表示されます。
Tone	Part で選んだパートに割り当てられているトーンが表示されます。 TONE SELECT ボタンを使ってトーンを選ぶこともできます。 Tone について詳しくは、「トーン一覧」(P.140) をご覧ください。

受信チャンネルを設定する (Receive Channel)

外部 MIDI 機器の MIDI 情報で RD-700SX を鳴らすときは、RD-700SX の各パートの受信チャンネルと外部 MIDI 機器の送信チャンネルを合わせます。

パラメーター	設定値
Receive Channel	1 ~ 16

音量／パンを設定する (Volume / Pan)

各パートの音量と定位（パン）を設定します。
音量の設定は、主に複数のトーンを鳴らしているときに、パート間の音量バランスをとるために使います。
パンの設定は、ステレオ出力するときの、各パートの音像の定位です。L の数字が大きくなるほど左から音が聞こえます。R の数字が大きくなるほど、右から音が聞こえます。0 にすると、中央から音が聞こえます。

パラメーター	設定値
Volume	0-127
Pan	L64 ~ 0 ~ R63

必要な発音数を設定する (Voice Reserve)

RD-700SX の最大同時発音数（音源が同時に発音できる音数）は 128 音（ボイス）です。
128 ボイスを越える発音数で演奏された場合に、各パートが確保するボイス数を設定します。例えば、パート 1 のボイス・リザーブを 6 に設定した場合、128 音を越えたときでもパート 1 の音数は必ず 6 音まで確保されます。
ボイス・リザーブの設定は、パートごとに設定することができます。

パラメーター	設定値
Voice Reserve	0 ～ 64 () の値は設定できる残りのボイス数です。 各パートの設定値の合計が 64 を越えることはできません。

パートを鳴らさないようにする (Part Switch)

パートのオン／オフを設定します。

パラメーター	設定値
Part Switch	ON、OFF

エフェクトのオン／オフを設定する (MFX Switch)

マルチエフェクトをかけるか (ON)、かけないか (OFF) を設定します。

例えば、MFX Dest 設定 (P.84) を「ALL」にしているとき (すべてのパートにマルチエフェクトがかかる)、この設定を「OFF」にしたパートにはマルチエフェクトがかかりません。

パラメーター	設定値
MFX Switch	OFF、ON

外部 MIDI コントローラーの MIDI 情報を受ける／受けないを設定する

外部 MIDI 機器のモジュレーション・レバー、ペダル、つまみなどを動かしたときの MIDI メッセージを受信して RD-700SX の音色を変化させることができます。

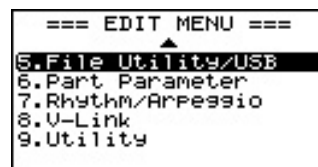
以下の MIDI メッセージを受信するか (ON)、受信しないか (OFF) をパートごとに設定できます。

パラメーター	解説	設定値
BS	Rx.Bank Select	ON、OFF
PC	Rx.Program Change	
Md	Rx.Modulation	
PB	Rx.Pitch Bend	
VI	Rx.Volume	
H1	Rx.Hold-1	
Pn	Rx.Pan	
Ex	Rx.Expression	

リズム、アルペジエーターの設定 (Rhythm/Arpeggio)

設定のしかた

1. [EDIT] を押して、インジケータを点灯させます。
エディット・メニュー画面が表示されます。



2. CURSOR [▲] / [▼] を押して「7.Rhythm/Arpeggio」を選びます。
3. [ENTER] を押して、エディット画面を表示します。



4. CURSOR [◀] / [▶] を押して、画面を切り替えます。
5. CURSOR [▲] / [▼] を押して、設定するパラメーターにカーソルを移動します。
6. [INC] / [DEC] を押して値を設定します。
7. 設定が終わったら、[EDIT] を押してインジケータを消灯させます。
トーン画面に戻ります。

リズムの設定をする

RD-700SXには、ジャズやロックなどさまざまな音楽ジャンルのドラム・パターンを内蔵しています。このドラム・パターンのことを「リズム」といいます。

参照

「リズムを鳴らす（[RHYTHM/SONG]）」（P.46）

テンポを変える（Tempo）

リズムのテンポを設定します。

ご注意！

RD-700SXのテンポ設定はひとつです。この設定を変えると、トーン画面のテンポ表示や、ソング、アルペジエーターのテンポ設定（P.94）も変わります。

パラメーター	設定値
Tempo	10～250

メモ

リズムのパターンによっては、鳴り方とテンポ表示が異なる場合があります。

メモ

Clock Source（P.78）がMIDIのときは「M：」と表示され、外部MIDI機器のテンポに同期します。「M：」と表示されているときは、RD-700SXでテンポを変えることはできません。

音量を設定する（Rhythm Volume）

リズムの音量を設定します。

パラメーター	設定値
Volume	0～127

パターンを変える（Rhythm Pattern）

リズムのパターンを設定します。185種類の中から選びます。

パラメーター	設定値
Patr	「リズム・パターン一覧」（P.147）をご覧ください。

メモ

リズムのパターンは、「ソング／リズム／アルペジオ画面」でも変更することができます（P.47）。

リズム・セットを変える（Rhythm Set）

リズムのリズム・セット（ドラムやパーカッションの音色セット）を変えることができます。

パラメーター	設定値
Rhy Set	「リズム・セット一覧」（P.143）をご覧ください。

メモ

リズム・セット以外のトーンを選ぶこともできます。

メモ

この設定を変えると、パート10のトーンも変わります。また、Rhythm Set Changeがオフになります。

ご注意！

選ぶリズム・セットによっては、リズムが正しく鳴らないことがあります。

パターンを変えてもドラム・セットを変えない（Rhythm Set Change）

各リズム・パターンは、それぞれのリズムに最適なリズム・セットが割り当てられています。リズム・パターンを変えると、リズム・セットも切り替わり、音色が変わりますが、この設定をOFFにすると、リズム・セットを変えずに固定にします。

パラメーター	設定値	解説
Rhy Set Change	ON	リズム・パターンを変えると、リズム・セットも変わります。
	OFF	リズム・パターンを変えても、リズム・セットは変わりません。

アクセントの強さを変える（Rhythm Accent）

アクセントの強さを変えて、演奏のグルーブ感を変化させます。100%のときに最もグルーブ感が出ます。

パラメーター	設定値
Rhy Accent	0～100%

拍子と跳ねかたを変える (Rhythm/Arpeggio Grid)

リズムやアルペジオを構成する音符の最小単位と、ゆらぎ加減（無／弱／強）を設定します。

ご注意

Grid の設定はアルペジエーターでの設定と共通です。

パラメーター	設定値	解説
Rhy/Arp Grid	1/4 :	4 分音符（グリッド 1 個 = 1 拍）
	1/8 :	8 分音符（グリッド 2 個 = 1 拍）
	1/8L :	弱いシャッフルの 8 分音符（グリッド 2 個 = 1 拍、弱く跳ねさせる）
	1/8H :	強いシャッフルの 8 分音符（グリッド 2 個 = 1 拍、強く跳ねさせる）
	1/12 :	8 分 3 連符（グリッド 3 個 = 1 拍）
	1/16 :	16 分音符（グリッド 4 個 = 1 拍）
	1/16L :	弱いシャッフルの 16 分音符（グリッド 4 個 = 1 拍、弱く跳ねさせる）
	1/16H :	強いシャッフルの 16 分音符（グリッド 4 個 = 1 拍、強く跳ねさせる）
	1/24 :	16 分 3 連符（グリッド 6 個 = 1 拍）

発音をスタッカート／テヌート気味にする (Rhythm/Arpeggio Duration)

音を短く切ってスタッカート気味に鳴らすか、十分に伸ばしてテヌート気味に鳴らすかを設定します（デュレーション）。

ご注意

Duration の設定はアルペジエーターでの設定と共通です。

パラメーター	設定値	解説
Rhy/Arp Duration	30、40、50、60、70、80、90、100、120 (%)	例：設定値が 30 のときは、音の長さが、設定されている音符いっぱいに伸ばしたときの 30% になります。
	Full	タイでつながられていなくても、次の音が鳴るまで音が持続します。

MIDI 出力する端子を選ぶ (Rhythm MIDI Out Port)

リズム・パートをどちらの MIDI 端子から出力するかを設定します。

ご注意

この設定を変えると、ソングの MIDI 出力の設定も変わります。

パラメーター	設定値
MIDI Out Port	ALL、INT (INTERNAL)、 1 (MIDI OUT1)、 2 (MIDI OUT2)、USB

MIDI 出力するチャンネルを選ぶ (Rhythm MIDI Out Channel)

リズム・パートを MIDI 出力するときのチャンネルを設定します。

パラメーター	設定値
MIDI Out Channel	OFF、1 ～ 16

各機能の詳細設定をする（[EDIT]）

アルペジエーターの設定をする

和音（コード）を弾くだけで、その構成音に従ってアルペジオ（分散和音）演奏をすることができる機能を「アルペジエーター」といいます。

アルペジオのテンポや音域など、より細かい設定を行うことができます。



メモ

アルペジエーターのオン／オフについては、「アルペジオ演奏をする（[ARPEGGIO]）」（P.44）をご覧ください。

テンポを変える（Tempo）

アルペジオ演奏の速さを設定します。

ご注意！

RD-700SX のテンポ設定はひとつです。この設定を変えると、トーン画面のテンポ表示や、リズムのテンポ設定（P.92）も変わります。

パラメーター	設定値
Tempo	10 ～ 250

メモ

アルペジオのスタイルによっては、鳴り方とテンポ表示が異なる場合があります。

メモ

Clock Source（P.78）がMIDIのときは「M：」と表示され、外部MIDI機器のテンポに同期します。「M：」と表示されているときは、RD-700SXでテンポを変えることはできません。

アルペジオのスタイルを選ぶ（Arpeggio Style）

アルペジオのスタイルを設定します。

パラメーター	設定値
Style	「アルペジオ・スタイル一覧」（P.146）

音の鳴る順番をかえる（Arpeggio Motif）

押さえた鍵の鳴る順番を以下の中から設定します。

パラメーター	設定値	解説
Motif	UP（L）	押さえたキーの低い方から順番に、1音ずつ鳴ります。押さえたキーの一番低い音は毎回鳴ります。
	UP（L&H）	押さえたキーの低い方から順番に、1音ずつ鳴ります。押さえたキーの一番低い音と一番高い音は毎回鳴ります。
	UP（）	押さえたキーの低い方から順番に、1音ずつ鳴ります。毎回必ず鳴る音はありません。
	DOWN（L）	押さえたキーの高い方から順番に、1音ずつ鳴ります。押さえたキーの一番低い音は毎回鳴ります。
	DOWN（L&H）	押さえたキーの高い方から順番に、1音ずつ鳴ります。押さえたキーの一番低い音と一番高い音は毎回鳴ります。
	DOWN（）	押さえたキーの高い方から順番に、1音ずつ鳴ります。毎回必ず鳴る音はありません。
	UP&DOWN（L）	押さえたキーの低い方から高い方へ、さらに折り返して低い方へ順番に、1音ずつ鳴ります。押さえたキーの一番低い音は毎回鳴ります。
	UP&DOWN（L&H）	押さえたキーの低い方から高い方へ、さらに折り返して低い方へ順番に、1音ずつ鳴ります。押さえたキーの一番低い音と一番高い音は毎回鳴ります。
	UP&DOWN（）	押さえたキーの低い方から高い方へ、さらに折り返して低い方へ順番に、1音ずつ鳴ります。毎回必ず鳴る音はありません。
	RANDOM（L）	押さえたキーの音がランダム（無作為）に、1音ずつ鳴ります。押さえたキーの一番低い音は毎回鳴ります。
	RANDOM（）	押さえたキーの音がランダム（無作為）に、1音ずつ鳴ります。毎回必ず鳴る音はありません。
	PHRASE	押さえたキーの音程を基準にフレーズが鳴ります。複数のキーを押したときは、最後に押されたキーの音程で鳴ります。

ご注意！

アルペジオのスタイルによっては、思ったような効果が得られないことがあります。

アルペジオ演奏するゾーンを選ぶ (Arpeggio Zone)

複数のトーンで演奏しているとき (P.35)、どのゾーンでアルペジオ演奏するかを設定します。

パラメーター	設定値
Arp Zone	UPPER1、UPPER2、LOWER1、LOWER2、ALL

アルペジオ演奏する鍵域を設定する (Arpeggio Key Range)

アルペジオ演奏をするゾーンでは、通常の演奏はできなくなりますが、鍵域をわけて、アルペジオ演奏する鍵域を指定しておけば、鍵盤左側でアルペジオ演奏の伴奏をつけ、右側でメロディーを弾くことができます。

アルペジオする鍵域の一番左の鍵と、右の鍵を指定します。

パラメーター	設定値
Key Range	A0 ~ C8

音の強さを一定にする (Arpeggio Velocity)

鍵盤を弾いたときの音の強さを設定します。

パラメーター	設定値	解説
Arp Velocity	REAL	実際の鍵盤タッチの強さを再現します。
	1 ~ 127	鍵盤タッチに関わらず設定した値で一定の強さになります。

メモ

Arpeggio Velocity を「REAL」以外の値に設定しても、Arpeggio Style や Arpeggio Accent の値に応じて音の強さが変化します。

Rhythm/Arpeggio Grid

P.93 をご覧ください。

Rhythm/Arpeggio Duration

P.92 をご覧ください。

アクセントの強さを変える (Arpeggio Accent)

アクセントの強さを変えて、演奏のグルーブ感を変化させます。100% のときに最もグルーブ感が出ます。

パラメーター	設定値
Arp Accent	0 ~ 100%

アルペジオの音域を変える (Arpeggio Octave Range)

アルペジオ演奏をする音域をオクターブ単位で設定します。

弾いた鍵の音だけで演奏したいときは 0 にします。

弾いた和音とその 1 オクターブ上の音で演奏するときは +1 に、弾いた和音とその 1 オクターブ下の音で演奏するときは -1 に設定します。

パラメーター	設定値
Arp Octave Range	-3 ~ +3

鍵盤から指を離してもアルペジオ演奏を 続ける (Arpeggio Hold)

ホールドの設定をオンにしておくと、鍵盤から指を離してもアルペジオを演奏し続けることができます。

パラメーター	設定値	解説
Arp Hold	ON	鍵盤から指を離してもアルペジオ演奏を続けます。
	OFF	鍵盤から指を離すと、アルペジオ演奏が止まります。

メモ

ホールド (Arpeggio Hold) の設定が ON になっているときは、[ARPEGGIO] のインジケーターは点滅しています。

ボタンでホールドのオン/オフを切り替える

エディット画面を表示していないときでも、ボタン操作でホールドのオン/オフを切り替えることができます。

- [ARPEGGIO] を押しながら [CONTROL/ZONE LEVEL] を押します。

ボタンを押すごとにホールドのオン/オフが切り替わります。

各機能の詳細設定をする（[EDIT]）

V-LINK を使う（V-Link）

V-LINK（**V-LINK**）は、音楽と映像を演奏するための機能です。V-LINK 対応のビデオ機器を使うことにより、演奏表現に連動したさまざまな映像効果が簡単に楽しめます。

（例）

RD-700SX と Edirol DV-7PR との組み合わせでは、

- RD-700SX から、Edirol DV-7PR の演奏に必要な情報を遠隔設定できます。
- RD-700SX の鍵盤で、Edirol DV-7PR の映像（クリップ／パレット）の切り替えができます。

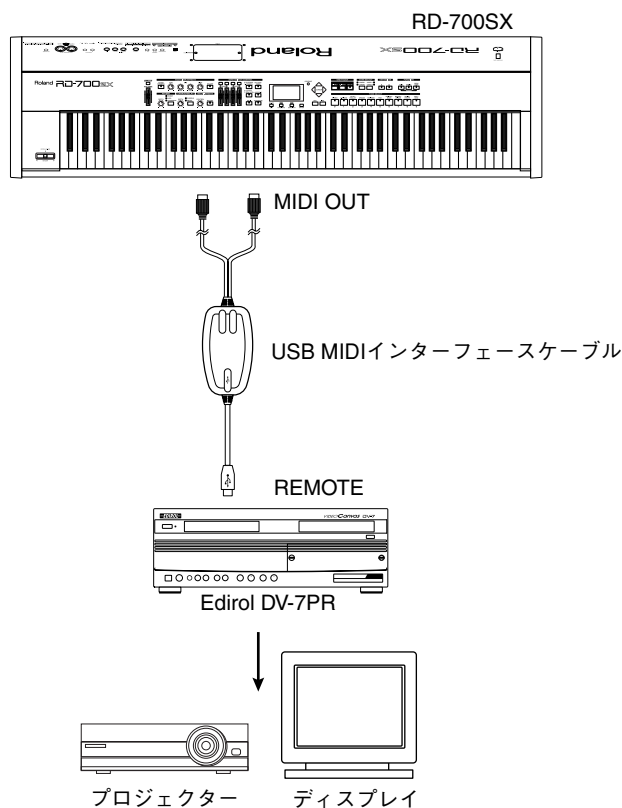
※ RD-700SX と Edirol DV-7PR で V-LINK を楽しむには、接続に市販の USB MIDI インターフェースが必要です。

接続例

RD-700SX の MIDI OUT 端子と Edirol DV-7PR のリモート端子を USB MIDI インターフェースケーブルを使って接続します。

ご注意！

接続するときは、誤動作やスピーカーなどの破損を防ぐため、必ずすべての機器の音量を絞り、電源を切った状態で行ってください。



V-Link をオン／オフする

1. [V-LINK] を押して、ランプを点灯されます。

[V-LINK] が点灯し、V-Link の設定がオンになります。

[V-LINK] を点灯させて、RD-700SX の鍵盤を弾くと、演奏に合わせて映像をコントロールすることができます。

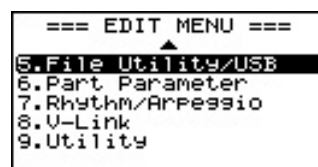
2. もう一度 [V-LINK] を押します。

[V-LINK] が消灯し、V-Link の設定がオフになります。

V-LINK の設定

1. [EDIT] を押して、インジケータを点灯させます。

エディット・メニュー画面が表示されます。



2. CURSOR [▲] / [▼] を押して「8.V-Link」を選びます。

3. [ENTER] を押して、エディット画面を表示します。



4. CURSOR [▲] / [▼] を押して、設定するパラメーターにカーソルを移動します。

5. [INC] / [DEC] を押して値を設定します。

6. [EXIT] を押します。

元の画面に戻ります。

メモ

設定を保存したいときは、[F1（WRITE）] を押します。保存された設定は、電源を切っても失われません。

ご注意！

RD-700SX は、Edirol DV-7PR のデュアル・ストリーム・モードには対応していません。

V-Link の詳細を設定する

V-Link Mode

出力する MIDI メッセージの種類を選びます。

パラメーター	設定値	解説
V-Link Mode	BANK/PC	白鍵で PC (Clip)、黒鍵で Bank Select (Pallet) を出力
	NOTE	NOTE 情報を出力

V-Link Tx Channel

出力するメッセージの MIDI チャンネルを選びます。

パラメーター	設定値
V-Link Tx Channel	1 ～ 16

V-Link OUT Port

メッセージを出力する端子を選びます。

パラメーター	設定値
V-Link OUT Port	ALL、OUT1、OUT2、USB

Key Range

V-Link のコントローラーとして使う鍵盤の範囲を選びます。

パラメーター	設定値
Key Range	A0 ～ C8

Lowest No

Key Range で設定した範囲のうち、最も低い鍵盤を押したときに出力される番号を指定します。

パラメーター	設定値	解説
Lowest No	1 ～ 128	V-Link Mode が BANK/PC のとき
	0 ～ 127	V-Link Mode が NOTE のとき

Local ON/OFF

Key Range で設定した範囲の鍵盤を押したときに、RD-700SX の音が鳴るか鳴らないかを設定します。

1. エディットの V-Link 画面で [F2] を押すたびにオン、オフが切り替わります。

パラメーター	設定値	解説
Local ON/OFF	LOCAL OFF	Key Range で設定した範囲の鍵盤を押しても、音が鳴りません。
	LOCAL ON	Key Range で設定した範囲の鍵盤を押すと、音が鳴ります。

その他の機能（Utility）

ユーティリティには、外部 MIDI シーケンサーなどへデータを転送する機能や、各設定を工場出荷時の状態に戻す機能があります。

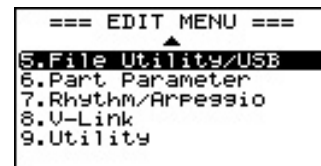
メモ

ユーティリティ「Rec Setting」については「録音するときの設定（Rec Setting）」（P.101）をご覧ください。

本体の設定を外部 MIDI 機器に転送する（バルク・ダンプ）

セットアップの内容やシステム設定を外部 MIDI 機器に転送することができます。このような操作をバルク・ダンプといいます。もう 1 台同じ設定の RD-700SX を接続して演奏したいときや、セットアップやシステムの設定が壊れたときに備えて、あらかじめデータを外部 MIDI 機器に保存しておくときに使います。

1. 本体の MIDI OUT 端子と外部シーケンサーの MIDI IN 端子を、MIDI ケーブル（別売）で接続します。
2. [EDIT] を押して、インジケータを点灯させます。
エディット・メニュー画面が表示されます。



3. CURSOR [▼] を押して「9.Utility」を選びます。
4. [ENTER] を押して、エディット画面を表示します。



5. CURSOR [▲] / [▼] を押して、「1. Bulk Dump Temporary」または「2. Bulk Dump SETUP」を選びます。

パラメーター	解説
Bulk Dump Temporary	現在選んでいるセットアップの内容を送信します。
Bulk Dump SETUP	指定した範囲内のセットアップの内容を送信します。

各機能の詳細設定をする（[EDIT]）

Bulk Dump Temporary のとき

6. [ENTER] を押します。

次のような画面が表示されます。

```
Bulk DUMP Temporary
Temporary SETUP is
[RD SETUP ]
Send OK?
```

7. 外部シーケンサーを録音状態にします。

8. [ENTER] を押すと、設定の送信を始めます。

送信中は「Now, Executing...」と表示されます。

9. 送信が終わると、ディスプレイに「Complete！」と表示されます。

エディット画面に戻ります。

10. 外部シーケンサーを停止させます。

Bulk Dump SETUP のとき

6. [ENTER] を押します。

次のような画面が表示されます。

```
Bulk DUMP SETUP
From: [ 1 ]
To: 100
Send System: YES
Send OK?
```

パラメーター	解説
From	送信する先頭のセットアップ・ナンバー
To	送信する末尾のセットアップ・ナンバー
Send System	システム設定を送信する（YES）しない（NO）

7. CURSOR [▲] / [▼] と [DEC]、[INC] で送信するセットアップを設定してください。

8. 外部シーケンサーを録音状態にします。

9. [ENTER] を押すと、設定の送信をはじめます。

バルク・ダンプを中止するときは、[EXIT] を押します。

次のような画面が表示されます。

```
Bulk DUMP SETUP
Now Executing..
1 / 100
To cancel.
Press[EXIT]
```

10. 送信が終わると、ディスプレイに「Complete！」と表示されます。

エディット画面に戻ります。

11. 外部シーケンサーを停止させます。

保存した設定を RD-700SX に戻す

外部シーケンサーで保存した設定を RD-700SX に戻すときは、外部シーケンサーからエクスクループ情報を送信し、RD-700SX で受信します。

ご注意！

本体に「Bulk Dump SETUP」のデータを戻すと、本体に記憶されていたデータは上書きされ、失われてしまいますのでご注意ください。

1. 外部シーケンサーのMIDI OUT端子と本体のMIDI IN端子を、MIDI ケーブルで接続します。

2. デバイス ID ナンバーをバルク・ダンプのときと同じ設定にします。

メモ

デバイス ID ナンバーの設定→「デバイス ID ナンバーを設定する（Device ID）」（P.78）

3. [EDIT] のインジケーターが消灯していることを確認します。

[EDIT] のインジケーターが点灯しているときは、[EDIT] を押してインジケーターを消灯させ、通常の演奏状態にしてください。

4. 外部シーケンサーから設定を送信（再生）します。

ご注意！

Bulk Dump SETUP のデータは、再生後、RD-700SX が受信したデータを内部メモリーに書き込みます。データの書き込み中（「Now, writing Bulk Dump Data. Keep on POWER!」表示中）は、決して電源を切らないでください。

メモ

エクスクループ情報の送信のしかたは、お使いの外部シーケンサーの取扱説明書をご覧ください。

ご注意！

外部シーケンサーは、バルク・ダンプのときと同じテンポで再生してください。それよりも速いテンポで再生すると、設定を正しく戻せないことがあります。

ご注意！

バルク・ダンプしたときのデバイス ID と、受け側のデバイス ID が異なる場合は受信できません。

設定を工場出荷時の状態に戻す (ファクトリー・リセット)

RD-700SX に記憶した設定を工場出荷時の設定に戻すことができます。

ご注意!

「Factory Reset All」を実行すると、セットアップ (P.55) の設定が失われます。記憶させた内容を残しておきたい場合は、セットアップ・ファイルをコンピューターに保存する (P.87) か、「バルク・ダンプ (Bulk Dump SETUP)」で外部シーケンサーに保存してください (P.97)。

ご注意!

USB 接続をしている場合は、必ず USB ケーブルを抜いてから実行してください。

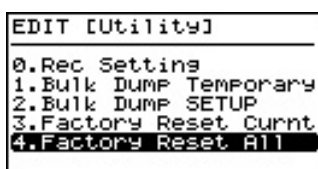
1. [EDIT] を押して、インジケータを点灯させます。

エディット・メニュー画面が表示されます。



2. CURSOR [▼] を押して「9.Utility」を選びます。

3. [ENTER] を押して、エディット画面を表示します。



4. CURSOR [▲] / [▼] を押して、「3. Factory Reset Curnt (Current)」または「4. Factory Reset All」を選びます。

パラメーター	解説
Factory Reset Curnt	現在選んでいるセットアップを工場出荷時の設定に戻します。
Factory Reset All	RD-700SX のすべての設定を工場出荷時の設定に戻します。

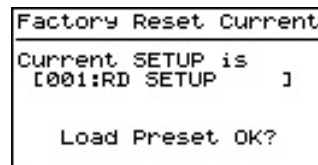
ご注意!

Factory Reset の操作中は鍵盤を弾いても音が鳴らなくなります。また、演奏中のリズムやアルペジオも止まります。

Factory Reset Current のとき

5. [ENTER] を押します。

次のような画面が表示されます。



ご注意!

選ばれているセットアップが「000」のときは、ONE TOUCH [PIANO] と [E. PIANO] の設定を初期状態にします。

6. [ENTER] を押します。

確認のメッセージが表示されます。

ファクトリー・リセットを中止するときは、[EXIT] を押します。

7. もう一度 [ENTER] を押すと、ファクトリー・リセットが実行されます。

ご注意!

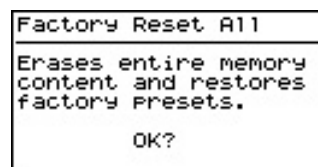
実行中は「EXECUTING... DON'T POWER OFF」と表示されます。決して電源を切らないでください。

8. ファクトリー・リセットが終わると、ユーティリティ画面に戻ります。

Factory Reset All のとき

5. [ENTER] を押します。

次のような画面が表示されます。



6. [ENTER] を押します。

確認のメッセージが表示されます。

ファクトリー・リセットを中止するときは、[EXIT] を押します。

7. もう一度 [ENTER] を押すと、ファクトリー・リセットが実行されます。

ご注意!

実行中は「EXECUTING... DON'T POWER OFF」と表示されます。決して電源を切らないでください。

8. ファクトリー・リセットが終わると、ユーティリティ画面に戻ります。

メモ

外部 MIDI 機器との接続

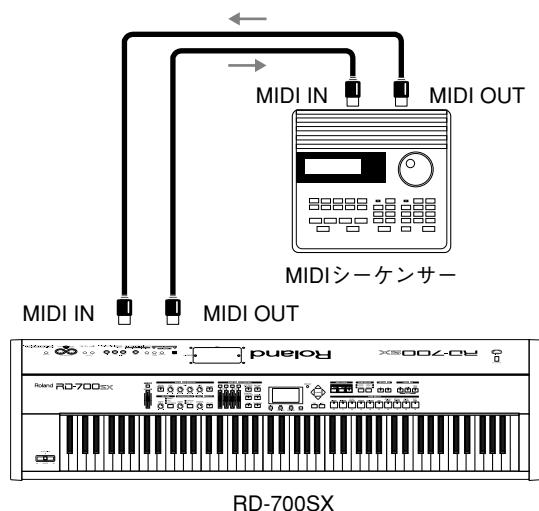
RD-700SX の演奏を外部 MIDI シーケンサーに録音する

外部シーケンサーを使って、複数のトラックに演奏を重ねて録音したり、録音した演奏を再生してみましょう。

外部シーケンサーと接続する

ご注意!

他の機器と接続するときは、誤動作やスピーカなどの破損を防ぐため、必ずすべての機器の音量を絞った状態で電源を切ってください。



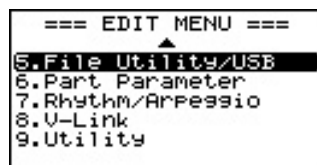
1. 接続を始める前に、すべての機器の電源がオフになっていることを確認します。
2. 「外部機器と接続する」(P.19) に従って、オーディオ機器またはヘッドホンなどを接続します。
3. 図のように、RD-700SX、外部 MIDI 機器を MIDI ケーブルで接続します。
4. 「電源を入れる」(P.21) に従って、各機器の電源を入れます。

録音するときの設定 (Rec Setting)

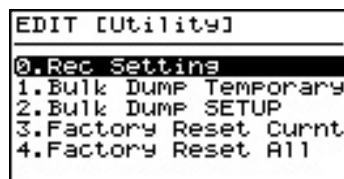
外部シーケンサーに録音するときは、Rec Mode 機能を使うと便利です。

Rec Mode 機能を使うと、パートやチャンネルの各設定を行わなくても、RD-700SX を外部シーケンサーに録音するのに最適な設定にすることができます。

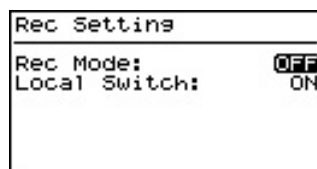
1. [EDIT] を押して、インジケータを点灯させます。
エディット・メニュー画面が表示されます。



2. CURSOR [▼] を押して「9.Utility」を選びます。
3. [ENTER] を押して、エディット画面を表示します



4. CURSOR [▼] を押して、「0. Rec Setting」を選びます。
5. [ENTER] を押すと、次のような画面が表示されます。



パラメーター	設定値	解説
Rec Mode	ON、OFF	通常は OFF にしておきます。ON にすると、INTERNAL ゾーンの設定に関わらず、MIDI OUT からの出力が録音に適した設定になります。
Local Switch		ローカル・スイッチのオン／オフを切り替えます。通常は ON にしておきますが、録音するときは、OFF にするとよいでしょう。 詳しくは、後述の「ローカル・スイッチについて」をご覧ください。

6. CURSOR [▲] / [▼] と [DEC]、[INC] で設定してください。
7. 設定が終わったら、[EDIT] を押してインジケータを消灯させます。
トーン画面に戻ります。
外部シーケンサーに録音する設定になりました。

外部 MIDI 機器との接続

ご注意!

Rec Mode が ON になっているときは、EXTERNAL ゾーンの設定 (P.58) を変えることはできません。
[EXTERNAL/INTERNAL] を押しても、EXTERNAL 画面は表示されません。

演奏を録音する

外部シーケンサーに録音するときは、次の手順でおこなってください。

1. 外部シーケンサーのスルー機能をオンにします。

詳しくは、次項の「ローカル・スイッチについて」をご覧ください。
操作については、お使いになるシーケンサーの取扱説明書をご覧ください。

2. 録音する演奏のセットアップを選びます。

セットアップの選びかたは、P.54 をご覧ください。

3. Rec Setting の設定をします。

前項の「録音するときの設定」の操作にしたがって、以下のよう設定してください。

Rec Mode : ON
Local Switch : OFF

4. 外部シーケンサーの録音を開始します。

5. セットアップをバルク・ダンプします。

エディット・モード、Utility の Bulk Dump Temporary で、選んでいるセットアップの内容を外部シーケンサーに送信します。

操作については、「本体の設定を外部 MIDI 機器に転送する (バルク・ダンプ)」(P.97) をご覧ください。

6. RD-700SX で演奏します。

7. 演奏が終わったら外部シーケンサーの録音を止めます。

録音が終わりました。

外部シーケンサーを再生すると、録音した演奏を聴くことができます。

Rec Mode を解除する

Rec Mode が ON に設定されていると、EXTERNAL の設定を変えることができません。演奏の録音が終わったら、前項の「録音するときの設定」の操作にしたがって Rec Mode を OFF にしてください。

ご注意!

Rec Setting の設定を記憶することはできません。

Rec Setting は、電源投入後、

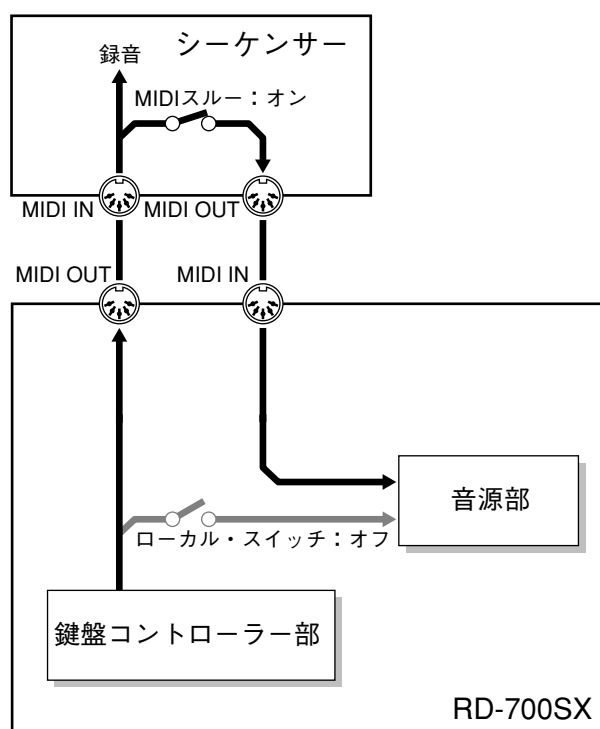
Rec Mode: OFF、Local Switch ON

の設定になります。

ローカル・スイッチについて

鍵盤コントローラー部と音源部 (P.26) の間の MIDI 接続を切り離したり、つないだりするスイッチをローカル・スイッチといいます。ローカル・スイッチをオフにすると、鍵盤コントローラー部から音源部に演奏情報が伝わりなくなりますので、通常、ローカル・スイッチはオンの状態で使用します。

ただし、演奏しながらその演奏情報を MIDI メッセージとして外部シーケンサーに録音したいような場合は、外部に接続したシーケンサーを MIDI スルー (MIDI IN で受信した情報をそのまま MIDI OUT から送信する) の状態にし、RD-700SX のローカル・スイッチをオフにして演奏します。



このとき、ローカル・スイッチをオンにして演奏すると、鍵盤コントローラー部から音源部へ直接伝達される情報と、鍵盤コントローラー部から外部シーケンサーを経由して音源部へ伝達される情報の2つの情報が同時に音源部に送られてしまいます。このため、例えば「ド」の鍵を1回押したときでも、音源部では2回「ド」の音を鳴らそうとして正しく発音できなくなります。

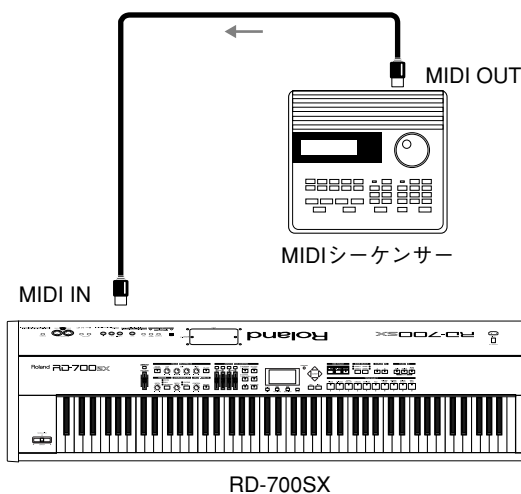
外部 MIDI 機器から RD-700SX の音源部を鳴らす

外部 MIDI 機器から RD-700SX を鳴らしてみましょう

接続のしかた

ご注意!

他の機器と接続するときは、誤動作やスピーカなどの破損を防ぐため、必ずすべての機器の音量を絞った状態で電源を切ってください。



1. 接続を始める前に、すべての機器の電源がオフになっていることを確認します。
2. 「外部機器と接続する」(P.19) に従って、オーディオ機器またはヘッドホンなどを接続します。
3. 図のように、RD-700SX、外部 MIDI 機器を MIDI ケーブルで接続します。
4. 「電源を入れる／切る」(P.21) に従って、各機器の電源を入れます。

チャンネルを設定する

RD-700SX の受信チャンネルと外部 MIDI 機器の送信チャンネルを合わせます。
RD-700SX の受信チャンネルの設定のしかたは、「受信チャンネルを設定する (Receive Channel)」(P.90) をご覧ください。両方のチャンネルを合わせて外部 MIDI 機器を演奏すると、RD-700SX の音源が鳴ります。

メモ

外部 MIDI 機器の送信チャンネルの設定方法は、お使いの MIDI 機器の取扱説明書をご覧ください。

外部 MIDI 機器から RD-700SX の音色を切り替える

外部 MIDI 機器から RD-700SX にバンク・セレクト（コントロール・ナンバー 0、32）とプログラム・チェンジを送信することで、セットアップやトーンを切り替えることができます。

セットアップの切り替え

外部 MIDI 機器から送信する MIDI メッセージとセットアップ・ナンバーは、以下のように対応しています。

ナンバー	バンク・セレクト		プログラム・チェンジ・ナンバー
	MSB	LSB	
1 ~ 100	085	0	1 ~ 100

セットアップを切り替えるときは、送信側の MIDI チャンネルと RD-700SX のコントロール・チャンネルを合わせる必要があります。(P.78)

各パートのトーンを切り替えるときは、送信側の MIDI チャンネルと RD-700SX の受信チャンネルを合わせます。ただし、コントロール・チャンネルと受信チャンネルが一致しているときは、コントロール・チャンネルが優先され、セットアップが切り替わることになります。

トーンの切り替え

外部 MIDI 機器から送信する MIDI メッセージとトーン・ナンバーは、以下のように対応しています。

グループ	ナンバー	バンク・セレクト		プログラム・チェンジ・ナンバー
		MSB	LSB	
PIANO	001 ~ 020	087	064	001 ~ 020
E.PIANO	021 ~ 041	087	065	001 ~ 021
CLAV/MALLET	042 ~ 062	087	066	001 ~ 021
ORGAN	063 ~ 072	112	0	001 ~ 010
	073 ~ 092	087	067	001 ~ 020
STRINGS	093 ~ 114	087	068	001 ~ 022
PAD	115 ~ 134	087	069	001 ~ 020
GTR/BASS	135 ~ 172	087	070	001 ~ 038
BRASS/WINDS	173 ~ 196	087	071	001 ~ 024
VOICE/SYNTH	197 ~ 218	087	072	001 ~ 022
リズム・セット	219 ~ 223	086	064	001 ~ 005

メモ

エクスパンション・ボード SRX シリーズの音色を選ぶときは、SRX シリーズに付属の取扱説明書と P.34 をご覧ください。

USB を使ってコンピューターと接続する

USB 機能について

RD-700SX で使える USB の機能は、ファイル転送するときの **ストレージ・モード** と、MIDI 通信するときの **MIDI モード** の 2 つのモードがあります。これらのモードを使う場合は RD-700SX で設定を切り替える必要があり、同時に使用することはできません。

ご注意！

USB モード（ストレージ・モード／MIDI モード）の切り替えは、RD-700SX とコンピューターを接続する前に行う必要があります。

各モードでの対応 OS は以下の通りです。

対応 OS	ストレージ・モード	MIDI モード
Windows XP/2000/Me 以降	○	○
Windows 98/98SE	×	○
Mac OS 9 (9.04 以降)	○	○
Mac OS X	○	○

※ コンピューターの機種によっては、正しく動作しないことがあります。

ストレージ・モードと MIDI モードを切り替える

ご注意！

USB モード（ストレージ・モード／MIDI モード）の切り替えは、RD-700SX とコンピューターを接続する前に行う必要があります。

ご注意！

USB MIDI モードに設定すると、MIDI IN 端子からの受信はできません。

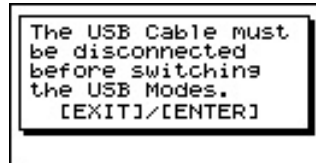
1. [EDIT] を押します。
2. CURSOR [▲] / [▼] を押して「5. File Utility/USB」を選び、続けて [ENTER] を押します。
3. CURSOR [▲] / [▼] を押して「3. USB Setting」を選び、続けて [ENTER] を押します。
USB Setting 画面が表示されます。



4. CURSOR [▲] / [▼] を押して「USB Mode」を選びます。

USB ストレージ・モードにする

5. [INC] / [DEC] を押して、「STORAGE」を選びます。
確認のダイアログが表示されます。



6. 切り替える場合は [ENTER]、中止する場合は [EXIT] を押します。
USB ストレージ・モードになります。

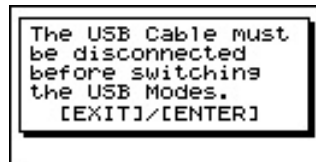
7. 設定を保存しておきたい時は、[F1 (WRITE)] を押します。

参照

USB ストレージ・モードでの操作方法については「コンピューターとファイルのやりとりをする（ストレージ・モード）」(P.105) をご覧ください。

MIDI モードにする

5. [INC] / [DEC] を押して、「MIDI」を選びます。
確認のダイアログが表示されます。



6. 切り替える場合は [ENTER]、中止する場合は [EXIT] を押します。
MIDI モードになります。

7. CURSOR [▲] / [▼] を押して「USB-MIDI Thru Sw」を選びます。

8. [INC] / [DEC] を押して、USB-MIDI スルー・スイッチを設定します。
MIDI In 端子から入ってきた MIDI 信号を、そのまま USB 端子から送信するか (ON)、送信しないか (OFF) を設定します。

9. 設定を保存しておきたい時は、[F1 (Write)] を押します。

参照

MIDI モードでの操作方法については「コンピューターと MIDI 情報のやりとりをする (MIDI モード)」(P.106) をご覧ください。

コンピューターとファイルのやりとりをする (ストレージ・モード)

RD-700SX と、お持ちのコンピューターを USB ケーブルで接続すると、本体のユーザー・メモリーにあるファイルを、コンピューターのハード・ディスクや各種メディアに保存 (バックアップ) することができます。

また、コンピューターのソフトで作成した SMF データを RD-700SX で使用することもできます。

このように USB ストレージ・モードでは、RD-700SX をコンピューターと接続して、セットアップや SMF データなどのファイルのやりとりをします。

ご注意!

USB ケーブルの抜き差しは、RD-700SX 本体の電源を切った状態で行ってください。また、USB モードに入っているときやデータの通信中は、絶対に USB ケーブルの抜き差しをしたり、電源を切ったりしないでください。

ご注意!

USB ケーブルは 3m 以内のものをお使いください。

接続のしかた

1. RD-700SX の電源をオフにします。
2. コンピューターを起動します。
3. RD-700SX とコンピューターを USB ケーブルで接続します。
4. RD-700SX の電源をオンにします。
5. [EDIT] を押します。
6. CURSOR [▲] / [▼] を押して「5. File Utility/USB」を選び、続けて [ENTER] を押します。
7. CURSOR [▲] / [▼] を押して「USB Storage」を選び、続けて [ENTER] を押します。
以下のような画面が表示されます。



ご注意!

USB 設定でストレージ・モードに設定されていないとき、[ENTER] を押すと次のような画面が表示されます。



USB ストレージモードに切り替えたいときは [F2 (Set to Storage)] を押します (USB モードに切り替わり、USB ストレージ画面が開きます)。

キャンセルするときは [F1 (EXIT)] を押します。

8. [F2 (CONNECT)] を押します。

画面に「Connecting...」と表示され、接続が始まります。



正しく認識すると「Connected!」と表示され、コンピューターでファイルを確認できます。

USB ストレージ画面が表示されます。

ご注意!

画面に「Connected!」と表示された後、コンピューターでファイルを確認できるようになるまでに時間がかかることがあります。

フォルダおよびファイルについての注意点

RD-700SX とコンピューターを USB 接続した場合、以下の点にご注意ください。

- コンピューター側から、RD-700SX のフォルダを作成しないでください。
- コンピューター側から、RD-700SX のユーザー・メモリーのフォーマットや最適化、スキャンディスクなどを行わないでください。
- RD-700SX で扱うことのできるファイル名は半角英数字のみです。
- RD-700SX とコンピューター間で扱えるファイルは、以下のファイルのみです。
 - スタンダード MIDI ファイル (拡張子が「MID」)
 - セットアップ・ファイル (拡張子が「RDS」)

ファイルをやとりする

Windows Me/2000/XP でお使いの場合

1. マイコンピューターの「リムーバブルディスク」のアイコンをダブルクリックします。

RD-700SX のメモリーに保存されたファイルが表示されます。

Macintosh でお使いの場合

1. 「RD-700SX」のドライブアイコンをダブルクリックします。

RD-700SX のメモリーに保存されたファイルが表示されます。

USB を使ってコンピューターと接続する

ストレージ・モードを終了する

RD-700SX とコンピューターをストレージ・モードで接続した状態で RD-700SX の電源を切る場合、先にコンピューターを操作して USB 接続を解除する必要があります。

Windows Me/2000/XP でお使いの場合

1. マイコンピューターの「リムーバブルディスク」のアイコンを右クリックして、「取り外し」を実行します。

Macintosh でお使いの場合

1. RD-700SX のドライブアイコンをゴミ箱に捨てます。

コンピューターと MIDI 情報のやりとりをする (MIDI モード)

ドライバのインストールと設定

RD-700SX をコンピューターから USB MIDI 機器として使用するためには、まず最初に USB MIDI ドライバをインストールする必要があります。USB MIDI ドライバは付属の「RD Driver CD-ROM」に入っています。

USB を MIDI モードで使用するときは、付属の CD-ROM に収録されているドライバを、コンピューターにインストールする必要があります。

ドライバは、ご使用の環境によってインストールするプログラム、手順が異なりますので、CD-ROM に収録されている以下の Readme をよく読んだ上でお使いください。

Windows XP/2000 をお使いの場合

→ ¥W2kXP¥Readme_J.htm

Windows Me/98 をお使いの場合

→ ¥W98Me¥Readme_J.htm

Macintosh で Mac OS9 をお使いの場合

→ ¥Driver J (Mac OS 9) ¥Readme_J.htm

Macintosh で Mac OSX をお使いの場合

→ ¥Driver (Mac OS X) ¥Readme_J.htm

ご注意!

ドライバをインストールするときは、RD-700SX を MIDI モードにしてください (P.104)。

ご注意!

USB ケーブルは 3m 以内のものをお使いください。

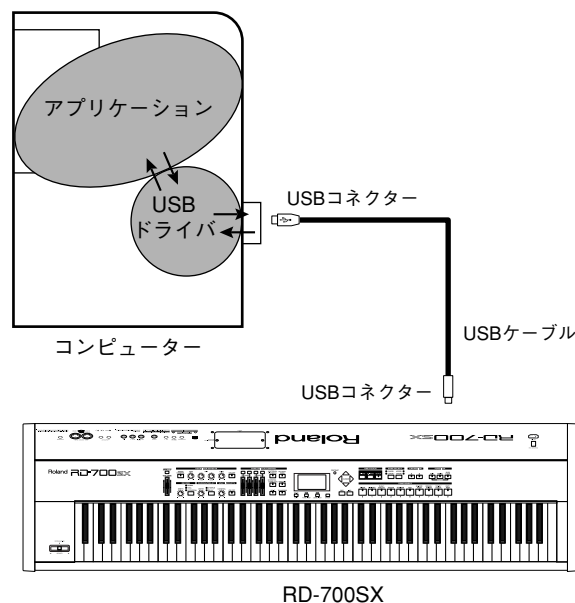
⚠ ご注意! USB ケーブルを抜くときのご注意

必ず、コンピューターを終了してから USB ケーブルを抜いてください。電源を入れた状態でケーブルを抜くと、コンピューターが不安定になることがあります。

USB MIDI ドライバとは?

コンピューターと RD-700SX が USB ケーブルで接続されているとき、コンピューター上のアプリケーション (シーケンス・ソフトウェア等) と RD-700SX との間でデータの仲介役をするソフトウェアです。

USB MIDI ドライバは、アプリケーションからのデータを RD-700SX に送ったり、逆に RD-700SX からの情報をアプリケーションに渡したりします。



USB ドライバーを切り替える

USB 端子を使ってパソコンと接続するときに、使用する USB ドライバーを設定します。

1. [EDIT] を押します。
2. CURSOR [▲] / [▼] を押して「1. SYSTEM」を選び、続けて [ENTER] を押します。
3. CURSOR [◀] / [▶] を押して画面を切り替え、CURSOR [▲] / [▼] を押して、「USB Driver」にカーソルを移動します。
4. [INC] / [DEC] を押して値を設定します。
5. 設定を変えたら電源を入れ直します。

パラメーター	設定値	解説
USB Driver	Original	付属のドライバ (Roland Digital Piano USB Driver) をお使いのときに選びます。
	Generic	パソコンに標準付属の USB ドライバーをお使いのときに選びます。

メモ

故障かな？と思ったら

思ったように動作しないときは、まず以下の点をチェックしてください。チェックしても原因がわからないときは、お買い上げ店または最寄りのローランド・サービス・ステーションにお問い合わせください。

※ 操作中、何らかのメッセージが画面に表示されたときは、「エラー・メッセージ／その他のメッセージ」(P.111) をご覧ください。

現象	確認事項／対処
電源が入らない	RD-700SX の電源コードがコンセントや本体に正しく接続されていますか？
音が鳴らない	接続しているアンプやスピーカーの電源が入っていますか？音量が下がっていませんか？
	VOLUME スライダーで音量を絞っていませんか？
	正しく接続されていますか？ ・ RD-700SX 単体で使用する場合は、オーディオ・ケーブルまたはヘッドホンを接続してください (P.19)。
	ヘッドホンを接続して音が聞こえますか？ ・ ヘッドホンから音が出るようであれば、接続しているケーブルが断線していたり、アンプやミキサーが故障している場合が考えられます。もう一度、接続ケーブルや機器を確認してください。
	ZONE SWITCH がオフになっていませんか？ (P.39、P.62)
	ZONE LEVEL スライダーでパートの音量を絞っていませんか？ (P.39、P.62)
	鍵盤を押さえて音が鳴らない場合、ローカル・スイッチがオフに設定されていませんか？ ・ エディット・モードの Utility の Rec Setting で、Local Switch を ON に設定してください (P.101)。
	エフェクトの設定は正しいですか？以下を確認してください。 ・ MULTI EFFECTS [ON/OFF] のオン／オフ (P.50) ・ エディット・モードの Effects の「マルチエフェクトのその他の設定」内のエフェクト・バランスやレベルなど (P.84、P.112)。
	ウェーブ・エクスパンション・ボードが正しく取り付けられていますか？ ・ EXPANSION [A] または [B] のトーンまたはリズム・セットを使用した設定を選んでいるとき、指定のスロットに指定のウェーブ・エクスパンション・ボードが正しく取り付けられていることを確認してください (P.17)。

現象	確認事項／対処
音が鳴らない	ペダルの操作や外部 MIDI 機器から受信した MIDI メッセージ (ボリューム・メッセージとエクスプレッション・メッセージ) によって、音量が下がっていませんか？
特定のパートの音が鳴らない	パートの音量レベルが下がっていませんか？以下を確認してください。 ・ ZONE LEVEL スライダー (P.39、P.62) ・ エディット・モードの Part Parameter の Volume の設定 (P.90)
	パートの MIDI 受信チャンネルと、接続している MIDI 機器の MIDI 送信チャンネルが合っていますか？ エディット・モードの Part Parameter の Receive Cannel (P.90) で、MIDI 受信チャンネルを確認してください。
接続している MIDI 機器の音が鳴らない	MIDI メッセージが送信できる状態になっていますか？ ・ [EXTERNAL/INTERNAL] をオンにして、ZONE SWITCH をオンにしてください (P.62)。 ZONE SWITCH がオフになっていると、MIDI 情報が送信されません。
	RD-700SX の鍵盤コントローラー部の MIDI 送信チャンネルと、接続している MIDI 機器の MIDI 受信チャンネルが合っていますか？ ・ EXTERNAL 画面で、MIDI 送信チャンネルを設定してください (P.60)。
特定の音域の音が出ない	発音域 (キー・レンジ) が設定されていませんか？以下を確認してください。 ・ EXTERNAL 画面の各ゾーンの LWR、UPR の設定 (P.64) ・ Zone info の、ゾーンごとの鍵域 (Key Range) (P.67)
	リズム・セット、ベース音色や Timpani (ティンパニ) など、発音域が限られたトーンがあります。
	V-Link がオンになっていませんか？ (P.96) V-Link の Local ON/OFF を LOCAL ON にすると、V-Link をオンにしても鍵盤で音を鳴らすことができます。
音が変わる	セットアップを呼び出していないですか？ ・ セットアップを呼び出すと、トーンやエフェクトなどの現在の設定は無効になり、選んだセットアップの設定になります (P.54)。必要な設定は、セットアップに新たに記憶してください (P.56)。

現象	確認事項／対処
音が変わる	ONE TOUCH [PIANO] または [E. PIANO] を押していませんか？ ・ ONE TOUCH [PIANO] または [E. PIANO] を押すと、トーンやエフェクトなどの現在の設定は無効になり、ピアノ演奏のための設定になります (P.30)。必要な設定は、セットアップに新たに記憶してください (P.56)。
	MULTI EFFECT [CONTROL] つまみに トーン・コントロールの機能を割り当てていませんか？ ・ エディット・モードの Control の Control Knob Assign の設定を確認してください (P.83)。
	モノラル接続の場合、音色や音域によって音質が変わる場合があります。 ・ 最高の状態で聞くために、ステレオ接続をお勧めします。 ・ モノラル接続のときにピアノ音色で演奏をするときは、「019 Superior Mono」または「020 GrandRD Mono」をお勧めします。
UPPER のトーンを選ぶと LOWER のトーンも同じトーンに変わってしまう。	Zone Info の Part Assign で、UPPER パートと LOWER パートに同じ値を設定していませんか？ (P.67)
トーンが変わらない／スプリットにならない	[EXTERNAL/INTERNAL] がオンになっていませんか？ ・ [EXTERNAL/INTERNAL] がオンになっているときは、外部音源をコントロールします。RD-700SX のトーンを変えたり、キーボード・モードを設定するときは、[EXTERNAL/INTERNAL] をオフにしてください (P.62)。
	トーンを変えたいゾーンの ZONE SELECT ボタンをオンにしてありますか (P.38)？
	[NUM LOCK] がオンになっていませんか？ ・ [NUM LOCK] をオンにすると、TONE SELECT ボタンでトーンのカテゴリを選ぶことができません。
リズムが鳴らない	エディット・モードの System の Clock Source の設定が MIDI になっていませんか (P.78)？外部 MIDI 機器が接続されていますか？ ・ Clock Source を MIDI にすると、RD-700SX でテンポを設定することはできません。そのため、外部 MIDI 機器が接続されていないと、リズムのテンポが設定されず、リズムは鳴りません。
	エディット・モードの Part Parameter で、Part 10 の Receive Channel の設定を 10 にしてください (P.90)。
	リズム／ソング／アルペジオ画面が「SONG/ARP」になっていませんか？ [F1 (RHYTHM)] を押して「RHY/ARP」画面を表示してください (P.46)。

現象	確認事項／対処
Lower パートにかけたマルチエフェクトがかからない	MFX Source、MFX Dest の設定を確認してください (P.84)。 ・ 設定によっては Lower パートの MFX の設定は無視されます。
エフェクトがかからない／かかりかたがおかしい	トーンに「TW-Organ1 ~ 10」を選んでいませんか？ Tone Wheel は他のトーンとエフェクトのかかりかたが異なります。 ・ エディット・モードの Part Prm の MFX Switch (P.91) や、Tone Edit の各トーンの MFX の設定 (P.68) に関わらず、エディット・モードの Effects の MFX Source で設定されているエフェクトがかかります (P.84)。 ・ Tone Wheel を複数のパートに選んでいる場合、エディット・モードの Part Prm の Rx Pitch Bnd や Rx Hold-1 のオン／オフ (P.91) に関わらず、すべてのパートに効果がかけられます。
	MULTI EFFECTS [ON/OFF] がオフになっていませんか (P.50)？
	MULTI EFFECTS [CONTROL] つまみに「TEMPO」が設定されていませんか？ ・ エディット・モードの Control の Control Knob Assign の設定を「TEMPO」以外にしてください (P.83)。
	MFX Dest が「All」に設定されていても、エディット・モードの Part Prm の MFX Switch (P.91) がオフのパートは、エフェクトがかかりません。
ピッチ・ベンド・レバーを動かしてもピッチ・ベンドがかからない	エディット・モードの Effects の DELAY の設定で、ディレイのタイミングを音符の値に設定していると、ディレイ音が鳴らないことがあります。テンポを調節するか、ディレイのタイミングを数値で設定してください (P.120、P.138)。
	トーン・ホイール画面が表示されていませんか？ ・ トーン・ホイール画面では、ピッチ・ベンド・レバーでピッチ・ベンドの効果をつけることはできません。ピッチ・ベンド・レバーは、ロータリー効果のスロー／ファーストの切り替えスイッチになります (P.51)。
押鍵するたびに音が右や左から聴こえる (パンニングされる)	音色によっては、押鍵するたびにランダムに音が左右に振られる (パンニングされる) ように設定されているものがあります。この設定を変更することはできません。

故障かな？と思ったら

現象	確認事項／対処
音がひずむ	イコライザー、マルチエフェクト、パート・ボリュームの設定によっては、音がひずむ場合があります。以下の設定を調節してください ・ ZONE LEVEL スライダー (P.39) ・ エディット・モードの System の Master Volume (P.77) ・ イコライザーの Input Gain (P.43) 音が歪むようなエフェクトをかけていませんか？ (P.68、P.84)
トーン・ホイール画面を選べない	トーン画面でいずれかのゾーンに「TW-Organ1～10」の音色を選んで、CURSOR [◀] を押すと表示されます (P.51)。
キー・レンジ (Key Range) の設定が効かない	[SPLIT] がオフになっていませんか？ ・ キー・レンジは、[SPLIT] がオンのときに有効になります (P.64、P.67)。
テンポが変わらない	エディット・モードの System の Clock Source が「MIDI」に設定されていませんか？ ・ RD-700SX のテンポで演奏するときは、「INT」に設定してください (P.78)。
音程 (ピッチ) がおかしい	選んでいるトーンによっては、ある音域で音程が他の音色と違って聞こえる場合があります。
	特定のパートに Coarse Tune、Fine Tune、Stretch Tune を設定していませんか？ 以下の設定を確認してください。 ・ Tone Info の Course Tune、Fine Tune (P.69) ・ エディット・モードの System の Stretch Tune (P.80) ・ EXTERNAL 画面の C.T、F.T (P.65)
	RD-700SX のチューニングがずれていませんか？以下を確認してください。 ・ エディット・モードの System の Master Tune 設定 (P.25) ・ エディット・モードの System の Temperamet の設定 (P.79) ・ ピアノ・エディットの Micro Tune の設定 (P.72) ペダルの操作や外部 MIDI 機器から受信したピッチ・ベンド・メッセージによって、ピッチがずれていませんか？
音が途切れる	128 ボイスを超える発音をしようとした場合、現在鳴っている音が途切れる場合があります。 ・ 音抜けさせたくないパートのボイス・リザーブを多めに設定してください (P.90)。

現象	確認事項／対処
鍵盤を押さえると音が鳴りっぱなしになる	ペダルの極性 (ペダル・ポラリティー) が逆になっていませんか？ ・ エディット・モードの System の Pedal Polarity の設定を確認してください (P.79)。
エクスクルーシブ・メッセージを受信しない	送信側のデバイス ID ナンバーと、RD-700SX のデバイス ID ナンバーが合っていますか？ ・ エディット・モードの System の Device ID の設定を確認してください (P.78)。
曲データが正しく再生できない	レシーブ GM / GM2 システム・オン・スイッチはオンになっていますか？ ・ エディット・モードの System の Rx GM System On / Rx GM2 System On を ON に設定してください (P.80)。
	GS フォーマットの曲データを再生していませんか？ ・ RD-700SX は GS リセット・メッセージを受信すると、GS フォーマットに対応できるようになります。これにより、GS マークが付いたミュージックデータ (GS ミュージックデータ) を再生することができますが、当社のサウンド・キャンパス・シリーズ専用で作成されたミュージックデータは、正しく再生できないことがあります。
ペダルの機能を設定しても効かない	エディット・モードの System の Pedal Mode が「SYSTEM」になっていませんか？「SETUP」に設定してください (P.77)。

エラー・メッセージ／その他のメッセージ

エラー・メッセージ

表示： MIDI Buffer Full

原因： 受信した MIDI メッセージの量が多いため、正しく受信できませんでした。

対応： 送信する MIDI メッセージの量を減らしてください。

表示： MIDI Communication Error

原因： MIDI ケーブルの接続に問題があります。

対応： MIDI ケーブルの抜けや断線がないことを確認してください。

表示： BULK DUMP: Receive Data Error

原因： MIDI メッセージが正しく受信できませんでした。

対応： 何度も同じメッセージが表示されるときは、MIDI メッセージの内容に問題があります。

表示： File Error

原因： ファイルを読めません。ファイルが壊れている可能性があります。

対応： 本機で扱えるファイルは以下の仕様です。

- ・拡張子が「MID」の SMF ミュージック・データ
- ・拡張子が「RDS」のセットアップ・ファイル

表示： System Error

原因： システムに異常がありました。

対応： 電源を入れ直してもう一度操作しなおしてください。

その他のメッセージ

表示： Now, writing Bulk Dump Data. Keep on POWER!!

原因： バルク・ダンプ・データを受信した場合に表示されます。

対応： 受信が終了すると本機の内部メモリーへの書き込みが行われますので、「COMPLETED」と表示されるまでは、決して電源を切らないでください。

表示： Unavailable while in Rec Mode

原因： Rec Mode が「ON」のときに、[EXTERNAL/INTENAL] ボタンを押すと表示されます。

対応： Rec Mode が「ON」の時には、EXTERNAL の設定を変更することができません。EXTERNAL の設定を変更するには、Rec Mode を「OFF」にしてください (P.102)。

表示： Memory Full!

原因： 本機の記憶容量が足りません。

対応： 本機に保存されているファイルを消してください。

表示： File Exists. Overwrite OK?

原因： 同じ名前のファイルが存在します。

対応： そのまま保存すると、ファイルが上書きされます。上書きしたくない場合は、ファイル名を変えて保存してください。

表示： Can not save

原因： 正しく保存できませんでした。

対応： 記憶容量が足りない可能性があります。ファイルを消してください。

表示： Can not Delete

原因： ファイルを消去できません。

対応： Delete 画面で「ALL FILES」を選んで実行してください。

表示： Panel is Locked

原因： パネルがロックされています。

対応： [EXIT] を押して、パネル・ロックを解除してください (P.53)。

エフェクト／パラメーター一覧

マルチエフェクト・パラメーター

00：THRU

01：EQUALIZER（イコライザー）

低域、中域×2、高域の音質を調節します。

設定できるパラメーター		
MFX Control	Low Gain、High Gain、Level	
パラメーター	設定値	説明
Low Freq	200、400 Hz	低域の基準周波数
Low Gain	-15 ～ +15 dB	低域の増幅／減衰量
Mid1 Freq	200 ～ 8000 Hz	中域 1 の基準周波数
Mid1 Gain	-15 ～ +15 dB	中域 1 の増幅／減衰量
Mid1 Q	0.5、1.0、2.0、4.0、8.0	中域 1 の幅 値を大きくするほど幅が狭くなります。
Mid2 Freq	200 ～ 8000 Hz	中域 2 の基準周波数
Mid2 Gain	-15 ～ +15 dB	中域 2 の増幅／減衰量
Mid2 Q	0.5、1.0、2.0、4.0、8.0	中域 2 の幅 値を大きくするほど幅が狭くなります。
High Freq	2000、4000、8000 Hz	高域の基準周波数
High Gain	-15 ～ +15 dB	高域の増幅／減衰量
Level	0 ～ 127	出力音量

02：SPECTRUM（スペクトラム）

ステレオ仕様のスペクトラムです。特定の周波数のレベルを増減させて音色を変えます。

設定できるパラメーター		
MFX Control	Level	
パラメーター	設定値	説明
Band1 (250Hz)	-15 ～ +15 dB	各周波数帯の増幅／減衰量
Band2 (500Hz)		
Band3 (1000Hz)		
Band4 (1250Hz)		
Band5 (2000Hz)		
Band6 (3150Hz)		
Band7 (4000Hz)		
Band8 (8000Hz)		
Q	0.5、1.0、2.0、4.0、8.0	周波数帯の幅（各バンド共通）
Level	0 ～ 127	出力音量

03：ISOLATOR（アイソレーター）

音量をカットする度合いが非常に大きなイコライザーで、各音域の音量をカットすることにより特殊な効果が得られます。

設定できるパラメーター		
MFX Control	Boost/Cut Low、Boost/Cut Mid、Boost/Cut High	
パラメーター	設定値	説明
Boost/Cut Low	-60 ～ +4 dB	低域／中域／高域の増幅／減衰量 -60dB にすると、その帯域は聴こえなくなります。0dB で入力音と同じレベルです。
Boost/Cut Mid		
Boost/Cut High		
APhase Low Sw	OFF、ON	低域（Low）の帯域別アンチ・フェイズ機能のオン／オフ オンにすると、ステレオの反対チャンネルの音が位相反転されて加えられます。
APhase Low Lev	0 ～ 127	低域（Low）の帯域別アンチ・フェイズ機能のレベル レベルの設定によって、特定のパートだけを抽出するような効果が得られます。（ステレオ入力のみ有効）
APhase Mid Sw	OFF、ON	中域（Middle）の帯域別アンチ・フェイズ機能の設定
APhase Mid Lev	0 ～ 127	設定項目は低域（Low）と同じです。

パラメーター	設定値	説明
Low Boost Sw	OFF、ON	ロー・ブースターのオン／オフ 低域を増強して重低音を作り出します。
Low Boost Level	0 ～ 127	ブースト量 アイソレーターやフィルターの設定によっては、効果がわかりにくい場合があります。
Level	0 ～ 127	出力音量

04：LOW BOOST（ロー・ブースト）

低域の音量を増幅させ、重低音を作り出します。

設定できるパラメーター	
MFX Control	Boost Gain、Boost Freq

パラメーター	設定値	説明
Boost Freq	50 ～ 125 Hz	増幅する低域の基準周波数
Boost Gain	0 ～ +12 dB	増幅する低域の増幅量
Boost Width	WIDE、MID、NARROW	増幅する低域の幅
Low Gain	-15 ～ +15 dB	低域の増幅／減衰量
High Gain	-15 ～ +15 dB	高域の増幅／減衰量
Level	0 ～ 127	出力音量

05：SUPER FILTR（スーパー・フィルター）

非常に急峻な傾き（減衰特性）を持つフィルターです。カットオフ周波数を周期的に変化させることもできます。

設定できるパラメーター	
MFX Control	Filter Cutoff、Filter Resonance、Rate、Depth

パラメーター	設定値	説明
Filter Type	LPF、BPF、HPF、NOTCH	フィルターの種類 各フィルターを通過する周波数 LPF ：Cutoff 以下の周波数 BPF ：Cutoff 付近の周波数 HPF ：Cutoff 以上の周波数 NOTCH ：Cutoff 付近以外の周波数
Filter Slope	-12、-24、-36 dB	フィルターの傾き（減衰特性、1 オクターブあたりの減衰量） -36dB ：非常に急峻 -24dB ：急峻 -12dB ：緩やか
Filter Cutoff	0 ～ 127	フィルターのカットオフ周波数 値を大きくするほど高い周波数になります。
Filter Resonance	0 ～ 127	フィルターの共振レベル 値を大きくするほどカットオフ周波数付近が強調されます。
Filter Gain	0 ～ +12 dB	フィルター出力の増幅量
Modulation Sw	OFF、ON	周期的な変化のオン／オフ
Modulation Wave	TRI、SQR、SIN、SAW1、SAW2	カットオフ周波数の変化のしかた TRI ：三角波 SQR ：矩形波 SIN ：正弦波 SAW1 ：のこぎり波（上昇） SAW2 ：のこぎり波（下降）
		
Rate Mode	Hz、音符	音符のとき、テンポに同期します。
Rate (Hz)	0.05 ～ 10.00 Hz	揺れの周期 (Hz)
Rate ()	音符 (*1)	揺れの周期 (音符)
Depth	0 ～ 127	揺れの深さ
Attack	0 ～ 127	カットオフ周波数の変化の速さ Modulation Wave が SQR、SAW1、SAW2 の場合に効果があります。
Level	0 ～ 127	出力音量

06：STEP FILTER（ステップ・フィルター）

カットオフ周波数を段階的に変化させるフィルターです。変化のパターンを任意に設定することができます。

設定できるパラメーター		
MFX Control	Rate、Filter Resonance、Filter Type	
パラメーター	設定値	説明
Step 01 ～ 16	0 ～ 127	各ステップにおけるカットオフ周波数
Rate Mode	Hz、音符	音符のとき、テンポに同期します。
Rate (Hz)	0.05 ～ 10.00 Hz	揺れの周期 (Hz)
Rate ()	音符 (*1)	揺れの周期 (音符)
Attack	0 ～ 127	カットオフ周波数がステップ間で変化する速さ
Filter Type	LPF、BPF、HPF、NOTCH	フィルターの種類 各フィルターを通過する周波数 LPF ：Cutoff 以下の周波数 BPF ：Cutoff 付近の周波数 HPF ：Cutoff 以上の周波数 NOTCH ：Cutoff 付近以外の周波数
Filter Slope	-12、-24、-36 dB	フィルターの傾き（減衰特性、1 オクターブあたりの減衰量） -12dB ：緩やか -24dB ：急峻 -36dB ：非常に急峻
Filter Resonance	0 ～ 127	フィルターの共振レベル 値を大きくするほどカットオフ周波数付近が強調されます。
Filter Gain	0 ～ +12 dB	フィルター出力の増幅量
Level	0 ～ 127	出力音量

07：ENHANCER（エンハンサー）

高域の倍音成分をコントロールすることで、音にメリハリをつけ、音ヌケをよくします。

設定できるパラメーター		
MFX Control	Sens、Mix	
パラメーター	設定値	説明
Sens	0 ～ 127	エンハンサーのかかり具合
Mix	0 ～ 127	生成された倍音の音量
Low Gain	-15 ～ +15 dB	低域の増幅／減衰量
High Gain	-15 ～ +15 dB	高域の増幅／減衰量
Level	0 ～ 127	出力音量

08：AUTO WAH（オート・ワウ）

フィルターを周期的に動かすことで、ワウ効果（音色が周期的に変化する効果）を得るエフェクターです。

設定できるパラメーター		
MFX Control	Manual、Sens、Rate、Depth、Phase	
パラメーター	設定値	説明
Filter Type	LPF、BPF	フィルターの種類 LPF ：広い周波数範囲でワウ効果が得られます。 BPF ：狭い周波数範囲でワウ効果が得られます。
Manual	0 ～ 127	ワウ効果を与える基準周波数
Peak	0 ～ 127	ワウ効果のかかる周波数帯の幅 値を大きくするほど周波数帯の幅が狭くなります。
Sens	0 ～ 127	フィルターを変化させる感度
Polarity	UP、DOWN	フィルターの動く方向 UP ：高い周波数方向 DOWN ：低い周波数方向
Rate Mode	Hz、音符	音符のとき、テンポに同期します。
Rate (Hz)	0.05 ～ 10.00 Hz	ワウ効果の揺れの周期 (Hz)
Rate ()	音符 (*1)	ワウ効果の揺れの周期 (音符)
Depth	0 ～ 127	ワウ効果の揺れの深さ
Phase	0 ～ 180 deg	左右の音でワウ効果の揺れをずらすときの割合

パラメーター	設定値	説明
Low Gain	-15 ～ +15 dB	低域の増幅／減衰量
High Gain	-15 ～ +15 dB	高域の増幅／減衰量
Level	0 ～ 127	出力音量

09：HUMANIZER（ヒューマナイザー）

人間の声のように、音に母音をつけることができます。

設定できるパラメーター		
MFX Control	Rate、Drive、Depth、Vowel1、Vowel2、Manual	
パラメーター	設定値	説明
Drive Sw	OFF、ON	オーバードライブのオン／オフ
Drive	0 ～ 127	歪み具合 音量も変化します。
Vowel1	a、e、i、o、u	母音 1
Vowel2	a、e、i、o、u	母音 2
Rate Mode	Hz、音符	音符のとき、テンポに同期します。
Rate (Hz)	0.05 ～ 10.00 Hz	母音 1/2 の切り替え周期 (Hz)
Rate ()	音符 (*1)	母音 1/2 の切り替え周期 (音符)
Depth	0 ～ 127	効果の深さ
Input Sync Sw	OFF、ON	LFO リセットのオン／オフ ON にすると、母音を切り替えるための LFO が入力音によってリセットされます。
Input Sync Thres	0 ～ 127	リセットをかける音量レベル
Manual	0 ～ 100	母音 1/2 の切り替えポイント ～ 49 ：Vowel 1 の時間が長くなります。 50 ：Vowel 1 と 2 が同じ時間で切り替わります。 51 ～：Vowel 2 の時間が長くなります。
Low Gain	-15 ～ +15 dB	低域の増幅／減衰量
High Gain	-15 ～ +15 dB	高域の増幅／減衰量
Pan	L64 ～ R63	出力音の定位
Level	0 ～ 127	出力音量

10：SP.SIMULATR（スピーカー・シミュレーター）

スピーカーのタイプとスピーカーの音を録るマイクのセッティングをシミュレートします。

設定できるパラメーター		
MFX Control	Direct Level、Mic Level、Speaker	
パラメーター	設定値	説明
Speaker	(別表タイプ参照)	スピーカーのタイプ
Mic Setting	1、2、3	スピーカーの音を収録するマイクの位置 1/2/3 の順でマイクの位置が遠ざかります。
Mic Level	0 ～ 127	マイクの音量
Direct Level	0 ～ 127	ダイレクト音の音量
Level	0 ～ 127	出力音量

スピーカー各タイプの仕様

スピーカーの項は、スピーカーの径（インチ）と個数を示しています。

タイプ	キャビネット	スピーカー	マイク
SMALL 1	小型後面開放型	10	ダイナミック
SMALL 2	小型後面開放型	10	ダイナミック
MIDDLE	後面開放型	12 x 1	ダイナミック
JC-120	後面開放型	12 x 2	ダイナミック
BUILT-IN 1	後面開放型	12 x 2	ダイナミック
BUILT-IN 2	後面開放型	12 x 2	コンデンサー
BUILT-IN 3	後面開放型	12 x 2	コンデンサー
BUILT-IN 4	後面開放型	12 x 2	コンデンサー
BUILT-IN 5	後面開放型	12 x 2	コンデンサー
BG STACK 1	密閉型	12 x 2	コンデンサー
BG STACK 2	大型密閉型	12 x 2	コンデンサー

エフェクト／パラメーター一覧

タイプ	キャビネット	スピーカー	マイク
MS STACK 1	大型密閉型	12 x 4	コンデンサー
MS STACK 2	大型密閉型	12 x 4	コンデンサー
METAL STACK	大型 2 段重ね	12 x 4	コンデンサー
2-STACK	大型 2 段重ね	12 x 4	コンデンサー
3-STACK	大型 3 段重ね	12 x 4	コンデンサー

11：PHASER（フェイザー）

ステレオ仕様のフェイザーです。原音に位相をずらした音を加えてうねらせます。

	設定できるパラメーター
MFX Control	Rate、Resonance、Manual、Mix

パラメーター	設定値	説明
Mode	4-STAGE、8-STAGE、12-STAGE	フェイザーの段数
Manual	0 ～ 127	音をうねらせる基準周波数
Rate Mode	Hz、音符	音符のとき、テンポに同期します。
Rate (Hz)	0.05 ～ 10.00 Hz	うねりの周期 (Hz)
Rate ()	音符 (*1)	うねりの周期 (音符)
Depth	0 ～ 127	うねりの深さ
Polarity	INVERSE、SYNCHRO	モジュレーションの左右の位相 INVERSE ：左右逆相 モノ・ソースを使用したときに音の広がりができます。 SYNCHRO ：左右同相 ステレオ・ソースを使用するときに選びます。
Resonance	0 ～ 127	フィードバック量
Cross Feedback	-98 ～ +98 %	フェイザー音を入力に戻す割合（マイナス：逆相）
Mix	0 ～ 127	位相をずらした音の音量
Low Gain	-15 ～ +15 dB	低域の増幅／減衰量
High Gain	-15 ～ +15 dB	高域の増幅／減衰量
Level	0 ～ 127	出力音量

12：STEP PHASER（ステップ・フェイザー）

ステレオ仕様のフェイザーです。フェイザー効果が段階的に変化します。

	設定できるパラメーター
MFX Control	StepRate、Depth、Resonance、Manual、Mix

パラメーター	設定値	説明
Mode	4-STAGE、8-STAGE、12-STAGE	フェイザーの段数
Manual	0 ～ 127	音をうねらせる基準周波数
Rate Mode	Hz、音符	音符のとき、テンポに同期します。
Rate (Hz)	0.05 ～ 10.00 Hz	うねりの周期 (Hz)
Rate ()	音符 (*1)	うねりの周期 (音符)
Depth	0 ～ 127	うねりの深さ
Polarity	INVERSE、SYNCHRO	モジュレーションの左右の位相 INVERSE ：左右逆相 モノ・ソースを使用したときに音の広がりができます。 SYNCHRO ：左右同相 ステレオ・ソースを使用するときに選びます。
Resonance	0 ～ 127	フィードバック量
Cross Feedback	-98 ～ +98 %	フェイザー音を入力に戻す割合（マイナス：逆相）
Step Rate Mode	Hz、音符	音符のとき、テンポに同期します。
StepRate(Hz)	0.10 ～ 20.00 Hz	フェイザー効果の段階的変化の周期 (Hz)
Step Rate ()	音符 (*1)	フェイザー効果の段階的変化の周期 (音符)
Mix	0 ～ 127	位相をずらした音の音量
Low Gain	-15 ～ +15 dB	低域の増幅／減衰量
High Gain	-15 ～ +15 dB	高域の増幅／減衰量

パラメーター	設定値	説明
Level	0 ～ 127	出力音量

13：MULT PHASER（マルチ・ステージ・フェイザー）

位相のずれを非常に大きくすることにより、深いフェイザー効果が得られます。

	設定できるパラメーター
MFX Control	Rate、Depth、Resonance、Manual、Mix

パラメーター	設定値	説明
Mode	4-STAGE、8-STAGE、12-STAGE、16-STAGE、20-STAGE、24-STAGE	フェイザーの段数
Manual	0 ～ 127	音をうねらせる基準周波数
Rate Mode	Hz、音符	音符のとき、テンポに同期します。
Rate (Hz)	0.05 ～ 10.00 Hz	うねりの周期 (Hz)
Rate ()	音符 (*1)	うねりの周期 (音符)
Depth	0 ～ 127	うねりの深さ
Resonance	0 ～ 127	フィードバック量
Mix	0 ～ 127	位相をずらした音の音量
Pan	L64 ～ 63R	出力音の定位
Low Gain	-15 ～ +15 dB	低域の増幅／減衰量
High Gain	-15 ～ +15 dB	高域の増幅／減衰量
Level	0 ～ 127	出力音量

14：INF PHASER（インフィニット・フェイザー）

音がうねる周波数を上昇／下降させ続けることのできるフェイザーです。

	設定できるパラメーター
MFX Control	Speed、Resonance、Mix、Pan

パラメーター	設定値	説明
Mode	1、2、3、4	値が大きいくほどフェーザーの効果が深くなります。
Speed	-100 ～ +100	音がうねる周波数が上昇／下降する速度（＋：上昇／－：下降）
Resonance	0 ～ 127	フィードバック量
Mix	0 ～ 127	位相をずらした音の音量
Pan	L64 ～ 63R	出力音の定位
Low Gain	-15 ～ +15 dB	低域の増幅／減衰量
High Gain	-15 ～ +15 dB	高域の増幅／減衰量
Level	0 ～ 127	出力音量

15：RING MODLTR（リング・モジュレーター）

入力信号に振幅変調（AM 変調）をかけることによりベルのような音を出すことができます。入力音の音量により、変調周波数を変化させることもできます。

	設定できるパラメーター
MFX Control	Frequency、Sens、Balance

パラメーター	設定値	説明
Frequency	0 ～ 127	変調をかける周波数
Sens	0 ～ 127	周波数の変調のかかり具合
Polarity	UP、DOWN	周波数の変調を動かす方向 UP ：高い周波数方向 DOWN ：低い周波数方向
Low Gain	-15 ～ +15 dB	低域の増幅／減衰量
High Gain	-15 ～ +15 dB	高域の増幅／減衰量
Balance	D100:0W ～ D0:100W	原音 (D) とエフェクト音 (W) の音量バランス
Level	0 ～ 127	出力音量

16：STEP R.MOD（ステップ・リング・モジュレーター）

変調をかける周波数を 16 ステップのシーケンスに従って変化させるリング・モジュレーターです。

	設定できるパラメーター
MFX Control	Rate、Attack、Balance

パラメーター	設定値	説明
Step 01～16	0～127	各ステップにおけるリング変調の周波数
Rate Mode	Hz、音符	音符のとき、テンポに同期します。
Rate (Hz)	0.05～10.00 Hz	16 ステップのシーケンスを繰り返す周期 (Hz)
Rate ()	音符 (*1)	16 ステップのシーケンスを繰り返す周期 (音符)
Attack	0～127	変調の周波数がステップ間で変化する速さ
Low Gain	-15～+15 dB	低域の増幅／減衰量
High Gain	-15～+15 dB	高域の増幅／減衰量
Balance	D100:0W～D0:100W	原音 (D) とエフェクト音 (W) との音量バランス
Level	0～127	出力音量

17：TREMOLO（トレモロ）

音量を周期的に動かしします。

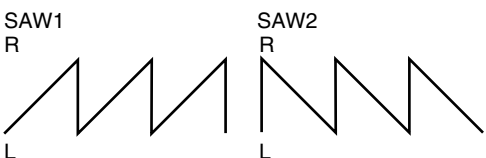
	設定できるパラメーター
MFX Control	Rate、Depth、Mod Wave

パラメーター	設定値	説明
Mod Wave	TRI、SQR、SIN、SAW1、SAW2	音量の揺れかた TRI ：三角波 SQR ：矩形波 SIN ：正弦波 SAW1/2 ：のこぎり波
		
Rate Mode	Hz、音符	音符のとき、テンポに同期します。
Rate (Hz)	0.05～10.00 Hz	エフェクトのかかる周期 (Hz)
Rate ()	音符 (*1)	エフェクトのかかる周期 (音符)
Depth	0～127	エフェクトのかかる深さ
Low Gain	-15～+15 dB	低域の増幅／減衰量
High Gain	-15～+15 dB	高域の増幅／減衰量
Level	0～127	出力音量

18：AUTO PAN（オート・パン）

音の定位を周期的に変化させます。

	設定できるパラメーター
MFX Control	Rate、Depth、Mod Wave

パラメーター	設定値	説明
Mod Wave	TRI、SQR、SIN、SAW1、SAW2	定位の変化のしかた TRI ：三角波 SQR ：矩形波 SIN ：正弦波 SAW1/2 ：のこぎり波
		
Rate Mode	Hz、音符	音符のとき、テンポに同期します。
Rate (Hz)	0.05～10.00 Hz	エフェクトのかかる周期 (Hz)

パラメーター	設定値	説明
Rate ()	音符 (*1)	エフェクトのかかる周期 (音符)
Depth	0～127	エフェクトのかかる深さ
Low Gain	-15～+15 dB	低域の増幅／減衰量
High Gain	-15～+15 dB	高域の増幅／減衰量
Level	0～127	出力音量

19：STEP PAN（ステップ・パン）

音の定位を 16 ステップのシーケンスに従って変化させます。

	設定できるパラメーター
MFX Control	Rate、Attack

パラメーター	設定値	説明
Step 01～16	L64～63R	各ステップにおける音の定位
Rate Mode	Hz、音符	音符のとき、テンポに同期します。
Rate (Hz)	0.05～10.00 Hz	16 ステップのシーケンスを繰り返す周期 (Hz)
Rate ()	音符 (*1)	16 ステップのシーケンスを繰り返す周期 (音符)
Attack	0～127	音の定位がステップ間で変化する速さ
Input Sync Sw	OFF、ON	入力音の発生に応じてステップのシーケンスを先頭から再開する (ON) かしないか (OFF) を選択
Input Sync Thres	0～127	入力音の発生を検出する音量
Level	0～127	出力音量

20：SLICER（スライサー）

音を連続的にカットすることで、普通に音を鳴らしているだけで、バックリグ・フレーズを刻んでいるような効果を作り出します。特に持続音にかけると効果的です。

	設定できるパラメーター
MFX Control	Rate、Attack、Shuffle

パラメーター	設定値	説明
Step 01～16	0～127	各ステップにおける音のレベル
Rate Mode	Hz、音符	音符のとき、テンポに同期します。
Rate (Hz)	0.05～10.00 Hz	16 ステップのシーケンスを繰り返す周期 (Hz)
Rate ()	音符 (*1)	16 ステップのシーケンスを繰り返す周期 (音符)
Attack	0～127	音のレベルがステップ間で変化する速さ
Input Sync Sw	OFF、ON	入力音の発生に応じてステップのシーケンスを先頭から再開する (ON) かしないか (OFF) を選択
Input Sync Thres	0～127	入力音の発生を検出する音量
Mode	LEGATO、SLASH	次の Step に移行するときの音量変化のしかた LEGATO ：ある Step のレベルから次の Step のレベルへ、音量がそのまま変化します。次の Step のレベルが前の Step のレベルと同じである場合は、音量変化は起きません。 SLASH ：次の Step のレベルへ移行する前に、いったんレベルが 0 になります。次の Step のレベルが前の Step のレベルと同じである場合であっても、この変化は起きます。
Shuffle	0～127	偶数番目の Step (Step 2、Step 4、Step 6 ...) のレベルへの音量変化のタイミング値が大きいほど移行のタイミングが遅くなります。
Level	0～127	出力音量

エフェクト／パラメーター一覧

21：ROTARY（ロータリー）

往年の回転スピーカー・サウンドをシミュレートします。
高域と低域のローターの動作をそれぞれ独立して設定できるので、独特のうねり感をリアルに再現できます。オルガンのパッチに最も効果的です。

設定できるパラメーター		
MFX Control	Speed、Tw Fast Rate、Wf Fast Rate、Separation	
パラメーター	設定値	説明
Speed	SLOW、FAST	低域と高域のローターの回転速度（周期） SLOW ：低速（Slow Rate） FAST ：高速（Fast Rate）
Wf Slow Rate	0.05 ～ 10.00 Hz	低域ローターの低速回転時（SLOW）の周期
Wf Fast Rate	0.05 ～ 10.00 Hz	低域ローターの高速回転時（FAST）の周期
Woofer Accel	0 ～ 15	回転速度の切替時、低域ローターの回転周期が変化する速度
Wf Level	0 ～ 127	低域ローターの音量
Tw Slow Rate	0.05 ～ 10.00 Hz	高域ローターの設定 設定項目は低域ローターと同じです。
Tw Fast Rate	0.05 ～ 10.00 Hz	
Tweeter Accel	0 ～ 15	
Tweeter Level	0 ～ 127	
Separation	0 ～ 127	音の広がり具合
Level	0 ～ 127	出力音量

22：VK ROTARY（VK ロータリー）

ロータリーのスピーカー特性を変えたタイプで、低域がより強調されています。
VK シリーズに搭載されているロータリー踏襲したエフェクトです。

設定できるパラメーター		
MFX Control	Speed、Brake、Tw Fast Rate、Wf Fast Rate	
パラメーター	設定値	説明
Speed	SLOW、FAST	スピーカーの回転速度（周期） SLOW ：低速 FAST ：高速
Brake	OFF、ON	スピーカーの回転のオン／オフ オンにするとスピーカーの回転は徐々に止まり、オフにすると回転を始めます。
Wf Slow Rate	0.05 ～ 10.00 Hz	ウーファースの低速回転時の回転速度
Wf Fast Rate	0.05 ～ 10.00 Hz	ウーファースの高速回転時の回転速度
Wf Trans Up	0 ～ 127	Speed を SLOW から FAST に切り替えたときに、ウーファースの回転速度が変化する速さ
Wf Trans Down	0 ～ 127	Speed を FAST から SLOW に切り替えたときに、ウーファースの回転速度が変化する速さ
Wf Level	0 ～ 127	ウーファースの音量
Tw Slow Rate	0.05 ～ 10.00 Hz	ツイーターの設定 設定項目はウーファースと同じです。
Tw Fast Rate	0.05 ～ 10.00 Hz	
Tw Trans Up	0 ～ 127	
Tw Trans Down	0 ～ 127	
Tweeter Level	0 ～ 127	
Spread	0 ～ 10	回転スピーカーの音の広がり
Low Gain	-15 ～ +15 dB	低域の増幅／減衰量
High Gain	-15 ～ +15 dB	高域の増幅／減衰量
Level	0 ～ 127	出力音量

23：CHORUS（コーラス）

ステレオ仕様のコーラスです。フィルターを使ってコーラス音の音質を調節できます。

設定できるパラメーター		
MFX Control	Depth、Rate、Balance	
パラメーター	設定値	説明
Filter Type	OFF、LPF、HPF	フィルターの種類 OFF ：フィルター未使用 LPF ：高域をカット HPF ：低域をカット
Cutoff Freq	200 ～ 8000 Hz	フィルターで特定の周波数帯をカットする場合の基準周波数
Pre Delay	0.0 ～ 100.0 ms	原音が鳴ってからコーラス音が鳴るまでの遅延時間
Rate Mode	Hz、音符	音符のとき、テンポに同期します。
Rate (Hz)	0.05 ～ 10.00 Hz	揺れの周期 (Hz)
Rate ()	音符 (*1)	揺れの周期 (音符)
Depth	0 ～ 127	揺れの深さ
Phase	0 ～ 180 deg	コーラス音の広がり具合
Low Gain	-15 ～ +15 dB	低域の増幅／減衰量
High Gain	-15 ～ +15 dB	高域の増幅／減衰量
Balance	D100:0W ～ D0:100W	原音 (D) とコーラス音 (W) の音量バランス
Level	0 ～ 127	出力音量

24：FLANGER（フランジャー）

ステレオ仕様のフランジャーです（LFO は左右同相）。
ジェット機の上昇音／下降音のような金属的な響きが得られます。フィルターを使ってフランジャー音の音質を調節できます。

設定できるパラメーター		
MFX Control	Depth、Rate、Feedback、Balance	
パラメーター	設定値	説明
Filter Type	OFF、LPF、HPF	フィルターの種類 OFF ：フィルター未使用 LPF ：高域をカット HPF ：低域をカット
Cutoff Freq	200 ～ 8000 Hz	フィルターで特定の周波数帯をカットする場合の基準周波数
Pre Delay	0.0 ～ 100.0 ms	原音が鳴ってからフランジャー音が鳴るまでの遅延時間
Rate Mode	Hz、音符	音符のとき、テンポに同期します。
Rate (Hz)	0.05 ～ 10.00 Hz	揺れの周期 (Hz)
Rate ()	音符 (*1)	揺れの周期 (音符)
Depth	0 ～ 127	揺れの深さ
Phase	0 ～ 180 deg	フランジャー音の広がり具合
Feedback	-98 ～ +98 %	フランジャー音を入力に戻す割合（マイナス：逆相）
Low Gain	-15 ～ +15 dB	低域の増幅／減衰量
High Gain	-15 ～ +15 dB	高域の増幅／減衰量
Balance	D100:0W ～ D0:100W	原音 (D) とフランジャー音 (W) の音量バランス
Level	0 ～ 127	出力音量

25：STEP FLANGR（ステップ・フランジャー）

フランジャー音のピッチが段階的に変化します。ピッチ変化の周期は、特定のテンポに対する音符の長さで設定することもできます。

設定できるパラメーター		
MFX Control	StepRate、Depth、Feedback、Balance	
パラメーター	設定値	説明
Filter Type	OFF、LPF、HPF	フィルターの種類 OFF ：フィルター未使用 LPF ：高域をカット HPF ：低域をカット
Cutoff Freq	200 ～ 8000 Hz	フィルターで特定の周波数帯をカットする場合の基準周波数
Pre Delay	0.0 ～ 100.0 ms	原音が鳴ってからフランジャー音が鳴るまでの遅延時間
Rate Mode	Hz、音符	音符のとき、テンポに同期します。
Rate (Hz)	0.05 ～ 10.00 Hz	揺れの周期 (Hz)
Rate ()	音符 (*1)	揺れの周期 (音符)
Depth	0 ～ 127	揺れの深さ
Phase	0 ～ 180 deg	フランジャー音の広がり具合
Feedback	-98 ～ +98 %	フランジャー音を入力に戻す割合 (マイナス：逆相)
Step Rate Mode	Hz、音符	音符のとき、テンポに同期します。
StepRate(Hz)	0.10 ～ 20.00 Hz	ピッチ変化の周期 (Hz)
Step Rate ()	音符 (*1)	ピッチ変化の周期 (音符)
Low Gain	-15 ～ +15 dB	低域の増幅／減衰量
High Gain	-15 ～ +15 dB	高域の増幅／減衰量
Balance	D100:0W ～ D0:100W	原音 (D) とフランジャー音 (W) の音量バランス
Level	0 ～ 127	出力音量

26：HEXA-CHORUS（ヘキサ・コーラス）

音に厚みと広がりを与える 6 相コーラス（ディレイ・タイムの異なる 6 つのコーラス音が重なる）です。

設定できるパラメーター		
MFX Control	Depth、Rate、Balance	
パラメーター	設定値	説明
Pre Delay	0.0 ～ 100.0 ms	原音が鳴ってからコーラス音が鳴るまでの遅延時間
Rate Mode	Hz、音符	音符のとき、テンポに同期します。
Rate (Hz)	0.05 ～ 10.00 Hz	揺れの周期 (Hz)
Rate ()	音符 (*1)	揺れの周期 (音符)
Depth	0 ～ 127	揺れの深さ
Pre Delay Deviat	0 ～ 20	各コーラス音の発音のずれ
Depth Deviation	-20 ～ +20	各コーラス音の揺れの深さの偏差
Pan Deviation	0 ～ 20	各コーラス音の定位の偏差 0 ：すべて中央に定位 20 ：中央を基準に各コーラス音が60度間隔で定位
Balance	D100:0W ～ D0:100W	原音 (D) とコーラス音 (W) の音量バランス
Level	0 ～ 127	出力音量

27：TREMOLO CHO（トレモロ・コーラス）

トレモロ効果（音量を周期的に揺らす）のかかったコーラスです。

設定できるパラメーター		
MFX Control	Chorus Depth、Cho Rate、Trem Rate、Balance	
パラメーター	設定値	説明
Pre Delay	0.0 ～ 100.0 ms	原音が鳴ってからコーラス音が鳴るまでの遅延時間
Rate Mode	Hz、音符	音符のとき、テンポに同期します。
Cho Rate(Hz)	0.05 ～ 10.00 Hz	コーラス音の揺れの周期 (Hz)
Cho Rate	音符 (*1)	コーラス音の揺れの周期 (音符) ()
Chorus Depth	0 ～ 127	コーラス音の揺れの深さ
Trem Rate Mode	Hz、音符	音符のとき、テンポに同期します。
Trm Rate(Hz)	0.05 ～ 10.00 Hz	トレモロ効果の揺れの周期 (Hz)
Trem Rate ()	音符 (*1)	トレモロ効果の揺れの周期 (音符) ()
Trem Separation	0 ～ 127	トレモロ効果の広がり具合
Trem Phase	0 ～ 180 deg	トレモロ効果の広がり具合
Balance	D100:0W ～ D0:100W	原音 (D) とトレモロ・コーラス音 (W) の音量バランス
Level	0 ～ 127	出力音量

28：SPACE-D（スペース D）

2 相のモジュレーションをステレオでかける多重コーラスです。変調感はありませんが、透明感のあるコーラス効果が得られます。

設定できるパラメーター		
MFX Control	Depth、Rate、Balance	
パラメーター	設定値	説明
Pre Delay	0.0 ～ 100.0 ms	原音が鳴ってからコーラス音が鳴るまでの遅延時間
Rate Mode	Hz、音符	音符のとき、テンポに同期します。
Rate (Hz)	0.05 ～ 10.00 Hz	揺れの周期 (Hz)
Rate ()	音符 (*1)	揺れの周期 (音符)
Depth	0 ～ 127	揺れの深さ
Phase	0 ～ 180 deg	コーラス音の広がり具合
Low Gain	-15 ～ +15 dB	低域の増幅／減衰量
High Gain	-15 ～ +15 dB	高域の増幅／減衰量
Balance	D100:0W ～ D0:100W	原音 (D) とコーラス音 (W) の音量バランス
Level	0 ～ 127	出力音量

29：3D CHORUS（3D コーラス）

コーラス音に 3D 効果（立体感）がかかります。コーラス音が 90 度左と 90 度右に定位します。

設定できるパラメーター		
MFX Control	Depth、Rate、Balance	
パラメーター	設定値	説明
Filter Type	OFF、LPF、HPF	フィルターの種類 OFF ：フィルター未使用 LPF ：高域をカット HPF ：低域をカット
Cutoff Freq	200 ～ 8000 Hz	フィルターで特定の周波数をカットする場合の基準周波数
Pre Delay	0.0 ～ 100.0 ms	原音が鳴ってからコーラス音が鳴るまでの遅延時間
Rate Mode	Hz、音符	音符のとき、テンポに同期します。
Rate (Hz)	0.05 ～ 10.00 Hz	コーラス音の揺れの周期 (Hz)
Rate ()	音符 (*1)	コーラス音の揺れの周期 (音符)
Depth	0 ～ 127	コーラス音の揺れの深さ
Phase	0 ～ 180 deg	コーラス音の広がり具合

エフェクト／パラメーター一覧

パラメーター	設定値	説明
Output Mode	SPEAKER、 PHONES	OUTPUT ジャックから出力させる音を再生する方法 SPEAKER ：スピーカー PHONES ：ヘッドホン それぞれに最適な 3D 効果が得られます。
Low Gain	-15 ～ +15 dB	低域の増幅／減衰量
High Gain	-15 ～ +15 dB	高域の増幅／減衰量
Balance	D100:0W ～ D0:100W	原音 (D) とコーラス音 (W) の音量バランス
Level	0 ～ 127	出力音量

30：3D FLANGER（3D フランジャー）

フランジャー音に 3D 効果（立体感）がかかります。フランジャー音が 90 度左と 90 度右に定位します。

	設定できるパラメーター
MFX Control	Depth、Rate、Feedback、Balance

パラメーター	設定値	説明
Filter Type	OFF、LPF、 HPF	フィルターの種類 OFF ：フィルター未使用 LPF ：高域をカット HPF ：低域をカット
Cutoff Freq	200 ～ 8000 Hz	フィルターで特定の周波数をカットする場合の基準周波数
Pre Delay	0.0 ～ 100.0 ms	原音が鳴ってからフランジャー音が鳴るまでの遅延時間
Rate Mode	Hz、音符	音符のとき、テンポに同期します。
Rate (Hz)	0.05 ～ 10.00 Hz	フランジャー音の揺れの周期 (Hz)
Rate ()	音符 (*1)	フランジャー音の揺れの周期 (音符)
Depth	0 ～ 127	フランジャー音の揺れの深さ
Phase	0 ～ 180 deg	フランジャー音の広がり具合
Feedback	-98 ～ +98 %	フランジャー音を入力に戻す割合 (マイナス：逆相)
Output Mode	SPEAKER、 PHONES	OUTPUT ジャックから出力させる音を再生する方法 SPEAKER ：スピーカー PHONES ：ヘッドホン それぞれに最適な 3D 効果が得られます。
Low Gain	-15 ～ +15 dB	低域の増幅／減衰量
High Gain	-15 ～ +15 dB	高域の増幅／減衰量
Balance	D100:0W ～ D0:100W	原音 (D) とフランジャー音 (W) の音量バランス
Level	0 ～ 127	出力音量

31：3D S.FLANGR（3D ステップ・フランジャー）

ステップ・フランジャー音に 3D 効果（立体感）がかかります。フランジャー音が 90 度左と 90 度右に定位します。

	設定できるパラメーター
MFX Control	StepRate、Depth、Feedback、Balance

パラメーター	設定値	説明
Filter Type	OFF、LPF、 HPF	フィルターの種類 OFF ：フィルター未使用 LPF ：高域をカット HPF ：低域をカット
Cutoff Freq	200 ～ 8000 Hz	フィルターで特定の周波数をカットする場合の基準周波数
Pre Delay	0.0 ～ 100.0 ms	原音が鳴ってからフランジャー音が鳴るまでの遅延時間
Rate Mode	Hz、音符	音符のとき、テンポに同期します。
Rate (Hz)	0.05 ～ 10.00 Hz	フランジャー音の揺れの周期 (Hz)
Rate ()	音符 (*1)	フランジャー音の揺れの周期 (音符)
Depth	0 ～ 127	フランジャー音の揺れの深さ
Phase	0 ～ 180 deg	フランジャー音の広がり具合
Feedback	-98 ～ +98 %	フランジャー音を入力に戻す割合 (マイナス：逆相)

パラメーター	設定値	説明
Step Rate Mode	Hz、音符	音符のとき、テンポに同期します。
StepRate(Hz)	0.10 ～ 20.00 Hz	ピッチ変化の周期 (Hz)
Step Rate ()	音符 (*1)	ピッチ変化の周期 (音符)
Output Mode	SPEAKER、 PHONES	OUTPUT ジャックから出力させる音を再生する方法 SPEAKER ：スピーカー PHONES ：ヘッドホン それぞれに最適な 3D 効果が得られます。
Low Gain	-15 ～ +15 dB	低域の増幅／減衰量
High Gain	-15 ～ +15 dB	高域の増幅／減衰量
Balance	D100:0W ～ D0:100W	原音 (D) とフランジャー音 (W) の音量バランス
Level	0 ～ 127	出力音量

32：2BND CHORUS（2 バンド・コーラス）

低音域と高音域のそれぞれに独立して効果をかけることができるコーラスです。

	設定できるパラメーター
MFX Control	Low Depth、High Depth、Low Rate、HighRate、 Balance

パラメーター	設定値	説明
Split Freq	200 ～ 8000 Hz	低域と高域とを分ける周波数
Low Pre Delay	0.0 ～ 100.0 ms	原音が鳴ってから低域のコーラス音が鳴るまでの遅延時間
Low Rate Mode	Hz、音符	音符のとき、テンポに同期します。
Low Rate(Hz)	0.05 ～ 10.00 Hz	低域のコーラス音の揺れの周期 (Hz)
Low Rate	音符 (*1) ()	低域のコーラス音の揺れの周期 (音符)
Low Depth	0 ～ 127	低域のコーラス音の揺れの深さ
Low Phase	0 ～ 180 deg	低域のコーラス音の広がり具合
High Pre Delay	0.0 ～ 100.0 ms	原音が鳴ってから高域のコーラス音が鳴るまでの遅延時間
High Rate Mode	Hz、音符	音符のとき、テンポに同期します。
HighRate(Hz)	0.05 ～ 10.00 Hz	高域のコーラス音の揺れの周期 (Hz)
High Rate	音符 (*1) ()	高域のコーラス音の揺れの周期 (音符)
High Depth	0 ～ 127	高域のコーラス音の揺れの深さ
High Phase	0 ～ 180 deg	高域のコーラス音の広がり具合
Balance	D100:0W ～ D0:100W	原音 (D) とコーラス音 (W) との音量バランス
Level	0 ～ 127	出力音量

33：2BND FLANGR（2 バンド・フランジャー）

低音域と高音域のそれぞれに独立して効果をかけることができるフランジャーです。

	設定できるパラメーター
MFX Control	Balance、Low Rate、HighRate、Low Feedback、 High Feedback

パラメーター	設定値	説明
Split Freq	200 ～ 8000 Hz	低域と高域とを分ける周波数
Low Pre Delay	0.0 ～ 100.0 ms	原音が鳴ってから低域のフランジャー音が鳴るまでの遅延時間
Low Rate Mode	Hz、音符	音符のとき、テンポに同期します。
Low Rate(Hz)	0.05 ～ 10.00 Hz	低域のフランジャー音の揺れの周期 (Hz)
Low Rate	音符 (*1) ()	低域のフランジャー音の揺れの周期 (音符)
Low Depth	0 ～ 127	低域のフランジャー音の揺れの深さ
Low Phase	0 ～ 180 deg	低域のフランジャー音の広がり具合
Low Feedback	-98 ～ +98 %	低域のフランジャー音を入力に戻す割合 (マイナス：逆相)

パラメーター	設定値	説明
High Pre Delay	0.0 ～ 100.0 ms	原音が鳴ってから高域のフランジャー音が鳴るまでの遅延時間
High Rate Mode	Hz、音符	音符のとき、テンポに同期します。
HighRate(Hz)	0.05 ～ 10.00 Hz	高域のフランジャー音の揺れの周期 (Hz)
High Rate ()	音符 (*1)	高域のフランジャー音の揺れの周期 (音符)
High Depth	0 ～ 127	高域のフランジャー音の揺れの深さ
High Phase	0 ～ 180 deg	高域のフランジャー音の広がり具合
High Feedback	-98 ～ +98 %	高域のフランジャー音を入力に戻す割合 (マイナス：逆相)
Balance	D100:0W ～ D0:100W	原音 (D) とフランジャー音 (W) との音量バランス
Level	0 ～ 127	出力音量

34：2BND S.FLN（2 バンド・ステップ・フランジャー）

低音域と高音域のそれぞれに独立して効果をかけることができるステップ・フランジャーです。

	設定できるパラメーター
MFx Control	LoStp Rt、HiStp Rt、Low Feedback、Hi Feedback、Balance

パラメーター	設定値	説明
Split Freq	200 ～ 8000 Hz	低域と高域とを分ける周波数
Low Pre Delay	0.0 ～ 100.0 ms	原音が鳴ってから低域のフランジャー音が鳴るまでの遅延時間
Low Rate Mode	Hz、音符	音符のとき、テンポに同期します。
Low Rate(Hz)	0.05 ～ 10.00 Hz	低域のフランジャー音の揺れの周期 (Hz)
Low Rate()	音符 (*1)	低域のフランジャー音の揺れの周期 (音符)
Low Depth	0 ～ 127	低域のフランジャー音の揺れの深さ
Low Phase	0 ～ 180 deg	低域のフランジャー音の広がり具合
Low Feedback	-98 ～ +98 %	低域のフランジャー音を入力に戻す割合 (マイナス：逆相)
LoStp Mode	Hz、音符	音符のとき、テンポに同期します。
LoStp Rt(Hz)	0.10 ～ 20.00 Hz	低域のフランジャー音のステップ変化の周期 (Hz)
LoStp Rt()	音符 (*1)	低域のフランジャー音のステップ変化の周期 (音符)
Hi Pre Delay	0.0 ～ 100.0 ms	原音が鳴ってから高域のフランジャー音が鳴るまでの遅延時間
Hi Rate Mode	Hz、音符	音符のとき、テンポに同期します。
Hi Rate (Hz)	0.05 ～ 10.00 Hz	高域のフランジャー音の揺れの周期 (Hz)
Hi Rate ()	音符 (*1)	高域のフランジャー音の揺れの周期 (音符)
Hi Depth	0 ～ 127	高域のフランジャー音の揺れの深さ
Hi Phase	0 ～ 180 deg	高域のフランジャー音の広がり具合
Hi Feedback	-98 ～ +98 %	高域のフランジャー音を入力に戻す割合 (マイナス：逆相)
HiStp Mode	Hz、音符	音符のとき、テンポに同期します。
HiStp Rt(Hz)	0.10 ～ 20.00 Hz	高域のフランジャー音のステップ変化の周期 (Hz)
HiStp Rt()	音符 (*1)	高域のフランジャー音のステップ変化の周期 (音符)
Balance	D100:0W ～ D0:100W	原音 (D) とフランジャー音 (W) との音量バランス
Level	0 ～ 127	出力音量

35：OVERDRIVE（オーバードライブ）

真空管アンプで歪ませたような、自然な歪みが得られます。

	設定できるパラメーター
MFx Control	Level、Amp Type、Drive、Pan

パラメーター	設定値	説明
Drive	0 ～ 127	歪み具合 音量も変化します。
Amp Type	SMALL、 BUILT-IN、 2-STACK、 3-STACK	ギター・アンプの種類 SMALL ：小型アンプ BUILT-IN ：ビルト・イン・タイプ 2-STACK ：大型 2 段積みアンプ 3-STACK ：大型 3 段積みアンプ
Low Gain	-15 ～ +15 dB	低域の増幅／減衰量
High Gain	-15 ～ +15 dB	高域の増幅／減衰量
Pan	L64 ～ 63R	出力音の定位
Level	0 ～ 127	出力音量

36：DISTORTION（ディストーション）

ディストーションはオーバードライブよりも激しい歪みが得られます。設定項目は「35：OVERDRIVE」と同じです。

37：VS OVRDRIVE（VS オーバードライブ）

強い歪みが得られるオーバードライブです。

	設定できるパラメーター
MFx Control	Level、Tone、Amp Type、Drive、Pan

パラメーター	設定値	説明
Drive	0 ～ 127	歪み具合 音量も変化します。
Tone	0 ～ 127	音質
Amp Sw	OFF、ON	アンプ・シミュレーターのオン／オフ
Amp Type	SMALL、 BUILT-IN、 2-STACK、 3-STACK	ギター・アンプの種類 SMALL ：小型アンプ BUILT-IN ：ビルト・イン・タイプ 2-STACK ：大型 2 段積みアンプ 3-STACK ：大型 3 段積みアンプ
Low Gain	-15 ～ +15 dB	低域の増幅／減衰量
High Gain	-15 ～ +15 dB	高域の増幅／減衰量
Pan	L64 ～ 63R	出力音の定位
Level	0 ～ 127	出力音量

38：VS DIST（VS ディストーション）

強い歪みが得られるディストーションです。設定項目は「37：VS OVERDRIVE」と同じです。

39：GTR AMP SIM（ギター・アンプ・シミュレーター）

ギター・アンプをシミュレートします。

	設定できるパラメーター
MFx Control	Pre Amp Master、Pre Amp Volume、Pre Amp、Speaker

パラメーター	設定値	説明
Pre Amp Sw	OFF、ON	アンプのスイッチ
Pre Amp	JC-120、 CLEAN TWIN、 MATCH DRIVE、 BG LEAD、 MS1959I、 MS1959II、 MS1959I+II、 SLDN LEAD、 METAL5150、 METAL LEAD、 OD-1、 OD-2 TURBO、 DISTORTION、 FUZZ	ギター・アンプの種類

エフェクト／パラメーター一覧

パラメーター	設定値	説明
Pre Amp Volume	0 ～ 127	アンプの音量と歪み具合
Pre Amp Master	0 ～ 127	プリ・アンプ全体の音量
Pre Amp Gain	LOW、 MIDDLE、HIGH	プリ・アンプの歪み具合
Pre Amp Bass	0 ～ 127	低域／中域／高域の音質 ※ Pre Amp が「Match Drive」のとき、 Middle は無効です。
Pre Amp Middle		
Pre Amp Treble		
Pre Amp Presence	0 ～ 127 (MATCH DRIVE: -127 ～ 0)	超高域の音質
Pre Amp Bright	OFF、ON	「ON」にすると、歯切れの良い明るい音になります。 ※ Pre Amp が「JC-120」「Clean Twin」「BG Lead」のときのみ有効 です。
Speaker Sw	OFF、ON	スピーカーを通すか（オン）／通さない か（オフ）を選択
Speaker	(別表タイプ参 照)	スピーカーのタイプ
Mic Setting	1、2、3	スピーカーの音を収録するマイクの位置 1/2/3 の順でマイクの位置が遠ざかりま す。
Mic Level	0 ～ 127	マイクの音量
Direct Level	0 ～ 127	ダイレクト音の音量
Pan	L64 ～ 63R	出力音の定位
Level	0 ～ 127	出力音量

スピーカー各タイプの仕様

スピーカーの項は、スピーカーの径（インチ）と個数を示しています。

タイプ	キャビネット	スピーカー	マイク
SMALL 1	小型後面開放型	10	ダイナミック
SMALL 2	小型後面開放型	10	ダイナミック
MIDDLE	後面開放型	12 x 1	ダイナミック
JC-120	後面開放型	12 x 2	ダイナミック
BUILT-IN 1	後面開放型	12 x 2	ダイナミック
BUILT-IN 2	後面開放型	12 x 2	コンデンサー
BUILT-IN 3	後面開放型	12 x 2	コンデンサー
BUILT-IN 4	後面開放型	12 x 2	コンデンサー
BUILT-IN 5	後面開放型	12 x 2	コンデンサー
BG STACK 1	密閉型	12 x 2	コンデンサー
BG STACK 2	大型密閉型	12 x 2	コンデンサー
MS STACK 1	大型密閉型	12 x 4	コンデンサー
MS STACK 2	大型密閉型	12 x 4	コンデンサー
METAL STACK	大型 2 段重ね	12 x 4	コンデンサー
2-STACK	大型 2 段重ね	12 x 4	コンデンサー
3-STACK	大型 3 段重ね	12 x 4	コンデンサー

40：COMPRESSOR（コンプレッサー）

大きなレベルの音を抑え、小さなレベルの音を持ち上げることで、全体の音量のバラツキを抑えます。

	設定できるパラメーター
MFX Control	Threshold、Attack、Level

パラメーター	設定値	説明
Attack	0 ～ 127	Threshold を超える入力があったときに、 音量を圧縮するまでの時間
Threshold	0 ～ 127	圧縮を始める音量レベル
Post Gain	0 ～ +18 dB	出力する音のレベル
Low Gain	-15 ～ +15 dB	低域の増幅／減衰量
High Gain	-15 ～ +15 dB	高域の増幅／減衰量
Level	0 ～ 127	出力音量

41：LIMITER（リミッター）

指定の音量より大きな音を圧縮し、音の歪みを抑えます。

	設定できるパラメーター
MFX Control	Threshold、Release、Level

パラメーター	設定値	説明
Release	0 ～ 127	圧縮がかかっている状態から、入力が Threshold より小さくなったときに、圧 縮をやめるまでの時間
Threshold	0 ～ 127	圧縮を始める音量レベル
Ratio	1.5:1、2:1、 4:1、100:1	圧縮比
Post Gain	0 ～ +18 dB	出力する音のレベル
Low Gain	-15 ～ +15 dB	低域の増幅／減衰量
High Gain	-15 ～ +15 dB	高域の増幅／減衰量
Level	0 ～ 127	出力音量

42：GATE（ゲート）

エフェクターへの入力音の音量によって、残響音の余韻をカットします。
音の余韻を強制的に短くするときなどに使います。

	設定できるパラメーター
MFX Control	Threshold、Hold、Release、Attack、Balance

パラメーター	設定値	説明
Threshold	0 ～ 127	ゲートを閉じ始める音量レベル
Mode	GATE、DUCK	ゲートの種類 GATE（ゲート） ：原音の音量が小さく なるとゲートが閉じ、原音がカットさ れます。 DUCK（ダッキング） ：原音の音量が 大きくなるとゲートが閉じ、原音が カットされます。
Attack	0 ～ 127	ゲートが開き始めてから、開ききるまで の所要時間
Hold	0 ～ 127	原音がスレッショルド・レベルを下回っ た瞬間から、ゲートが閉じ始めるまでの 時間
Release	0 ～ 127	ホールド・タイム経過後、ゲートが閉じ 始めてから閉じ終わるまでの所要時間
Balance	D100:0W ～ D0:100W	原音（D）とエフェクト音（W）の音量 バランス
Level	0 ～ 127	出力音量

43：DELAY（ディレイ）

ステレオ仕様のディレイです。

	設定できるパラメーター
MFX Control	Balance、Delay L、Delay R

パラメーター	設定値	説明
Delay L Mode	ms、音符	音符のとき、テンポに同期します。
Delay L (ms)	1 ～ 1300 ms	原音が鳴ってから左のディレイ音が鳴る までの遅延時間 (ms)
Delay L ()	音符 (*1)	原音が鳴ってから左のディレイ音が鳴る までの遅延時間 (音符)
Delay R Mode	ms、音符	Delay R の設定 設定項目は Delay L と同じです。
Delay R (ms)	1 ～ 1300 ms	
Delay R ()	音符 (*1)	
Phase Left	NORMAL、 INVERSE	左右のディレイ音の位相（ NORMAL ：非 反転 INVERT ：反転）
Phase Right		
Feedback Mode	NORMAL、 CROSS	ディレイ音を戻す入力先 (アルゴリズム図参照)
Feedback	-98 ～ +98 %	ディレイ音を入力に戻す割合（マイナ ス：逆相）
HF Damp	200 ～ 8000 Hz、BYPASS	入力に戻すディレイ音の高域成分をカット する基準周波数 (BYPASS：カットし ない)
Low Gain	-15 ～ +15 dB	低域の増幅／減衰量
High Gain	-15 ～ +15 dB	高域の増幅／減衰量
Balance	D100:0W ～ D0:100W	原音（D）とディレイ音（W）の音量バ ランス
Level	0 ～ 127	出力音量

44：LONG DELAY（ロング・ディレイ）

長いディレイ・タイムが得られるディレイです。

	設定できるパラメーター	
MFX Control	Balance、Delay、Pan	
パラメーター	設定値	説明
Delay Mode	ms、音符	音符のとき、テンポに同期します。
Delay (ms)	1 ～ 2600 ms	原音が鳴ってからディレイ音が鳴るまでの遅延時間 (ms)
Delay ()	音符 (*1)	原音が鳴ってからディレイ音が鳴るまでの遅延時間 (音符)
Phase	NORMAL、INVERSE	ディレイ音の位相 (NORMAL ：非反転 INVERT ：反転)
Feedback	-98 ～ +98 %	ディレイ音を入力に戻す割合 (マイナス：逆相)
HF Damp	200 ～ 8000 Hz、BYPASS	ディレイ音の高域成分をカットする基準周波数 (BYPASS：カットしない)
Pan	L64 ～ 63R	ディレイ音の定位
Low Gain	-15 ～ +15 dB	低域の増幅／減衰量
High Gain	-15 ～ +15 dB	高域の増幅／減衰量
Balance	D100:0W ～ D0:100W	原音 (D) とディレイ音 (W) との音量バランス
Level	0 ～ 127	出力音量

45：SERIAL DLY（シリアル・ディレイ）

2つのディレイ・ユニットを直列に接続したディレイです。各々のディレイ・ユニットには独立してフィードバックをかけることができるので、複雑なディレイ音を得ることができます。

	設定できるパラメーター	
MFX Control	Balance、Delay1、Delay2、Pan	
パラメーター	設定値	説明
Delay1 Mode	ms、音符	音符のとき、テンポに同期します。
Delay1 (ms)	1 ～ 1300 ms	ディレイ 1 に音が入力されてからディレイ音が鳴るまでの遅延時間 (ms)
Delay1 ()	音符 (*1)	ディレイ 1 に音が入力されてからディレイ音が鳴るまでの遅延時間 (音符)
Delay1 Feedback	-98 ～ +98 %	ディレイ音をディレイ 1 の入力に戻す割合 (マイナス：逆相)
Dly1 HF Damp	200 ～ 8000 Hz、BYPASS	ディレイ 1 のディレイ音の高域成分をカットする基準周波数 (BYPASS：カットしない)
Delay2 Mode	ms、音符	音符のとき、テンポに同期します。
Delay2 (ms)	1 ～ 1300 ms	ディレイ 2 に音が入力されてからディレイ音が鳴るまでの遅延時間 (ms)
Delay2 ()	音符 (*1)	ディレイ 2 に音が入力されてからディレイ音が鳴るまでの遅延時間 (音符)
Delay2 Feedback	-98 ～ +98 %	ディレイ音をディレイ 2 の入力に戻す割合 (マイナス：逆相)
Dly2 HF Damp	200 ～ 8000 Hz、BYPASS	ディレイ 2 のディレイ音の高域成分をカットする基準周波数 (BYPASS：カットしない)
Pan	L64 ～ 63R	ディレイ音の定位
Low Gain	-15 ～ +15 dB	低域の増幅／減衰量
High Gain	-15 ～ +15 dB	高域の増幅／減衰量
Balance	D100:0W ～ D0:100W	原音 (D) とディレイ音 (W) との音量バランス
Level	0 ～ 127	出力音量

46：MOD DELAY（モジュレーション・ディレイ）

ディレイ音に揺れが加えられます。

	設定できるパラメーター	
MFX Control	Balance、Depth、Delay L、Delay R	
パラメーター	設定値	説明
Delay L Mode	ms、音符	音符のとき、テンポに同期します。
Delay L (ms)	1 ～ 1300 ms	原音が鳴ってから左のディレイ音が鳴るまでの遅延時間 (ms)
Delay L ()	音符 (*1)	原音が鳴ってから左のディレイ音が鳴るまでの遅延時間 (音符)

パラメーター	設定値	説明
Delay R Mode	ms、音符	Delay R の設定 設定項目は Delay L と同じです。
Delay R (ms)	1 ～ 1300 ms	
Delay R ()	音符 (*1)	
Feedback Mode	NORMAL、CROSS	ディレイ音に戻す入力先 (アルゴリズム図参照)
Feedback	-98 ～ +98 %	ディレイ音を入力に戻す割合 (マイナス：逆相)
HF Damp	200 ～ 8000 Hz、BYPASS	入力に戻すディレイ音の高域成分をカットする基準周波数 (BYPASS：カットしない)
Rate Mode	Hz、音符	音符のとき、テンポに同期します。
Rate (Hz)	0.05 ～ 10.00 Hz	モジュレーションの周期 (Hz)
Rate ()	音符 (*1)	モジュレーションの周期 (音符)
Depth	0 ～ 127	モジュレーションの深さ
Phase	0 ～ 180 deg	モジュレーションの広がり
Low Gain	-15 ～ +15 dB	低域の増幅／減衰量
High Gain	-15 ～ +15 dB	高域の増幅／減衰量
Balance	D100:0W ～ D0:100W	原音 (D) とディレイ音 (W) の音量バランス
Level	0 ～ 127	出力音量

47：3TP PAN DLY（3 タップ・パン・ディレイ）

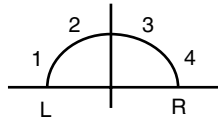
中央、左、右の 3 方向にディレイ音が鳴らせます。

	設定できるパラメーター	
MFX Control	Balance、Delay C、Delay L、Delay R	
パラメーター	設定値	説明
Delay L Mode	ms、音符	音符のとき、テンポに同期します。
Delay L (ms)	1 ～ 2600 ms	原音が鳴ってから左のディレイ音が鳴るまでの遅延時間 (ms)
Delay L ()	音符 (*1)	原音が鳴ってから左のディレイ音が鳴るまでの遅延時間 (音符)
Delay R Mode	ms、音符	Delay R の設定 設定項目は Delay L と同じです。
Delay R (ms)	1 ～ 2600 ms	
Delay R ()	音符 (*1)	
Delay C Mode	ms、音符	Delay C の設定 設定項目は Delay L と同じです。
Delay C (ms)	1 ～ 2600 ms	
Delay C ()	音符 (*1)	
Center Feedback	-98 ～ +98 %	ディレイ音を入力に戻す割合 (マイナス：逆相)
HF Damp	200 ～ 8000 Hz、BYPASS	入力に戻すディレイ音の高域成分をカットする基準周波数 (BYPASS：カットしない)
Left Level	0 ～ 127	左のディレイ音の音量
Right Level		右のディレイ音の音量
Center Level		中央のディレイ音の音量
Low Gain	-15 ～ +15 dB	低域の増幅／減衰量
High Gain	-15 ～ +15 dB	高域の増幅／減衰量
Balance	D100:0W ～ D0:100W	原音 (D) とディレイ音 (W) の音量バランス
Level	0 ～ 127	出力音量

エフェクト／パラメーター一覧

48：4TP PAN DLY（4 タップ・パン・ディレイ）

4 つのディレイ音を鳴らせます。
各ディレイ音の定位



設定できるパラメーター		
MFX Control	Balance、Delay1、Delay2、Delay3、Delay4	
パラメーター	設定値	説明
Delay1 Mode	ms、音符	音符のとき、テンポに同期します。
Delay1 (ms)	1 ～ 2600 ms	原音が鳴ってから、ディレイ 1 の音が鳴るまでの遅延時間 (ms)
Delay1 ()	音符 (*1)	原音が鳴ってから、ディレイ 1 の音が鳴るまでの遅延時間 (音符)
Delay2 Mode	ms、音符	Delay 2 の設定
Delay2 (ms)	1 ～ 2600 ms	設定項目は Delay 1 と同じです。
Delay2 ()	音符 (*1)	
Delay3 Mode	ms、音符	Delay 3 の設定
Delay3 (ms)	1 ～ 2600 ms	設定項目は Delay 1 と同じです。
Delay3 ()	音符 (*1)	
Delay4 Mode	ms、音符	Delay 4 の設定
Delay4 (ms)	1 ～ 2600 ms	設定項目は Delay 1 と同じです。
Delay4 ()	音符 (*1)	
Delay1 Feedback	-98 ～ +98 %	ディレイ音を入力に戻す割合 (マイナス：逆相)
HF Damp	200 ～ 8000 Hz、BYPASS	入力に戻すディレイ音の高域成分をカットする基準周波数 (BYPASS：カットしない)
Delay1 Level	0 ～ 127	ディレイ 1 の音量
Delay2 Level		ディレイ 2 の音量
Delay3 Level		ディレイ 3 の音量
Delay4 Level		ディレイ 4 の音量
Low Gain	-15 ～ +15 dB	低域の増幅／減衰量
High Gain	-15 ～ +15 dB	高域の増幅／減衰量
Balance	D100:0W ～ D0:100W	原音 (D) とディレイ音 (W) の音量バランス
Level	0 ～ 127	出力音量

49：MULTTAP DLY（マルチ・タップ・ディレイ）

4 つのディレイ音を鳴らせます。ディレイ・タイムは指定のテンポに対する音符の長さで設定することもできます。また、各ディレイ音の定位やレベルを設定することができます。

設定できるパラメーター		
MFX Control	Balance、Delay1、Delay2、Delay3、Delay4	
パラメーター	設定値	説明
Delay1 Mode	ms、音符	音符のとき、テンポに同期します。
Delay1 (ms)	1 ～ 2600 ms	原音が鳴ってから、ディレイ 1 の音が鳴るまでの遅延時間 (ms)
Delay1 ()	音符 (*1)	原音が鳴ってから、ディレイ 1 の音が鳴るまでの遅延時間 (音符)
Delay2 Mode	ms、音符	Delay 2 の設定
Delay2 (ms)	1 ～ 2600 ms	設定項目は Delay 1 と同じです。
Delay2 ()	音符 (*1)	
Delay3 Mode	ms、音符	Delay 3 の設定
Delay3 (ms)	1 ～ 2600 ms	設定項目は Delay 1 と同じです。
Delay3 ()	音符 (*1)	
Delay4 Mode	ms、音符	Delay 4 の設定
Delay4 (ms)	1 ～ 2600 ms	設定項目は Delay 1 と同じです。
Delay4 ()	音符 (*1)	
Delay1 Feedback	-98 ～ +98 %	ディレイ音を入力に戻す割合 (マイナス：逆相)

パラメーター	設定値	説明
HF Damp	200 ～ 8000 Hz、BYPASS	入力に戻すディレイ音の高域成分をカットする基準周波数 (BYPASS：カットしない)
Delay1 Pan	L64 ～ 63R	ディレイ 1 の定位
Delay2 Pan		ディレイ 2 の定位
Delay3 Pan		ディレイ 3 の定位
Delay4 Pan		ディレイ 4 の定位
Delay1 Level	0 ～ 127	ディレイ 1 の音量
Delay2 Level		ディレイ 2 の音量
Delay3 Level		ディレイ 3 の音量
Delay4 Level		ディレイ 4 の音量
Low Gain	-15 ～ +15 dB	低域の増幅／減衰量
High Gain	-15 ～ +15 dB	高域の増幅／減衰量
Balance	D100:0W ～ D0:100W	原音 (D) とエフェクト音 (W) の音量バランス
Level	0 ～ 127	出力音量

50：REVERSE DLY（リバーズ・ディレイ）

入力された音のリバーズ音をディレイ音として付加するリバーズ・ディレイです。リバーズ・ディレイの直後にはタップ・ディレイが接続されています。

設定できるパラメーター		
MFX Control	Balance、Rev Dly、Rev Dly Pan	
パラメーター	設定値	説明
Threshold	0 ～ 127	リバーズ・ディレイがかかり始める音量
Rev Dly Mode	ms、音符	音符のとき、テンポに同期します。
Rev Dly (ms)	1 ～ 1300 ms	リバーズ・ディレイに音が入力されてからディレイ音が鳴るまでの遅延時間 (ms)
Rev Dly ()	音符 (*1)	リバーズ・ディレイに音が入力されてからディレイ音が鳴るまでの遅延時間 (音符)
Rev Dly Fbk	-98 ～ +98 %	ディレイ音をリバーズ・ディレイの入力に戻す割合 (マイナス：逆相)
Rev Dly HFDmp	200 ～ 8000 Hz、BYPASS	リバーズ・ディレイ音の高域成分をカットする基準周波数 (BYPASS：カットしない)
Rev Dly Pan	L64 ～ 63R	リバーズ・ディレイ音の定位
Rev Dly Level	0 ～ 127	リバーズ・ディレイ音の音量
Delay1 Mode	ms、音符	音符のとき、テンポに同期します。
Delay1 (ms)	1 ～ 1300 ms	タップ・ディレイに音が入力されてからディレイ音が鳴るまでの遅延時間 (ms)
Delay1 ()	音符 (*1)	タップ・ディレイに音が入力されてからディレイ音が鳴るまでの遅延時間 (音符)
Delay2 Mode	ms、音符	Delay 2 の設定
Delay2 (ms)	1 ～ 1300 ms	設定項目は Delay 1 と同じです。
Delay2 ()	音符 (*1)	
Delay3 Mode	ms、音符	Delay 3 の設定
Delay3 (ms)	1 ～ 1300 ms	設定項目は Delay 1 と同じです。
Delay3 ()	音符 (*1)	
Delay3 Feedback	-98 ～ +98 %	ディレイ音をタップ・ディレイの入力に戻す割合 (マイナス：逆相)
Delay HF Damp	200 ～ 8000 Hz、BYPASS	タップ・ディレイ音の高域成分をカットする基準周波数 (BYPASS：カットしない)
Delay1 Pan	L64 ～ 63R	タップ・ディレイ音の定位
Delay2 Pan		
Delay1 Level	0 ～ 127	タップ・ディレイ音の音量
Delay2 Level		
Low Gain	-15 ～ +15 dB	低域の増幅／減衰量
High Gain	-15 ～ +15 dB	高域の増幅／減衰量
Balance	D100:0W ～ D0:100W	原音 (D) とディレイ音 (W) との音量バランス
Level	0 ～ 127	出力音量

51：SHUFFLE DLY（シャッフル・ディレイ）

ディレイ音をシャッフルさせることができ、スイング感のある弾むようなディレイ効果が得られます。

	設定できるパラメーター	
MFX Control	Balance、Delay、Shuffle Rate	
パラメーター	設定値	説明
Delay Mode	ms、音符	音符のとき、テンポに同期します。
Delay (ms)	1 ～ 2600 ms	原音が鳴ってからディレイ音が鳴るまでの遅延時間 (ms)
Delay ()	音符 (*1)	原音が鳴ってからディレイ音が鳴るまでの遅延時間 (音符)
Shuffle Rate	0 ～ 100 %	ディレイ A の遅延時間に対するディレイ B の遅延時間の割合 100 で同じ長さです。
Acceleration	0 ～ 15	ディレイ・タイムを変化させた場合、現在のディレイ・タイムから指定のディレイ・タイムに達するまでの時間
Feedback	-98 ～ +98 %	ディレイ音を入力に戻す割合 (マイナス：逆相)
HF Damp	200 ～ 8000 Hz、BYPASS	入力に戻すディレイ音の高域成分をカットする基準周波数 (BYPASS：カットしない)
Pan A	L64 ～ 63R	ディレイ A/B の定位
Pan B		
Level A	0 ～ 127	ディレイ A/B の音量
Level B		
Low Gain	-15 ～ +15 dB	低域の増幅／減衰量
High Gain	-15 ～ +15 dB	高域の増幅／減衰量
Balance	D100:0W ～ D0:100W	原音 (D) とエフェクト音 (W) の音量バランス
Level	0 ～ 127	出力音量

52：3D DELAY（3D ディレイ）

ディレイ音に 3D 効果（立体感）がかかります。ディレイ音が 90 度左と 90 度右に定位します。

	設定できるパラメーター	
MFX Control	Balance、Delay C、Delay L、Delay R	
パラメーター	設定値	説明
Delay L Mode	ms、音符	音符のとき、テンポに同期します。
Delay L (ms)	1 ～ 2600 ms	原音が鳴ってから左のディレイ音が鳴るまでの遅延時間 (ms)
Delay L ()	音符 (*1)	原音が鳴ってから左のディレイ音が鳴るまでの遅延時間 (音符)
Delay R Mode	ms、音符	Delay R の設定
Delay R (ms)	1 ～ 2600 ms	設定項目は Delay L と同じです。
Delay R ()	音符 (*1)	
Delay C Mode	ms、音符	Delay C の設定
Delay C (ms)	1 ～ 2600 ms	設定項目は Delay L と同じです。
Delay C ()	音符 (*1)	
Center Feedback	-98 ～ +98 %	ディレイ音を入力に戻す割合 (マイナス：逆相)
HF Damp	200 ～ 8000 Hz、BYPASS	入力に戻すディレイ音の、高域成分をカットする基準周波数 (BYPASS：カットしない)
Left Level	0 ～ 127	中央／左／右のディレイ音の音量
Right Level		
Center Level		
Output Mode	SPEAKER、PHONES	OUTPUT ジャックから出力させる音を再生する方法 SPEAKER ：スピーカー PHONES ：ヘッドホン それぞれに最適な 3D 効果が得られます。
Low Gain	-15 ～ +15 dB	低域の増幅／減衰量
High Gain	-15 ～ +15 dB	高域の増幅／減衰量
Balance	D100:0W ～ D0:100W	原音 (D) とエフェクト音 (W) の音量バランス
Level	0 ～ 127	出力音量

53：T-CTRL DLY（タイム・コントロール・ディレイ）

ディレイ・タイムを滑らかに変化させることができるディレイです。

	設定できるパラメーター	
MFX Control	Balance、Delay	
パラメーター	設定値	説明
Delay Mode	ms、音符	音符のとき、テンポに同期します。
Delay (ms)	1 ～ 1300 ms	原音が鳴ってからディレイ音が鳴るまでの遅延時間 (ms)
Delay ()	音符 (*1)	原音が鳴ってからディレイ音が鳴るまでの遅延時間 (音符)
Acceleration	0 ～ 15	ディレイ・タイムを変化させた場合、現在のディレイ・タイムから指定のディレイ・タイムに達するまでの時間。ディレイ・タイムと同時にピッチ変化の速さも変わります。
Feedback	-98 ～ +98 %	ディレイ音を入力に戻す割合 (マイナス：逆相)
HF Damp	200 ～ 8000 Hz、BYPASS	入力に戻すディレイ音の高域成分をカットする基準周波数 (BYPASS：カットしない)
Low Gain	-15 ～ +15 dB	低域の増幅／減衰量
High Gain	-15 ～ +15 dB	高域の増幅／減衰量
Balance	D100:0W ～ D0:100W	原音 (D) とディレイ音 (W) の音量バランス
Level	0 ～ 127	出力音量

54：LONG TC DLY（ロング・タイム・コントロール・ディレイ）

ディレイ・タイムを滑らかに変化させることができるディレイで、長いディレイ・タイムが得られます。

	設定できるパラメーター	
MFX Control	Balance、Delay	
パラメーター	設定値	説明
Delay Mode	ms、音符	音符のとき、テンポに同期します。
Delay (ms)	1 ～ 2600 ms	原音が鳴ってからディレイ音が鳴るまでの遅延時間 (ms)
Delay ()	音符 (*1)	原音が鳴ってからディレイ音が鳴るまでの遅延時間 (音符)
Acceleration	0 ～ 15	ディレイ・タイムを変化させた場合、現在のディレイ・タイムから指定のディレイ・タイムに達するまでの時間。ディレイ・タイムと同時にピッチ変化の速さも変わります。
Feedback	-98 ～ +98 %	ディレイ音を入力に戻す割合 (マイナス：逆相)
HF Damp	200 ～ 8000 Hz、BYPASS	入力に戻すディレイ音の高域成分をカットする基準周波数 (BYPASS：カットしない)
Pan	L64 ～ 63R	ディレイ音の定位
Low Gain	-15 ～ +15 dB	低域の増幅／減衰量
High Gain	-15 ～ +15 dB	高域の増幅／減衰量
Balance	D100:0W ～ D0:100W	原音 (D) とディレイ音 (W) の音量バランス
Level	0 ～ 127	出力音量

エフェクト／パラメーター一覧

55：TAPE ECHO（テープ・エコー）

リアルなテープ・ディレイ・サウンドが得られる、バーチャル・テープ・エコーです。ローランド RE-201 スペース・エコーの、テープ・エコー部のシミュレートです。

設定できるパラメーター		
MFX Control	Echo Level、Repeat Rate、Mode	
パラメーター	設定値	説明
Mode	S、M、L、 S+M、S+L、 M+L、S+M+L	使用する再生ヘッドの組み合わせ 遅れ時間の異なる 3 個のヘッドの中から 選びます。 S ：ショート M ：ミドル L ：ロング
Repeat Rate	0 ～ 127	テープ・スピード 値を大きくすると、ディレイ音の間隔が 短くなります。
Intensity	0 ～ 127	ディレイ音の繰返し量
Bass	-15 ～ +15 dB	エコー音の低域の増幅／減衰量
Treble	-15 ～ +15 dB	エコー音の高域の増幅／減衰量
Head S Pan	L64 ～ 63R	ショート／ミドル／ロングの再生ヘッド ごとの定位
Head M Pan		
Head L Pan		
Tape Distortion	0 ～ 5	テープ独特の歪みを付加する量 測定器で測るとわかるような微妙な音色 変化を再現します。値を大きくすると、 歪みが深くなります。
W/F Rate	0 ～ 127	ワウ・フラッター（テープの劣化や回転 ムラによる、複雑なピッチの揺れ）の速 さ
W/F Depth	0 ～ 127	ワウ・フラッターの深さ
Echo Level	0 ～ 127	エコー音の音量
Direct Level	0 ～ 127	原音の音量
Level	0 ～ 127	出力音量

56：LOFI NOISE（ローファイ・ノイズ）

ローファイ効果に加えて、ホワイト・ノイズ、ディスク・ノイズなどのノイズを発生させます。

設定できるパラメーター		
MFX Control	Balance、Hum Noise Level、Disc Noise Level、 Noise Level、LoFi Type	
パラメーター	設定値	説明
LoFi Type	1 ～ 9	音質を粗くします。値が大きいくほど音質 が粗くなります。
Post Fltr Type	OFF、LPF、 HPF	LoFi を通った後のフィルターの種類 OFF ：フィルター未使用 LPF ：高域をカット HPF ：低域をカット
Post F-Cutoff	200 ～ 8000 Hz	フィルターで特定の周波数をカットする 場合の基準周波数
Noise Type	WHITE、PINK	ホワイト・ノイズとピンク・ノイズの切 り替え
Noise LPF	200 ～ 8000 Hz、BYPASS	ホワイト／ピンク・ノイズにかける ロー・パス・フィルターの基準周波数 (BYPASS：カットしない)
Noise Level	0 ～ 127	ホワイト／ピンク・ノイズの音量
Disc Noise Type	LP、EP、SP、 RND	レコード・ノイズの種類 タイプによってノイズの出る頻度が変わ ります。
DiscNoise LPF	200 ～ 8000 Hz、BYPASS	レコード・ノイズにかけるロー・パス・ フィルターの基準周波数（BYPASS： カットしない）
Disc Noise Level	0 ～ 127	レコード・ノイズの音量
Hum Noise Type	50Hz、60Hz	ハム・ノイズの周波数
Hum Noise LPF	200 ～ 8000 Hz、BYPASS	ハム・ノイズにかけるロー・パス・フィ ルターの基準周波数（BYPASS：カット しない）
Hum Noise Level	0 ～ 127	ハム・ノイズの音量
Low Gain	-15 ～ +15 dB	低域の増幅／減衰量
High Gain	-15 ～ +15 dB	高域の増幅／減衰量
Balance	D100:0W ～ D0:100W	原音（D）とエフェクト音（W）の音量 バランス
Level	0 ～ 127	出力音量

57：LOFI COMPRS（ローファイ・コンプレス）

音質を荒くします。

設定できるパラメーター		
MFX Control	Balance、LoFi Type	
パラメーター	設定値	説明
Pre Filter Type	1 ～ 6	LoFi を通る前のフィルターの種類
LoFi Type	1 ～ 9	音質を粗くします。値が大きいくほど音質 が粗くなります。
Post Fltr Type	OFF、LPF、 HPF	LoFi を通った後のフィルターの種類 OFF ：フィルター未使用 LPF ：高域をカット HPF ：低域をカット
Post F-Cutoff	200 ～ 8000 Hz	Post Filter の基準周波数
Low Gain	-15 ～ +15 dB	低域の増幅／減衰量
High Gain	-15 ～ +15 dB	高域の増幅／減衰量
Balance	D100:0W ～ D0:100W	原音（D）とエフェクト音（W）の音量 バランス
Level	0 ～ 127	出力音量

58：LOFI RADIO（ローファイ・ラジオ）

ローファイ効果に加えて、ラジオ・ノイズを発生させます。

設定できるパラメーター		
MFX Control	Balance、Radio Detune、Radio Noise Lev、LoFi Type	
パラメーター	設定値	説明
LoFi Type	1 ～ 9	音質を粗くします。値が大きいくほど音質 が粗くなります。
Post Fltr Type	OFF、LPF、 HPF	LoFi を通った後のフィルターの種類 OFF ：フィルター未使用 LPF ：高域をカット HPF ：低域をカット
Post F-Cutoff	200 ～ 8000 Hz	Post Filter の基準周波数
Radio Detune	0 ～ 127	ラジオのチューニングのノイズをシミュ レートします。値が大きくなるほど チューニングがずれます。
Radio Noise Lev	0 ～ 127	ラジオ・ノイズの音量
Low Gain	-15 ～ +15 dB	低域の増幅／減衰量
High Gain	-15 ～ +15 dB	高域の増幅／減衰量
Balance	D100:0W ～ D0:100W	原音（D）とエフェクト音（W）の音量 バランス
Level	0 ～ 127	出力音量

59：TELEPHONE（テレフォン）

電話機を通じて聴こえるような、こもった音が得られます。

設定できるパラメーター		
MFX Control	Balance、Voice Quality	
パラメーター	設定値	説明
Voice Quality	0 ～ 15	通話音の音質
Treble	-15 ～ +15 dB	通話音の高域
Balance	D100:0W ～ D0:100W	原音（D）とエフェクト音（W）の音量 バランス
Level	0 ～ 127	出力音量

60：PHONOGRAPH（フォノグラフ）

レコード・プレーヤーでアナログ・レコード盤を鳴らしているような音を再現します。レコード独特の様々な雑音や、古いターンテーブルの回転ムラまで表現できます。

	設定できるパラメーター	
MFX Control	Total Noise Lev、Total W/F、Frequency Range、Balance	
パラメーター	設定値	説明
Signal Dist	0 ～ 127	歪み具合
Frequency Range	0 ～ 127	再生システムの周波数特性値を小さくすると、周波数特性の悪い、古いシステムの雰囲気になります。
Disc Type	LP、EP、SP	ターンテーブルの回転速度 Scratch Noise の周期に影響します。
ScratchNoise Lev	0 ～ 127	レコード盤の傷による雑音の音量
Dust Noise Lev	0 ～ 127	レコード盤の埃による雑音の音量
Hiss Noise Lev	0 ～ 127	「サーッ」という連続した雑音の音量
Total Noise Lev	0 ～ 127	全体の雑音量
Wow	0 ～ 127	長い周期の回転ムラの度合い
Flutter	0 ～ 127	短い周期の回転ムラの度合い
Random	0 ～ 127	周期の定まらない回転ムラの度合い
Total W/F	0 ～ 127	全体の回転ムラの量
Balance	D100:0W ～ D0:100W	原音 (D) とエフェクト音 (W) の音量バランス
Level	0 ～ 127	出力音量

61：PCH SHIFTER（ピッチ・シフター）

ステレオ仕様のピッチ・シフターです。

	設定できるパラメーター	
MFX Control	Balance、Fine、Coarse、Delay	
パラメーター	設定値	説明
Coarse	-24 ～ +12 semi	ピッチ・シフト量（半音単位）
Fine	-100 ～ +100 cent	ピッチ・シフト量（2 セント単位）
Delay Mode	ms、音符	音符のとき、テンポに同期します。
Delay (ms)	1 ～ 1300 ms	原音が鳴ってからピッチ・シフト音が鳴るまでの遅延時間 (ms)
Delay ()	音符 (*1)	原音が鳴ってからピッチ・シフト音が鳴るまでの遅延時間（音符）
Feedback	-98 ～ +98 %	ピッチ・シフト音を入力に戻す割合（マイナス：逆相）
Low Gain	-15 ～ +15 dB	低域の増幅／減衰量
High Gain	-15 ～ +15 dB	高域の増幅／減衰量
Balance	D100:0W ～ D0:100W	原音 (D) とピッチ・シフト音 (W) の音量バランス
Level	0 ～ 127	出力音量

62：2V P.SHIFTR（2 ボイス・ピッチ・シフター）

原音のピッチをずらしします。ピッチをずらした 2 つの音を原音に重ねて鳴らすことができます。

	設定できるパラメーター	
MFX Control	Balance、Pch1 Coarse、Pch2 Coarse、Pch1 Dly、Pch2 Dly	
パラメーター	設定値	説明
Pch1 Coarse	-24 ～ +12 semi	ピッチ・シフト 1 のピッチ・シフト量（半音単位）
Pch1 Fine	-100 ～ +100 cent	ピッチ・シフト 1 のピッチ・シフト量（2 セント単位）
Pch1 Delay Mode	ms、音符	音符のとき、テンポに同期します。
Pch1 Dly (ms)	1 ～ 1300 ms	原音が鳴ってからピッチ・シフト 1 の音が鳴るまでの遅延時間 (ms)
Pch1 Delay ()	音符 (*1)	原音が鳴ってからピッチ・シフト 1 の音が鳴るまでの遅延時間（音符）

パラメーター	設定値	説明
Pch1 Feedback	-98 ～ +98 %	ピッチ・シフト音を入力に戻す割合（マイナス：逆相）
Pch1 Pan	L64 ～ 63R	ピッチ・シフト 1 の音の定位
Pch1 Level	0 ～ 127	ピッチ・シフト 1 の音量
Pch2 Coarse	-24 ～ +12 semi	ピッチ・シフト 2 の設定
Pch2 Fine	-100 ～ +100 cent	設定項目はピッチ・シフト 1 と同じです。
Pch2 Delay Mode	ms、音符	
Pch2 Dly (ms)	1 ～ 1300 ms	
Pch2 Delay ()	音符 (*1)	
Pch2 Feedback	-98 ～ +98 %	
Pch2 Pan	L64 ～ 63R	
Pch2 Level	0 ～ 127	
Low Gain	-15 ～ +15 dB	低域の増幅／減衰量
High Gain	-15 ～ +15 dB	高域の増幅／減衰量
Balance	D100:0W ～ D0:100W	原音 (D) とピッチ・シフト音 (W) の音量バランス
Level	0 ～ 127	出力音量

63：S.P.SHIFTER（ステップ・ピッチ・シフター）

ピッチ・シフト音のシフト量を 16 ステップのシーケンスに従って変化させるピッチ・シフターです。

	設定できるパラメーター	
MFX Control	Rate、Attack、Gate Time、Balance	
パラメーター	設定値	説明
Step 01 ～ 16	-24 ～ +12 semi	各ステップにおけるピッチ・シフト量（半音単位）
Rate Mode	Hz、音符	音符のとき、テンポに同期します。
Rate (Hz)	0.05 ～ 10.00 Hz	16 ステップのシーケンスを繰り返す周期 (Hz)
Rate ()	音符 (*1)	16 ステップのシーケンスを繰り返す周期（音符）
Attack	0 ～ 127	ピッチ・シフト量がステップ間で変化する速さ
Gate Time	0 ～ 127	各ステップでのピッチ・シフト音の発音時間
Fine	-100 ～ +100 cent	各ステップで共通のピッチ・シフト量（2 セント単位）
Delay Mode	ms、音符	音符のとき、テンポに同期します。
Delay (ms)	1 ～ 1300 ms	原音が鳴ってからピッチ・シフト音が鳴るまでの遅延時間 (ms)
Delay ()	音符 (*1)	原音が鳴ってからピッチ・シフト音が鳴るまでの遅延時間（音符）
Feedback	-98 ～ +98 %	ピッチ・シフト音を入力に戻す割合（マイナス：逆相）
Low Gain	-15 ～ +15 dB	低域の増幅／減衰量
High Gain	-15 ～ +15 dB	高域の増幅／減衰量
Balance	D100:0W ～ D0:100W	原音 (D) とピッチ・シフト音 (W) との音量バランス
Level	0 ～ 127	出力音量

64：REVERB（リバーブ）

原音に残響を加え、空間の広さなどをシミュレートします。

	設定できるパラメーター	
MFX Control	Time、Type、Balance	
パラメーター	設定値	説明
Type	ROOM1、ROOM2、STAGE1、STAGE2、HALL1、HALL2	リバーブの種類 ROOM1 ：余韻が短く高密度 ROOM2 ：余韻が短く低密度 STAGE1 ：後部残響音多め STAGE2 ：初期反射強め HALL1 ：澄んだ響き HALL2 ：豊かな響き
Pre Delay	0.0 ～ 100.0 ms	原音が鳴ってからリバーブ音が鳴るまでの遅延時間
Time	0 ～ 127	リバーブ音の余韻の長さ

エフェクト／パラメーター一覧

パラメーター	設定値	説明
HF Damp	200 ～ 8000 Hz、BYPASS	リバーブ音の高域成分をカットする周波数 周波数を低くするほどやわらかなリバーブ音になります。(BYPASS：カットしない)
Low Gain	-15 ～ +15 dB	低域の増幅／減衰量
High Gain	-15 ～ +15 dB	高域の増幅／減衰量
Balance	D100:0W ～ D0:100W	原音 (D) とリバーブ音 (W) の音量バランス
Level	0 ～ 127	出力音量

65：GATED REV（ゲート・リバーブ）

リバーブ音を途中でカットするリバーブです。

	設定できるパラメーター
MFx Control	Balance

パラメーター	設定値	説明
Type	NORMAL、REVERSE、SWEEP1、SWEEP2	リバーブの種類 NORMAL ：通常のゲート・リバーブ REVERSE ：音量が次第に増大するリバーブ SWEEP1 ：リバーブ音が右から左へ移動 SWEEP2 ：リバーブ音が左から右へ移動
Pre Delay	0.0 ～ 100.0 ms	原音が鳴ってからリバーブ音が鳴るまでの遅延時間
Gate Time	5 ～ 500 ms	リバーブ音の余韻の長さ
Low Gain	-15 ～ +15 dB	低域の増幅／減衰量
High Gain	-15 ～ +15 dB	高域の増幅／減衰量
Balance	D100:0W ～ D0:100W	原音 (D) とリバーブ音 (W) の音量バランス
Level	0 ～ 127	出力音量

66：OVDRV → CHO（オーバードライブ→コーラス）

オーバードライブとコーラスの両方の効果が得られます。

	設定できるパラメーター
MFx Control	Chorus Bal、Cho Rate、Chorus Depth、Overdrive Drive

パラメーター	設定値	説明
Overdrive Drive	0 ～ 127	歪み具合 音量も変化します。
Overdrive Pan	L64 ～ 63R	歪ませた音の定位
Chorus PreDly	0.0 ～ 100.0 ms	原音が鳴ってからコーラス音が鳴るまでの遅延時間
Rate Mode	Hz、音符	音符のとき、テンポに同期します。
Cho Rate(Hz)	0.05 ～ 10.00 Hz	揺れの周期 (Hz)
Cho Rate ()	音符 (*1)	揺れの周期 (音符)
Chorus Depth	0 ～ 127	揺れの深さ
Chorus Bal	D100:0W ～ D0:100W	コーラスを通した音 (W) と通さない音 (D) の音量バランス
Level	0 ～ 127	出力音量

67：OVDRV → FLNGR（オーバードライブ→フランジャー）

	設定できるパラメーター
MFx Control	Flngr Bal、Fln Rate、Flngr Depth、Flngr Feedback、Overdrive Drive

パラメーター	設定値	説明
Overdrive Drive	0 ～ 127	歪み具合 音量も変化します。
Overdrive Pan	L64 ～ 63R	歪ませた音の定位
Flngr PreDly	0.0 ～ 100.0 ms	原音が鳴ってからフランジャー音が鳴るまでの遅延時間
Flngr Mode	Hz、音符	音符のとき、テンポに同期します。

パラメーター	設定値	説明
Fln Rate(Hz)	0.05 ～ 10.00 Hz	揺れの周期 (Hz)
Fln Rate()	音符 (*1)	揺れの周期 (音符)
Flngr Depth	0 ～ 127	揺れの深さ
Flngr Feedback	-98 ～ +98 %	フランジャー音を入力に戻す割合 (マイナス：逆相)
Flngr Bal	D100:0W ～ D0:100W	フランジャーを通した音 (W) と通さない音 (D) の音量バランス
Level	0 ～ 127	出力音量

68：OVDRV → DELAY（オーバードライブ→ディレイ）

オーバードライブとディレイの両方の効果が得られます。

	設定できるパラメーター
MFx Control	Delay Bal、Overdrive Drive

パラメーター	設定値	説明
Overdrive Drive	0 ～ 127	歪み具合 音量も変化します。
Overdrive Pan	L64 ～ 63R	歪ませた音の定位
Delay Mode	ms、音符	音符のとき、テンポに同期します。
Delay (ms)	1 ～ 2600 ms	原音が鳴ってからディレイ音が鳴るまでの遅延時間 (ms)
Delay ()	音符 (*1)	原音が鳴ってからディレイ音が鳴るまでの遅延時間 (音符)
Delay Feedback	-98 ～ +98 %	ディレイ音を入力に戻す割合 (マイナス：逆相)
Delay HF Damp	200 ～ 8000 Hz、BYPASS	入力に戻すディレイ音の高域成分をカットする周波数 (BYPASS：カットしない)
Delay Bal	D100:0W ～ D0:100W	ディレイを通した音 (W) と通さない音 (D) の音量バランス
Level	0 ～ 127	出力音量

69：DIST → CHORUS（ディストーション→コーラス）

設定項目は「66：OVERDRIVE → CHORUS」とほぼ同じで、以下の2カ所だけ異なります。

Overdrive Drive → Distortion Drive
Overdrive Pan → Distortion Pan

70：DIST → FLNGR（ディストーション→フランジャー）

設定項目は「67：OVERDRIVE → FLANGER」とほぼ同じで、以下の2カ所だけ異なります。

Overdrive Drive → Distortion Drive
Overdrive Pan → Distortion Pan

71：DIST → DELAY（ディストーション→ディレイ）

設定項目は「68：OVERDRIVE → DELAY」とほぼ同じで、以下の2カ所だけ異なります。

Overdrive Drive → Distortion Drive、
Overdrive Pan → Distortion Pan

72：ENH → CHORUS（エンハンサー→コーラス）

エンハンサーとコーラスの両方の効果が得られます。

	設定できるパラメーター
MFX Control	Chorus Bal、Chorus Depth、Cho Rate、Enhancer Sens

パラメーター	設定値	説明
Enhancer Sens	0 ～ 127	エンハンサーのかかり具合
Enhancer Mix	0 ～ 127	生成された倍音の音量
Chorus PreDly	0.0 ～ 100.0 ms	原音が鳴ってからコーラス音が鳴るまでの遅延時間
Rate Mode	Hz、音符	音符のとき、テンポに同期します。
Cho Rate(Hz)	0.05 ～ 10.00 Hz	揺れの周期 (Hz)
Cho Rate ()	音符 (*1)	揺れの周期 (音符)
Chorus Depth	0 ～ 127	揺れの深さ
Chorus Bal	D100:0W ～ D0:100W	コーラスを通した音 (W) と通さない音 (D) の音量バランス
Level	0 ～ 127	出力音量

73：ENH → FLANGER（エンハンサー→フランジャー）

エンハンサーとフランジャーの両方の効果が得られます。

	設定できるパラメーター
MFX Control	Flngr Bal、Fln Rate、Flngr Depth、Flngr Feedback、Enhancer Sens

パラメーター	設定値	説明
Enhancer Sens	0 ～ 127	エンハンサーのかかり具合
Enhancer Mix	0 ～ 127	生成された倍音の音量
Flngr PreDly	0.0 ～ 100.0 ms	原音が鳴ってからフランジャー音が鳴るまでの遅延時間
Flngr Mode	Hz、音符	音符のとき、テンポに同期します。
Fln Rate(Hz)	0.05 ～ 10.00 Hz	揺れの周期 (Hz)
Fln Rate()	音符 (*1)	揺れの周期 (音符)
Flngr Depth	0 ～ 127	揺れの深さ
Flngr Feedback	-98 ～ +98 %	フランジャー音を入力に戻す割合（マイナス：逆相）
Flngr Bal	D100:0W ～ D0:100W	フランジャーを通した音 (W) と通さない音 (D) の音量バランス
Level	0 ～ 127	出力音量

74：ENH → DELAY（エンハンサー→ディレイ）

エンハンサーとディレイの両方の効果が得られます。

	設定できるパラメーター
MFX Control	Delay Bal、Enhancer Sens

パラメーター	設定値	説明
Enhancer Sens	0 ～ 127	エンハンサーのかかり具合
Enhancer Mix	0 ～ 127	生成された倍音の音量
Delay Mode	ms、音符	音符のとき、テンポに同期します。
Delay (ms)	1 ～ 2600 ms	原音が鳴ってからディレイ音が鳴るまでの遅延時間 (ms)
Delay ()	音符 (*1)	原音が鳴ってからディレイ音が鳴るまでの遅延時間 (音符)
Delay Feedback	-98 ～ +98 %	ディレイ音を入力に戻す割合（マイナス：逆相）
Delay HF Damp	200 ～ 8000 Hz、BYPASS	入力に戻すディレイ音の、高域成分をカットする周波数（BYPASS：カットしない）
Delay Bal	D100:0W ～ D0:100W	ディレイを通した音 (W) と通さない音 (D) の音量バランス
Level	0 ～ 127	出力音量

75：CHO → DELAY（コーラス→ディレイ）

コーラスとディレイの両方の効果が得られます。

	設定できるパラメーター
MFX Control	Delay Bal、Chorus Bal、Chorus Depth、Cho Rate

パラメーター	設定値	説明
Chorus PreDly	0.0 ～ 100.0 ms	原音が鳴ってからコーラス音が鳴るまでの遅延時間
Rate Mode	Hz、音符	音符のとき、テンポに同期します。
Cho Rate(Hz)	0.05 ～ 10.00 Hz	揺れの周期 (Hz)
Cho Rate ()	音符 (*1)	揺れの周期 (音符)
Chorus Depth	0 ～ 127	揺れの深さ
Chorus Bal	D100:0W ～ D0:100W	原音 (D) とコーラス音 (W) の音量バランス
Delay Mode	ms、音符	音符のとき、テンポに同期します。
Delay (ms)	1 ～ 2600 ms	原音が鳴ってからディレイ音が鳴るまでの遅延時間 (ms)
Delay ()	音符 (*1)	原音が鳴ってからディレイ音が鳴るまでの遅延時間 (音符)
Delay Feedback	-98 ～ +98 %	ディレイ音を入力に戻す割合（マイナス：逆相）
Delay HF Damp	200 ～ 8000 Hz、BYPASS	入力に戻すディレイ音の、高域成分をカットする周波数（BYPASS：カットしない）
Delay Bal	D100:0W ～ D0:100W	ディレイを通した音 (W) と通さない音 (D) の音量バランス
Level	0 ～ 127	出力音量

76：FLN → DELAY（フランジャー→ディレイ）

フランジャーとディレイの両方の効果が得られます。

	設定できるパラメーター
MFX Control	Delay Bal、Flngr Bal、Fln Rate、Flngr Feedback

パラメーター	設定値	説明
Flngr PreDly	0.0 ～ 100.0 ms	原音が鳴ってからフランジャー音が鳴るまでの遅延時間
Flngr Mode	Hz、音符	音符のとき、テンポに同期します。
Fln Rate(Hz)	0.05 ～ 10.00 Hz	揺れの周期 (Hz)
Fln Rate()	音符 (*1)	揺れの周期 (音符)
Flngr Depth	0 ～ 127	揺れの深さ
Flngr Feedback	-98 ～ +98 %	フランジャー音を入力に戻す割合（マイナス：逆相）
Flngr Bal	D100:0W ～ D0:100W	原音 (D) とフランジャー音 (W) の音量バランス
Delay Mode	ms、音符	音符のとき、テンポに同期します。
Delay (ms)	1 ～ 2600 ms	原音が鳴ってからディレイ音が鳴るまでの遅延時間 (ms)
Delay ()	音符 (*1)	原音が鳴ってからディレイ音が鳴るまでの遅延時間 (音符)
Delay Feedback	-98 ～ +98 %	ディレイ音を入力に戻す割合（マイナス：逆相）
Delay HF Damp	200 ～ 8000 Hz、BYPASS	入力に戻すディレイ音の、高域成分をカットする周波数（BYPASS：カットしない）
Delay Bal	D100:0W ～ D0:100W	ディレイを通した音 (W) と通さない音 (D) の音量バランス
Level	0 ～ 127	出力音量

エフェクト／パラメーター一覧

77：CHO → FLANGER（コーラス→フランジャー）

コーラスとフランジャーの両方の効果が得られます。

	設定できるパラメーター
MFX Control	Chorus Bal、Flngr Bal、Chorus Depth、Cho Rate、Fln Rate、Flngr Feedback

パラメーター	設定値	説明
Chorus PreDly	0.0 ～ 100.0 ms	原音が鳴ってからコーラス音が鳴るまでの遅延時間
Rate Mode	Hz、音符	音符のとき、テンポに同期します。
Cho Rate(Hz)	0.05 ～ 10.00 Hz	コーラス音の揺れの周期 (Hz)
Cho Rate ()	音符 (*1)	コーラス音の揺れの周期 (音符)
Chorus Depth	0 ～ 127	コーラス音の揺れの深さ
Chorus Bal	D100:0W ～ D0:100W	原音 (D) とコーラス音 (W) の音量バランス
Flngr PreDly	0.0 ～ 100.0 ms	原音が鳴ってからフランジャー音が鳴るまでの遅延時間
Flngr Mode	Hz、音符	音符のとき、テンポに同期します。
Fln Rate(Hz)	0.05 ～ 10.00 Hz	フランジャー音の揺れの周期 (Hz)
Fln Rate()	音符 (*1)	フランジャー音の揺れの周期 (音符)
Flngr Depth	0 ～ 127	フランジャー音の揺れの深さ
Flngr Feedback	-98 ～ +98 %	フランジャー音を入力に戻す割合 (マイナス：逆相)
Flngr Bal	D100:0W ～ D0:100W	フランジャーを通した音 (W) と通さない音 (D) の音量バランス
Level	0 ～ 127	出力音量

78：SYM.RESONCE（シンパセティック・レゾナンス）

アコースティック・ピアノでは、ダンパー・ペダルを踏んだときに、弾いた鍵盤の音が他の弦に共鳴して、豊かな響きと広がりが加わります。この共鳴音（シンパセティック・レゾナンス）をシミュレートしています。

	設定できるパラメーター
MFX Control	Depth、Damper、P-Sft Amount、P-Sft Level

パラメーター	設定値	説明
Depth	0 ～ 10	効果の深さ
Damper	0 ～ 127	ダンパーペダルの踏み込み量（レゾナンス音を制御します）
Pre LPF	16 ～ 15000 Hz、BYPASS	入力音の高域成分をカットするフィルターの基準周波数（BYPASS：カットしない）
Pre HPF	BYPASS、16 ～ 15000 Hz	入力音の低域成分をカットするフィルターの基準周波数（BYPASS：カットしない）
Peaking Freq	200 ～ 8000 Hz	入力音の特定の周波数帯を増減するフィルターの基準周波数
Peaking Gain	-15 ～ +15 dB	入力音の特定の周波数帯を増減するフィルターの増幅／減衰量
Peaking Q	0.5、1.0、2.0、4.0、8.0	Peaking Gain で増幅／減衰する周波数帯の幅（値が大きいほど幅は狭くなります）
HF Damp	16 ～ 15000 Hz、BYPASS	レゾナンス音の高域成分をカットする基準周波数（BYPASS：カットしない）
LF Damp Freq	BYPASS、16 ～ 15000 Hz	レゾナンス音の低域成分をカットする基準周波数（BYPASS：カットしない）
Level	0 ～ 127	出力音量
P-Sft Amount	0 ～ 10	うねり具合
P-Sft Level	0 ～ 10	うねり成分の音量
P-Sft LPF	16 ～ 15000 Hz、BYPASS	うねり成分の高域成分をカットするフィルターの基準周波数（BYPASS：カットしない）
P-Sft HPF	BYPASS、16 ～ 15000 Hz	うねり成分の低域成分をカットするフィルターの基準周波数（BYPASS：カットしない）
P-Sft to Rev	0 ～ 127	うねり成分をさらに共鳴させる量

パラメーター	設定値	説明
Damper offset	0 ～ 64	値を上げるとダンパーペダルを踏んでいないときにもうっすらとレゾナンスがかかります

79：PIANO EFX（ピアノ・エフェクト）

ワンタッチ・ピアノで使われているピアノ音色を、よりリアルにするためのエフェクトです。

	設定できるパラメーター
MFX Control	Lid、Piano Ambience、Mic Type、Mic Distance

パラメーター	設定値	説明
Lid	1 ～ 6	グランド・ピアノの大屋根の開き具合による音の変化を再現
Mic Distance	0 ～ 10	ピアノの音を録るマイクの距離
Mic Type	OFF、CONDENSER、DYNAMIC	ピアノの音を録るマイクの種類
EQ Switch	OFF、ON	イコライザーのスイッチ
EQ Mid Freq	100 ～ 4000Hz	イコライザーの基準周波数
EQ Mid Gain	-12.0 ～ +12.0 dB	イコライザーの増幅／減衰量
EQ Mid Q	0.5、1.0、2.0、4.0、8.0	イコライザーの幅（値が大きいほど幅は狭くなります）
Piano Ambience	0 ～ 5	ピアノの残響感
Level	0 ～ 127	出力音量

80：E.PIANO EFX（E. ピアノ・エフェクト）

ワンタッチ・エレクトリック・ピアノで使われている、エレクトリック・ピアノ音色を、よりリアルにするためのエフェクトです。

	設定できるパラメーター
MFX Control	Tone Control、Amp Type

パラメーター	設定値	説明
Tone Control	0 ～ 127	64 を基準に、上げると高音が持ち上がり、下げると低音が持ち上がります
Amp Type	OFF、EP-AMP、GTR-AMP	アンプの種類
EQ Switch	OFF、ON	イコライザーのスイッチ
EQ Mid Freq	100 ～ 4000Hz	イコライザーの基準周波数
EQ Mid Gain	-12.0 ～ +12.0 dB	イコライザーの増幅／減衰量
EQ Mid Q	0.5、1.0、2.0、4.0、8.0	イコライザーの幅（値が大きいほど幅は狭くなります）
Level	0 ～ 127	出力音量

81：VR CHORUS（VR コーラス）

ローランド VR シリーズのエフェクトを踏襲したコーラスです。

	設定できるパラメーター
MFX Control	Depth、Rate、Balance

パラメーター	設定値	説明
Pre Delay	0.0 ～ 100 ms	原音が鳴ってからコーラス音が鳴るまでの遅延時間
Rate Mode	Hz、音符	音符のとき、テンポに同期します。
Rate (Hz)	0.05 ～ 10.00 Hz	揺れの周期 (Hz)
Rate ()	音符 (*1)	揺れの周期 (音符)
Depth	0 ～ 127	揺れの深さ
Phase	0 ～ 180 deg	コーラス音の広がり具合
Balance	D100:0W ～ D0:100W	原音 (D) とコーラス音 (W) の音量バランス
Level	0 ～ 127	出力音量

82：VR TREMOLO（VR トレモロ）

ローランド VR シリーズのエフェクトを踏襲したトレモロです。音量を周期的に動かします。
トレモロタイプを モノ / ステレオと切り替えると、音量の制御波形も切り替わります。

設定できるパラメーター		
MFX Control	Rate, Depth, Tremolo Type	
パラメーター	設定値	説明
Tremolo Type	Mono, Stereo	Mono ：左右の音量が同時に変化します。 Stereo ：左右の音量が交互に変化します。
Rate Mode	Hz、音符	音符のとき、テンポに同期します。
Rate (Hz)	0.05 ～ 10.00 Hz	エフェクトのかかる周期 (Hz)
Rate ()	音符 (*1)	エフェクトのかかる周期 (音符)
Depth	0 ～ 127	エフェクトのかかる深さ
Low Gain	-15 ～ +15 dB	低域の増幅／減衰量
High Gain	-15 ～ +15 dB	高域の増幅／減衰量
Level	0 ～ 127	出力音量

83：VR AUTO WAH（VR オート・ワウ）

ローランド VR シリーズのエフェクトを踏襲したワウです。
フィルターを周期的に動かすことで、ワウ効果（音色が周期的に変化する効果）を得るエフェクターです。
コントロール・タイプのパラメータを切り替えると、オートワウ・タッチワウ・ペダルワウを切り替えることができます。

設定できるパラメーター		
MFX Control	Rate, Depth, Peak, Manual	
パラメーター	設定値	説明
Control Type	MOD、TOUCH、PEDAL	エフェクトの制御方法 MOD ：設定した周期で音色が変わります。 TOUCH ：音量の変化に伴って音色が変わります。 PEDAL ：Manualパラメータを操作することで音色が変わります。
Filter Type	LPF、BPF	フィルターの種類 LPF ：広い周波数範囲でワウ効果が得られます。 BPF ：狭い周波数範囲でワウ効果が得られます。
Manual	0 ～ 127	Control Type が「PEDAL」のとき、このパラメータで音色を変化させることができます。
Peak	0 ～ 127	ワウ効果のかかる周波数帯の幅値を大きくするほど周波数帯の幅が狭くなります。
Rate Mode	Hz、音符	音符のとき、テンポに同期します。
Rate (Hz)	0.05 ～ 10.00 Hz	ワウ効果の揺れの周期 (Hz)
Rate ()	音符 (*1)	ワウ効果の揺れの周期 (音符) Control Type が「TOUCH」のときは、音量による音色の変化の感覚がかわります。
Depth	0 ～ 127	ワウ効果の揺れの深さ
Phase	0 ～ 180 deg	左右の音でワウ効果の揺れをずらすときの割合
Low Gain	-15 ～ +15 dB	低域の増幅／減衰量
High Gain	-15 ～ +15 dB	高域の増幅／減衰量
Level	0 ～ 127	出力音量

ヒント

FC1 に接続したペダルでペダルワウを操作するときの設定

- MFX Control：Manual
- Control Type：PEDAL
- EDIT/ 2. Control/ FC1：MFX Control

84：VR PHASER（VR フェーザー）

ローランド VR シリーズのエフェクトを踏襲したフェーザーです。原音に位相をずらした音を加えてうねらせます。

設定できるパラメーター		
MFX Control	Rate, Resonance, Depth	
パラメーター	設定値	説明
Rate Mode	Hz、音符	音符のとき、テンポに同期します。
Rate (Hz)	0.05 ～ 10.00 Hz	うねりの周期 (Hz)
Rate ()	音符 (*1)	うねりの周期 (音符)
Depth	0 ～ 127	うねりの深さ
Resonance	0 ～ 127	フィードバック量
Step Sw	OFF、ON	ON にすると、ステップ・フェーザーになります。
Step Rate Mode	Hz、音符	音符のとき、テンポに同期します。
StepRate(Hz)	0.10 ～ 20.00 Hz	フェイザー効果の段階的変化の周期 (Hz)
Step Rate ()	音符 (*1)	フェイザー効果の段階的変化の周期 (音符)
Low Gain	-15 ～ +15 dB	低域の増幅／減衰量
High Gain	-15 ～ +15 dB	高域の増幅／減衰量
Level	0 ～ 127	出力音量

85：ORGAN MULTI（オルガン・マルチ）

VK-8 に搭載されているエフェクトを踏襲したオルガン用エフェクトを組み合わせたエフェクトです。
ビブラート / コーラス、オーバードライブ、ロータリー で構成されています。

設定できるパラメーター		
MFX Control	Rotary Speed, OD Drive	
パラメーター	設定値	説明
Vib/Cho Switch	OFF、ON	ビブラート / コーラス効果のスイッチ
Vib/Cho Type	V-1、V-2、V-3、C-1、C-2、C-3	ビブラート / コーラス効果の種類 V-1、V-2、V-3 ：音の高低による揺らぎ（ビブラート）をつけます。 値が大きくなるほど効果が深くなります。 C-1、C-2、C-3 ：音に厚みや広がり（コーラス）をつけます。 値が大きくなるほど効果が深くなります。
Vib/Cho Vintage	'50、'60、'70	オルガンが製造された年代によるビブラート / コーラス効果の微妙な違いを再現
Vib/Cho Level	0 ～ 127	ビブラート / コーラス効果の音量
OD Switch	OFF、ON	オーバードライブ効果のスイッチ
OD Drive	0 ～ 127	歪み具合
OD Level	0 ～ 127	オーバードライブ効果の音量
Rotary Switch	OFF、ON	ロータリー効果のスイッチ
Rotary Speed	SLOW、FAST	低域と高域のローターの回転速度（周期） SLOW ：低速（Slow Rate） FAST ：高速（Fast Rate）
R-Wf Slow Sp	0.05 ～ 10.00 Hz	低域ローターの低速回転時（SLOW）の周期
R-Wf Fast Sp	0.05 ～ 10.00 Hz	低域ローターの高速回転時（FAST）の周期
R-Wf Accel	0 ～ 15	回転速度の切替時、低域ローターの回転周期が変化する速度
R-Wf Level	0 ～ 127	低域ローターの音量
R-Tw Slow Sp	0.05 ～ 10.00 Hz	高域ローターの設定 設定項目は低域ローターと同じです。
R-Tw Fast Sp	0.05 ～ 10.00 Hz	
R-Tw Accel	0 ～ 15	
R-Tw Level	0 ～ 127	音の広がり具合
Rotary Separat	0 ～ 127	
Rotary Level	0 ～ 127	出力音量

エフェクト／パラメーター一覧

86：*STEREO EQ（ステレオ・イコライザー）

低域、中域×2、高域の音質を調節するステレオ・イコライザーです。

	設定できるパラメーター	
MFX Control	Level	
パラメーター	設定値	説明
Low Freq	200、400 Hz	低域を調節するときの、基準周波数（200Hz/400Hz）を設定します。
Low Gain	-15 ～ +15 dB	低域のゲイン（増幅／減衰量）を設定します。 ＋にするほど低域が強調（増幅）されます。
High Freq	2000、4000、8000 Hz	高域を調節するときの、基準周波数（2000Hz/4000Hz/8000Hz）を設定します。
High Gain	-15 ～ +15 dB	高域のゲイン（増幅／減衰量）を設定します。 ＋にするほど高域が強調（増幅）されます。
P1 Freq	200 ～ 8000Hz	特定の周波数帯を調節するときの、基準周波数を設定します。
P1 Q	0.5、1.0、2.0、4.0、8.0	Mid1 Freq で設定した周波数を基準として、周波数帯に幅を持たせます。 値を大きくするほど Mid1 Gain で調節する周波数帯の幅が狭くなります。
P1 Gain	-15 ～ +15 dB	Mid1 Freq や Mid1 Q で設定した周波数帯のゲイン（増幅／減衰量）を設定します。 ＋にするほど Mid1 Freq、Mid1Q で設定した周波数帯が強調（増幅）されます。
P2 Freq	200 ～ 8000 Hz	特定の周波数帯を調節するときの、基準周波数を設定します。
P2 Q	0.5、1.0、2.0、4.0、8.0	Mid2 Freq で設定した周波数を基準として、周波数帯に幅を持たせます。 値を大きくするほど Mid2 Gain で調節する周波数帯の幅が狭くなります。
P2 Gain	-15 ～ +15 dB	Mid2 Freq や Mid2 Q で設定した周波数帯のゲイン（増幅／減衰量）を設定します。 ＋にするほど Mid2 Freq、Mid2Q で設定した周波数帯が強調（増幅）されます。
Level	0 ～ 127	出力音量を設定します。

87：*OVERDRIVE（オーバードライブ）

オーバードライブは真空管アンプで歪ませたような、自然な歪みが得られます。

	設定できるパラメーター	
MFX Control	Drive、Amp Type、Pan	
パラメーター	設定値	説明
Drive	0 ～ 127	歪み具合を設定します。歪み具合といっしょに音量も変わります。
Pan	L64 ～ 0 ～ 63R	出力音の定位を設定します。 L64 で最も左、0 で中央、63R で最も右に定位します。
Amp Type	SMALL、BUILT-IN、2-STACK、3-STACK	ギター・アンプの種類を設定します。 SMALL ：小型アンプ BUILT-IN ：ビルト・イン・タイプのアンプ 2-STACK ：大型 2 段積みアンプ 3-STACK ：大型 3 段積みアンプ
Low Gain	-15 ～ +15 dB	低域のゲイン（増幅／減衰量）を設定します。 ＋にするほど低域が強調（増幅）されます。
High Gain	-15 ～ +15 dB	高域のゲイン（増幅／減衰量）を設定します。 ＋にするほど高域が強調（増幅）されます。
Level	0 ～ 127	出力音量を設定します。 オーバードライブをかけたときとかけないときとの音量差は、ここを調節するとよいでしょう。

88：*DISTORTION（ディストーション）

ディストーションはオーバードライブよりも激しい歪みが得られます。

	設定できるパラメーター	
MFX Control	Drive、Amp Type、Pan	
パラメーター	設定値	説明
Drive	0 ～ 127	歪み具合を設定します。歪み具合といっしょに音量も変わります。
Pan	L64 ～ 0 ～ 63R	出力音の定位を設定します。 L64 で最も左、0 で中央、63R で最も右に定位します。
Amp Type	SMALL、BUILT-IN、2-STACK、3-STACK	ギター・アンプの種類を設定します。 SMALL ：小型アンプ BUILT-IN ：ビルト・イン・タイプのアンプ 2-STACK ：大型 2 段積みアンプ 3-STACK ：大型 3 段積みアンプ
Low Gain	-15 ～ +15 dB	低域のゲイン（増幅／減衰量）を設定します。 ＋にするほど低域が強調（増幅）されます。
High Gain	-15 ～ +15 dB	高域のゲイン（増幅／減衰量）を設定します。 ＋にするほど高域が強調（増幅）されます。
Level	0 ～ 127	出力音量を設定します。 ディストーションをかけたときとかけないときとの音量差は、ここを調節するとよいでしょう。

89：*PHASER（フェイザー）

フェイザーは原音に位相をずらした音を加えて音色を時間的に変化させ、音をうねらせます。

	設定できるパラメーター	
MFX Control	Rate、Depth、Manual	
パラメーター	設定値	説明
Manual	100 ～ 8000 Hz	音をうねらせる基準周波数を設定します。
Rate	0.05 ～ 10.00 Hz	うねりの周期を設定します。
Depth	0 ～ 127	うねりの深さを設定します。
Resonance	0 ～ 127	フェイザーのフィードバック量を設定します。値を大きくするほど、クセの強い音になります。
Mix	0 ～ 127	原音に対する位相をずらせた音の音量を設定します。
Pan	L64 ～ 0 ～ 63R	出力音の定位を設定します。 L64 で最も左、0 で中央、63R で最も右に定位します。
Level	0 ～ 127	出力音量を設定します。

90：*SPECTRUM（スペクトラム）

スペクトラムはフィルターの一種で、特定の周波数のレベルを増減させて音色を変えます。
イコライザーと働きが似ていますが、音色のクセを付けるのに最適な 8 つの周波数が決められているので、より特徴のある音が作れます。

	設定できるパラメーター	
MFX Control	Pan、Level	
パラメーター	設定値	説明
Band1 (250Hz)	-15 ～ +15 dB	250Hz のゲイン（増幅／減衰量）を設定します。
Band2 (500Hz)	-15 ～ +15 dB	500Hz のゲイン（増幅／減衰量）を設定します。
Band3 (1000Hz)	-15 ～ +15 dB	1000Hz のゲイン（増幅／減衰量）を設定します。
Band4 (1250Hz)	-15 ～ +15 dB	1250Hz のゲイン（増幅／減衰量）を設定します。
Band5 (2000Hz)	-15 ～ +15 dB	2000Hz のゲイン（増幅／減衰量）を設定します。

パラメーター	設定値	説明
Band6 (3150Hz)	-15 ～ +15 dB	3150Hz のゲイン（増幅／減衰量）を設定します。
Band7 (4000Hz)	-15 ～ +15 dB	4000Hz のゲイン（増幅／減衰量）を設定します。
Band8 (8000Hz)	-15 ～ +15 dB	8000Hz のゲイン（増幅／減衰量）を設定します。
Q	0.5、1.0、2.0、4.0、8.0	各バンド共通の、レベルを変化させる帯域幅を設定します。
Pan	L64 ～ 0 ～ 63R	出力音の定位を設定します。 L64 で最も左、0 で中央、63R で最も右に定位します。
Level	0 ～ 127	出力音量を設定します。

91：*ENHANCER（エンハンサー）

エンハンサーは高域の倍音成分をコントロールすることで、音にメリハリを付け、音ヌケをよくします。

	設定できるパラメーター
MFX Control	Sens、Mix

パラメーター	設定値	説明
Sens	0 ～ 127	エンハンサーのかかり具合を設定します。
Mix	0 ～ 127	エンハンサーで生成された倍音を原音に混ぜ合わせる割合を設定します。
Low Gain	-15 ～ +15 dB	低域のゲイン（増幅／減衰量）を設定します。 ＋にするほど低域が強調（増幅）されます。
High Gain	-15 ～ +15 dB	高域のゲイン（増幅／減衰量）を設定します。 ＋にするほど高域が強調（増幅）されます。
Level	0 ～ 127	出力音量を設定します。

92：*AUTO WAH（オート・ワウ）

オート・ワウはフィルターを周期的に動かすことで、ワウ効果（音色が周期的に変化する効果）を得るエフェクターです。

	設定できるパラメーター
MFX Control	Rate、Depth、Peak、Manual

パラメーター	設定値	説明
Filter Type	LPF、BPF	フィルターの種類を設定します。 LPF ：広い周波数範囲でワウ効果が得られます。 BPF ：狭い周波数範囲でワウ効果が得られます。
Rate	0.05 ～ 10.00 Hz	ワウ効果の揺れの周期を設定します。
Depth	0 ～ 127	ワウ効果の揺れの深さを設定します。
Sens	0 ～ 127	フィルターを変化させる感度を設定します。
Manual	0 ～ 127	ワウ効果を与える基準周波数を設定します。
Peak	0 ～ 127	基準周波数付近のワウ効果のかかり具合を設定します。 値を小さくすると基準周波数周辺の広い範囲で、値を大きくすると狭い範囲でワウ効果が得られます。
Level	0 ～ 127	出力音量を設定します。

93：*ROTARY（ロータリー）

ロータリーは往年の回転スピーカー・サウンドをシミュレートしたエフェクターです。
高域と低域のロータリーの動作をそれぞれ独立して設定できるので、独特のうねり感をリアルに再現できます。オルガンのパッチに最も効果的です。

	設定できるパラメーター
MFX Control	Speed、Hi Fast Rate、Lo Fast Rate、Separation

パラメーター	設定値	説明
Hi Slow Rate	0.05 ～ 10.00 Hz	高域ロータリーの低速回転時（SLOW）の周期を設定します。
Lo Slow Rate	0.05 ～ 10.00 Hz	低域ロータリーの低速回転時（SLOW）の周期を設定します。
Hi Fast Rate	0.05 ～ 10.00 Hz	高域ロータリーの高速回転時（FAST）の周期を設定します。
Lo Fast Rate	0.05 ～ 10.00 Hz	低域ロータリーの高速回転時（FAST）の周期を設定します。
Speed	SLOW、FAST	低域ロータリーと高域ロータリーの回転速度（周期）を設定します。 SLOW ：指定の回転周期（Low Slow/Hi Slow の値）になります。 FAST ：指定の回転周期（Low Fast/Hi Fast の値）になります。
Hi Acceleration	0 ～ 15	低速回転から高速回転（または高速回転から低速回転）に切り替えたときに、高域ロータリーの回転周期が変化するのに要する時間を設定します。値を小さくするほど時間がかかります。
Lo Acceleration	0 ～ 15	低速回転から高速回転（または高速回転から低速回転）に切り替えたときに、低域ロータリーの回転周期が変化するのに要する時間を設定します。値を小さくするほど時間がかかります。
High Level	0 ～ 127	高域ロータリーの音量を設定します。
Low Level	0 ～ 127	低域ロータリーの音量を設定します。
Separation	0 ～ 127	音の広がり具合を設定します。
Level	0 ～ 127	出力音量を設定します。

94：*COMPRESSOR（コンプレッサー）

コンプレッサーは大きなレベルの音を抑え、小さなレベルの音を持ち上げることで、全体の音量のバラツキを抑えるエフェクターです。

	設定できるパラメーター
MFX Control	Pan、Level

パラメーター	設定値	説明
Sustain	0 ～ 127	小さなレベルの音を持ち上げて一定の音量に達するまでの時間を設定します。
Attack	0 ～ 127	入力した音の立ち上がり時間を設定します。
Pan	L64 ～ 0 ～ 63R	出力音の定位を設定します。 L64 で最も左、0 で中央、63R で最も右に定位します。
Post Gain	0、+6、+12、+18 dB	出力するレベルを設定します。
Low Gain	-15 ～ +15 dB	低域のゲイン（増幅／減衰量）を設定します。 ＋にするほど低域が強調（増幅）されます。
High Gain	-15 ～ +15 dB	高域のゲイン（増幅／減衰量）を設定します。 ＋にするほど高域が強調（増幅）されます。
Level	0 ～ 127	出力音量を設定します。

エフェクト／パラメーター一覧

95：*LIMITER（リミッター）

リミッターは指定の音量レベルより大きな音を圧縮し、音の歪みを抑えるエフェクターです。

	設定できるパラメーター	
MFX Control	Threshold、Release	
パラメーター	設定値	説明
Threshold	0 ～ 127	圧縮を始める音量レベルを設定します。
Release	0 ～ 127	音量がスレッシュホールド・レベル以下になってから効果がなくなるまでの時間を設定します。
Ratio	1.5:1、2:1、4:1、100:1	圧縮比を設定します。
Pan	L64 ～ 0 ～ 63R	出力音の定位を設定します。 L64 で最も左、0 で中央、63R で最も右に定位します。
Post Gain	0、+6、+12、+18 dB	出力する音のレベルを設定します。
Low Gain	-15 ～ +15 dB	低域のゲイン（増幅／減衰量）を設定します。 ＋にするほど低域が強調（増幅）されます。
High Gain	-15 ～ +15 dB	高域のゲイン（増幅／減衰量）を設定します。 ＋にするほど高域が強調（増幅）されます。
Level	0 ～ 127	出力音量を設定します。

96：*HEXA-CHO（ヘキサ・コーラス）

ヘキサ・コーラスは音に厚みと広がりを与える 6 相コーラス（ディレイ・タイムの異なる 6 つのコーラス音が重なる）です。

	設定できるパラメーター	
MFX Control	Rate、Balance	
パラメーター	設定値	説明
Pre Delay	0.0 ～ 100.0 ms	原音が鳴ってからコーラス音が鳴るまでの遅延時間を設定します。
Rate	0.05 ～ 10.00 Hz	コーラス音の揺れの周期を設定します。
Depth	0 ～ 127	コーラス音の揺れの深さを設定します。
Pre Delay Deviat	0 ～ 20	プリ・ディレイは原音が鳴ってからコーラス音が鳴るまでの遅延時間です。これは、各コーラス音のプリ・ディレイの偏差を設定します。値が大きいくほど、各コーラス音の発音のずれが大きくなります。
Depth Deviation	-20 ～ +20	各コーラス音の揺れの深さの偏差を設定します。
Pan Deviation	0 ～ 20	各コーラス音の定位の偏差を設定します。 0 ですべてのコーラス音の定位が中央になります。20 にすると、中央の定位を基準に各コーラス音が 60 度間隔で定位します。
Balance	D100:0W ～ D0:100W	原音とコーラス音の音量バランスを設定します。 D100:0W で原音だけが出力され、D0:100W でコーラス音だけが出力されます。
Level	0 ～ 127	出力音量を設定します。

97：*TREMOL CHO（トレモロ・コーラス）

トレモロ・コーラスはトレモロ効果（音量を周期的に揺らす）のかかったコーラスです。

	設定できるパラメーター	
MFX Control	Chorus Rate、Trem Rate、Balance	
パラメーター	設定値	説明
Pre Delay	0.0 ～ 100.0 ms	原音が鳴ってからコーラス音が鳴るまでの遅延時間を設定します。
Chorus Rate	0.05 ～ 10.00 Hz	コーラス音の揺れの周期を設定します。
Chorus Depth	0 ～ 127	コーラス音の揺れの深さを設定します。

パラメーター	設定値	説明
Trem Rate	0.05 ～ 10.00 Hz	トレモロ効果の揺れの周期を設定します。
Trem Separation	0 ～ 127	トレモロ効果の広がり具合を設定します。
Trem Phase	0 ～ 180 度	トレモロ効果の広がり具合を設定します。
Balance	D100:0W ～ D0:100W	原音とトレモロ・コーラス音の音量バランスを設定します。 D100:0W で原音だけが出力され、D0:100W でトレモロ・コーラス音だけが出力されます。
Level	0 ～ 127	出力音量を設定します。

98：*SPACE-D（スペース D）

スペース D は 2 相のモジュレーションをステレオでかける多重コーラスです。変調感はありませんが、透明感のあるコーラス効果が得られます。

	設定できるパラメーター	
MFX Control	Rate、Balance	
パラメーター	設定値	説明
Pre Delay	0.0 ～ 100.0 ms	原音が鳴ってからコーラス音が鳴るまでの遅延時間を設定します。
Rate	0.05 ～ 10.00 Hz	コーラス音の揺れの周期を設定します。
Depth	0 ～ 127	コーラス音の揺れの深さを設定します。
Phase	0 ～ 180 度	コーラス音の広がり具合を設定します。
Low Gain	-15 ～ +15 dB	低域のゲイン（増幅／減衰量）を設定します。 ＋にするほど低域が強調（増幅）されます。
High Gain	-15 ～ +15 dB	高域のゲイン（増幅／減衰量）を設定します。 ＋にするほど高域が強調（増幅）されます。
Balance	D100:0W ～ D0:100W	原音とコーラス音の音量バランスを設定します。 D100:0W で原音だけが出力され、D0:100W でコーラス音だけが出力されます。
Level	0 ～ 127	出力音量を設定します。

99：*STEREO CHO（ステレオ・コーラス）

ステレオ仕様のコーラスです。フィルターを使ってコーラス音の音質を調節できます。

	設定できるパラメーター	
MFX Control	Rate、Balance	
パラメーター	設定値	説明
Filter Type	OFF、LPF、HPF	フィルターの種類を設定します。 OFF ：フィルターを使いません。 LPF ：Cutoff（カットオフ・フリケンシー）の値より上の周波数帯域をカットします。 HPF ：Cutoff（カットオフ・フリケンシー）の値より下の周波数帯域をカットします。
Cutoff Freq	200 ～ 8000 Hz	フィルターで特定の周波数帯をカットする場合の基準周波数を設定します。
Pre Delay	0.0 ～ 100.0 ms	原音が鳴ってからコーラス音が鳴るまでの遅延時間を設定します。
Rate	0.05 ～ 10.00 Hz	コーラス音の揺れの周期を設定します。
Depth	0 ～ 127	コーラス音の揺れの深さを設定します。
Phase	0 ～ 180 度	コーラス音の広がり具合を設定します。
Low Gain	-15 ～ +15 dB	低域のゲイン（増幅／減衰量）を設定します。 ＋にするほど低域が強調（増幅）されます。
High Gain	-15 ～ +15 dB	高域のゲイン（増幅／減衰量）を設定します。 ＋にするほど高域が強調（増幅）されます。

パラメーター	設定値	説明
Balance	D100:0W ～ D0:100W	原音とコーラス音の音量バランスを設定します。 D100:0W で原音だけが出力され、 D0:100W でコーラス音だけが出力されます。
Level	0 ～ 127	出力音量を設定します。

100：*ST.FLANGER（ステレオ・フランジャー）

ステレオ仕様のフランジャーです（LFO は左右同相）。
ジェット機の上昇音／下降音のような金属的な響きが得られます。フィルターを使ってフランジャー音の音質を調節できます。

	設定できるパラメーター
MFx Control	Rate、Feedback、Balance

パラメーター	設定値	説明
Filter Type	OFF、LPF、HPF	フィルターの種類を設定します。 OFF ：フィルターを使いません。 LPF ：Cutoff（カットオフ・フリケンシー）の値より上の周波数帯域をカットします。 HPF ：Cutoff（カットオフ・フリケンシー）の値より下の周波数帯域をカットします。
Cutoff Freq	200 ～ 8000 Hz	フィルターで特定の周波数帯をカットする場合の基準周波数を設定します。
Pre Delay	0.0 ～ 100.0 ms	原音が鳴ってからフランジャー音が鳴るまでの遅延時間を設定します。
Rate	0.05 ～ 10.00 Hz	フランジャー音の揺れの周期を設定します。
Depth	0 ～ 127	フランジャー音の揺れの深さを設定します。
Phase	0 ～ 180 度	フランジャー音の広がり具合を設定します。
Feedback	-98 ～ +98 %	フランジャー音を再び入力に戻す割合（%）を設定します。 プラスの値にすると正相で、マイナスの値にすると逆相で入力に戻されます。 値を大きくするほど、クセのある音になります。
Low Gain	-15 ～ +15 dB	低域のゲイン（増幅／減衰量）を設定します。 ＋にするほど低域が強調（増幅）されます。
High Gain	-15 ～ +15 dB	高域のゲイン（増幅／減衰量）を設定します。 ＋にするほど高域が強調（増幅）されます。
Balance	D100:0W ～ D0:100W	原音とフランジャー音の音量バランスを設定します。 D100:0W で原音だけが出力され、 D0:100W でフランジャー音だけが出力されます。
Level	0 ～ 127	出力音量を設定します。

101：*STEP FLNGR（ステップ・フランジャー）

ステップ・フランジャーはフランジャー音のピッチが段階的に変化するフランジャーです。

	設定できるパラメーター
MFx Control	Step Rate、Feedback、Balance

パラメーター	設定値	説明
Pre Delay	0.0 ～ 100.0 ms	原音が鳴ってからフランジャー音が鳴るまでの遅延時間を設定します。
Rate	0.05 ～ 10.00 Hz	フランジャー音の揺れの周期を設定します。
Depth	0 ～ 127	フランジャー音の揺れの深さを設定します。

パラメーター	設定値	説明
Feedback	-98 ～ +98 %	フランジャー音を再び入力に戻す割合（%）を設定します。 プラスの値にすると正相で、マイナスの値にすると逆相で入力に戻されます。 値を大きくするほど、クセのある音になります。
Step Rate	0.10 ～ 20.00 Hz、音符（*2）	ピッチ変化の周期を設定します。 Step Rate パラメーターは、テンポに対する音符の長さで設定することもできます。 その場合は、音符記号の値を設定してください。
Phase	0 ～ 180 度	フランジャー音の広がり具合を設定します。
Low Gain	-15 ～ +15 dB	低域のゲイン（増幅／減衰量）を設定します。 ＋にするほど低域が強調（増幅）されます。
High Gain	-15 ～ +15 dB	高域のゲイン（増幅／減衰量）を設定します。 ＋にするほど高域が強調（増幅）されます。
Balance	D100:0W ～ D0:100W	原音とフランジャー音の音量バランスを設定します。 D100:0W で原音だけが出力され、 D0:100W でフランジャー音だけが出力されます。
Level	0 ～ 127	出力音量を設定します。

102：*STEREO DLY（ステレオ・ディレイ）

ステレオ仕様のディレイです。

	設定できるパラメーター
MFx Control	Balance

パラメーター	設定値	説明
Feedback mode	NORMAL、CROSS	ディレイ音に戻す入力先を設定します。 NORMAL ：左のディレイ音は左の入力に、右のディレイ音は右の入力に戻されます。 CROSS ：左のディレイ音は右の入力に、右のディレイ音は左の入力に戻されます。
Delay Left	0.1 ～ 500.0 ms	原音が鳴ってから左のディレイ音が鳴るまでの遅延時間を設定します。
Delay Right	0.1 ～ 500.0 ms	原音が鳴ってから右のディレイ音が鳴るまでの遅延時間を設定します。
Phase Left	NORMAL、INVERT	左のディレイ音の位相を設定します。 NORMAL ：位相は変わりません。 INVERT ：位相が反転します。
Phase Right	NORMAL、INVERT	右のディレイ音の位相を設定します。 NORMAL ：位相は変わりません。 INVERT ：位相が反転します。
Feedback	-98 ～ +98 %	ディレイ音を再び入力に戻す割合（%）を設定します。 プラスの値にすると正相で、マイナスの値にすると逆相で入力に戻されます。
HF Damp	200 ～ 8000 Hz、BYPASS	入力に戻すディレイ音について、高域成分をカットする周波数を設定します。 カットしないときはBYPASSに設定します。
Low Gain	-15 ～ +15 dB	低域のゲイン（増幅／減衰量）を設定します。 ＋にするほど低域が強調（増幅）されます。
High Gain	-15 ～ +15 dB	高域のゲイン（増幅／減衰量）を設定します。 ＋にするほど高域が強調（増幅）されます。
Balance	D100:0W ～ D0:100W	原音とディレイ音の音量バランスを設定します。 D100:0W で原音だけが出力され、 D0:100W でディレイ音だけが出力されます。
Level	0 ～ 127	出力音量を設定します。

103：*MOD DELAY（モジュレーション・ディレイ）

モジュレーション・ディレイはディレイ音に揺れが加えられるエフェクターです。フランジャーのような効果が得られます。

設定できるパラメーター		
MFX Control	Rate, Balance	
パラメーター	設定値	説明
Feedback mode	NORMAL、CROSS	ディレイ音を戻す入力先を設定します。 NORMAL ：左のディレイ音は左の入力に、右のディレイ音は右の入力に戻されます。 CROSS ：左のディレイ音は右の入力に、右のディレイ音は左の入力に戻されます。
Delay Left	0.1 ～ 500.0 ms	原音が鳴ってから左のディレイ音が鳴るまでの遅延時間を設定します。
Delay Right	0.1 ～ 500.0 ms	原音が鳴ってから右のディレイ音が鳴るまでの遅延時間を設定します。
Feedback	-98 ～ +98 %	ディレイ音を再び入力に戻す割合（％）を設定します。 プラスの値にすると正相で、マイナスの値にすると逆相で入力に戻されます。
HF Damp	200 ～ 8000 Hz, BYPASS	入力に戻すディレイ音について、高域成分をカットする周波数を設定します。 カットしないときは BYPASS に設定します。
Rate	0.05 ～ 10.00 Hz	モジュレーション効果の揺れの周期を設定します。
Depth	0 ～ 127	モジュレーション効果の揺れの深さを設定します。
Phase	0 ～ 180 度	モジュレーション効果の広がり具合を設定します。
Low Gain	-15 ～ +15 dB	低域のゲイン（増幅／減衰量）を設定します。 ＋にするほど低域が強調（増幅）されます。
High Gain	-15 ～ +15 dB	高域のゲイン（増幅／減衰量）を設定します。 ＋にするほど高域が強調（増幅）されます。
Balance	D100:0W ～ D0:100W	原音とモジュレーション・ディレイ音の音量バランスを設定します。 D100:0W で原音だけが出力され、D0:100W でモジュレーション・ディレイ音だけが出力されます。
Level	0 ～ 127	出力音量を設定します。

104：*TRIPLE DLY（トリプル・タップ・ディレイ）

トリプル・タップ・ディレイは、中央、左、右の3方向にディレイ音が鳴らせるエフェクターです。

設定できるパラメーター		
MFX Control	Balance	
パラメーター	設定値	説明
Dly Left	200 ～ 1000 ms、音符（*2）	原音が鳴ってから左のディレイ音が鳴るまでの遅延時間を設定します。
Dly Right	200 ～ 1000 ms、音符（*2）	原音が鳴ってから右のディレイ音が鳴るまでの遅延時間を設定します。
Dly Center	200 ～ 1000 ms、音符（*2）	原音が鳴ってから中央のディレイ音が鳴るまでの遅延時間を設定します。
Feedback	-98 ～ +98 %	ディレイ音を再び入力に戻す割合（％）を設定します。 プラスの値にすると正相で、マイナスの値にすると逆相で入力に戻されます。
HF Damp	200 ～ 8000 Hz, BYPASS	入力に戻すディレイ音について、高域成分をカットする周波数を設定します。 カットしないときは BYPASS に設定します。
Left Level	0 ～ 127	左のディレイ音の音量を設定します。
Right Level	0 ～ 127	右のディレイ音の音量を設定します。
Center Level	0 ～ 127	中央のディレイ音の音量を設定します。

パラメーター	設定値	説明
Low Gain	-15 ～ +15 dB	低域のゲイン（増幅／減衰量）を設定します。 ＋にするほど低域が強調（増幅）されます。
High Gain	-15 ～ +15 dB	高域のゲイン（増幅／減衰量）を設定します。 ＋にするほど高域が強調（増幅）されます。
Balance	D100:0W ～ D0:100W	原音とディレイ音の音量バランスを設定します。 D100:0W で原音だけが出力され、D0:100W でディレイ音だけが出力されます。
Level	0 ～ 127	出力音量を設定します。

Delay C、Delay L、Delay R パラメーターは、テンポに対する音符の長さで設定することもできます。その場合は、音符記号の値を設定してください。

105：*QUAD.DELAY（クアドラプル・タップ・ディレイ）

クアドラプル・タップ・ディレイは4つのディレイを持っています。
各ディレイ音の定位は次のとおりです。

設定できるパラメーター		
MFX Control	Balance	
パラメーター	設定値	説明
Dly1 Time	200 ～ 1000 ms、音符（*2）	原音が鳴ってから、ディレイ1の音が鳴るまでの遅延時間を設定します。
Dly2 Time	200 ～ 1000 ms、音符（*2）	原音が鳴ってから、ディレイ2の音が鳴るまでの遅延時間を設定します。
Dly3 Time	200 ～ 1000 ms、音符（*2）	原音が鳴ってから、ディレイ3の音が鳴るまでの遅延時間を設定します。
Dly4 Time	200 ～ 1000 ms、音符（*2）	原音が鳴ってから、ディレイ4の音が鳴るまでの遅延時間を設定します。
Level 1	0 ～ 127	ディレイ1の音量を設定します。
Level 2	0 ～ 127	ディレイ2の音量を設定します。
Level 3	0 ～ 127	ディレイ3の音量を設定します。
Level 4	0 ～ 127	ディレイ4の音量を設定します。
Feedback	-98 ～ +98 %	ディレイ音を再び入力に戻す割合（％）を設定します。 プラスの値にすると正相で、マイナスの値にすると逆相で入力に戻されます。
HF Damp	200 ～ 8000 Hz, BYPASS	入力に戻すディレイ音について、高域成分をカットする周波数を設定します。 カットしないときは BYPASS に設定します。
Balance	D100:0W ～ D0:100W	原音とディレイ音の音量バランスを設定します。 D100:0W で原音だけが出力され、D0:100W でディレイ音だけが出力されます。
Level	0 ～ 127	出力音量を設定します。

Delay 1、Delay 2、Delay 3、Delay 4 パラメーターは、テンポに対する音符の長さで設定することもできます。その場合は、音符記号の値を設定してください。

106：*T-CTRL DLY（タイム・コントロール・ディレイ）

MFX Control に Delay を割り当てたとき、ディレイ・タイムとピッチをリアルタイムに変化させることができます。ディレイ・タイムを長くするとピッチが下がり、短くするとピッチが上がります。

設定できるパラメーター		
MFX Control	Delay、Balance	
パラメーター	設定値	説明
Delay	200 ～ 1000 ms	原音が鳴ってからディレイ音が鳴るまでの遅延時間を設定します。
Feedback	-98 ～ +98 %	ディレイ音を再び入力に戻す割合（％）を設定します。 プラスの値にすると正相で、マイナスの値にすると逆相で入力に戻されます。
Acceleration	0 ～ 15	ディレイ・タイムを変化させた場合、現在のディレイ・タイムから指定のディレイ・タイムに達するまでの時間を設定します。ディレイ・タイムと同時にピッチ変化の速さも変わります。
HF Damp	200 ～ 8000 Hz、BYPASS	入力に戻すディレイ音について、高域成分をカットする周波数を設定します。カットしないときは BYPASS に設定します。
Pan	L64 ～ 0 ～ 63R	ディレイ音の定位を設定します。 L64 で最も左、0 で中央、63R で最も右に定位します。
Low Gain	-15 ～ +15 dB	低域のゲイン（増幅／減衰量）を設定します。 ＋にするほど低域が強調（増幅）されます。
High Gain	-15 ～ +15 dB	高域のゲイン（増幅／減衰量）を設定します。 ＋にするほど高域が強調（増幅）されます。
Balance	D100:0W ～ D0:100W	原音とディレイ音の音量バランスを設定します。 D100:0W で原音だけが出力され、D0:100W でディレイ音だけが出力されます。
Level	0 ～ 127	出力音量を設定します。

107：*2V PCH SFT（2 ボイス・ピッチ・シフター）

ピッチ・シフターは原音のピッチをずらすエフェクターです。2 ボイス・ピッチ・シフターは 2 つのピッチ・シフターを持ち、ピッチをずらせた 2 つの音を原音に重ねて鳴らすことができます。

設定できるパラメーター		
MFX Control	Balance、Coarse A、Coarse B	
パラメーター	設定値	説明
Mode	1、2、3、4、5	値を大きくするほど反応が遅くなり、音揺れも少なくなります。
Coarse A	-24 ～ +12 半音	ピッチ・シフト A のピッチ・シフト量を半音単位で設定します（-2 ～ +1 オクターブ）。
Coarse B	-24 ～ +12 半音	ピッチ・シフト B のピッチ・シフト量を半音単位で設定します（-2 ～ +1 オクターブ）。
Fine A	-100 ～ +100 セント	ピッチ・シフト A のピッチ・シフト量を 2 セント単位（1 セント＝半音の 1/100）で設定します。
Fine B	-100 ～ +100 セント	ピッチ・シフト B のピッチ・シフト量を 2 セント単位（1 セント＝半音の 1/100）で設定します。
Pre Delay A	0.0 ～ 500.0 ms	原音が鳴ってからピッチ・シフト A の音が鳴るまでの遅延時間を設定します。
Pre Delay B	0.0 ～ 500.0 ms	原音が鳴ってからピッチ・シフト B の音が鳴るまでの遅延時間を設定します。
Pan A	L64 ～ 0 ～ 63R	ピッチ・シフト A の音の定位を設定します。 L64 で最も左、0 で中央、63R で最も右に定位します。

パラメーター	設定値	説明
Pan B	L64 ～ 0 ～ 63R	ピッチ・シフト B の音の定位を設定します。 L64 で最も左、0 で中央、63R で最も右に定位します。
Level Bal	A100:0B ～ A0:100B	ピッチ・シフト A とピッチ・シフト B の音量バランスを設定します。 A100:0B でピッチ・シフト A 音だけが出力され、A0:100B でピッチ・シフト B 音だけが出力されます。
Balance	D100:0W ～ D0:100W	原音とピッチ・シフト音の音量バランスを設定します。 D100:0W で原音だけが出力され、D0:100W でピッチ・シフト音だけが出力されます。
Level	0 ～ 127	出力音量を設定します。

108：*FBK P.SFT（フィードバック・ピッチ・シフター）

ピッチ・シフト音を入力に戻すことができるピッチ・シフターです。

設定できるパラメーター		
MFX Control	Balance、Coarse、Feedback	
パラメーター	設定値	説明
Mode	1、2、3、4、5	値を大きくするほど反応が遅くなり、音揺れも少なくなります。
Coarse	-24 ～ +12 半音	ピッチ・シフトする量を半音単位で設定します（-2 ～ +1 オクターブ）。
Fine	-100 ～ +100 セント	ピッチ・シフトする量を 2 セント単位（1 セント＝半音の 1/100）で設定します。
Pre Delay	0.0 ～ 500.0 ms	原音が鳴ってからピッチ・シフト音が鳴るまでの遅延時間を設定します。
Feedback	-98 ～ +98 %	ピッチ・シフト音を再び入力に戻す割合（％）を設定します。 プラスの値にすると正相で、マイナスの値にすると逆相で入力に戻されます。
Pan	L64 ～ 0 ～ 63R	ピッチ・シフト音の定位を設定します。 L64 で最も左、0 で中央、63R で最も右に定位します。
Low Gain	-15 ～ +15 dB	低域のゲイン（増幅／減衰量）を設定します。 ＋にするほど低域が強調（増幅）されます。
High Gain	-15 ～ +15 dB	高域のゲイン（増幅／減衰量）を設定します。 ＋にするほど高域が強調（増幅）されます。
Balance	D100:0W ～ D0:100W	原音とピッチ・シフト音の音量バランスを設定します。 D100:0W で原音だけが出力され、D0:100W でピッチ・シフト音だけが出力されます。
Level	0 ～ 127	出力音量を設定します。

109：*REVERB（リバーブ）

リバーブは原音に残響を加え、空間の広さなどをシミュレートします。

設定できるパラメーター		
MFX Control	Time、Type、Balance	
パラメーター	設定値	説明
Type	ROOM1、ROOM2、STAGE1、STAGE2、HALL1、HALL2	リバーブの種類を設定します。 ROOM1 ：リバーブ音が短く、密度の濃いリバーブ ROOM2 ：リバーブ音が短く、密度の薄いリバーブ STAGE1 ：後部リバーブ音の多いリバーブ STAGE2 ：初期反射の強いリバーブ HALL1 ：澄んだ響きのリバーブ HALL2 ：豊かな響きのリバーブ
Pre Delay	0.0 ～ 100.0 ms	原音が鳴ってからリバーブ音が鳴るまでの遅延時間を設定します。
Time	0 ～ 127	リバーブ音の余韻の長さを設定します。

エフェクト／パラメーター一覧

パラメーター	設定値	説明
HF Damp	200 ～ 8000 Hz、BYPASS	リバーブ音の高域成分をカットする周波数を設定します。 周波数を低くするほど高域成分がカットされ、やわらかなリバーブ音になります。 カットしないときは BYPASS に設定します。
Low Gain	-15 ～ +15 dB	低域のゲイン（増幅／減衰量）を設定します。 ＋にするほど低域が強調（増幅）されます。
High Gain	-15 ～ +15 dB	高域のゲイン（増幅／減衰量）を設定します。 ＋にするほど高域が強調（増幅）されます。
Balance	D100:0W ～ D0:100W	原音とリバーブ音の音量バランスを設定します。 D100:0W で原音だけが出力され、D0:100W でリバーブ音だけが出力されます。
Level	0 ～ 127	出力音量を設定します。

110：*GATE REV（ゲート・リバーブ）

ゲート・リバーブはリバーブ音を途中でカットするリバーブです。

	設定できるパラメーター
MFX Control	Balance

パラメーター	設定値	説明
Type	NORMAL、REVERSE、SWEEP1、SWEEP2	リバーブの種類を設定します。 NORMAL ：通常のゲート・リバーブ。 REVERSE ：逆回転のリバーブ。 SWEEP1 ：リバーブ音が右から左へ移動します。 SWEEP2 ：リバーブ音が左から右へ移動します。
Pre Delay	0.0 ～ 100.0 ms	原音が鳴ってからリバーブ音が鳴るまでの遅延時間を設定します。
Time	5 ～ 500 ms	リバーブ音の余韻の長さを設定します。
Low Gain	-15 ～ +15 dB	低域のゲイン（増幅／減衰量）を設定します。 ＋にするほど低域が強調（増幅）されます。
High Gain	-15 ～ +15 dB	高域のゲイン（増幅／減衰量）を設定します。 ＋にするほど高域が強調（増幅）されます。
Balance	D100:0W ～ D0:100W	原音とリバーブ音の音量バランスを設定します。 D100:0W で原音だけが出力され、D0:100W でリバーブ音だけが出力されます。
Level	0 ～ 127	出力音量を設定します。

111：*OVDRV → CHO（オーバードライブ→コーラス）

オーバードライブとコーラスを直列に接続しています。

	設定できるパラメーター
MFX Control	Chorus Bal、Chorus Rate、OD Drive

パラメーター	設定値	説明
OD Drive	0 ～ 127	オーバードライブの歪み具合を設定します。歪み具合といっしょに音量も変わります。
OD Pan	L64 ～ 0 ～ 63R	オーバードライブ音の定位を設定します。 L64 で最も左、0 で中央、63R で最も右に定位します。
Chorus PreDly	0.0 ～ 100.0 ms	原音が鳴ってからコーラス音が鳴るまでの遅延時間を設定します。
Chorus Rate	0.05 ～ 10.00 Hz	コーラス音の揺れの周期を設定します。
Chorus Depth	0 ～ 127	コーラス音の揺れの深さを設定します。

パラメーター	設定値	説明
Chorus Bal	D100:0W ～ D0:100W	オーバードライブにコーラスを通した音と通さない音の音量バランスを設定します。 D100:0W でオーバードライブ音だけが出力され、D0:100W でオーバードライブにコーラスを通した音だけが出力されます。
Level	0 ～ 127	出力音量を設定します。

112：*OVDRV → FLN（オーバードライブ→フランジャー）

オーバードライブとフランジャーを直列に接続しています。

	設定できるパラメーター
MFX Control	Flngr Bal、Flngr Rate、OD Drive

パラメーター	設定値	説明
OD Drive	0 ～ 127	オーバードライブの歪み具合を設定します。歪み具合といっしょに音量も変わります。
OD Pan	L64 ～ 0 ～ 63R	オーバードライブ音の定位を設定します。 L64 で最も左、0 で中央、63R で最も右に定位します。
Flngr PreDly	0.1 ～ 100.0 ms	原音が鳴ってからフランジャー音が鳴るまでの遅延時間を設定します。
Flngr Rate	0.05 ～ 10.00 Hz	フランジャー音の揺れの周期を設定します。
Flngr Depth	0 ～ 127	フランジャー音の揺れの深さを設定します。
Flngr Fbk	-98 ～ +98 %	フランジャー音を再び入力に戻す割合（％）を設定します。 プラスの値にすると正相で、マイナスの値にすると逆相で入力に戻されます。
Flngr Bal	D100:0W ～ D0:100W	オーバードライブにフランジャーを通した音と通さない音の音量バランスを設定します。 D100:0W でオーバードライブ音だけが出力され、D0:100W でオーバードライブにフランジャーを通した音だけが出力されます。
Level	0 ～ 127	出力音量を設定します。

113：*OVDRV → DLY（オーバードライブ→ディレイ）

オーバードライブとディレイを直列に接続しています。

	設定できるパラメーター
MFX Control	Delay Bal、OD Drive

パラメーター	設定値	説明
OD Drive	0 ～ 127	オーバードライブの歪み具合を設定します。歪み具合といっしょに音量も変わります。
OD Pan	L64 ～ 0 ～ 63R	オーバードライブ音の定位を設定します。 L64 で最も左、0 で中央、63R で最も右に定位します。
Delay Time	0.1 ～ 500.0 ms	原音が鳴ってからディレイ音が鳴るまでの遅延時間を設定します。
Delay Feedback	-98 ～ +98 %	ディレイ音を再び入力に戻す割合（％）を設定します。 プラスの値にすると正相で、マイナスの値にすると逆相で入力に戻されます。
Delay HF Damp	200 ～ 8000 Hz、BYPASS	入力に戻すディレイ音について、高域成分をカットする周波数を設定します。 カットしないときは BYPASS に設定します。
Delay Bal	D100:0W ～ D0:100W	オーバードライブにディレイを通した音と通さない音の音量バランスを設定します。 D100:0W でオーバードライブ音だけが出力され、D0:100W でオーバードライブにディレイを通した音だけが出力されます。
Level	0 ～ 127	出力音量を設定します。

114：*DIST → CHO（ディストーション→コーラス）

ディストーションとコーラスを直列に接続しています。設定項目は「111：OVERDRIVE → CHORUS」とほぼ同じで、以下の2カ所だけ異なります。

OD Drive → Dst Drive（ディストーションの歪み具合を設定します。）
OD Pan → Dist Pan（ディストーション音の定位を設定します。）

115：*DIST → FLNGR（ディストーション→フランジャー）

ディストーションとフランジャーを直列に接続しています。設定項目は「112：OVERDRIVE → FLANGER」とほぼ同じで、以下の2カ所だけ異なります。

OD Drive → Dst Drive（ディストーションの歪み具合を設定します。）
OD Pan → Dist Pan（ディストーション音の定位を設定します。）

116：*DIST → DELAY（ディストーション→ディレイ）

ディストーションとディレイを直列に接続しています。設定項目は「113：OVERDRIVE → DELAY」とほぼ同じで、以下の2カ所だけ異なります。
OD Drive → Dst Drive（ディストーションの歪み具合を設定します。）
OD Pan → Dist Pan（ディストーション音の定位を設定します。）

117：*ENH → CHORUS（エンハンサー→コーラス）

エンハンサーとコーラスを直列に接続しています。

	設定できるパラメーター	
MFX Control	Chorus Bal、Chorus Rate、Enhancer Sens	
パラメーター	設定値	説明
Enhancer Sens	0 ～ 127	エンハンサーのかかり具合を設定します。
Enhancer Mix	0 ～ 127	原音に対するエンハンサーで生成される倍音の音量を設定します。
Chorus PreDly	0.0 ～ 100.0 ms	原音が鳴ってからコーラス音が鳴るまでの遅延時間を設定します。
Chorus Rate	0.05 ～ 10.00 Hz	コーラス音の揺れの周期を設定します。
Chorus Depth	0 ～ 127	コーラス音の揺れの深さを設定します。
Chorus Bal	D100:0W ～ D0:100W	エンハンサーにコーラスを通した音と通さない音の音量バランスを設定します。D100:0Wでエンハンサー音だけが出力され、D0:100Wでエンハンサーにコーラスを通した音だけが出力されます。
Level	0 ～ 127	出力音量を設定します。

118：*ENH → FLANGR（エンハンサー→フランジャー）

エンハンサーとフランジャーを直列に接続しています。

	設定できるパラメーター	
MFX Control	Flngr Bal、Flngr Rate、Enhancer Sens	
パラメーター	設定値	説明
Enhancer Sens	0 ～ 127	エンハンサーのかかり具合を設定します。
Enhancer Mix	0 ～ 127	原音に対するエンハンサーで生成される倍音の音量を設定します。
Flngr PreDly	0.0 ～ 100.0 ms	原音が鳴ってからフランジャー音が鳴るまでの遅延時間を設定します。
Flngr Rate	0.05 ～ 10.00 Hz	フランジャー音の揺れの周期を設定します。
Flngr Depth	0 ～ 127	フランジャー音の揺れの深さを設定します。

パラメーター	設定値	説明
Flngr Fbk	-98 ～ +98 %	フランジャー音を再び入力に戻す割合（%）を設定します。プラスの値にすると正相で、マイナスの値にすると逆相で入力に戻されます。
Flngr Bal	D100:0W ～ D0:100W	エンハンサーにフランジャーを通した音と通さない音の音量バランスを設定します。D100:0Wでエンハンサー音だけが出力され、D0:100Wでエンハンサーにフランジャーを通した音だけが出力されます。
Level	0 ～ 127	出力音量を設定します。

119：*ENH → DELAY（エンハンサー→ディレイ）

エンハンサーとディレイを直列に接続しています。

	設定できるパラメーター	
MFX Control	Delay Bal、Enhancer Sens	
パラメーター	設定値	説明
Enhancer Sens	0 ～ 127	エンハンサーのかかり具合を設定します。
Enhancer Mix	0 ～ 127	原音に対するエンハンサーで生成される倍音の音量を設定します。
Delay Time	0.1 ～ 500.0 ms	原音が鳴ってからディレイ音が鳴るまでの遅延時間を設定します。
Delay Feedback	-98 ～ +98 %	ディレイ音を再び入力に戻す割合（%）を設定します。プラスの値にすると正相で、マイナスの値にすると逆相で入力に戻されます。
Delay HF Damp	200 ～ 8000 Hz、BYPASS	入力に戻すディレイ音について、高域成分をカットする周波数を設定します。カットしないときはBYPASSに設定します。
Delay Bal	D100:0W ～ D0:100W	エンハンサーにディレイを通した音と通さない音の音量バランスを設定します。D100:0Wでエンハンサー音だけが出力され、D0:100Wでエンハンサーにディレイを通した音だけが出力されます。
Level	0 ～ 127	出力音量を設定します。

120：*CHO → DELAY（コーラス→ディレイ）

コーラスとディレイを直列に接続しています。

	設定できるパラメーター	
MFX Control	Chorus Bal、Delay Bal	
パラメーター	設定値	説明
Chorus PreDly	0.0 ～ 100.0 ms	原音が鳴ってからコーラス音が鳴るまでの遅延時間を設定します。
Chorus Rate	0.05 ～ 10.00 Hz	コーラス音の揺れの周期を設定します。
Chorus Depth	0 ～ 127	コーラス音の揺れの深さを設定します。
Chorus Bal	D100:0W ～ D0:100W	原音とコーラス音の音量バランスを設定します。D100:0Wで原音だけが出力され、D0:100Wでコーラス音だけが出力されます。
Delay Time	0.1 ～ 500.0 ms	原音が鳴ってからディレイ音が鳴るまでの遅延時間を設定します。
Delay Feedback	-98 ～ +98 %	ディレイ音を再び入力に戻す割合（%）を設定します。プラスの値にすると正相で、マイナスの値にすると逆相で入力に戻されます。
Delay HF Damp	200 ～ 8000 Hz、BYPASS	入力に戻すディレイ音について、高域成分をカットする周波数を設定します。カットしないときはBYPASSに設定します。
Delay Bal	D100:0W ～ D0:100W	コーラスにディレイを通した音と通さない音の音量バランスを設定します。D100:0Wでコーラス音だけが出力され、D0:100Wでコーラスにディレイを通した音だけが出力されます。
Level	0 ～ 127	出力音量を設定します。

エフェクト／パラメーター一覧

121：*FLANGR → DLY（フランジャー→ディレイ）

フランジャーとディレイを直列に接続しています。

	設定できるパラメーター
MFX Control	Flngr Bal、Delay Bal

パラメーター	設定値	説明
Flngr PreDly	0.0 ～ 100.0 ms	原音が鳴ってからフランジャー音が鳴るまでの遅延時間を設定します。
Flngr Rate	0.05 ～ 10.00 Hz	フランジャー音の揺れの周期を設定します。
Flngr Depth	0 ～ 127	フランジャー音の揺れの深さを設定します。
Flngr Fbk	-98 ～ +98 %	フランジャー音を再び入力に戻す割合（%）を設定します。 プラスの値にすると正相で、マイナスの値にすると逆相で入力に戻されます。
Flngr Bal	D100:0W ～ D0:100W	原音とフランジャー音の音量バランスを設定します。 D100:0W で原音だけが出力され、D0:100W でフランジャー音だけが出力されます。
Delay Time	0.1 ～ 500.0 ms	原音が鳴ってからディレイ音が鳴るまでの遅延時間を設定します。
Delay Feedback	-98 ～ +98 %	ディレイ音を再び入力に戻す割合（%）を設定します。 プラスの値にすると正相で、マイナスの値にすると逆相で入力に戻されます。
Delay HF Damp	200 ～ 8000 Hz、BYPASS	入力に戻すディレイ音について、高域成分をカットする周波数を設定します。 カットしないときは BYPASS に設定します。
Delay Bal	D100:0W ～ D0:100W	フランジャーにディレイを通した音と通さない音の音量バランスを設定します。 D100:0W フランジャー音だけが出力され、D0:100W でフランジャーにディレイを通した音だけが出力されます。
Level	0 ～ 127	出力音量を設定します。

122：*CHO → FLANGR（コーラス→フランジャー）

コーラスとフランジャーを直列に接続しています。

	設定できるパラメーター
MFX Control	Chorus Bal、FlngR Bal、Chorus Rate、FlngR Rate

パラメーター	設定値	説明
Chorus PreDly	0.0 ～ 100.0 ms	原音が鳴ってからコーラス音が鳴るまでの遅延時間を設定します。
Chorus Rate	0.05 ～ 10.00 Hz	コーラス音の揺れの周期を設定します。
Chorus Depth	0 ～ 127	コーラス音の揺れの深さを設定します。
Chorus Bal	D100:0W ～ D0:100W	原音とコーラス音の音量バランスを設定します。 D100:0W で原音だけが出力され、D0:100W コーラス音だけが出力されます。
Flngr PreDly	0.0 ～ 100.0 ms	原音が鳴ってからフランジャー音が鳴るまでの遅延時間を設定します。
Flngr Rate	0.05 ～ 10.00 Hz	フランジャー音の揺れの周期を設定します。
Flngr Depth	0 ～ 127	フランジャー音の揺れの深さを設定します。
Flngr Fbk	-98 ～ +98 %	フランジャー音を再び入力に戻す割合（%）を設定します。 プラスの値にすると正相で、マイナスの値にすると逆相で入力に戻されます。
Flngr Bal	D100:0W ～ D0:100W	コーラスにフランジャーを通した音と通さない音の音量バランスを設定します。 D100:0W でコーラス音だけが出力され、D0:100W でコーラスにフランジャーを通した音だけが出力されます。
Level	0 ～ 127	出力音量を設定します。

123：*CHORUS/DLY（コーラス／ディレイ）

コーラスとディレイを並列に接続しています。

	設定できるパラメーター
MFX Control	Chorus Bal、Delay Bal、Chorus Rate

設定項目は「120：CHORUS → DELAY」と同じです。
ただし、Delay Bal では原音とディレイ音の音量バランスを設定します。

124：*FLANGR/DLY（フランジャー／ディレイ）

フランジャーとディレイを並列に接続しています。

	設定できるパラメーター
MFX Control	Flngr Bal、Delay Bal、FlngR Rate

設定項目は「121：FLANGER → DELAY」と同じです。
ただし、Delay Bal では原音とディレイ音の音量バランスを設定します。

125：*CHO/FLNGR（コーラス／フランジャー）

コーラスとフランジャーを並列に接続しています。設定項目は「122：CHORUS → FLANGER」と同じです。
ただし、Flg Bal では原音とフランジャー音の音量バランスを設定します。

音符（*1）：

♩₃（3連64分音符）、♩（64分音符）、♩₃（3連32分音符）、
♪₃（32分音符）、♩₃（3連16分音符）、♪（付点32分音符）、
♪（16分音符）、♩₃（3連8分音符）、♪（付点16分音符）、♪（8分音符）、
♩₃（3連4分音符）、♪（付点8分音符）、♪（4分音符）、♩₃（3連2分音符）、
♪（付点4分音符）、♪（2分音符）、♩₃（3連全音符）、♪（付点2分音符）、
♩（全音符）、♩₃（3連倍全音符）、♪（付点全音符）、♩₃（倍全音符）

音符（*2）：

♪（16分音符）、♩₃（3連8分音符）、♪（付点16分音符）、♪（8分音符）、
♩₃（3連4分音符）、♪（付点8分音符）、♪（4分音符）、♩₃（3連2分音符）、
♪（付点4分音符）、♪（2分音符）

コーラス・パラメーター

RD-700SX では、コーラス部をディレイとしても使うことができます。

0：OFF

コーラス／ディレイ未使用

1：CHORUS（コーラス）

パラメーター	設定値	説明
Filter Type	OFF、LPF、HPF	フィルターの種類 OFF ：フィルター未使用 LPF ：高域をカット HPF ：低域をカット
Cutoff Freq	200 ～ 8000 Hz	フィルターで特定の周波数帯をカットする場合の基準周波数
Pre Delay	0.0 ～ 100.0 ms	原音が鳴ってからコーラス音が鳴るまでの遅延時間
Rate Mode	Hz、音符	音符のとき、テンポに同期します。

パラメーター	設定値	説明
Rate (Hz)	0.05 ～ 10.00 Hz	コーラス音の揺れの周期 (Hz)
Rate ()	音符 (*)	コーラス音の揺れの周期 (音符)
Depth	0 ～ 127	コーラス音の揺れの深さ
Phase	0 ～ 180°	コーラス音の広がり具合
Feedback	0 ～ 127	コーラスを通した音を再びコーラスの入力に戻す量

2：DELAY（ディレイ）

パラメーター	設定値	説明
Delay L Mode	ms、音符	音符のとき、テンポに同期します。
Delay L (ms)	0 ～ 1000 ms	原音が鳴ってから左／右／中央のディレイ音が鳴るまでの遅延時間 (ms)
Delay L ()	音符 (*)	原音が鳴ってから左／右／中央のディレイ音が鳴るまでの遅延時間 (音符)
Delay R Mode	ms、音符	Delay R の設定
Delay R (ms)	0 ～ 1000 ms	設定項目は、Delay L と同じです。
Delay R ()	音符 (*)	
Delay C Mode	ms、音符	Delay C の設定
Delay C (ms)	0 ～ 1000 ms	設定項目は、Delay L と同じです。
Delay C ()	音符 (*)	
Center Feedback	-98 ～ +98 %	ディレイ音を入力に戻す割合（マイナス：逆相）
HF Damp	200 ～ 8000 Hz、BYPASS	入力に戻すディレイ音の高域成分をカットする基準周波数（BYPASS：カットしない）
Left Level	0 ～ 127	左のディレイ音の音量
Right Level	0 ～ 127	右のディレイ音の音量
Center Level	0 ～ 127	中央のディレイ音の音量

3：GM2 CHORUS（GM2 コーラス）

パラメーター	設定値	説明
Pre-LPF	0 ～ 7	コーラスに入力する音の、高域成分の減衰量
Level	0 ～ 127	コーラス音の音量
Feedback	0 ～ 127	コーラス音を入力に戻す量
Delay	0 ～ 127	原音が鳴ってからコーラス音が鳴るまでの遅延時間
Rate	0 ～ 127	揺れの周期
Depth	0 ～ 127	揺れの深さ
Send To Reverb	0 ～ 127	コーラス音をリバーブへ送る量

* 音符：

 (3連64分音符)、  (64分音符)、  (3連32分音符)、
 (32分音符)、  (3連16分音符)、  (付点32分音符)、
 (16分音符)、  (3連8分音符)、  (付点16分音符)、  (8分音符)、
 (3連4分音符)、  (付点8分音符)、  (4分音符)、  (3連2分音符)、
 (付点4分音符)、  (2分音符)、  (3連全音符)、  (付点2分音符)、
 (全音符)、  (3連倍全音符)、  (付点全音符)、  (倍全音符)

リバーブ・パラメーター

リバーブの種類、リバーブ音の鳴らしかたなどを設定します。

0：OFF

リバーブ未使用

1：REVERB

基本的なリバーブ

パラメーター	設定値	説明
Type	ROOM1、ROOM2、STAGE1、STAGE2、HALL1、HALL2、DELAY、PAN-DELAY	リバーブ／ディレイの種類 ROOM1 ：余韻が短く高密度 ROOM2 ：余韻が短く低密度 STAGE1 ：後部残響音多め STAGE2 ：初期反射強め HALL1 ：澄んだ響き HALL2 ：豊かな響き DELAY ：一般的なディレイ PAN-DELAY ：反射音が左右に移動するディレイ
Time	0 ～ 127	リバーブ音の余韻の長さ (Type：ROOM1 ～ HALL2) 遅延時間 (Type：DELAY、PAN-DELAY)
HF Damp	200 ～ 8000 Hz、BYPASS	リバーブ音の高域成分をカットする基準周波数 (BYPASS：カットしない)
Delay Feedback	0 ～ 127	ディレイ音を入力に戻す量 (Type が DELAY と PAN-DELAY のときのみ設定可)

2：SRV ROOM

ROOM の残響音のより細かいシミュレーション

パラメーター	設定値	説明
Pre Delay	0.0 ～ 100.0 ms	原音が鳴ってからリバーブ音が鳴るまでの遅延時間
Time	0 ～ 127	リバーブ音の余韻の長さ
Size	1 ～ 8	部屋／ホールの大きさ
High Cut	160 Hz ～ 12.5 kHz、BYPASS	最終出力音の高域成分をカットする基準周波数 (BYPASS：カットしない)
Density	0 ～ 127	リバーブ音の密度
Diffusion	0 ～ 127	リバーブ音の密度の時間変化 値が大きいくほど時間が経つに従って、濃密な音になります。(リバーブタイムを長くした場合に効果がよくあらわれます。)
LF Damp Freq	50 ～ 4000 Hz	リバーブ音の低域成分をカットする基準周波数
LF Damp Gain	-36 ～ 0 dB	LF ダンプの減衰量 (0：効果なし)
HF Damp Freq	4000 Hz ～ 12.5 kHz	リバーブ音の高域成分をカットする基準周波数
HF Damp Gain	-36 ～ 0 dB	HF ダンプの減衰量 (0：効果なし)

3：SRV HALL

HALL の残響音のより細かいシミュレーション

設定項目は「2：SRV ROOM」と同じです。

4：SRV PLATE

プレート・エコー（金属板を利用したリバーブ）のシミュレーション

設定項目は「2：SRV ROOM」と同じです。

5：GM2 REVERB

GM2 リバーブ

パラメーター	設定値	説明
Character	0 ～ 7	リバーブの種類 0 ～ 5 ：リバーブ系 6、7 ：ディレイ系
Pre-LPF	0 ～ 7	リバーブに入力する音の高域成分の減衰量
Level	0 ～ 127	リバーブ音の音量
Time	0 ～ 127	リバーブ音の余韻の長さ
Delay Feedback	0 ～ 127	ディレイ音を入力に戻す量 (Reverb Character が 6、7 の場合のみ設定可)

6：CATHEDRAL

教会のような、固い壁で囲まれた空間の残響音のシミュレーション

パラメーター	設定値	説明
Pre-LPF	0 ～ 7	リバーブに入力する音の高域成分の減衰量
Level	0 ～ 127	リバーブ音の音量
Time	0 ～ 127	リバーブ音の余韻の長さ

トーン一覧

MSB: Bank Select MSB (コントロール・ナンバー 0)

LSB: Bank Select LSB (コントロール・ナンバー 32)

PC: Program Change

[PIANO]

No.	トーン名	MSB	LSB	PC
1	Superior Grd	87	64	1
2	X-Ultimate	87	64	2
3	Grand RD	87	64	3
4	Dark Ballad	87	64	4
5	X-Pure Grand	87	64	5
6	Mellow Piano	87	64	6
7	Bright Grand	87	64	7
8	X-PureMellow	87	64	8
9	Superior Str	87	64	9
10	Superior Pd1	87	64	10
11	Superior Pd2	87	64	11
12	Hybrid Grd 1	87	64	12
13	Hybrid Grd 2	87	64	13
14	600 Grand	87	64	14
15	Dynamic Grd	87	64	15
16	Rock Piano 1	87	64	16
17	Rock Piano 2	87	64	17
18	Honky-tonk	87	64	18
19	SuperiorMono	87	64	19
20	GrandRD Mono	87	64	20

[CLAV/MALLET]

No.	トーン名	MSB	LSB	PC
42	Funky D	87	66	1
43	SX Clavi	87	66	2
44	Clav 1	87	66	3
45	Clav 2	87	66	4
46	Phase Clav	87	66	5
47	WahWah Clav	87	66	6
48	Cutter Clavi	87	66	7
49	D6 Clavi	87	66	8
50	Natural Hps.	87	66	9
51	Harpsi+Str	87	66	10
52	NaturalC.Hps	87	66	11
53	St.Harpsichd	87	66	12
54	Celesta	87	66	13
55	Vibrations	87	66	14
56	Vibraphone	87	66	15
57	Marimba	87	66	16
58	Morning Lite	87	66	17
59	Ballad Bells	87	66	18
60	Chime Bells	87	66	19
61	MusicBox Pad	87	66	20
62	Islands Mlt	87	66	21

[STRINGS]

No.	トーン名	MSB	LSB	PC
93	SX Strings 1	87	68	1
94	Studio Sect.	87	68	2
95	Staccato VS	87	68	3
96	Full Strings	87	68	4
97	SX Strings 2	87	68	5
98	Warm Strings	87	68	6
99	X StrSection	87	68	7
100	2-way Sect.	87	68	8
101	Stringz 101	87	68	9
102	Biggie Bows	87	68	10
103	OrchestraPad	87	68	11
104	Orch & Horns	87	68	12
105	Soft Orch	87	68	13
106	ChmbrStrings	87	68	14
107	Ending Scene	87	68	15
108	Str Quartet	87	68	16
109	Pizzicato	87	68	17
110	Machine Str	87	68	18
111	JP Strings 1	87	68	19
112	JP Strings 2	87	68	20
113	SynthStrings	87	68	21
114	OB Slow Str	87	68	22

[E.PIANO]

No.	トーン名	MSB	LSB	PC
21	SX E.Piano 1	87	65	1
22	Stage Phazer	87	65	2
23	Hit EP	87	65	3
24	60'sE.Piano1	87	65	4
25	60'sE.Piano2	87	65	5
26	Phaser EP	87	65	6
27	StageCabinet	87	65	7
28	NY E.Piano	87	65	8
29	SX E.Piano 2	87	65	9
30	FM E.Piano	87	65	10
31	60'sE.Piano3	87	65	11
32	70's E.Piano	87	65	12
33	Psycho EP	87	65	13
34	EP Belle	87	65	14
35	D-50 E.Piano	87	65	15
36	Pro Stage	87	65	16
37	Vintage EP 1	87	65	17
38	Vintage EP 2	87	65	18
39	S.A.E.P.	87	65	19
40	Hard 60's EP	87	65	20
41	E.Grand	87	65	21

[ORGAN]

No.	トーン名	MSB	LSB	PC
63	TW-Organ 1	112	0	1
64	TW-Organ 2	112	0	2
65	TW-Organ 3	112	0	3
66	TW-Organ 4	112	0	4
67	TW-Organ 5	112	0	5
68	TW-Organ 6	112	0	6
69	TW-Organ 7	112	0	7
70	TW-Organ 8	112	0	8
71	TW-Organ 9	112	0	9
72	TW-Organ 10	112	0	10
73	X Perc Organ	87	67	1
74	Rock Organ	87	67	2
75	Zepix Organ	87	67	3
76	Gospel Spin	87	67	4
77	Mellow Bars	87	67	5
78	Perc.Organ 1	87	67	6
79	FullDraw Org	87	67	7
80	Full Stops	87	67	8
81	British B	87	67	9
82	Perc.Organ 2	87	67	10
83	Perc. B	87	67	11
84	60's Organ	87	67	12
85	Surf's Up!	87	67	13
86	R&B Organ	87	67	14
87	Rocker Spin	87	67	15
88	Purple Spin	87	67	16
89	Massive Pipe	87	67	17
90	Mid Pipe Org	87	67	18
91	Theater Org	87	67	19
92	ParisRomance	87	67	20

[PAD]

No.	トーン名	MSB	LSB	PC
115	Soft Pad	87	69	1
116	Silky Way	87	69	2
117	Lunar Strngs	87	69	3
118	Nu Epic Pad	87	69	4
119	Strings Pad	87	69	5
120	Mashy Scene	87	69	6
121	Side Band X	87	69	7
122	R&B SoftPad	87	69	8
123	Glass Organ	87	69	9
124	Evolution X	87	69	10
125	Whisper Pad	87	69	11
126	Combination	87	69	12
127	HumanKindnes	87	69	13
128	StellarTreck	87	69	14
129	Jupiter-X	87	69	15
130	Mash Pad	87	69	16
131	InfinitePhsr	87	69	17
132	Flange Dream	87	69	18
133	Morph Filter	87	69	19
134	Jupiter 2005	87	69	20

[GTR/BASS]

No.	トーン名	MSB	LSB	PC
135	NaturalNylon	87	70	1
136	Dyna Nylon	87	70	2
137	Nylon Guitar	87	70	3
138	Steel Gtr	87	70	4
139	Steel Away	87	70	5
140	12str Gtr	87	70	6
141	Jz Gtr Hall	87	70	7
142	Clear Guitar	87	70	8
143	JC Strat	87	70	9
144	DistGt Mt	87	70	10
145	Blusey OD	87	70	11
146	Touch Drive	87	70	12
147	Punker	87	70	13
148	SX Ac.Bass	87	70	14
149	SX Upright	87	70	15
150	FingerMaster	87	70	16
151	Chorus Bass	87	70	17
152	Pick Bass	87	70	18
153	Slap Bass	87	70	19
154	SX Fretnot	87	70	20
155	RichFretless	87	70	21
156	All Round Bs	87	70	22
157	Return2Base!	87	70	23
158	Rubber Bass	87	70	24
159	Virtual RnBs	87	70	25
160	Punch MG	87	70	26
161	Garage Bass	87	70	27
162	Smooth Bass	87	70	28
163	MG Bass	87	70	29
164	101 Bass	87	70	30
165	Poly Bass	87	70	31
166	Synth Bass	87	70	32
167	Gashed Bass	87	70	33
168	Vox Bass	87	70	34
169	Bass+RideCym	87	70	35
170	Pearly Harp	87	70	36
171	Sitar 1	87	70	37
172	Sitar 2	87	70	38

[BRASS/WINDS]

No.	トーン名	MSB	LSB	PC
173	R&R Brass	87	71	1
174	VoyagerBrass	87	71	2
175	StackTp Sect	87	71	3
176	Oct Brass	87	71	4
177	FullSt Brass	87	71	5
178	Wood Symphny	87	71	6
179	Bigband Sax	87	71	7
180	Biggie Brass	87	71	8
181	ChamberWinds	87	71	9
182	Soprano Sax	87	71	10
183	Alto Sax	87	71	11
184	Tenor Sax	87	71	12
185	Honker Bari	87	71	13
186	Flute	87	71	14
187	Oboe	87	71	15
188	Pan Pipes	87	71	16
189	Bend SynBrs	87	71	17
190	Saw Brass	87	71	18

No.	トーン名	MSB	LSB	PC
191	Jump For KY	87	71	19
192	X-Saw Brass	87	71	20
193	JP8000 Brass	87	71	21
194	Silky JP	87	71	22
195	Afro Horns	87	71	23
196	Triumph Brs	87	71	24

[VOICE/SYNTH]

No.	トーン名	MSB	LSB	PC
197	Jazz Scat	87	72	1
198	Morning Star	87	72	2
199	Aerial Choir	87	72	3
200	Angelique	87	72	4
201	Aah Vox	87	72	5
202	Beauty Vox	87	72	6
203	Choir Aahs	87	72	7
204	Jazz Doos	87	72	8
205	Female Aahs	87	72	9
206	Gospel Oohs	87	72	10
207	Galactic SX	87	72	11
208	Synth Stack	87	72	12
209	Power Stack	87	72	13
210	Oct Unison	87	72	14
211	Trancy Synth	87	72	15
212	SideBandBell	87	72	16
213	Saw Lead 1	87	72	17
214	Saw Lead 2	87	72	18
215	Square Lead	87	72	19
216	Sweep Lead	87	72	20
217	SuperSawSlow	87	72	21
218	Jupiter Lead	87	72	22

[RHY/GM2]

No.	トーン名	MSB	LSB	PC
219	SX Pop Kit	86	64	1
220	SX Rock Kit	86	64	2
221	SX Jazz Kit	86	64	3
222	SX R&B Kit	86	64	4
223	SX House Kit	86	64	5
224	GM2 STANDARD	120	0	1
225	GM2 ROOM	120	0	9
226	GM2 POWER	120	0	17
227	GM2 ELECTRIC	120	0	25
228	GM2 ANALOG	120	0	26
229	GM2 JAZZ	120	0	33
230	GM2 BRUSH	120	0	41
231	GM2 ORCHESTRA	120	0	49
232	GM2 SFX	120	0	57
233	Piano 1	121	0	1
234	Piano 1w	121	1	1
235	European Pf	121	2	1
236	Piano 2	121	0	2
237	Piano 2w	121	1	2
238	Piano 3	121	0	3
239	Piano 3w	121	1	3
240	Honky-tonk	121	0	4
241	Honky-tonk 2	121	1	4
242	E.Piano 1	121	0	5
243	St.Soft EP	121	1	5

No.	トーン名	MSB	LSB	PC
244	FM+SA EP	121	2	5
245	60's E.Piano	121	3	5
246	E.Piano 2	121	0	6
247	Detuned EP 2	121	1	6
248	St.FM EP	121	2	6
249	EP Legend	121	3	6
250	EP Phase	121	4	6
251	Harpsichord	121	0	7
252	Coupled Hps.	121	1	7
253	Harpsi.w	121	2	7
254	Harpsi.o	121	3	7
255	Clav.	121	0	8
256	Pulse Clav	121	1	8
257	Celesta	121	0	9
258	Glockenspiel	121	0	10
259	Music Box	121	0	11
260	Vibraphone	121	0	12
261	Vibraphone w	121	1	12
262	Marimba	121	0	13
263	Marimba w	121	1	13
264	Xylophone	121	0	14
265	Tubular-bell	121	0	15
266	Church Bell	121	1	15
267	Carillon	121	2	15
268	Santur	121	0	16
269	Organ 1	121	0	17
270	Trem. Organ	121	1	17
271	60's Organ 1	121	2	17
272	70's E.Organ	121	3	17
273	Organ 2	121	0	18
274	Chorus Or.2	121	1	18
275	Perc. Organ	121	2	18
276	Organ 3	121	0	19
277	Church Org.1	121	0	20
278	Church Org.2	121	1	20
279	Church Org.3	121	2	20
280	Reed Organ	121	0	21
281	Puff Organ	121	1	21
282	Accordion Fr	121	0	22
283	Accordion It	121	1	22
284	Harmonica	121	0	23
285	Bandoneon	121	0	24
286	Nylon-str.Gt	121	0	25
287	Ukulele	121	1	25
288	Nylon Gt.o	121	2	25
289	Nylon Gt.2	121	3	25
290	Steel-str.Gt	121	0	26
291	12-str.Gt	121	1	26
292	Mandolin	121	2	26
293	Steel + Body	121	3	26
294	Jazz Gt.	121	0	27
295	Pedal Steel	121	1	27
296	Clean Gt.	121	0	28
297	Chorus Gt.	121	1	28
298	Mid Tone GTR	121	2	28
299	Muted Gt.	121	0	29
300	Funk Pop	121	1	29
301	Funk Gt.2	121	2	29
302	Jazz Man	121	3	29
303	Overdrive Gt	121	0	30
304	Guitar Pinch	121	1	30
305	DistortionGt	121	0	31

トーン一覧

No.	トーン名	MSB	LSB	PC	No.	トーン名	MSB	LSB	PC	No.	トーン名	MSB	LSB	PC
306	Feedback Gt.	121	1	31	368	Jump Brass	121	3	63	430	Taisho Koto	121	1	108
307	Dist Rtm GTR	121	2	31	369	Synth Brass2	121	0	64	431	Kalimba	121	0	109
308	Gt.Harmonics	121	0	32	370	SynBrass sfz	121	1	64	432	Bagpipe	121	0	110
309	Gt. Feedback	121	1	32	371	Velo Brass 1	121	2	64	433	Fiddle	121	0	111
310	Acoustic Bs.	121	0	33	372	Soprano Sax	121	0	65	434	Shanai	121	0	112
311	Fingered Bs.	121	0	34	373	Alto Sax	121	0	66	435	Tinkle Bell	121	0	113
312	Finger Slap	121	1	34	374	Tenor Sax	121	0	67	436	Agogo	121	0	114
313	Picked Bass	121	0	35	375	Baritone Sax	121	0	68	437	Steel Drums	121	0	115
314	Fretless Bs.	121	0	36	376	Oboe	121	0	69	438	Woodblock	121	0	116
315	Slap Bass 1	121	0	37	377	English Horn	121	0	70	439	Castanets	121	1	116
316	Slap Bass 2	121	0	38	378	Bassoon	121	0	71	440	Taiko	121	0	117
317	Synth Bass 1	121	0	39	379	Clarinet	121	0	72	441	Concert BD	121	1	117
318	SynthBass101	121	1	39	380	Piccolo	121	0	73	442	Melo. Tom 1	121	0	118
319	Acid Bass	121	2	39	381	Flute	121	0	74	443	Melo. Tom 2	121	1	118
320	Clavi Bass	121	3	39	382	Recorder	121	0	75	444	Synth Drum	121	0	119
321	Hammer	121	4	39	383	Pan Flute	121	0	76	445	808 Tom	121	1	119
322	Synth Bass 2	121	0	40	384	Bottle Blow	121	0	77	446	Elec Perc	121	2	119
323	Beef FM Bass	121	1	40	385	Shakuhachi	121	0	78	447	Reverse Cym.	121	0	120
324	RubberBass 2	121	2	40	386	Whistle	121	0	79	448	Gt.FretNoise	121	0	121
325	Attack Pulse	121	3	40	387	Ocarina	121	0	80	449	Gt.Cut Noise	121	1	121
326	Violin	121	0	41	388	Square Wave	121	0	81	450	String Slap	121	2	121
327	Slow Violin	121	1	41	389	MG Square	121	1	81	451	Breath Noise	121	0	122
328	Viola	121	0	42	390	2600 Sine	121	2	81	452	Fl.Key Click	121	1	122
329	Cello	121	0	43	391	Saw Wave	121	0	82	453	Seashore	121	0	123
330	Contrabass	121	0	44	392	OB2 Saw	121	1	82	454	Rain	121	1	123
331	Tremolo Str	121	0	45	393	Doctor Solo	121	2	82	455	Thunder	121	2	123
332	PizzicatoStr	121	0	46	394	Natural Lead	121	3	82	456	Wind	121	3	123
333	Harp	121	0	47	395	SequencedSaw	121	4	82	457	Stream	121	4	123
334	Yang Qin	121	1	47	396	Syn.Calliope	121	0	83	458	Bubble	121	5	123
335	Timpani	121	0	48	397	Chiffer Lead	121	0	84	459	Bird	121	0	124
336	Orche str	121	0	49	398	Charang	121	0	85	460	Dog	121	1	124
337	Orchestra	121	1	49	399	Wire Lead	121	1	85	461	Horse-Gallop	121	2	124
338	60s Strings	121	2	49	400	Solo Vox	121	0	86	462	Bird 2	121	3	124
339	Slow Strings	121	0	50	401	5th Saw Wave	121	0	87	463	Telephone 1	121	0	125
340	Syn.Strings1	121	0	51	402	Bass & Lead	121	0	88	464	Telephone 2	121	1	125
341	Syn.Strings3	121	1	51	403	Delayed Lead	121	1	88	465	DoorCreaking	121	2	125
342	Syn.Strings2	121	0	52	404	Fantasia	121	0	89	466	Door	121	3	125
343	Choir Aahs	121	0	53	405	Warm Pad	121	0	90	467	Scratch	121	4	125
344	Chorus Aahs	121	1	53	406	Sine Pad	121	1	90	468	Wind Chimes	121	5	125
345	Voice Oohs	121	0	54	407	Polysynth	121	0	91	469	Helicopter	121	0	126
346	Humming	121	1	54	408	Space Voice	121	0	92	470	Car-Engine	121	1	126
347	SynVox	121	0	55	409	Itopia	121	1	92	471	Car-Stop	121	2	126
348	Analog Voice	121	1	55	410	Bowed Glass	121	0	93	472	Car-Pass	121	3	126
349	OrchestraHit	121	0	56	411	Metal Pad	121	0	94	473	Car-Crash	121	4	126
350	Bass Hit	121	1	56	412	Halo Pad	121	0	95	474	Siren	121	5	126
351	6th Hit	121	2	56	413	Sweep Pad	121	0	96	475	Train	121	6	126
352	Euro Hit	121	3	56	414	Ice Rain	121	0	97	476	Jetplane	121	7	126
353	Trumpet	121	0	57	415	Soundtrack	121	0	98	477	Starship	121	8	126
354	Dark Trumpet	121	1	57	416	Crystal	121	0	99	478	Burst Noise	121	9	126
355	Trombone	121	0	58	417	Syn Mallet	121	1	99	479	Applause	121	0	127
356	Trombone 2	121	1	58	418	Atmosphere	121	0	100	480	Laughing	121	1	127
357	Bright Tb	121	2	58	419	Brightness	121	0	101	481	Screaming	121	2	127
358	Tuba	121	0	59	420	Goblin	121	0	102	482	Punch	121	3	127
359	MutedTrumpet	121	0	60	421	Echo Drops	121	0	103	483	Heart Beat	121	4	127
360	MuteTrumpet2	121	1	60	422	Echo Bell	121	1	103	484	Footsteps	121	5	127
361	French Horns	121	0	61	423	Echo Pan	121	2	103	485	Gun Shot	121	0	128
362	Fr.Horn 2	121	1	61	424	Star Theme	121	0	104	486	Machine Gun	121	1	128
363	Brass 1	121	0	62	425	Sitar	121	0	105	487	Lasergun	121	2	128
364	Brass 2	121	1	62	426	Sitar 2	121	1	105	488	Explosion	121	3	128
365	Synth Brass1	121	0	63	427	Banjo	121	0	106					
366	Pro Brass	121	1	63	428	Shamisen	121	0	107					
367	Oct SynBrass	121	2	63	429	Koto	121	0	108					

リズム・セット一覧

※ [EXC] : 同じ番号の音を同時に鳴らすことはできません。

	SX Pop Kit	SX Rock Kit	SX Jazz Kit	SX R&B Kit	SX House Kit
21	Rock Kick	Old Kick	Old Kick	Analog Kick 2	Dance Kick
22	Pop Kick	Pop Kick	Jazz Kick 1	TR909 Kick 1	Lo-Bit CHH [EXC1]
23	Analog Kick 1	Analog Kick 1	Analog Kick 1	TR909 Kick 2	Techno Kick 2
24	Hush Kick	Rock Kick	Jazz Swish	R&B CHH 2 [EXC1]	Concert Snare
25	Pop CHH 1 [EXC1]	Rock CHH1 [EXC1]	Jazz Tap 1	R&B CHH 3 [EXC1]	Snare Roll
26	Reg. Snare 1	Rock Snare 1	Jazz Tap 2	R&B CHH 4 [EXC1]	Finger Snap
27	Finger Snap	Finger Snap	Finger Snap	Finger Snap	High-Q
28	707 Claps	707 Claps	707 Claps	707 Claps	Slap
29	Hand Clap 1	Hand Clap 1	Hand Clap 1	Hand Clap 1	Scratch Push
30	Hand Clap 2	Hand Clap 2	Hand Clap 2	Gospel Hand Clap 2	Scratch Pull
31	Hand Clap 3	Hand Clap 3	Hand Clap 3	Hand Clap 2	Sticks
32	Pop PHH [EXC1]	Pop PHH [EXC1]	Pop PHH [EXC1]	R&B CHH 5 [EXC1]	Square Click
33	Hand Clap 4	Hand Clap 4	Gospel Hand Clap	Gospel Hand Clap	Metro Click
34	Snare Roll	Snare Roll	Snare Roll	Lo-Bit CHH [EXC1]	Metro Bell
35	Old Kick	Old Kick	Pop Kick	Analog Kick 1	House Kick 1
C2	Hush Kick	Rock Kick	Jazz Kick 2	R&B Kick	House Kick 2
37	Reg.Stick	Rock Side Stick	Jazz Snare Swing	R&B Side Stick 1	R&B Side Stick 1
38	Reg. Snare	Rock Snare 1	Jazz Snare 1	R&B Snare 1	House Snare 1
39	Reg. Snare Ghost	Snare Ghost	Pop Snare Swing	R&B Snare 2	House Snare 2
40	Titan Snare	Rock Snare 2	Jazz Snare 2	R&B Snare 3	House Snare 3
41	Reg. Low Tom Flm	Rock Low Tom Flm	Jazz Low Tom Flm	Sharp Low Tom 6	House Low Tom 1
42	Pop CHH 1 [EXC1]	Rock CHH 1 [EXC1]	Pop CHH 1 [EXC1]	R&B CHH 1 [EXC1]	House CHH [EXC1]
43	Reg. Low Tom	Rock Low Tom	Jazz Low Tom	Sharp Low Tom 5	House Low Tom 2
44	Pop CHH 2 [EXC1]	Rock CHH 2 [EXC1]	Pop CHH 2 [EXC1]	R&B CHH 1 [EXC1]	House PHH [EXC1]
45	Reg.Mid Tom Flm	Rock Mid Tom Flm	Jazz Mid Tom Flm	Sharp Low Tom 4	House Mid Tom 1
46	Pop OHH [EXC1]	Rock OHH [EXC1]	Pop OHH [EXC1]	R&B OHH [EXC1]	House OHH [EXC1]
47	Reg. Mid Tom	Rock Mid Tom	Jazz Mid Tom	Sharp High Tom 3	House Mid Tom 2
C3	Reg. High Tom Flm	Rock High Tom Flm	Jazz High Tom Flm	Sharp High Tom 2	House High Tom 1
49	Pop Crash Cymbal 1	Rock Crash Cymbal	Jazz Crash Cymbal	R&B Crash Cymbal	House Crash Cymbal
50	Reg. High Tom	Rock HighTom	Jazz HighTom	Sharp High Tom 1	House High Tom 2
51	Pop RideCymbal 1	Pop Ride Cymbal 2	Jazz Ride Cymbal 1	Pop Ride Cymbal 1	House Ride Cymbal
52	Pop Chinese Cymbal	Rock Chinese Cymbal	Jazz Chinese Cymbal	R&B Chinese Cym	Reverse Cymbal
53	Pop Ride Bell	Rock Ride Bell	Jazz Ride Cymbal 2	R&B Ride Bell	House Ride Bell
54	Tambourine	Tambourine	Tambourine	R&B Ride Bell	ShakeTambourine
55	Pop Splash Cymbal	Rock Splsh Cymbal	Pop Splsh Cymbal	TR909 Ride	House Splash Cymbal
56	Cha Cha Cowbell	Cha Cha Cowbell	Cha Cha Cowbell	Cha Cha Cowbell	House Cowbell
57	Pop Crash Cymbal 2	Rock Chinese Cymbal 2	Jazz Crash Cymbal 2	House Crash Cymbal	HouseCrash Cymbal
58	Vibraslap	Vibraslap	Vibraslap	Vibraslap	Vibraslap
59	Pop RideCymbal 2	Pop Ride Cymbal 1	Pop Ride Cymbal 1	Pop Ride Cymbal 2	Pop Ride Cymbal 2
C4	Bongo Hi	Bongo Hi	Bongo Hi	House Bongo Hi	House Bongo Hi
61	Bongo Lo	Bongo Lo	Bongo Lo	House Bongo Lo	House Bongo Lo
62	Conga Mute	Conga Mute	Conga Mute	House Conga Hi	House Conga Hi
63	Conga Hi	Conga Hi	Conga Hi	House Conga Mt	House Conga Mt
64	Conga Lo	Conga Lo	Conga Lo	House Conga Lo	House Conga Lo
65	Timbale Hi	Timbale Hi	Timbale Hi	Timbale Hi	Timbale Hi
66	Timbale Lo	Timbale Lo	Timbale Lo	Timbale Lo	Timbale Lo
67	Agogo Bell Hi	Agogo Bell Hi	Agogo Bell Hi	Agogo Bell Hi	Agogo Bell Hi
68	Agogo Bell Lo	Agogo Bell Lo	Agogo Bell Lo	Agogo Bell Lo	Agogo Bell Lo
69	Shaker 2	Shaker 2	Shaker 2	Cabasa	Cabasa
70	Shaker 3	Shaker 3	Shaker 3	House Maracas	House Maracas
71	Whistle Short [EXC2]	Whistle Short [EXC2]	Whistle Short [EXC2]	Whistle Short [EXC2]	Whistle Short [EXC2]
C5	Whistle Long [EXC2]	Whistle Long [EXC2]	Whistle Long [EXC2]	Whistle Long [EXC2]	Whistle Long [EXC2]
73	Guiro Short [EXC3]	Guiro Short [EXC3]	Guiro Short [EXC3]	Guiro Short [EXC3]	Guiro Short [EXC3]
74	Guiro Long [EXC3]	Guiro Long [EXC3]	Guiro Long [EXC3]	Guiro Long [EXC3]	Guiro Long [EXC3]
75	Claves	Claves	Claves	House Claves	House Claves
76	Wood Block Hi	Wood Block Hi	Wood Block Hi	Wood Block Hi	Wood Block Hi
77	Wood Block Lo	Wood Block Lo	Wood Block Lo	Wood Block Lo	Wood Block Lo
78	Cuica Mute [EXC4]	Cuica Mute [EXC4]	Cuica Mute [EXC4]	Hoo Hi [EXC4]	Hoo Hi [EXC4]
79	Cuica Open [EXC4]	Cuica Open [EXC4]	Cuica Open [EXC4]	Hoo Lo [EXC4]	Hoo Lo [EXC4]
80	Triangle Mt [EXC5]	Triangle Mt [EXC5]	Triangle Mt [EXC5]	Triangle Mt [EXC5]	Electric Triangle Mt [EXC5]
81	Triangle Op [EXC5]	Triangle Op [EXC5]	Triangle Op [EXC5]	Triangle Op [EXC5]	Electric Triangle Op[EXC5]
82	Cabasa	Cabasa	Cabasa	Shaker	Shaker
83	Jingle Bell	Jingle Bell	Jingle Bell	Jingle Bell	Jingle Bell
C6	Wind Chime	Wind Chime	Wind Chime	Wind Chime	Wind Chime
84	Castanets	Castanets	Castanets	Castanets	Castanets
85	Surdo Mute [EXC6]	Surdo Mute [EXC6]	Surdo Mute [EXC6]	Surdo Mute [EXC6]	Surdo Mute [EXC6]
86	Surdo Open [EXC6]	Surdo Open [EXC6]	Surdo Open [EXC6]	Surdo Open [EXC6]	Surdo Open [EXC6]
87	Cana	Cana	Cana	Tambourine	Cana
88	Flamenco Timbale Hi	Flamenco Timbale Hi	Flamenco Timbale Hi	Tambourine	Flamenco Timbale Hi
89	Flamenco Timbale Lo	Flamenco Timbale Lo	Flamenco Timbale Lo	Cabasa Up	Flamenco Timbale Lo
90	Flamenco Timbale Flam	Flamenco Timbale Flam	Flamenco Timbale Flam	Cabasa Down	Flamenco Timbale Flam
91	Shaker 1	Shaker 1	Shaker 1	Shaker 1	Shaker 1
92	Shaker 2	Shaker 2	Shaker 2	Shaker 2	Shaker 2
93	Bongo Lo Mt	Bongo Lo Mt	Bongo Lo Mt	Bongo Lo Mt	Bongo Lo Mt
94	Grit Snare	LoFi Snare	Jazz Snare 1	Grit Snare	LoFi Snare
C7	Jungle Snare 1	Jungle Snare 1	Jazz Snare 2	Jungle Snare 1	Jungle Snare 1
97	Reg.Stick	Rock Side Stick	Jazz Snare Swing	R&B Side Stick 2	R&B Side Stick 2
98	Titan Snare	Rock Snare 2	Jazz Swish	Analog Snare	Analog Snare
99	Old Kick	Old Kick	Old Kick	HipHop Kick	TR808 Kick 1
100	Pop Kick	Pop Kick	Jazz Kick 1	TR808 Kick 1	TR808 Kick 2
101	Rock Kick	Rock Kick	Jazz Kick 2	TR808 Kick 2	Jungle Kick
102	Analog Kick 1	Analog Kick 1	Analog Kick 1	Techno Kick	Techno Kick
103	Rock Snare Dry	Rock Snare Dry	Jazz Tap 1	Rock Snare Dry	Rock Snare Dry
104	Electric Snare	Electric Snare	Jazz Tap 2	Electric Snare	Electric Snare
105	Reg. Snare Ghost	Rock Snare Ghost	Pop Snare Swing	Jungle Snare 2	Jungle Snare 2
106	Slappy	Slappy	Slappy	Vinyl Noise	Slappy
107	Wah Gtr Noise 1	Wah Gtr Noise 1	Wah Gtr Noise 1	Wah Gtr Noise 1	Wah Gtr Noise 1
C8	Wah Gtr Noise 2	Wah Gtr Noise 2	Wah Gtr Noise 2	Wah Gtr Noise 2	Wah Gtr Noise 2

リズム・セット一覧

※ ---- : 音が鳴りません

※ [EXC] : 同じ番号の音を同時に鳴らすことはできません。

	GM2 STANDARD	GM2 ROOM	GM2 POWER	GM2 ELECTRIC
21	----	----	----	----
22	----	----	----	----
23	----	----	----	----
24	----	----	----	----
25	----	----	----	----
26	----	----	----	----
27	High-Q	High-Q	High-Q	High-Q
28	Slap	Slap	Slap	Slap
29	ScratchPush [EXC7]	ScratchPush [EXC7]	ScratchPush [EXC7]	ScratchPush [EXC7]
30	ScratchPull [EXC7]	ScratchPull [EXC7]	ScratchPull [EXC7]	ScratchPull [EXC7]
31	Sticks	Sticks	Sticks	Sticks
32	SquareClick	SquareClick	SquareClick	SquareClick
33	Mtrnm.Click	Mtrnm.Click	Mtrnm.Click	Mtrnm.Click
34	Mtrnm. Bell	Mtrnm. Bell	Mtrnm. Bell	Mtrnm. Bell
35	Jazz Kick 1	Mix Kick	Standard KK1	Power Kick1
C2 36	Mix Kick	Standard KK1	Power Kick1	Elec Kick 1
37	Side Stick	Side Stick	Side Stick	Side Stick
38	Standard SN1	Standard SN2	Dance Snare1	Elec. Snare
39	909 HandClap	909 HandClap	909 HandClap	909 HandClap
40	Elec Snare 3	Elec Snare 7	Elec Snare 4	Elec Snare 2
41	Real Tom 6	Room Tom 5	Room Tom 5	Synth Drum 2
42	Close HiHat2 [EXC1]	Close HiHat2 [EXC1]	Close HiHat2 [EXC1]	Close HiHat2 [EXC1]
43	Real Tom 6	Room Tom 6	Room Tom 6	Synth Drum 2
44	Pedal HiHat2 [EXC1]	Pedal HiHat2 [EXC1]	Pedal HiHat2 [EXC1]	Pedal HiHat2 [EXC1]
45	Real Tom 4	Room Tom 2	Room Tom 2	Synth Drum 2
46	Open HiHat2 [EXC1]	Open HiHat2 [EXC1]	Open HiHat2 [EXC1]	Open HiHat2 [EXC1]
47	Real Tom 4	Room Tom 2	Room Tom 2	Synth Drum 2
C3 48	Real Tom 1	Rock Tom 1	Rock Tom 1	Synth Drum 2
49	Crash Cym.1	Crash Cym.1	Crash Cym.1	Crash Cym.1
50	Real Tom 1	Rock Tom 1	Rock Tom 1	Synth Drum 2
51	Ride Cymbal	Ride Cymbal	Ride Cymbal	Ride Cymbal
52	ChinaCymbal	ChinaCymbal	ChinaCymbal	ReverseCymbal
53	Ride Bell	Ride Bell	Ride Bell	Ride Bell
54	Tambourine	Tambourine	Tambourine	Tambourine
55	Splash Cym.	Splash Cym.	Splash Cym.	Splash Cym.
56	Cowbell	Cowbell	Cowbell	Cowbell
57	Crash Cym.2	Crash Cym.2	Crash Cym.2	Crash Cym.2
58	Vibraslap	Vibraslap	Vibraslap	Vibraslap
59	Ride Cymbal4	Ride Cymbal4	Ride Cymbal4	Ride Cymbal4
C4 60	Bongo High	Bongo High	Bongo High	Bongo High
61	Bongo Lo	Bongo Lo	Bongo Lo	Bongo Lo
62	Mute H.Conga	Mute H.Conga	Mute H.Conga	Mute H.Conga
63	Conga Hi Opn	Conga Hi Opn	Conga Hi Opn	Conga Hi Opn
64	Conga Lo Opn	Conga Lo Opn	Conga Lo Opn	Conga Lo Opn
65	High Timbale	High Timbale	High Timbale	High Timbale
66	Low Timbale	Low Timbale	Low Timbale	Low Timbale
67	Agogo	Agogo	Agogo	Agogo
68	Agogo	Agogo	Agogo	Agogo
69	Cabasa	Cabasa	Cabasa	Cabasa
70	Maracas	Maracas	Maracas	Maracas
71	ShrtWhistle [EXC2]	ShrtWhistle [EXC2]	ShrtWhistle [EXC2]	ShrtWhistle [EXC2]
C5 72	LongWhistle [EXC2]	LongWhistle [EXC2]	LongWhistle [EXC2]	LongWhistle [EXC2]
73	Short Guiro [EXC3]	Short Guiro [EXC3]	Short Guiro [EXC3]	Short Guiro [EXC3]
74	Long Guiro [EXC3]	Long Guiro [EXC3]	Long Guiro [EXC3]	Long Guiro [EXC3]
75	Claves	Claves	Claves	Claves
76	Woodblock	Woodblock	Woodblock	Woodblock
77	Woodblock	Woodblock	Woodblock	Woodblock
78	Mute Cuica [EXC4]	Mute Cuica [EXC4]	Mute Cuica [EXC4]	Mute Cuica [EXC4]
79	Open Cuica [EXC4]	Open Cuica [EXC4]	Open Cuica [EXC4]	Open Cuica [EXC4]
80	MuteTriangl [EXC5]	MuteTriangl [EXC5]	MuteTriangl [EXC5]	MuteTriangl [EXC5]
81	OpenTriangl [EXC5]	OpenTriangl [EXC5]	OpenTriangl [EXC5]	OpenTriangl [EXC5]
82	Shaker	Shaker	Shaker	Shaker
83	Jingle Bell	Jingle Bell	Jingle Bell	Jingle Bell
C6 84	Bell Tree	Bell Tree	Bell Tree	Bell Tree
85	Castanets	Castanets	Castanets	Castanets
86	Mute Surdo [EXC6]	Mute Surdo [EXC6]	Mute Surdo [EXC6]	Mute Surdo [EXC6]
87	Open Surdo [EXC6]	Open Surdo [EXC6]	Open Surdo [EXC6]	Open Surdo [EXC6]
88	----	----	----	----

※ ---- : 音が鳴りません

※ [EXC] : 同じ番号の音を同時に鳴らすことはできません。

	GM2 ANALOG	GM2 JAZZ	GM2 BRUSH	GM2 ORCHSTRA	GM2 SFX
21	----	----	----	----	----
22	----	----	----	----	----
23	----	----	----	----	----
24	----	----	----	----	----
25	----	----	----	----	----
26	----	----	----	----	----
27	High-Q	High-Q	High-Q	Close HiHat2 [EXC1]	----
28	Slap	Slap	Slap	Pedal HiHat2 [EXC1]	----
29	ScratchPush [EXC7]	ScratchPush [EXC7]	ScratchPush [EXC7]	Open HiHat2 [EXC1]	----
30	ScratchPull [EXC7]	ScratchPull [EXC7]	ScratchPull [EXC7]	Ride Cymbal3	----
31	Sticks	Sticks	Sticks	Sticks	----
32	SquareClick	SquareClick	SquareClick	SquareClick	----
33	Mtrnm.Click	Mtrnm.Click	Mtrnm.Click	Mtrnm.Click	----
34	Mtrnm. Bell	Mtrnm. Bell	Mtrnm. Bell	Mtrnm. Bell	----
35	TR-808 Kick2	Jazz Kick 2	Jazz Kick 2	Concert BD	----
C2 36	TR-808 Kick	Jazz Kick 1	Jazz Kick 1	Mix Kick	----
37	808 Rimshot	Side Stick	Side Stick	Side Stick	----
38	808 Snare 1	Standard SN3	Brush Swirl	Concert Snr	----
39	909 HandClap	909 HandClap	Brush Slap1	Castanets	High-Q
40	Elec Snare 6	Elec Snare 5	Brush Swirl	Concert Snr	Slap
41	808 Tom 2	Real Tom 6	Brash Tom 2	Timpani	SquarePush [EXC7]
42	TR-808 CHH [EXC1]	Close HiHat2 [EXC1]	Close HiHat3 [EXC1]	Timpani	ScratchPull [EXC7]
43	808 Tom 2	Real Tom 6	Brash Tom 2	Timpani	Sticks
44	808_chh [EXC1]	Pedal HiHat2 [EXC1]	Pedal HiHat3 [EXC1]	Timpani	SquareClick
45	808 Tom 2	Real Tom 4	Brash Tom 2	Timpani	Mtrnm.Click
46	TR-808 OHH [EXC1]	Open HiHat2 [EXC1]	Open HiHat3 [EXC1]	Timpani	Mtrnm. Bell
47	808 Tom 2	Real Tom 4	Brash Tom 2	Timpani	Gt.FretNoiz
C3 48	808 Tom 2	Real Tom 1	Brash Tom 2	Timpani	Gt.CutNoise
49	808 Crash	Crash Cym.1	Crash Cym.3	Timpani	Gt.CutNoise
50	808 Tom 2	Real Tom 1	Brash Tom 2	Timpani	String Slap
51	Ride Cymbal	Ride Cymbal	Ride Cymbal2	Timpani	Fl.KeyClick
52	ChinaCymbal	ChinaCymbal	ChinaCymbal	Timpani	Laughing
53	Ride Bell	Ride Bell 3	Ride Bell 2	Timpani	Screaming
54	Tambourine	Tambourine	Tambourine	Tambourine	Punch
55	Splash Cym.	Splash Cym.	Splash Cym.	Splash Cym.	Heart Beat
56	808cowbe	Cowbell	Cowbell	Cowbell	Footsteps
57	Crash Cym.2	Crash Cym.2	Crash Cym.2	Con.Cymbal2	Footsteps
58	Vibraslap	Vibraslap	Vibraslap	Vibraslap	Applause
59	Ride Cymbal4	Ride Cymbal4	Ride Cymbal4	Concert Cym.	Creaking
C4 60	Bongo High	Bongo High	Bongo High	Bongo High	Door
61	Bongo Lo	Bongo Lo	Bongo Lo	Bongo Lo	Scratch
62	808 Conga	Mute H.Conga	Mute H.Conga	Mute H.Conga	Wind Chimes
63	808 Conga	Conga Hi Opn	Conga Hi Opn	Conga Hi Opn	Car-Engine
64	808 Conga	Conga Lo Opn	Conga Lo Opn	Conga Lo Opn	Car-Stop
65	High Timbale	High Timbale	High Timbale	High Timbale	Car-Pass
66	Low Timbale	Low Timbale	Low Timbale	Low Timbale	Car-Crash
67	Agogo	Agogo	Agogo	Agogo	Siren
68	Agogo	Agogo	Agogo	Agogo	Train
69	Cabasa	Cabasa	Cabasa	Cabasa	Jetplane
70	808marac	Maracas	Maracas	Maracas	Helicopter
71	ShrtWhistle [EXC2]	ShrtWhistle [EXC2]	ShrtWhistle [EXC2]	ShrtWhistle [EXC2]	Starship
C5 72	LongWhistle [EXC2]	LongWhistle [EXC2]	LongWhistle [EXC2]	LongWhistle [EXC2]	Gun Shot
73	Short Guiro [EXC3]	Short Guiro [EXC3]	Short Guiro [EXC3]	Short Guiro [EXC3]	Machine Gun
74	Long Guiro [EXC3]	Long Guiro [EXC3]	Long Guiro [EXC3]	Long Guiro [EXC3]	Lasergun
75	808clave	Claves	Claves	Claves	Explosion
76	Woodblock	Woodblock	Woodblock	Woodblock	Dog
77	Woodblock	Woodblock	Woodblock	Woodblock	HorseGallop
78	Mute Cuica [EXC4]	Mute Cuica [EXC4]	Mute Cuica [EXC4]	Mute Cuica [EXC4]	Bird
79	Open Cuica [EXC4]	Open Cuica [EXC4]	Open Cuica [EXC4]	Open Cuica [EXC4]	Rain
80	MuteTriangl [EXC5]	MuteTriangl [EXC5]	MuteTriangl [EXC5]	MuteTriangl [EXC5]	Thunder
81	OpenTriangl [EXC5]	OpenTriangl [EXC5]	OpenTriangl [EXC5]	OpenTriangl [EXC5]	Wind
82	Shaker	Shaker	Shaker	Shaker	Seashore
83	Jingle Bell	Jingle Bell	Jingle Bell	Jingle Bell	Stream
C6 84	Bell Tree	Bell Tree	Bell Tree	Bell Tree	Bubble
85	Castanets	Castanets	Castanets	Castanets	----
86	Mute Surdo [EXC6]	Mute Surdo [EXC6]	Mute Surdo [EXC6]	Mute Surdo [EXC6]	----
87	Open Surdo [EXC6]	Open Surdo [EXC6]	Open Surdo [EXC6]	Open Surdo [EXC6]	----
88	----	----	----	Applause	----

アルペジオ・スタイル一覧

No.	アルペジオ・スタイル	No.	アルペジオ・スタイル	No.	アルペジオ・スタイル
1	Phrase 1	44	Phrase 12	87	Bassline 10
2	Key Backing 1	45	Phrase 13	88	Bassline 11
3	Pop Piano 1	46	Phrase 14	89	Bassline 12
4	Pop Piano 2	47	Phrase 15	90	Bassline 13
5	Phrase 2	48	Phrase 16	91	Bassline 14
6	Phrase 3	49	Phrase 17	92	Bassline 15
7	Single Note 1	50	Phrase 18	93	Bassline 16
8	Single Note 2	51	Phrase 19	94	Salsa 3
9	Rock Keys	52	Phrase 20	95	Pop Harp
10	Rock Shuffle	53	Key Backing 2	96	R&B Harp
11	Blues Shuffle	54	Key Backing 3	97	Synth 1
12	Blues	55	Key Backing 4	98	Synth 2
13	Salsa 1	56	Key Backing 5	99	Synth 3
14	Salsa 2	57	Key Backing 6	100	Synth 4
15	Fast Bossa	58	Key Backing 7	101	Synth 5
16	Ballad Keys	59	Key Backing 8	102	Synth 6
17	Triplet Keys	60	Key Backing 9	103	Synth 7
18	Bossa Gtr	61	Key Backing 10	104	Seq Pattern 1
19	Synth Brass 1	62	Key Backing 11	105	Seq Pattern 2
20	Synth Brass 2	63	Key Backing 12	106	Seq Pattern 3
21	Jazz Strum	64	Key Backing 13	107	Seq Pattern 4
22	Pop Strum	65	Key Backing 14	108	Seq Pattern 5
23	Strum 1	66	Key Backing 15	109	Seq Pattern 6
24	Strum 2	67	Key Backing 16	110	Seq Pattern 7
25	Guitar Arp 1	68	Key Backing 17	111	Seq Pattern 8
26	Guitar Arp 2	69	Key Backing 18	112	Seq Pattern 9
27	Guitar Arp 3	70	5th Bass	113	Seq Pattern 10
28	Gtr Backing 1	71	8th Rock	114	Seq Pattern 11
29	Gtr Backing 2	72	Boogie Bass	115	Seq Pattern 12
30	Gtr Backing 3	73	Shuffle D Stop	116	Seq Pattern 13
31	Gtr Backing 4	74	Swing Bass	117	Seq Pattern 14
32	Gtr Backing 5	75	Synth Bass 1	118	Seq Pattern 15
33	Rock Mute 1	76	Synth Bass 2	119	Seq Pattern 16
34	Rock Mute 2	77	Synth Bass 3	120	Seq Pattern 17
35	Rock Mute 3	78	Bassline 1	121	Basic 1
36	Phrase 4	79	Bassline 2	122	Basic 2
37	Phrase 5	80	Bassline 3	123	Basic 3
38	Phrase 6	81	Bassline 4	124	3 Tone Up
39	Phrase 7	82	Bassline 5	125	4 Tone Up
40	Phrase 8	83	Bassline 6	126	3 Tone Down
41	Phrase 9	84	Bassline 7	127	4 Tone Down
42	Phrase 10	85	Bassline 8	128	4 Tone U&D
43	Phrase 11	86	Bassline 9		

リズム・パターン一覧

No.	リズム・パターン	No.	リズム・パターン	No.	リズム・パターン
001	R&B Pop 1	063	R&B 6	125	Fast Bossa
002	R&B Pop 2	064	R&B 7	126	Pop Bossa
003	R&B 1	065	R&B 8	127	Salsa 1
004	R&B 2	066	R&B 9	128	Salsa 2
005	Shuffle Pop 1	067	R&B 10	129	Samba 1
006	Shuffle Pop 2	068	R&B 11	130	Samba 2
007	Latin Pop 1	069	R&B 12	131	Rhumba
008	Latin Pop 2	070	R&B 13	132	Mambo 1
009	Jazz Brush 1	071	R&B 14	133	Mambo 2
010	Jazz Waltz	072	R&B 15	134	Merengue
011	Ballad 1	073	R&B 16	135	Power Fusion 1
012	Ballad 2	074	R&B 17	136	Power Fusion 2
013	Rock 1	075	R&B 18	137	Rock 3
014	Rock 2	076	Funk 1	138	Rock 4
015	Back Beat 1	077	Funk 2	139	Rock 5
016	Back Beat 2	078	Funk 3	140	Rock 6
017	Elec Dance 1	079	8Beat Rock 1	141	Rock 7
018	Elec Dance 2	080	8Beat Rock 2	142	Rock 8
019	Pop 1	081	8Beat Rock 3	143	Rock 9
020	Pop 2	082	16Beat Rock 1	144	Rock 10
021	Pop 3	083	16Beat Rock 2	145	Rock 11
022	Pop 4	084	Ballad 3	146	Rock 12
023	8Beat Pop 1	085	Piano Ballad	147	Rock 13
024	8Beat Pop 2	086	Rockaballad	148	Rock 14
025	8Beat Pop 3	087	Blue Grass	149	Rock 15
026	8Bt Fusion 1	088	Combo 1	150	Rock 16
027	8Bt Fusion 2	089	Combo 2	151	Rock 17
028	Pop Funk 1	090	Fast Swing 1	152	Rock 18
029	Pop Funk 2	091	Fast Swing 2	153	Rock 19
030	Pop Funk 3	092	Swing 1	154	Rock 20
031	Pop Funk 4	093	Swing 2	155	Progressive
032	Pop Funk 5	094	Swing 3	156	Elec Dance 3
033	Pop Funk 6	095	Jazz Brush 2	157	Elec Dance 4
034	Pop Funk 7	096	Free Jazz	158	Elec Dance 5
035	Pop Funk 8	097	Jazz 1	159	Elec Dance 6
036	16Beat Pop 1	098	Jazz 2	160	Elec Dance 7
037	16Beat Pop 2	099	Jazz 3	161	Elec Dance 8
038	16Beat Pop 3	100	Jazz 4	162	Elec Dance 9
039	16Bt Fusion 1	101	Jazz 5	163	Elec Dance 10
040	16Bt Fusion 2	102	Jazz 6	164	Acid Jazz
041	16Bt Fusion 3	103	Jazz 7	165	Techno
042	Shuffle Pop 3	104	Jazz 8	166	Hip Hop
043	Shuffle Pop 4	105	Jazz 9	167	House
044	Shuffle Pop 5	106	Jazz 10	168	Jungle
045	Shuffle Pop 6	107	Blues 1	169	Dance
046	Shuffle Pop 7	108	Blues 2	170	Pop Waltz 1
047	West Coast	109	Gospel 1	171	Pop Waltz 2
048	Motown	110	Gospel 2	172	Pop Waltz 3
049	R&B Pop 3	111	Polka 1	173	Pop Waltz 4
050	R&B Pop 4	112	Polka 2	174	Simple Waltz 1
051	R&B Pop 5	113	Latin Pop 3	175	Simple Waltz 2
052	Back Beat 3	114	Latin Pop 4	176	3/4 Brush
053	Back Beat 4	115	Latin Pop 5	177	5/4 Fusion
054	Back Beat 5	116	Latin Pop 6	178	5/4 Swing
055	Back Beat 6	117	Latin Pop 7	179	5/8 Progress
056	Back Beat 7	118	Latin Pop 8	180	6/4 Fusion
057	Back Beat 8	119	Latin Pop 9	181	6/8 Progress
058	Back Beat 9	120	Latin Pop 10	182	6/8 Swing
059	Back Beat 10	121	Latin Pop 11	183	7/4 Fusion
060	R&B 3	122	Bossa Nova 1	184	7/4 Swing
061	R&B 4	123	Bossa Nova 2	185	7/8 Progress
062	R&B 5	124	Bossa Nova 3		

セットアップ一覧

→ 記憶させた設定を選ぶ（[SETUP]）（P.54）

No.001～020 「RHY：セットアップ」：

このセットアップは、リズムを鳴らすと、セッション感覚で演奏を楽しめます。お試しください。

リズムについては、リズムを鳴らす（[RHYTHM/SONG]）（P.46）をご覧ください。

No.	セットアップ名	No.	セットアップ名No.	セットアップ名
1	Piano&Pad 1	35	SX Orchestra	69 Try! Slider
2	RHY:Contemp1	36	RHY:Phaser	70 RHY:R&B Grv6
3	RHY:Rock 1	37	Chamber Orch	71 RHY:SaxBeats
4	RHY:R&B Grv1	38	Paris Street	72 RHY:Salsa
5	Piano&Pad 2	39	RHY:Jz Trio2	73 RHY:Contemp4
6	RHY:LatinPop	40	RHY:Elec 1	74 RHY:Elec 3
7	RHY:Contemp2	41	Touch Orch	75 RHY:Rock 4
8	RHY:Disco 1	42	RHY:Contemp3	76 RHY:Samba
9	GtrArp&Bass	43	RHY:Latin 1	77 Mysterious
10	RHY:RckBalad	44	RHY:R&B Grv7	78 RHY:Jz Trio5
11	Bell Pad	45	RHY:Synth/Gt	79 RHY:Blues 2
12	RHY:PianoPop	46	RHY:Lead/Brs	80 E.Piano&Pad2
13	RHY:Dramatic	47	Large Choir	81 RHY:Trance 4
14	RHY:R&B Grv2	48	RHY:Elec 2	82 RHY:Latin 4
15	RHY:Bossa 1	49	RHY:GrvFlute	83 Jumpin'
16	RHY:Trance 1	50	Melancholy	84 RHY:Elec 4
17	RHY:Bigband	51	RHY:Hps&Harp	85 RHY:R&B Grv3
18	RHY:R&B Grv5	52	RHY:Grv Scat	86 RHY:Rock 5
19	PadpAdpaDp@d	53	RHY:Disco 2	87 RHY:SynSitar
20	RHY:Fairy EP	54	RHY:Jz Trio3	88 RHY:ONDO
21	RHY:Jz Trio1	55	Bright Stack	89 Piano&EPiano
22	RHY:GrvPiano	56	RHY:Trance 3	90 Piano&Str.
23	4 Split	57	RHY:ShufflPop	91 RD SETUP
24	RHY:R&B Bld1	58	A Cappella	92 RD SETUP
25	RHY:Rock 2	59	RHY:Grv E.P.	93 RD SETUP
26	RHY:Trance 2	60	E.Piano&Pad1	94 RD SETUP
27	OD Organ	61	RHY:Rock 3	95 RD SETUP
28	RHY:PnoBalad	62	RHY:Latin 2	96 RD SETUP
29	RHY:Bossa 2	63	RHY:Blues 1	97 RD SETUP
30	RHY:SwingPop	64	RHY:Latin 3	98 RD SETUP
31	RHY:Clav+Org	65	RHY:SpacePop	99 RD SETUP
32	RHY:Jz Funk1	66	Piano&Pad 3	100 RD SETUP
33	RHY:SwingVib	67	RHY:Jz Funk2	
34	RHY:R&B Grv4	68	RHY:Jz Trio4	

Setup No. 091～100（RD SETUP）には、「基本セットアップ」が入っています。セットアップを一から作るときなどにお使いください。

ショート・カット一覧

以下の機能は、関係するいくつかのボタンを押すことで、簡単に設定を変えることができます。

※ 「[A] + [B]」は「[A] を押しながら [B] を押す」という操作を表します。

目的	操作	ページ
Arpeggio Hold のオン／オフを切り替える	[ARPEGGIO] + [CONTROL/ZONE LEVEL]	P.95
Arpeggio 演奏するゾーンを変える	[ARPEGGIO] + ZONE SWITCH	P.95
トランスポーズ量を変える	[TRANPOSE] + 鍵	P.40
スプリット・ポイントの鍵を変える	[SPLIT] + 鍵	P.37
パネル・ロック	[EDIT] + [ENTER]	P.53
MTX2 Source の変更	MULTI EFFECTS [ON/OFF] + ZONE SWITCH	P.84
パートごとのリバーブ／コーラスの深さを変える	ZONE SWITCH + REVERB / CHORUS つまみ	P.68

以下の機能は、[SHIFT] を押しながら、ボタンやつまみ、コントローラーを操作すると、関係するパラメーターのあるエディット画面を呼び出すことができます。

※ 例「Edit : Effects : Reverb Type」は「Edit メニューの Effects 画面の Reverb Type パラメーター」を表します。

目的	操作	パラメーター	ページ
ダンパー・ペダルのスイッチをオン／オフする	[SHIFT] + Damper Pedal	Zone Info : Damper Pedal Switch	P.67
ペダルに機能を割り当てる	[SHIFT] + FC1/2	Edit : Control : FC1/FC2	P.82
V-Link の設定を変える	[SHIFT] + [V-LINK]	Edit : V-Link	P.96
サウンド・コントロールの設定を変える	[SHIFT] + [SOUND CONTROL]	EDIT : [SOUND CONTROL]	P.86
コーラス／ディレイのタイプを選ぶ	[SHIFT] + [CHORUS/DELAY]	Edit : Effects : Chorus Type	P.85
ゾーンのコーラス／ディレイの深さを設定する (*1)	[SHIFT] + [CHORUS] つまみ	Tone Info : Chorus Amount	P.68
リバーブ・タイプを選ぶ	[SHIFT] + [REVERB]	Edit : Effects : Reverb Type	P.85
ゾーンのリバーブの深さを設定する (*1)	[SHIFT] + [REVERB] つまみ	Tone Info : Reverb Amount	P.68
MULTI EFFECTS [CONTROL] つまみのパラメーターを変える	[SHIFT] + MULTI EFFECTS [CONTROL] つまみ	Edit : Control : Control Knob Assign	P.83
MTX のタイプを変える	[SHIFT] + MULTI EFFECTS [ON/OFF]	Edit : Effects : MTX Type	P.84
リズムのパターンを変える	[SHIFT] + [RHYTHM/SONG]	Edit : Rhythm/Arpeggio : Rhythm Pattern	P.92
アルペジオのスタイルを変える	[SHIFT] + [ARPEGGIO]	Edit : Rhythm/Arpeggio : Arpeggio Style	P.94
ゾーンの音色を選ぶ (*1)	[SHIFT] + ZONE SWITCH	Zone Info : Tone	P.68
ゾーンの音量を調節する (*1)	[SHIFT] + ZONE LEVEL スライダー	Zone Info : Volume	P.66
スライダーに機能を割り当てる	[SHIFT] + [CONTROL/ZONE LEVEL]	Edit : Control : Slider Assign	P.83
セットアップ・ファイルをロードする	[SHIFT] + [SETUP]	Edit : File Utility/USB : SETUP File Load	P.88
トーンごとのトランスポーズ量を設定する (*1)	[SHIFT] + [TRANPOSE]	Tone Info : Coarse Tune	P.66
ゾーンごとのキー・レンジを設定する (*1)	[SHIFT] + [SPLIT]	Zone Info : Key Range	P.67
ゾーンをコントロールするか、しないかを切り替える (*1)	[SHIFT] + Bender	Zone Info : Bender Sw	P.67
	[SHIFT] + Modulation	Zone Info : Modulation Sw	

*1 : [EXTERNAL/INTERNAL] がオンのときは、EXTERNAL ゾーンを、オフのときは INTERNAL ゾーンを設定します。

MIDI インプリメンテーション

Model : RD-700SX (Digital Piano)
Date : Nov. 1, 2004
Version : 1.00

1. 受信データ

■チャンネル・ボイス・メッセージ

●ノート・オフ

ステータス	第2バイト	第3バイト
8nH	kkH	vvH
9nH	kkH	00H
n = MIDI チャンネル・ナンバー :	0H - FH (ch.1 - ch.16)	
kk = ノート・ナンバー :	00H - 7FH (0 - 127)	
vv = ノート・オフ・ベロシティ :	00H - 7FH (0 - 127)	

※ ドラム・セットではNote#によって受信しないものがあります。
※ ノート・オフ・メッセージのベロシティの値は無視します。

●ノート・オン

ステータス	第2バイト	第3バイト
9nH	kkH	vvH
n = MIDI チャンネル・ナンバー :	0H - FH (ch.1 - ch.16)	
kk = ノート・ナンバー :	00H - 7FH (0 - 127)	
vv = ノート・オン・ベロシティ :	01H - 7FH (1 - 127)	

●コントロール・チェンジ

○バンク・セレクト (コントローラー・ナンバー 0, 32)
ステータス 第2バイト 第3バイト
BnH 00H mmH
BnH 20H llH
n = MIDI チャンネル・ナンバー : 0H - FH (ch.1 - ch.16)
mm, ll = バンク・ナンバー : 00 00H - 7F 7FH (bank.1 - bank.16384)

※ Rx Bank Select パラメーター (EDIT:Part Parameter:Rx Bank Select) が OFF のときには受信しません。
※ 各バンクセレクトとセットアップ、トーン、リズムの対応は以下のとおりです。
※ SRX シリーズのバンク・セレクトの対応は、SRX シリーズの取扱説明書をご覧ください。

BANK MSB	SELECT LSB	PROGRAM NUMBER	GROUP	NUMBER
000	:	001 - 128	GM Tone	
032	:	001 - 128	GM Tone	
085	000	001 - 100	SETUP	001 - 100
086	064	001 - 005	Rhythm Set	219 - 223
087	064	001 - 020	Tone (PIANO)	001 - 020
	065	001 - 021	Tone (E.PIANO)	021 - 041
	066	001 - 021	Tone (CALV/MALLETT)	042 - 062
	067	001 - 020	Tone (ORGAN)	073 - 092
	068	001 - 022	Tone (STRINGS)	093 - 114
	069	001 - 020	Tone (PAD)	115 - 134
	070	001 - 038	Tone (GTR/BASS)	135 - 172
	071	001 - 024	Tone (BRASS/WINDS)	173 - 196
	072	001 - 022	Tone (VOICE/SYNTH)	197 - 218
	:	:	:	:
092	000 -	001 -	SRX Rhythm	001 -
	:	:	:	:
093	000 -	001 -	SRX Patch	001 -
	:	:	:	:
112	000	001 - 010	TW-Organ	063 - 072
120	001	001 - 057	GM2 Rhythm	224 - 232
121	000 -	001 - 128	GM2 Tone	233 - 488

○モジュレーション (コントローラー・ナンバー 1)
ステータス 第2バイト 第3バイト
BnH 01H vvH
n = MIDI チャンネル・ナンバー : 0H - FH (ch.1 - ch.16)
vv = モジュレーション・デプス : 00H - 7FH (0 - 127)

※ Rx Modulation パラメーター (EDIT:Part Parameter:Rx Modulation) が OFF のときには受信しません。

○ポルタメント・タイム (コントローラー・ナンバー 5)
ステータス 第2バイト 第3バイト
BnH 05H vvH
n = MIDI チャンネル・ナンバー : 0H - FH (ch.1 - ch.16)
vv = ポルタメント・タイム : 00H - 7FH (0 - 127)

※ Portament Tm パラメーター (Tone Info:Portament Time) が変化します。

○データ・エントリ (コントローラー・ナンバー 6, 38)
ステータス 第2バイト 第3バイト
BnH 06H mmH
BnH 26H llH
n = MIDI チャンネル・ナンバー : 0H - FH (ch.1 - ch.16)
mm, ll = RPN / NRPN で指定されたパラメーターに対する値
mm = 上位バイト (MSB), ll = 下位バイト (LSB)

○ボリューム (コントローラー・ナンバー 7)
ステータス 第2バイト 第3バイト
BnH 07H vvH
n = MIDI チャンネル・ナンバー : 0H - FH (ch.1 - ch.16)
vv = ボリューム : 00H - 7FH (0 - 127)

※ Rx Voulme パラメーター (EDIT:Part Parameter:Rx Volume) が OFF のときには受信しません。
※ Part Level パラメーターが変化します。

○パンポット (コントローラー・ナンバー 10)
ステータス 第2バイト 第3バイト
BnH 0AH vvH
n = MIDI チャンネル・ナンバー : 0H - FH (ch.1 - ch.16)
vv = パンポット : 00H - 40H - 7FH (左 - 中央 - 右)

※ Rx Pan パラメーター (EDIT:Part Parameter:Rx Pan) が OFF のときには受信しません。
※ Pan パラメーター (EDIT:Part Parameter:Pan) が変化します。

○エクスプレッション (コントローラー・ナンバー 11)
ステータス 第2バイト 第3バイト
BnH 0BH vvH
n = MIDI チャンネル・ナンバー : 0H - FH (ch.1 - ch.16)
vv = エクスプレッション : 00H - 7FH (0 - 127)

○汎用操作子 1 (コントローラー・ナンバー 16)
ステータス 第2バイト 第3バイト
BnH 10H vvH
n = MIDI チャンネル・ナンバー : 0H - FH (ch.1 - 16)
vv = コントロール値 : 00H - 7FH (0 - 127)

○ホールド 1 (コントローラー・ナンバー 64)
ステータス 第2バイト 第3バイト
BnH 40H vvH
n = MIDI チャンネル・ナンバー : 0H - FH (ch.1 - ch.16)
vv = コントロール値 : 00H - 7FH (0 - 127) 0-63 = OFF, 64-127 = ON

※ Rx Hold-1 パラメーター (EDIT:Part Parameter:Rx Hold-1) が OFF のときには受信しません。

○ポルタメント (コントローラー・ナンバー 65)
ステータス 第2バイト 第3バイト
BnH 41H vvH
n = MIDI チャンネル・ナンバー : 0H - FH (ch.1 - ch.16)
vv = コントロール値 : 00H - 7FH (0 - 127) 0-63 = OFF, 64-127 = ON

※ Portamento Sw パラメーター (Tone Info:Portamento) が変化します。

○ソステヌート (コントローラー・ナンバー 66)
ステータス 第2バイト 第3バイト
BnH 42H vvH
n = MIDI チャンネル・ナンバー : 0H - FH (ch.1 - ch.16)
vv = コントロール値 : 00H - 7FH (0 - 127) 0-63 = OFF, 64-127 = ON

○ソフト (コントローラー・ナンバー 67)
ステータス 第2バイト 第3バイト
BnH 43H vvH
n = MIDI チャンネル・ナンバー : 0H - FH (ch.1 - ch.16)
vv = コントロール値 : 00H - 7FH (0 - 127) 0-63 = OFF, 64-127 = ON

○レガート・フットスイッチ (コントローラー・ナンバー 68)
ステータス 第2バイト 第3バイト
BnH 44H vvH
n = MIDI チャンネル・ナンバー : 0H - FH (ch.1 - ch.16)
vv = コントロール値 : 00H - 7FH (0 - 127) 0-63 = OFF, 64-127 = ON

○レゾナンス（コントローラー・ナンバー 71）

ステータス	第2バイト	第3バイト
BnH	47H	vvH
n = MIDI チャンネル・ナンバー：	0H - FH (ch.1 - ch.16)	
vv = レゾナンス値（相対変化）：	00H - 40H - 7FH (-64 - 0 - +63)	

※ Resonance パラメーター（Tone Info:Resonance）が変化します。

○リリース・タイム（コントローラー・ナンバー 72）

ステータス	第2バイト	第3バイト
BnH	48H	vvH
n = MIDI チャンネル・ナンバー：	0H - FH (ch.1 - ch.16)	
vv = リリース・タイム値（相対変化）：	00H - 40H - 7FH (-64 - 0 - +63)	

※ Release Time パラメーター（Tone Info:Release Time）が変化します。

○アタック・タイム（コントローラー・ナンバー 73）

ステータス	第2バイト	第3バイト
BnH	49H	vvH
n = MIDI チャンネル・ナンバー：	0H - FH (ch.1 - ch.16)	
vv = アタック・タイム値（相対変化）：	00H - 40H - 7FH (-64 - 0 - +63)	

※ Attack Time パラメーター（Tone Info:Attack Time）が変化します。

○カットオフ（コントローラー・ナンバー 74）

ステータス	第2バイト	第3バイト
BnH	4AH	vvH
n = MIDI チャンネル・ナンバー：	0H - FH (ch.1 - ch.16)	
vv = カットオフ値（相対変化）：	00H - 40H - 7FH (-64 - 0 - +63)	

※ Cutoff パラメーター（Tone Info:Cutoff）が変化します。

○ディケイ・タイム（コントローラー・ナンバー 75）

ステータス	第2バイト	第3バイト
BnH	4BH	vvH
n = MIDI チャンネル・ナンバー：	0H - FH (ch.1 - ch.16)	
vv = ディケイ・タイム値（相対変化）：	00H - 40H - 7FH (-64 - 0 - +63)	

※ Decay パラメーター（Tone Info:Decay）が変化します。

○ピブラート・レイト（コントローラー・ナンバー 76）

ステータス	第2バイト	第3バイト
BnH	4CH	vvH
n = MIDI チャンネル・ナンバー：	0H - FH (ch.1 - ch.16)	
vv = ピブラート・レイト値（相対変化）：	00H - 40H - 7FH (-64 - 0 - +63)	

○ピブラート・デプス（コントローラー・ナンバー 77）

ステータス	第2バイト	第3バイト
BnH	4DH	vvH
n = MIDI チャンネル・ナンバー：	0H - FH (ch.1 - ch.16)	
vv = ピブラート・デプス値（相対変化）：	00H - 40H - 7FH (-64 - 0 - +63)	

○ピブラート・ディレイ（コントローラー・ナンバー 78）

ステータス	第2バイト	第3バイト
BnH	4EH	vvH
n = MIDI チャンネル・ナンバー：	0H - FH (ch.1 - ch.16)	
vv = ピブラート・ディレイ値（相対変化）：	00H - 40H - 7FH (-64 - 0 - +63)	

○ボルタメント・コントロール（コントローラー・ナンバー 84）

ステータス	第2バイト	第3バイト
BnH	54H	kkH
n = MIDI チャンネル・ナンバー：	0H - FH (ch.1 - ch.16)	
kk = ソース・ノート・ナンバー：	00H - 7FH (0 - 127)	

- ※ ボルタメント・コントロール直後に受信したノート・オンは、ソース・ノート・ナンバーのピッチから連続的にピッチが変化して発音します。
- ※ ソース・ノート・ナンバーと等しいノート・ナンバーですでに発音しているボイスがある場合、このボイスはボルタメント・コントロール直後に受信したノート・オンで新たな音程にピッチが変化して発音が継続され（レガート演奏が行われ）ます。
- ※ ボルタメント・コントロールによるピッチ変化の速さは、ボルタメント・タイムの設定値で決まります。

○エフェクト 1（リバーブ・センド・レベル）

ステータス	第2バイト	第3バイト
BnH	5BH	vvH
n = MIDI チャンネル・ナンバー：	0H - FH (ch.1 - ch.16)	
vv = リバーブ・センド・レベル：	00H - 7FH (0 - 127)	

※ Reverb Amount パラメーター（Tone Info:Reverb Amount）が変化します。

○エフェクト 3（コーラス・センド・レベル）（コントローラー・ナンバー 93）

ステータス	第2バイト	第3バイト
BnH	5DH	vvH
n = MIDI チャンネル・ナンバー：	0H - FH (ch.1 - ch.16)	
vv = コーラス・センド・レベル：	00H - 7FH (0 - 127)	

※ Chorus Amount パラメーター（Tone Info:Chorus Amount）が変化します。

○RPN MSB / LSB（コントローラー・ナンバー 100, 101）

ステータス	第2バイト	第3バイト
BnH	65H	mmH
BnH	64H	llH
n = MIDI チャンネル・ナンバー：	0H - FH (ch.1 - ch.16)	
mm = RPN で指定するパラメーター・ナンバーの上位バイト（MSB）		
ll = RPN で指定するパラメーター・ナンバーの下位バイト（LSB）		

<<< RPN >>>

コントロール・チェンジには、RPN（レジスタード・パラメーター・ナンバー）、すなわち MIDI 規格で機能が定義されている拡張パラメーターがあります。
実際の使用にあたっては、まず RPN（コントローラー・ナンバー 100 および 101、順番はどちらからでもよい）を送信して制御するパラメーターを指定し、その後データ・エントリー（コントローラー・ナンバー 6, 38）で指定パラメーターの値を設定します。いったん RPN のパラメーターが指定されると、その後同一チャンネルで受信するデータ・エントリーはすべてそのパラメーターに対する値の変更とみなされます。誤動作を防止するために、必要なパラメーターとその値の設定が終わったら、RPN ヌルを設定することをおすすめします。

本機は、以下に示す RPN を受信します。

RPN	Data entry	
MSB, LSB	MSB, LSB	解説
00H, 00H	mmH, llH	ピッチ・ベンド・センシディビティー mm：00H - 18H (0 - 24 半音) ll：無視します（00H として処理します） 半音ステップで2 オクターブまで指定可能です。 ※ Bend Range パラメーター（Tone Info:Bend Range）が変化します。
00H, 01H	mmH, llH	チャンネル・ファイン・チューニング mm, ll：20 00H - 40 00H - 60 00H （-4096 x 100 / 8192 - 0 - +4096 x 100 / 8192 cent） ※ Fine Tune パラメーター（Tone Info:Fine Tune）が変化します。
00H, 02H	mmH, llH	チャンネル・コース・チューニング mm：10H - 40H - 70H (-48 - 0 - +48 半音) ll：無視します（00H として処理します） ※ Coarse Tune パラメーター（Tone Info:Coarse Tune）が変化します。
00H, 05H	mmH, llH	モジュレーション・デプス・レンジ mm, ll：00 00H - 06 00H （0 - 16384 * 600 / 16384 cent）
7FH, 7FH	---, ---	RPN ヌル RPN および NRPN が指定されていない状態にします。RPN ヌルに設定後受信したデータ・エントリーは無視します。（RPN ヌルの設定にはデータ・エントリーの送信は不要です。） すでに設定済みの設定値は変化しません。 mm, ll：無視します。

MIDI インプリメンテーション

●プログラム・チェンジ

ステータス	第2バイト	第3バイト
CnH	ppH	
n = MIDI チャンネル・ナンバー :	0H - FH (ch.1 - ch.16)	
pp = プログラム・ナンバー :	00H - 7FH (prog.1 - prog.128)	

※ Rx Program Change パラメーター (EDIT:Part Parameter:Rx Program Change) が OFF のときには受信しません。

●ピッチ・ベンド・チェンジ

ステータス	第2バイト	第3バイト
EnH	llH	mmH
n = MIDI チャンネル・ナンバー :	0H - FH (ch.1 - ch.16)	
mm, ll = ピッチ・ベンド値 :	00 00H - 40 00H - 7F 7FH (-8192 - 0 - +8191)	

※ Rx Bender パラメーター (EDIT:Part Parameter:Rx Bander) が OFF のときには受信しません。

■チャンネル・モード・メッセージ

●オール・サウンド・オフ

(コントローラー・ナンバー 120)

ステータス	第2バイト	第3バイト
BnH	78H	00H
n = MIDI チャンネル・ナンバー :	0H - FH (ch.1 - ch.16)	

※ このメッセージを受信すると、該当チャンネルの発音中の音をすべて消音します。

●リセット・オール・コントローラー (コントローラー・ナンバー 121)

ステータス	第2バイト	第3バイト
BnH	79H	00H
n = MIDI チャンネル・ナンバー :	0H - FH (ch.1 - ch.16)	

※ このメッセージを受信すると、以下のコントローラーがリセット値に設定されます。

コントローラー	リセット値
ピッチ・ベンド・チェンジ	± 0 (中点)
チャンネル・プレッシャー	0 (オフ)
モジュレーション	0 (オフ)
ブレス・タイプ	0 (最小)
エクスプレッション	127 (最大)
ホールド 1	0 (オフ)
ソステヌート	0 (オフ)
ソフト	0 (オフ)
ホールド 2	0 (オフ)
RPN	未設定状態、設定済みのデータは変化しません
NRPN	未設定状態、設定済みのデータは変化しません

●オール・ノート・オフ (コントローラー・ナンバー 123)

ステータス	第2バイト	第3バイト
BnH	7BH	00H
n = MIDI チャンネル・ナンバー :	0H - FH (ch.1 - ch.16)	

※ オール・ノート・オフを受信すると、該当チャンネルのオンになっているノートをすべてオフします。ただし、ホールド 1 またはソステヌートがオンの場合は、それらがオフになるまで発音は終了しません。

●オムニ・オフ (コントローラー・ナンバー 124)

ステータス	第2バイト	第3バイト
BnH	7CH	00H
n = MIDI チャンネル・ナンバー :	0H - FH (ch.1 - ch.16)	

※ オール・ノート・オフを受信したときと同じ処理を行います。

●オムニ・オン (コントローラー・ナンバー 125)

ステータス	第2バイト	第3バイト
BnH	7DH	00H
n = MIDI チャンネル・ナンバー :	0H - FH (ch.1 - ch.16)	

※ オール・ノート・オフを受信したときと同じ処理を行います。OMNI ON にはなりません。

●モノ (コントローラー・ナンバー 126)

ステータス	第2バイト	第3バイト
BnH	7EH	mmH
n = MIDI チャンネル・ナンバー :	0H - FH (ch.1 - ch.16)	
mm = モノ数 :	00H - 10H (0 - 16)	

※ オール・ノート・オフを受信したときと同じ処理を行います。
※ Mono/Poly パラメーター (Tone Info:Mono/Poly) が変化します。

●ポリ (コントローラー・ナンバー 127)

ステータス	第2バイト	第3バイト
BnH	7FH	00H
n = MIDI チャンネル・ナンバー :	0H - FH (ch.1 - ch.16)	

※ オール・ノート・オフを受信したときと同じ処理を行います。
※ Mono/Poly パラメーター (Tone Info:Mono/Poly) が変化します。

■システム・リアルタイム・メッセージ

●タイミング・クロック

ステータス
F8H

※ Clock Source パラメーター (EDIT:System:Clock Source) が MIDI のときに受信します。

●アクティブ・センシング

ステータス
FEH

※ アクティブ・センシングを受信すると、それ以降のすべてのメッセージ間隔を監視する状態になります。監視している状態では、メッセージ間隔が 420ms を越えると、オール・サウンド・オフ/オール・ノート・オフ/リセット・オール・コントローラーを受信したときと同じ処理をして、メッセージ間隔を監視しない状態に戻ります。

■システム・エクスクルーシブ・メッセージ

ステータス	データ・バイト	ステータス
F0H	iiH, ddH,, eeH	F7H
F0H :	システム・エクスクルーシブ・メッセージのステータス	

ii = ID ナンバー : どのメーカーのエクスクルーシブ・メッセージであるかの識別をするための ID ナンバー (マニファクチャラー ID) です。ローランドのマニファクチャラー ID は 41H です。7EH と 7FH の ID ナンバーは、ユニバーサル・ノンリアルタイム・メッセージ (7EH)、ユニバーサル・リアルタイム・メッセージ (7FH) として MIDI 規格の拡張として使用されます。

dd, ..., ee = データ :	00H - 7FH (0 - 127)
F7H :	EOX (エンド・オブ・エクスクルーシブ)

本機が受信するシステム・エクスクルーシブ・メッセージには、ユニバーサル・ノンリアルタイム・システム・エクスクルーシブ・メッセージ、ユニバーサル・リアルタイム・システム・エクスクルーシブ・メッセージ、データ要求 (RQ1)、データ・セット (DT1) があります。

●ユニバーサル・ノンリアルタイム・システム・エクスクルーシブ・メッセージ

○アイデンティティ・リクエスト・メッセージ

ステータス	データ・バイト	ステータス
F0H	7EH, dev, 06H, 01H	F7H

バイト	解説
F0H	エクスクルーシブ・ステータス
7EH	ID ナンバー (ユニバーサル・ノンリアルタイム・メッセージ)
dev	デバイス ID (dev : 10H - 1FH, 7FH)、初期値 10H (17)
06H	サブ ID # 1 (General Information)
01H	サブ ID # 2 (Identity Request)
F7H	EOX (エンド・オブ・エクスクルーシブ)

※ このメッセージを受信すると、本機は所定のアイデンティティ・リプレイ・メッセージ (P.157) を送信します。

○ GM1 システム・オン

ステータス	データ・バイト	ステータス
F0H	7EH, 7FH, 09H, 01H	F7H
バイト	解説	
F0H	エクスクルーシブ・ステータス	
7EH	ID ナンバー (ユニバーサル・ノンリアルタイム・メッセージ)	
7FH	デバイス ID (Broadcast)	
09H	サブID#1 (General MIDI Message)	
01H	サブID#2 (General MIDI1 On)	
F7H	EOX (エンド・オブ・エクスクルーシブ)	

※ Rx GM/GM2 System On パラメーター (EDIT:System:Rx GM/GM2 System ON) が OFF のときには受信しません。

○ GM2 システム・オン

ステータス	データ・バイト	ステータス
F0H	7EH, 7FH, 09H, 03H	F7H
バイト	解説	
F0H	エクスクルーシブ・ステータス	
7EH	ID ナンバー (ユニバーサル・ノンリアルタイム・メッセージ)	
7FH	デバイス ID (Broadcast)	
09H	サブID#1 (General MIDI Message)	
03H	サブID#2 (General MIDI2 On)	
F7H	EOX (エンド・オブ・エクスクルーシブ)	

※ Rx GM/GM2 System On パラメーター (EDIT:System:Rx GM/GM2 System ON) が OFF のときには受信しません。

○ GM システム・オフ

ステータス	データ・バイト	ステータス
F0H	7EH, 7FH, 09H, 02H	F7H
バイト	解説	
F0H	エクスクルーシブ・ステータス	
7EH	ID ナンバー (ユニバーサル・ノンリアルタイム・メッセージ)	
7FH	デバイス ID (Broadcast)	
09H	サブID#1 (General MIDI Message)	
02H	サブID#2 (General MIDI Off)	
F7H	EOX (エンド・オブ・エクスクルーシブ)	

※ Rx GS System On パラメーター (EDIT:System:Rx GS System ON) が OFF のときには受信しません。

● ユニバーサル・リアルタイム・システム・エクスクルーシブ・メッセージ

○ マスター・ボリューム

ステータス	データ・バイト	ステータス
F0H	7FH, 7FH, 04H, 01H, 11H, mmH	F7H
バイト	解説	
F0H	エクスクルーシブ・ステータス	
7FH	ID ナンバー (ユニバーサル・リアルタイム・メッセージ)	
7FH	デバイス ID (Broadcast)	
04H	サブID # 1 (Device Control Message)	
01H	サブID # 2 (Master Volume)	
11H	マスター・ボリュームの下位バイト	
mmH	マスター・ボリュームの上位バイト	
F7H	EOX (エンド・オブ・エクスクルーシブ)	

※ マスター・ボリュームの下位バイト (11H) は、00H として処理します。
※ Master Volume パラメーター (EDIT:System Master Volume) が変化します。

○ マスター・ファイン・チューニング

ステータス	データ・バイト	ステータス
F0H	7FH, 7FH, 04H, 03H, 11H, mmH	F7H
バイト	解説	
F0H	エクスクルーシブ・ステータス	
7FH	ID ナンバー (ユニバーサル・リアルタイム・メッセージ)	
7FH	デバイス ID (Broadcast)	
04H	サブID#1 (Device Control)	
03H	サブID#2 (Master Fine Tuning)	
11H	マスター・ファイン・チューニングの下位バイト	
mmH	マスター・ファイン・チューニングの上位バイト	
F7H	EOX (エンド・オブ・エクスクルーシブ)	

mm, 11 : 00 00H - 40 00H - 7F 7FH (-100 - 0 - +99.9 セント)

○ マスター・コース・チューニング

ステータス	データ・バイト	ステータス
F0H	7FH, 7FH, 04H, 04H, 11H, mmH	F7H
バイト	解説	
F0H	エクスクルーシブ・ステータス	
7FH	ID ナンバー (ユニバーサル・リアルタイム・メッセージ)	
7FH	デバイス ID (Broadcast)	
04H	サブID#1 (Device Control)	
04H	サブID#2 (Master Coarse Tuning)	
11H	マスター・コース・チューニングの下位バイト	
mmH	マスター・コース・チューニングの上位バイト	
F7H	EOX (エンド・オブ・エクスクルーシブ)	

mm : 28H - 40H - 58H (-24 - 0 - +24 半音)
11 : 無視します。(00H として処理します。)

● グローバル・パラメーター・コントロール

○ リバープ・パラメーター

ステータス	データ・バイト	ステータス
F0H	7FH, 7FH, 04H, 05H, 01H, 01H, 01H, 01H, 01H, ppH, vvH	F7H
バイト	解説	
F0H	エクスクルーシブ・ステータス	
7FH	ID ナンバー (ユニバーサル・リアルタイム・メッセージ)	
7FH	デバイス ID (Broadcast)	
04H	サブID#1 (Device Control)	
05H	サブID#2 (Global Parameter Control)	
01H	スロット・パス・レンジス	
01H	パラメーターID ウィドゥス	
01H	バリュウ・ウィドゥス	
01H	スロット・パスの上位バイト	
01H	スロット・パスの下位バイト (Effect 0101:Reverb)	
ppH	パラメーター	
vvH	バリュウ	
	pp=0 Reverb Type	
	vv = 00H Small Room	
	vv = 01H Medium Room	
	vv = 02H Large Room	
	vv = 03H Medium Hall	
	vv = 04H Large Hall	
	vv = 08H Plate	
	pp=1 Reverb Time	
	vv = 00H - 7FH 0 - 127	
F7H	EOX (エンド・オブ・エクスクルーシブ)	

○ コーラス・パラメーター

ステータス	データ・バイト	ステータス
F0H	7FH, 7FH, 04H, 05H, 01H, 01H, 01H, 01H, 02H, ppH, vvH	F7H
バイト	解説	
F0H	エクスクルーシブ・ステータス	
7FH	ID ナンバー (ユニバーサル・リアルタイム・メッセージ)	
7FH	デバイス ID (Broadcast)	
04H	サブID#1 (Device Control)	
05H	サブID#2 (Global Parameter Control)	
01H	スロット・パス・レンジス	
01H	パラメーターID ウィドゥス	
01H	バリュウ・ウィドゥス	
01H	スロット・パスの上位バイト	
02H	スロット・パスの下位バイト (Effect 0102:Chorus)	
ppH	パラメーター	
vvH	バリュウ	
	pp=0 Chorus Type	
	vv=0 Chorus1	
	vv=1 Chorus2	
	vv=2 Chorus3	
	vv=3 Chorus4	
	vv=4 FB Chorus	
	vv=5 Flanger	
	pp=1 Mod Rate	
	vv= 00H - 7FH 0 - 127	
	pp=2 Mod Depth	

MIDI インプリメンテーション

	vv = 00H - 7FH 0 - 127
	pp=3 Feedback
	vv = 00H - 7FH 0 - 127
	pp=4 Send To Reverb
	vv = 00H - 7FH 0 - 127
F7H	EOX (エンド・オブ・エクスクルーシブ)

○チャンネル・プレッシャー

ステータス	データ・バイト	ステータス
F0H	7FH, 7FH, 09H, 01H, 0nH, ppH, rrH	F7H

バイト	解説
F0H	エクスクルーシブ・ステータス
7FH	ID ナンバー (ユニバーサル・リアルタイム・メッセージ)
7FH	デバイス ID (Broadcast)
09H	サブID#1 (Controller Destination Setting)
01H	サブID#2 (Channel Pressure)
0nH	MIDI チャンネル (00-0F)
ppH	パラメーター
rrH	レンジ
	pp=0 Pitch Control
	rr = 28H - 58H -24 - +24 半音
	pp=1 Filter Cutoff Control
	rr = 00H - 7FH -9600 - +9450 セント
	pp=2 Amplitude Control
	rr = 00H - 7FH 0 - 200%
	pp=3 LFO Pitch Depth
	rr = 00H - 7FH 0 - 600 セント
	pp=4 LFO Filter Depth
	rr = 00H - 7FH 0 - 2400 セント
	pp=5 LFO Amplitude Depth
	rr = 00H - 7FH 0 - 100%
F7H	EOX (エンド・オブ・エクスクルーシブ)

○コントローラー

ステータス	データ・バイト	ステータス
F0H	7FH, 7FH, 09H, 03H, 0nH, ccH, ppH, rrH	F7H

バイト	解説
F0H	エクスクルーシブ・ステータス
7FH	ID ナンバー (ユニバーサル・リアルタイム・メッセージ)
7FH	デバイス ID (Broadcast)
09H	サブID#1 (Controller Destination Setting)
03H	サブID#2 (Control Change)
0nH	MIDI チャンネル (00-0FH)
ccH	コントローラー
ppH	パラメーター (01-1FH, 40-5FH)
rrH	レンジ
	pp=0 Pitch Control
	rr = 28H - 58H -24 - +24 半音
	pp=1 Filter Cutoff Control
	rr = 00H - 7FH -9600 - +9450 セント
	pp=2 Amplitude Control
	rr = 00H - 7FH 0 - 200%
	pp=3 LFO Pitch Depth
	rr = 00H - 7FH 0 - 600 セント
	pp=4 LFO Filter Depth
	rr = 00H - 7FH 0 - 2400 セント
	pp=5 LFO Amplitude Depth
	rr = 00H - 7FH 0 - 100 %
F7H	EOX (エンド・オブ・エクスクルーシブ)

○スケール／オクターブ・チューニング

ステータス	データ・バイト	ステータス
F0H	7EH, 7FH, 08H, 08H, ffH, ggH, hhH, ssH...	F7

バイト	解説
F0H	エクスクルーシブ・ステータス
7EH	ID ナンバー (ユニバーサル・ノンリアルタイム・メッセージ)
7FH	デバイス ID (Broadcast)
08H	サブID#1 (MIDI Tuning Standard)
08H	サブID#2 (scale/octave tuning 1-byte form)
ffH	チャンネル／オプション・バイト 1
	bits 0 to 1 = channel 15 to 16
	bit 2 to 6 = 未定義
ggH	チャンネル・バイト 2
	bits 0 to 6 = channel 8 to 14
hhH	チャンネル・バイト 3

	bits 0 to 6 = channel 1 to 7
ssH	12 byte tuning offset of 12 semitones from C to B
	00H = -64 セント
	40H = 0 セント (平均律)
	7FH = +63 セント
F7H	EOX (エンド・オブ・エクスクルーシブ)

○キー・ベースド・インスト・コントローラー

ステータス	データ・バイト	ステータス
F0H	7FH, 7FH, 0AH, 01H, 0nH, kkH, nnH, vvH	F7H

バイト	解説
F0H	エクスクルーシブ・ステータス
7FH	ID ナンバー (ユニバーサル・リアルタイム・メッセージ)
7FH	デバイス ID (Broadcast)
0AH	サブID#1 (Key-Based Instrument Control)
01H	サブID#2 (Controller)
0nH	MIDI チャンネル (00 - 0FH)
kkH	キー・ナンバー
nnH	コントロール・ナンバー
vvH	バリュー
	nn=07H Level
	vv = 00H - 7FH 0 - 200% (相対値)
	nn=0AH Pan
	vv = 00H - 7FH Left - Right (絶対値)
	nn=5BH Reverb Send
	vv = 00H - 7FH 0 - 127 (絶対値)
	nn=5D Chorus Send
	vv = 00H - 7FH 0 - 127 (絶対値)
:	:
F7H	EOX (エンド・オブ・エクスクルーシブ)

※ ドラム・インストゥルメントのみに有効なメッセージです。

●データ転送

本機は、エクスクルーシブ・メッセージを使用して、機器内部のさまざまな設定や機器間のデータ転送を行うことができます。
本機のデータ転送に使用するエクスクルーシブ・メッセージのモデル ID は 00H 00H 03H です。

○データ要求 1 (RQ1)

相手の機器に対して「データを送れ」という要求をするメッセージです。アドレスとサイズで要求するデータの種類や量を指示します。
データ要求メッセージを受信した場合、その機器がデータを送ることのできる状態にあり、アドレスとサイズが適当なものであれば、要求されたデータを「データ・セット 1 (DT1)」メッセージで送信します。そうでない場合は何も送信しません。

ステータス	データ・バイト	ステータス
F0H	41H, dev, 00H, 00H, 03H, 11H, aaH, bbH, ccH, ddH, ssH, ttH, uuH, vvH, sum	F7H

バイト	解説
F0H	エクスクルーシブ・ステータス
41H	ID ナンバー (Roland)
dev	デバイス ID (dev : 10H - 1FH, 7FH)
00H	モデルID # 1 (RD-700SX)
00H	モデルID # 2 (RD-700SX)
03H	モデルID # 3 (RD-700SX)
11H	コマンドID (RQ1)
aaH	アドレス上位バイト
bbH	アドレス
ccH	アドレス
ddH	アドレス下位バイト
ssH	サイズ上位バイト
ttH	サイズ
uuH	サイズ
vvH	サイズ下位バイト
sum	チェックサム
F7H	EOX (エンド・オブ・エクスクルーシブ)

※ データの種類により一度に転送するデータの量は決まっており、決められた先頭アドレスとサイズでデータ要求をする必要があります。「パラメーター・アドレス・マップ」(P.158)に記載されたアドレスとサイズを参照してください。
※ チェックサムについては 162 ページを参照してください。

○データ・セット 1 (DT1)

実際のデータの転送を行うメッセージで、機器に対してデータを設定したい場合に使用します。

ステータス	データ・バイト	ステータス
F0H	41H, dev, 00H, 00H, 03H, 12H, aaH, bbH, ccH, ddH, eeH, ... ffH, sum	F7H

バイト	解説
F0H	エクスクループ・ステータス
41H	ID ナンバー (Roland)
dev	デバイス ID (dev: 10H - 1FH, 7FH)、初期値 10H (17)
00H	モデル ID # 1 (RD-700SX)
00H	モデル ID # 2 (RD-700SX)
03H	モデル ID # 3 (RD-700SX)
12H	コマンド ID (DT1)
aaH	アドレス上位バイト
bbH	アドレス
ccH	アドレス
ddH	アドレス下位バイト
eeH	データ: 送信するデータの本体。複数バイトのデータはアドレス順に送信します
:	:
ffH	データ
sum	チェックサム
F7H	EOX (エンド・オブ・エクスクループ)

※ データの種類により一度に転送するデータの量は決まっており、決められた先頭アドレスとサイズのデータ以外は受信しません。「パラメーター・アドレス・マップ」(P.158)に記載されたアドレスとサイズを参照してください。

※ 256バイトを超えるサイズのデータは256バイト以下のパケットに区切って送信してください。「データ・セット 1」を続けて送る場合、パケット間は20ms以上の時間間隔をあけてください。

※ チェックサムについては 162 ページを参照してください。

2. 送信データ

■チャンネル・ボイス・メッセージ

●ノート・オフ

ステータス	第2バイト	第3バイト
8nH	kkH	40H
n = MIDI チャンネル・ナンバー:	0H - FH (ch.1 - ch.16)	
kk = ノート・ナンバー:	00H - 7FH (0 - 127)	

※ ノート・オフ・メッセージのベロシティの値は40Hに固定されています。

●ノート・オン

ステータス	第2バイト	第3バイト
9nH	kkH	vvH
n = MIDI チャンネル・ナンバー:	0H - FH (ch.1 - ch.16)	
kk = ノート・ナンバー:	00H - 7FH (0 - 127)	
vv = ノート・オン・ベロシティ:	01H - 7FH (1 - 127)	

●コントロール・チェンジ

※ スライダー・アサイン (EDIT:Control:Slider Assign) やペダル・アサイン (EDIT:Control:FC1/2 Pedal Assign) に該当するコントロール・チェンジ・ナンバーを割り当てることにより、任意のコントロール・チェンジ情報を送信することができます。

※ External Zone の設定で各種コントローラのスイッチが OFF になっている場合は出力されません。

○バンク・セレクト (コントローラー・ナンバー 0, 32)

ステータス	第2バイト	第3バイト
BnH	00H	mmH
BnH	20H	llH
n = MIDI チャンネル・ナンバー:	0H - FH (ch.1 - ch.16)	
mm, ll = バンク・ナンバー:	00 00H - 7F 7FH (bank.1 - bank.16384)	

※ Rec Mode (EDIT:Utility:Rec Setting:Rec Mode) が ON の場合はトーンを切り替えたときに送信します。

○モジュレーション (コントローラー・ナンバー 1)

ステータス	第2バイト	第3バイト
BnH	01H	vvH
n = MIDI チャンネル・ナンバー:	0H - FH (ch.1 - ch.16)	
vv = モジュレーション・デプス:	00H - 7FH (0 - 127)	

※ モジュレーション・レバーを操作すると送信します。

○ポルタメント・タイム (コントローラー・ナンバー 5)

ステータス	第2バイト	第3バイト
BnH	05H	vvH
n = MIDI チャンネル・ナンバー:	0H - FH (ch.1 - ch.16)	
vv = ポルタメント・タイム:	00H - 7FH (0 - 127)	

※ External Zone で Portament Time を設定すると送信します。

○データ・エンタリー (コントローラー・ナンバー 6, 38)

ステータス	第2バイト	第3バイト
BnH	06H	mmH
BnH	26H	llH
n = MIDI チャンネル・ナンバー:	0H - FH (ch.1 - ch.16)	
mm, ll = RPN / NRPN で指定されたパラメーターに対する値		
mm = 上位バイト (MSB), ll = 下位バイト (LSB)		

※ External Zone でベンド・レンジの値を設定すると送信します。

○ボリューム (コントローラー・ナンバー 7)

ステータス	第2バイト	第3バイト
BnH	07H	vvH
n = MIDI チャンネル・ナンバー:	0H - FH (ch.1 - ch.16)	
vv = ボリューム:	00H - 7FH (0 - 127)	

※ ZONE LEVEL スライダーを操作すると送信します。

※ External Zone でボリュームの値を設定すると送信します。

MIDI インプリメンテーション

○パンポット (コントローラー・ナンバー 10)

ステータス	第2バイト	第3バイト
BnH	0AH	vvH
n = MIDI チャンネル・ナンバー :	0H - FH (ch.1 - ch.16)	
vv = パンポット :	00H - 40H - 7FH (左 - 中央 - 右)	

※ External Zone で Pan の値を設定すると送信します。

○ホールド 1 (コントローラー・ナンバー 64)

ステータス	第2バイト	第3バイト
BnH	40H	vvH
n = MIDI チャンネル・ナンバー :	0H - FH (ch.1 - ch.16)	
vv = コントロール値 :	00H - 7FH (0 - 127) 0-63 = OFF, 64-127 = ON	

※ ダンパー・ペダルを操作すると送信します。

○ポルタメント (コントローラー・ナンバー 65)

ステータス	第2バイト	第3バイト
BnH	41H	vvH
n = MIDI チャンネル・ナンバー :	0H - FH (ch.1 - ch.16)	
vv = コントロール値 :	00H - 7FH (0 - 127) 0-63 = OFF, 64-127 = ON	

※ External Zone で Portament Switch を設定すると送信します。

○ソステヌート (コントローラー・ナンバー 66)

ステータス	第2バイト	第3バイト
BnH	42H	vvH
n = MIDI チャンネル・ナンバー :	0H - FH (ch.1 - ch.16)	
vv = コントロール値 :	00H - 7FH (0 - 127) 0-63 = OFF, 64-127 = ON	

○ソフト (コントローラー・ナンバー 67)

ステータス	第2バイト	第3バイト
BnH	43H	vvH
n = MIDI チャンネル・ナンバー :	0H - FH (ch.1 - ch.16)	
vv = コントロール値 :	00H - 7FH (0 - 127) 0-63 = OFF, 64-127 = ON	

○レゾナンス (コントローラー・ナンバー 71)

ステータス	第2バイト	第3バイト
BnH	47H	vvH
n = MIDI チャンネル・ナンバー :	0H - FH (ch.1 - ch.16)	
vv = レゾナンス値 (相対変化) :	00H - 40H - 7FH (-64 - 0 - +63)	

※ External Zone で Resonance の値を設定すると送信します。

○リリース・タイム (コントローラー・ナンバー 72)

ステータス	第2バイト	第3バイト
BnH	48H	vvH
n = MIDI チャンネル・ナンバー :	0H - FH (ch.1 - ch.16)	
vv = リリース・タイム値 (相対変化) :	00H - 40H - 7FH (-64 - 0 - +63)	

※ External Zone で Release Time を設定すると送信します。

○アタック・タイム (コントローラー・ナンバー 73)

ステータス	第2バイト	第3バイト
BnH	49H	vvH
n = MIDI チャンネル・ナンバー :	0H - FH (ch.1 - ch.16)	
vv = アタック・タイム値 (相対変化) :	00H - 40H - 7FH (-64 - 0 - +63)	

※ External Zone で Attack Time を設定すると送信します。

○カットオフ (コントローラー・ナンバー 74)

ステータス	第2バイト	第3バイト
BnH	4AH	vvH
n = MIDI チャンネル・ナンバー :	0H - FH (ch.1 - ch.16)	
vv = カットオフ値 (相対変化) :	00H - 40H - 7FH (-64 - 0 - +63)	

※ External Zone で Cutoff の値を設定すると送信します。

○ディケイ・タイム (コントローラー・ナンバー 75)

ステータス	第2バイト	第3バイト
BnH	4BH	vvH
n = MIDI チャンネル・ナンバー :	0H - FH (ch.1 - ch.16)	
vv = ディケイ・タイム値 :	00H - 40H - 7FH (-64 - 0 - +63)	

※ External Zone で Decay Time の値を設定すると送信します。

○エフェクト 1 (Reverb Send Level) (コントローラー・ナンバー 91)

ステータス	第2バイト	第3バイト
BnH	5BH	vvH
n = MIDI channel number:	0H - FH (ch.1 - 16)	
vv = Reverb Send Level:	00H - 7FH (0 - 127)	

※ External Zone で Reverb の値を設定すると送信します。

○エフェクト 3 (Chorus Send Level) (コントローラー・ナンバー 93)

ステータス	第2バイト	第3バイト
BnH	5DH	vvH
n = MIDI channel number:	0H - FH (ch.1 - 16)	
vv = Reverb Send Level:	00H - 7FH (0 - 127)	

※ External Zone で Chorus の値を設定すると送信します。

○RPN MSB / LSB (コントローラー・ナンバー 100, 101)

ステータス	第2バイト	第3バイト
BnH	65H	mmH
BnH	64H	llH
n = MIDI チャンネル・ナンバー :	0H - FH (ch.1 - ch.16)	
mm = RPN で指定するパラメーター・ナンバーの上位バイト (MSB)		
ll = RPN で指定するパラメーター・ナンバーの下位バイト (LSB)		

<<< RPN >>>

コントロール・チェンジには、RPN (レジスタード・パラメーター・ナンバー)、すなわち MIDI 規格で機能が定義されている拡張パラメーターがあります。実際の使用にあたっては、まず RPN (コントローラー・ナンバー 100 および 101、順番はどちらからでもよい) を送信して制御するパラメーターを指定し、その後データ・エントリー (コントローラー・ナンバー 6、38) で指定パラメーターの値を設定します。いったん RPN のパラメーターが指定されると、その後同一チャンネルで受信するデータ・エントリーはすべてそのパラメーターに対する値の変更とみなされます。誤動作を防止するために、必要なパラメーターとその値の設定が終わったら、RPN スルを設定することをおすすめします。

本機は、以下に示す RPN を送信します。

RPN	Data entry	
MSB, LSB	MSB, LSB	解説
00H, 00H	mmH, llH	ピッチ・ベンド・センシティブィー mm : 00H - 18H (0 - 24 半音) ll : 00H
00H, 01H	mmH, llH	チャンネル・ファイン・チューニング mm, ll : 20 00H - 40 00H - 60 00H (-4096 x 100 / 8192 - 0 - +4096 x 100 / 8192 cent)
00H, 02H	mmH, llH	チャンネル・コース・チューニング mm : 10H - 40H - 70H (-48 - 0 - +48 半音) ll : 00H
00H, 05H	mmH, llH	モジュレーション・デプス・レンジ mm, ll : 00 00H - 06 00H (0 - 16384 x 600 / 16384 cent)
7FH, 7FH	---, ---	RPN スル RPN および NRPN が指定されていない状態にします。

※ External Zone で各値を設定すると送信します。

●プログラム・チェンジ

ステータス	第2バイト
CnH	ppH
n = MIDI チャンネル・ナンバー :	0H - FH (ch.1 - ch.16)
pp = プログラム・ナンバー :	00H - 7FH (prog.1 - prog.128)

※ Rec Mode (EDIT:Utility:Rec Setting:Rec Mode) が ON の場合はトーンを切り替えたときに送信します。

●ピッチ・ベンド・チェンジ

ステータス	第2バイト	第3バイト
EnH	llH	mmH
n = MIDI チャンネル・ナンバー :	0H - FH (ch.1 - ch.16)	
mm, ll = ピッチ・ベンド値 :	00 00H - 40 00H - 7F 7FH (-8192 - 0 - +8191)	

※ ピッチ・ベンド/モジュレーション・レバーを操作すると送信します。

■チャンネル・モード・メッセージ

●モノ（コントローラー・ナンバー 126）

ステータス	第2バイト	第3バイト
BnH	7EH	01H
n = MIDI チャンネル・ナンバー： 0H - FH (ch.1 - ch.16)		
mm = モノ数： 00H - 10H (0 - 16)		

※ External Zone で Mono/Poly の値を MONO にすると送信します。

●ポリ（コントローラー・ナンバー 127）

ステータス	第2バイト	第3バイト
BnH	7FH	00H
n = MIDI チャンネル・ナンバー： 0H - FH (ch.1 - ch.16)		

※ External Zone で Mono/Poly の値を POLY にすると送信します。

■システム・リアルタイム・メッセージ

●タイミング・クロック

ステータス
F8H

※ Clock Out パラメーター（EDIT:System:Clock Out）が ON のときに受信します。

●スタート

ステータス
FAH

※ フット・コントローラーに START/STOP 機能を割り当てたとき、START 操作をする
と送信します。

●ストップ

ステータス
FCH

※ フット・コントローラーに START/STOP 機能を割り当てたとき、STOP 操作をする
と送信します。

●アクティブ・センシング

ステータス
FEH

※ 約 250msec 間隔で送信します。

■システム・エクスクルーシブ・メッセージ

本機が送信するシステム・エクスクルーシブ・メッセージには、ユニバーサル・ノンリアル
タイム・システム・エクスクルーシブ・メッセージ、データ・セット（DT1）があります。

●ユニバーサル・ノンリアルタイム・システム・エクスクルー
シブ・メッセージ

○アイデンティティ・リブライ・メッセージ
アイデンティティ・リクエスト・メッセージを受信した場合、このメッセージを送信しま
す。

ステータス	データ・バイト	ステータス
F0H	7EH, dev, 06H, 02H, 41H, 43H, 01H, 00H, 00H, 00H, 01H, 00H, 00H	F7H
バイト	解説	
F0H	エクスクルーシブ・ステータス	
7EH	ID ナンバー（ユニバーサル・ノンリアルタイム・メッセージ）	
dev	デバイス ID（dev：10H）	
06H	サブ ID # 1（General Information）	
02H	サブ ID # 2（Identity Reply）	
41H	ID ナンバー（Roland）	
03H 02H	デバイス・ファミリー・コード（RD-700SX）	
00H 00H	デバイス・ファミリー・ナンバー・コード（RD-700SX）	
00H 01H 00H 00H	ソフトウェア・リビジョン・レベル	
F7H	EOX（エンド・オブ・エクスクルーシブ）	

●データ転送

○データ・セット 1（DT1）		
ステータス	データ・バイト	ステータス
F0H	41H, dev, 00H, 00H, 03H, 12H, aaH, bbH, ccH, ddH, eeH, ... ffH, sum	F7H
バイト	解説	
F0H	エクスクルーシブ・ステータス	
41H	ID ナンバー（Roland）	
dev	デバイス ID（dev：10H）	
00H	モデル ID # 1（RD-700SX）	
00H	モデル ID # 2（RD-700SX）	
03H	モデル ID # 3（RD-700SX）	
12H	コマンド ID（DT1）	
aaH	アドレス上位バイト	
bbH	アドレス	
ccH	アドレス	
ddH	アドレス下位バイト	
eeH	データ： 送信するデータの本体。複数バイトのデータはアドレス順 に送信します。	
:	:	
ffH	データ	
sum	チェックサム	
F7H	EOX（エンド・オブ・エクスクルーシブ）	

- ※ データの種類により一度に転送するデータの量は決まっており、決められた先頭アドレ
スとサイズでデータ要求をする必要があります。「パラメーター・アドレス・マップ」
（P.158）に記載されたアドレスとサイズを参照してください。
- ※ サイズの大きなデータは 256 バイト以下のパケットに区切り、約 20ms の時間間隔をあ
けて送信します。

MIDI インプリメンテーション

3. パラメーター・アドレス・マップ

※ #の付いているアドレスは、データを複数に分けて転送します。例えば、16進数で ABH というデータであれば、0AH、0BHと分けられ、この順序で送受信が行われます。

■ RD-700SX (Model ID = 00H 00H 03H)

● インディビジュアルパラメーター

- ※ Utility: Bulk Dump Temporary を実行したときに送信されます。
- ※ <Reserved>の付いているアドレスおよびパラメーターは使用しないでください。
- ※ Setup に関するパラメータはテンポラリのもです。電源を切っても記憶しておきたい場合は SETUP Write を実行してください。

Start	Address	Description
01 00 00 00	System	
10 00 00 00	SETUP (Temporary)	

* System

Start	Address	Description
01 00 00 00	System Common	
01 00 02 00	System Sound Control	
01 00 03 00	System Favorite SETUP	
01 00 04 00	System V-Link	
01 00 05 00	System One Touch Piano (TYPE A)	
01 00 06 00	System One Touch Piano (TYPE B)	
01 00 07 00	System One Touch EPiano (TYPE A)	
01 00 08 00	System One Touch EPiano (TYPE B)	

* SETUP (Temporary)

Start	Address	Description
10 00 00 00	SETUP Common	
10 00 02 00	SETUP Rhythm/Arpeggio	
10 00 03 00	SETUP MPX (MPX1)	
10 00 05 00	SETUP MPX (MPX2)	
10 00 07 00	SETUP Chorus	
10 00 08 00	SETUP Reverb	
10 00 10 00	SETUP Internal Zone (UPPER1)	
10 00 11 00	SETUP Internal Zone (UPPER2)	
10 00 12 00	SETUP Internal Zone (LOWER1)	
10 00 13 00	SETUP Internal Zone (LOWER2)	
10 00 14 00	SETUP External Zone (UPPER1)	
10 00 15 00	SETUP External Zone (UPPER2)	
10 00 16 00	SETUP External Zone (LOWER1)	
10 00 17 00	SETUP External Zone (LOWER2)	
10 00 20 00	SETUP Part (Part: 01)	
10 00 21 00	SETUP Part (Part: 02)	
10 00 2F 00	SETUP Part (Part: 16)	
10 00 30 00	SETUP TW-Organ 1 Backup	
10 00 31 00	SETUP TW-Organ 2 Backup	
10 00 39 00	SETUP TW-Organ 10 Backup	

* System Common

Address	Description
#01 00 00 00	Master Tune (24 - 2024) -100.0 - 100.0 [cent]
01 00 00 04	SETUP Control Channel (0 - 16) 1 - 16, OFF
01 00 00 05	Clock Source (0 - 1) INT, MIDI
01 00 00 06	Clock Out (0 - 1) OFF, ON
01 00 00 07	Damper Polarity (0 - 1) STANDARD, REVERSE
01 00 00 08	FC1 Polarity (0 - 1) STANDARD, REVERSE
01 00 00 09	FC2 Polarity (0 - 1) STANDARD, REVERSE
01 00 00 0A	EQ Mode (0 - 1) SETUP, SYSTEM
01 00 00 0B	Pedal Mode (0 - 1) SETUP, SYSTEM
01 00 00 0C	System FC1 Assign (0 - 108) OFF, CC01 - CC31, CC33 - CC95, BEND-UP, BEND-DOWN, AFTERTOUCH, OCT-UP, OCT-DOWN, START/STOP, TAP-TEMPO, RHY PLY/STP, ARPEGGIO SW, MPX ON/OFF, MPX CONTROL, SNG PLY/STP, SETUP-UP, SETUP-DOWN
01 00 00 0D	System FC2 Assign (0 - 108) OFF, CC01 - CC31, CC33 - CC95, BEND-UP, BEND-DOWN, AFTERTOUCH, OCT-UP, OCT-DOWN, START/STOP, TAP-TEMPO, RHY PLY/STP, ARPEGGIO SW, MPX ON/OFF, MPX CONTROL, SNG PLY/STP, SETUP-UP, SETUP-DOWN
01 00 00 0E	Tone Remain (0 - 1) OFF, ON
00 00 00 0F	Total Size

* System Sound Control

Address	Description
01 00 02 00	Low band Attack time (0 - 100)
01 00 02 01	Low band Release time (0 - 100)
01 00 02 02	Low band Threshold (0 - 36) -36, -35, -34, -33, -32, -31, -30, -29, -28, -27, -26, -25, -24, -23, -22, -21, -20, -19, -18, -17, -16, -15, -14, -13, -12, -11, -10, -9, -8, -7, -6, -5, -4, -3, -2, -1, 0 [dB]
01 00 02 03	Low band Ratio (0 - 13) 1:1.0, 1:1.1, 1:1.2, 1:1.4, 1:1.6, 1:1.8, 1:2.0, 1:2.5, 1:3.2, 1:4.0, 1:5.6, 1:8.0, 1:16, 1:INF
01 00 02 04	Low band Level (0 - 24) 0, 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10,11,12,13,14,15,16,17,18,19, 20,21,22,23,24 [dB]
01 00 02 05	Mid band Attack time (0 - 100)
01 00 02 06	Mid band Release time (0 - 100)
01 00 02 07	Mid band Threshold (0 - 36) -36, -35, -34, -33, -32, -31, -30, -29, -28, -27, -26, -25, -24, -23, -22, -21, -20, -19, -18, -17, -16, -15, -14, -13, -12, -11, -10, -9, -8, -7, -6, -5, -4, -3, -2, -1, 0 [dB]
01 00 02 08	Mid band Ratio (0 - 13) 1:1.0, 1:1.1, 1:1.2, 1:1.4, 1:1.6, 1:1.8, 1:2.0, 1:2.5, 1:3.2, 1:4.0, 1:5.6, 1:8.0, 1:16, 1:INF
01 00 02 09	Mid band Level (0 - 24) 0, 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10,11,12,13,14,15,16,17,18,19, 20,21,22,23,24 [dB]
01 00 02 0A	High band Attack time (0 - 100)
01 00 02 0B	High band Release time (0 - 100)
01 00 02 0C	High band Threshold (0 - 36) -36, -35, -34, -33, -32, -31, -30, -29, -28, -27, -26, -25, -24, -23, -22, -21, -20, -19, -18, -17, -16, -15, -14, -13, -12, -11, -10, -9, -8, -7, -6, -5, -4, -3, -2, -1, 0 [dB]
01 00 02 0D	High band Ratio (0 - 13) 1:1.0, 1:1.1, 1:1.2, 1:1.4, 1:1.6, 1:1.8, 1:2.0, 1:2.5, 1:3.2, 1:4.0, 1:5.6, 1:8.0, 1:16, 1:INF
01 00 02 0E	High band Level (0 - 24) 0, 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10,11,12,13,14,15,16,17,18,19, 20,21,22,23,24 [dB]
01 00 02 0F	Split Freq Low (0 - 6) 200, 250, 315, 400, 500, 630, 800 [Hz]
01 00 02 10	Split Freq High (0 - 6) 2000, 2500, 3150, 4000, 5000, 6300, 8000 [Hz]
00 00 00 11	Total Size

* System Favorite SETUP

Address	Description
01 00 03 00	Favorite SETUP 0 (Bank A) (0 - 100)
01 00 03 01	Favorite SETUP 1 (Bank A) (0 - 100)
01 00 03 02	Favorite SETUP 2 (Bank A) (0 - 100)
01 00 03 03	Favorite SETUP 3 (Bank A) (0 - 100)
01 00 03 04	Favorite SETUP 4 (Bank A) (0 - 100)
01 00 03 05	Favorite SETUP 5 (Bank A) (0 - 100)
01 00 03 06	Favorite SETUP 6 (Bank A) (0 - 100)
01 00 03 07	Favorite SETUP 7 (Bank A) (0 - 100)
01 00 03 08	Favorite SETUP 8 (Bank A) (0 - 100)
01 00 03 09	Favorite SETUP 9 (Bank A) (0 - 100)
01 00 03 0A	Favorite SETUP 0 (Bank B) (0 - 100)
01 00 03 0B	Favorite SETUP 1 (Bank B) (0 - 100)
01 00 03 0C	Favorite SETUP 2 (Bank B) (0 - 100)
01 00 03 0D	Favorite SETUP 3 (Bank B) (0 - 100)
01 00 03 0E	Favorite SETUP 4 (Bank B) (0 - 100)
01 00 03 0F	Favorite SETUP 5 (Bank B) (0 - 100)
01 00 03 10	Favorite SETUP 6 (Bank B) (0 - 100)
01 00 03 11	Favorite SETUP 7 (Bank B) (0 - 100)
01 00 03 12	Favorite SETUP 8 (Bank B) (0 - 100)
01 00 03 13	Favorite SETUP 9 (Bank B) (0 - 100)
01 00 03 14	Favorite SETUP 0 (Bank C) (0 - 100)
01 00 03 15	Favorite SETUP 1 (Bank C) (0 - 100)
01 00 03 16	Favorite SETUP 2 (Bank C) (0 - 100)
01 00 03 17	Favorite SETUP 3 (Bank C) (0 - 100)
01 00 03 18	Favorite SETUP 4 (Bank C) (0 - 100)
01 00 03 19	Favorite SETUP 5 (Bank C) (0 - 100)
01 00 03 1A	Favorite SETUP 6 (Bank C) (0 - 100)
01 00 03 1B	Favorite SETUP 7 (Bank C) (0 - 100)
01 00 03 1C	Favorite SETUP 8 (Bank C) (0 - 100)
01 00 03 1D	Favorite SETUP 9 (Bank C) (0 - 100)
01 00 03 1E	Favorite SETUP 0 (Bank D) (0 - 100)
01 00 03 1F	Favorite SETUP 1 (Bank D) (0 - 100)
01 00 03 20	Favorite SETUP 2 (Bank D) (0 - 100)
01 00 03 21	Favorite SETUP 3 (Bank D) (0 - 100)
01 00 03 22	Favorite SETUP 4 (Bank D) (0 - 100)
01 00 03 23	Favorite SETUP 5 (Bank D) (0 - 100)
01 00 03 24	Favorite SETUP 6 (Bank D) (0 - 100)
01 00 03 25	Favorite SETUP 7 (Bank D) (0 - 100)
01 00 03 26	Favorite SETUP 8 (Bank D) (0 - 100)
01 00 03 27	Favorite SETUP 9 (Bank D) (0 - 100)
00 00 00 28	Total Size

* System V-Link

Address	Description
01 00 04 00	Switch (0 - 1) OFF, ON
01 00 04 01	Mode (0 - 1) BANK/PC.NOTE
01 00 04 02	Lowest No (0 - 127)
01 00 04 03	Transmit Channel (0 - 15)
01 00 04 04	Transmit Port (0 - 3) All, Out1, Out2, USB
01 00 04 05	Key Range Lower (0 - 87)
01 00 04 06	Key Range Upper (0 - 87)
01 00 04 07	Local Control (0 - 1) OFF, ON
00 00 00 08	Total Size

MIDI インプリメンテーション

* System One Touch Piano
(Type A: t=S Type B: t=6)

Address	Description
01 00 0t 00	000a aaaa Tone Number (0 - 19)
01 00 0t 01	00aa aaaa Stereo Width (0 - 63)
01 00 0t 02	0000 00aa Nuance (0 - 2)
01 00 0t 03	0000 0aaa Ambience TYPE1, TYPE2, TYPE3 (0 - 5)
01 00 0t 04	0aaa aaaa Reverb Level OFF, 1 - 5 (0 - 127)
01 00 0t 05	0000 0aaa Lid (0 - 5)
01 00 0t 06	0000 00aa Mic Simulator 1, 2, 3, 4, 5, 6 (0 - 2)
01 00 0t 07	0000 aaaa Mic Distance OFF, CONDENSER, DYNAMIC (0 - 10)
01 00 0t 08	0000 aaaa String Resonance Level (0 - 5)
01 00 0t 09	0000 000a EQ Switch OFF, 1 - 5 (0 - 1)
01 00 0t 0A	000a aaaa EQ Frequency OFF, ON (0 - 16)
01 00 0t 0B	0aaa aaaa EQ Gain 100, 125, 160, 200, 250, 315, 400, 500, 630, 800, 1000, 1250, 1600, 2000, 2500, 3150, 4000 [Hz] (4 - 124)
01 00 0t 0C	0000 0aaa EQ Q -12 - +12[dB] (0.2dB step) (0 - 4)
01 00 0t 0D	000a aaaa Micro Tune Type 0.5, 1.0, 2.0, 4.0, 8.0 (0 - 16)
01 00 0t 0E	0000 aaaa Sympathetic Resonance Depth PRST, USER, 1 - 14 (0 - 10)
01 00 0t 0F	0000 aaaa Sympathetic Resonance Pitch (0 - 10)
01 00 0t 10	0000 aaaa Sympathetic Resonance Level (0 - 10)
00 00 0t 11	Total Size

* System One Touch E.Piano
(Type A: t=7, Type B: t=8)

Address	Description
01 00 0t 00	000a aaaa Tone Number (0 - 20)
01 00 0t 01	0000 00aa Amp Simulator Type (0 - 2)
01 00 0t 02	0000 0aaa Effect Type OFF, EP-AMP, GTR-AMP (0 - 4)
01 00 0t 03	0aaa aaaa Effect Depth OFF, CHORUS, TREMOLO, AUTO-WAH, PHASER (0 - 127)
#01 00 0t 04	0000 aaaa Effect Rate (1 - 200)
01 00 0t 05	0000 000a EQ Switch 0.05 - 10.00 [Hz] (0 - 1)
01 00 0t 07	000a aaaa EQ Frequency OFF, ON (0 - 20)
01 00 0t 08	0aaa aaaa EQ Gain 100, 125, 160, 200, 250, 315, 400, 500, 630, 800, 1000, 1250, 1600, 2000, 2500, 3150, 4000 [Hz] (4 - 124)
01 00 0t 09	0000 0aaa EQ Q -12 - +12[dB] (0.2dB step) (0 - 4)
00 00 0t 09	Total Size 0.5, 1.0, 2.0, 4.0, 8.0

* SETUP Common

Address	Description
10 00 00 00	0aaa aaaa SETUP Name 1 (32 - 127)
10 00 00 01	0aaa aaaa SETUP Name 2 32 - 127 [ASCII] (32 - 127)
10 00 00 02	0aaa aaaa SETUP Name 3 (32 - 127)
10 00 00 03	0aaa aaaa SETUP Name 4 (32 - 127)
10 00 00 04	0aaa aaaa SETUP Name 5 (32 - 127)
10 00 00 05	0aaa aaaa SETUP Name 6 (32 - 127)
10 00 00 06	0aaa aaaa SETUP Name 7 (32 - 127)
10 00 00 07	0aaa aaaa SETUP Name 8 (32 - 127)
10 00 00 08	0aaa aaaa SETUP Name 9 (32 - 127)
10 00 00 09	0aaa aaaa SETUP Name 10 (32 - 127)
10 00 00 0A	0aaa aaaa SETUP Name 11 (32 - 127)
10 00 00 0B	0aaa aaaa SETUP Name 12 (32 - 127)
10 00 00 0C	0aaa aaaa Voice Reserve 1 (0 - 64)
10 00 00 0D	0aaa aaaa Voice Reserve 2 0 - 63, FULL (0 - 64)
10 00 00 0E	0aaa aaaa Voice Reserve 3 (0 - 64)
10 00 00 0F	0aaa aaaa Voice Reserve 4 (0 - 64)
10 00 00 10	0aaa aaaa Voice Reserve 5 (0 - 64)
10 00 00 11	0aaa aaaa Voice Reserve 6 (0 - 64)
10 00 00 12	0aaa aaaa Voice Reserve 7 (0 - 64)
10 00 00 13	0aaa aaaa Voice Reserve 8 (0 - 64)
10 00 00 14	0aaa aaaa Voice Reserve 9 (0 - 64)
10 00 00 15	0aaa aaaa Voice Reserve 10 (0 - 64)
10 00 00 16	0aaa aaaa Voice Reserve 11 (0 - 64)
10 00 00 17	0aaa aaaa Voice Reserve 12 (0 - 64)
10 00 00 18	0aaa aaaa Voice Reserve 13 (0 - 64)
10 00 00 19	0aaa aaaa Voice Reserve 14 (0 - 64)
10 00 00 1A	0aaa aaaa Voice Reserve 15 (0 - 64)
10 00 00 1B	0aaa aaaa Voice Reserve 16 (0 - 64)
#10 00 00 1C	0000 aaaa SETUP Tempo (10 - 250)
#10 00 00 1E	0000 000a Upper [PIANO] Tone Number (0 - 511)
#10 00 00 21	0000 000a Upper [E.PIANO] Tone Number (0 - 511)
#10 00 00 24	0000 000a Upper [CLAV/MALLET] Tone Number (0 - 511)
#10 00 00 27	0000 000a Upper [ORGAN] Tone Number (0 - 511)
#10 00 00 2A	0000 000a Upper [STRINGS] Tone Number (0 - 511)
#10 00 00 2D	0000 000a Upper [PAD] Tone Number (0 - 511)
#10 00 00 30	0000 000a Upper [GTR/BASS] Tone Number (0 - 511)
#10 00 00 33	0000 000a Upper [BRASS/WINDS] Tone Number (0 - 511)
#10 00 00 36	0000 000a Upper [VOICE/SYNTH] Tone Number (0 - 511)
#10 00 00 39	0000 000a Upper [RHY/GM2] Tone Number (0 - 511)
#10 00 00 3C	0000 000a Lower [PIANO] Tone Number (0 - 511)
#10 00 00 3F	0000 000a

#10 00 00 42	0000 hbbb Lower [E.PIANO] Tone Number (0 - 511)
#10 00 00 45	0000 cccc Lower [CLAV/MALLET] Tone Number (0 - 511)
#10 00 00 48	0000 000a Lower [ORGAN] Tone Number (0 - 511)
#10 00 00 4B	0000 hbbb Lower [STRINGS] Tone Number (0 - 511)
#10 00 00 4E	0000 cccc Lower [PAD] Tone Number (0 - 511)
#10 00 00 51	0000 000a Lower [GTR/BASS] Tone Number (0 - 511)
#10 00 00 54	0000 hbbb Lower [BRASS/WINDS] Tone Number (0 - 511)
#10 00 00 57	0000 cccc Lower [VOICE/SYNTH] Tone Number (0 - 511)
10 00 00 5A	0aaa aaaa FC 1 Assign (0 - 106)
10 00 00 5B	0aaa aaaa FC 2 Assign (0 - 106)
00 00 00 5C	0000 0aaa MPX Knob Assgin OFF, MPX1-CTRL, MPX2-CTRL, MPX1&2-CTRL, TEMPO (0 - 4)
10 00 00 5D	0000 000a EQ Switch (0 - 1)
10 00 00 5E	0aaa aaaa EQ Input Gain OFF, ON (4 - 124)
10 00 00 5F	000a aaaa EQ Low Frequency -15 - +15[dB] (0 - 30)
10 00 00 60	0aaa aaaa EQ Low Gain 16, 20, 25, 31, 40, 50, 63, 80, 100, 125, 160, 200, 250, 315, 400, 500, 630, 800, 1000, 1250, 1600, 2000, 2500, 3150, 4000, 5000, 6300, 8000, 10000, 12500, 16000, [Hz] (4 - 124)
10 00 00 61	0000 000a EQ Low Q -12.0 - +12.0[dB] (1step = 0.2dB) (0 - 30)
10 00 00 62	000a aaaa EQ Mid Frequency 0.5, 1.0, 2.0, 4.0, 8.0 (0 - 30)
10 00 00 63	0aaa aaaa EQ Mid Gain 16, 20, 25, 31, 40, 50, 63, 80, 100, 125, 160, 200, 250, 315, 400, 500, 630, 800, 1000, 1250, 1600, 2000, 2500, 3150, 4000, 5000, 6300, 8000, 10000, 12500, 16000, [Hz] (4 - 124)
10 00 00 64	0000 0aaa EQ Mid Q -12.0 - +12.0[dB] (1step = 0.2dB) (0 - 4)
10 00 00 65	000a aaaa EQ High Frequency 0.5, 1.0, 2.0, 4.0, 8.0 (0 - 30)
10 00 00 66	0aaa aaaa EQ High Gain 16, 20, 25, 31, 40, 50, 63, 80, 100, 125, 160, 200, 250, 315, 400, 500, 630, 800, 1000, 1250, 1600, 2000, 2500, 3150, 4000, 5000, 6300, 8000, 10000, 12500, 16000, [Hz] (4 - 124)
10 00 00 67	0000 0aaa EQ High Q -12.0 - +12.0[dB] (1step = 0.2dB) (0 - 4)
10 00 00 68	0aaa aaaa Key Touch Velocity 0.5, 1.0, 2.0, 4.0, 8.0 (0 - 127)
10 00 00 69	0000 0aaa Key Touch Curve Type REAL, 1 - 127 (0 - 5)
10 00 00 6A	000a aaaa Key Touch Curve offset MEDIUM, HEAVY, SUPER LIGHT, LIGHT, SUPER HEAVY (54 - 73)
10 00 00 6B	0aaa aaaa Key Touch Velocity Delay Sens -10 - +9 (1 - 127)
10 00 00 6C	0aaa aaaa Key Touch Velocity Key Follow -63 - +63 (1 - 127)
10 00 00 6D	0000 000a Slider Select (0 - 1)
10 00 00 6E	0aaa aaaa Slider Assign (UPPER1) ZONE LEVEL, CONTROL (0 - 97)
10 00 00 6F	0aaa aaaa Slider Assign (UPPER2) OFF, CC01 - CC31, CC33 - CC95, BEND-UP, BEND-DOWN, AFTERTOUCH, (0 - 97)
10 00 00 70	0aaa aaaa Slider Assign (LOWER1) (0 - 97)
10 00 00 71	0aaa aaaa Slider Assign (LOWER2) (0 - 97)
10 00 00 72	0000 000a Transpose Switch (0 - 1)
10 00 00 73	0aaa aaaa Transpose Value OFF, ON (16 - 112)
10 00 00 74	0000 000a Split Switch (Internal) -48 - +48 (0 - 1)
10 00 00 75	0000 000a Split Switch (External) OFF, ON (0 - 1)
10 00 00 76	0aaa aaaa (reserved) (0 - 1)
10 00 00 77	0000 000a MPX Structure PARALLEL, SERIAL (0 - 1)
10 00 00 78	0000 000a MPX1 Switch OFF, ON (0 - 1)
10 00 00 79	0000 0aaa MPX1 Source FIXED, UPPER1, UPPER2, LOWER1, LOWER2 (0 - 4)
10 00 00 7A	0000 00aa MPX1 Destination SOURCE PART, SAME MPX PART, ALL PART (0 - 2)
10 00 00 7B	0000 000a MPX2 Switch OFF, ON (0 - 1)
10 00 00 7C	0000 0aaa MPX2 Source OFF, UPPER1, UPPER2, LOWER1, LOWER2 (0 - 4)
10 00 00 7D	0000 000a (reserved)
10 00 00 7E	0000 000a (reserved)
10 00 00 7F	0000 aaaa Harmonic Bar Assign (LOWER2:ON) (1 - 9)
10 00 01 00	0000 aaaa Harmonic Bar Assign (LOWER2:OFF) 16', 5-1/3', 8', 4', 2-2/3', 1-3/5', 2', 1-1/3', 1' (1 - 9)
10 00 01 01	0000 aaaa Harmonic Bar Assign (LOWER1:ON) (1 - 9)
10 00 01 02	0000 aaaa Harmonic Bar Assign (LOWER1:OFF) (1 - 9)
10 00 01 03	0000 aaaa Harmonic Bar Assign (UPPER2:ON) (1 - 9)
10 00 01 04	0000 aaaa Harmonic Bar Assign (UPPER2:OFF) (1 - 9)
10 00 01 05	0000 aaaa Harmonic Bar Assign (UPPER1:ON) (1 - 9)
10 00 01 06	0000 aaaa Harmonic Bar Assign (UPPER1:OFF) (1 - 9)
10 00 01 07	0000 000a (reserved)
10 00 01 08	0000 000a (reserved)
10 00 01 09	0aaa aaaa (reserved)
00 00 01 0A	Total Size

MIDI インプリメンテーション

* SETUP Rhythm/Arpeggio

Address	Description	
#10 00 02 00	0000 aaaa	Rhythm Pattern (0 - 184)
10 00 02 02	0aaa aaaa	Rhythm Accent (0 - 100)
10 00 02 03	0000 000a	Rhythm Set Change Enable (0 - 1)
10 00 02 04	000a aaaa	Rhythm MIDI Out Channel (0 - 16)
10 00 02 05	0000 0aaa	Rhythm MIDI Out Port OFF,1-16 (0 - 4)
10 00 02 06	0000 0aaa	Arpeggio Zone OFF,1,2,USB,ALL (0 - 4)
10 00 02 07	0000 000a	Arpeggio Switch ALL,UPPER1,UPPER2,LOWER1,LOWER2 (0 - 1)
10 00 02 08	0aaa aaaa	Arpeggio Stype OFF,ON (0 - 127)
10 00 02 09	0000 aaaa	Arpeggio Motif UP(L),UP(H&L).UP(_),DOWN(L),DOWN(L&H),DOWN_,UP&DOWN(L),UP&DOWN(L&H),UP&DOWN(_),RANDOM(L),RANDOM(_),RHASE (0 - 11)
10 00 02 0A	0aaa aaaa	Arpeggio Accent 0 - 100% (0 - 100)
10 00 02 0B	0aaa aaaa	Arpeggio Velocity REAL,1 - 127 (0 - 87)
10 00 02 0C	0000 0aaa	Arpeggio Octave Range (61 - 67)
10 00 02 0D	0000 000a	Arpeggio Hold -3 - +3 (0 - 1)
10 00 02 0E	0aaa aaaa	Key Range Lower OFF,ON (0 - 87)
10 00 02 0F	0aaa aaaa	Key Range Upper (0 - 87)
10 00 02 10	0000 aaaa	Rhythm Arpeggio Grid (0 - 8)
10 00 02 11	0000 aaaa	Rhythm Arpeggio Duration 1/4, 1/8, 1/8L, 1/8H, 1/12, 1/16, 1/16L, 1/16H, 1/24 (0 - 9)
00 00 00 12	Total Size	30, 40, 50, 60, 70, 80, 90, 100, 120, FULL

* SETUP MPX 1,2

(MPX1: m=3,n=4, MPX2: m=5,n=6)

Address	Description	
10 00 0m 00	0aaa aaaa	MPX Type (0 - 125)
10 00 0m 01	0aaa aaaa	MPX Dry Send Level (0 - 127)
10 00 0m 02	0aaa aaaa	MPX Chorus Send Level (0 - 127)
10 00 0m 03	0aaa aaaa	MPX Reverb Send Level (0 - 127)
10 00 0m 04	0000 00aa	(reserved)
10 00 0m 08	000a aaaa	(reserved)
#10 00 0m 09	0000 aaaa	MPX Parameter (1-32) (12768 - 52768)
10 00 0n 05	0000 aaaa	(-20000 - +20000)
00 00 01 09	Total Size	

* SETUP Chorus

Address	Description	
10 00 07 00	0000 aaaa	Chorus Type OFF, CHORUS, DELAY, GM2 CHORUS (0 - 3)
10 00 07 01	0aaa aaaa	Chorus Level (0 - 127)
10 00 07 02	0000 00aa	(reserved)
10 00 07 03	0000 00aa	Chorus Output Select (0 - 2)
#10 00 07 04	0000 aaaa	Chorus Parameter (1-20) (12768 - 52768)
10 00 07 53	0000 aaaa	(-20000 - +20000)
00 00 00 54	Total Size	

* SETUP Reverb

Address	Description	
10 00 08 00	0000 aaaa	Reverb Type OFF, REVERB, ROOM, HALL, PLATE, GM2 REVERB, CATHEDRAL (0 - 7)
10 00 08 01	0aaa aaaa	Reverb Level (0 - 127)
10 00 08 02	0000 00aa	(reserved)
#10 00 08 03	0000 aaaa	Reverb Parameter (1-20) (12768 - 52768)
10 00 08 52	0000 aaaa	(-20000 - +20000)
00 00 00 53	Total Size	

* SETUP Internal Zone

(UPPER1: z=0)
(UPPER2: z=1)
(LOWER1: z=2)
(LOWER2: z=3)

Address	Description	
10 00 1z 00	0aaa aaaa	Keyboard Range Lower (0 - 87)
10 00 1z 01	0aaa aaaa	Keyboard Range Upper A0 - UPPER (0 - 87)
10 00 1z 02	0aaa aaaa	Velocity Range Lower LOWER - C8 (1 - 127)
10 00 1z 03	0aaa aaaa	Velocity Range Upper (1 - 127)
10 00 1z 04	0aaa aaaa	Velocity Sensitivity (1 - 127)
10 00 1z 05	0aaa aaaa	Velocity Max -63 - +63 (1 - 127)
10 00 1z 06	0aaa aaaa	keyboard Transpose (16 - 112)
10 00 1z 07	0000 000a	Zone Switch -48 - +48 (0 - 1)
10 00 1z 08	0000 000a	Damper Switch OFF, ON (0 - 1)
10 00 1z 09	0000 000a	FC1 Switch OFF, ON (0 - 1)
10 00 1z 0A	0000 000a	FC2 Switch OFF, ON (0 - 1)
10 00 1z 0B	0000 000a	Modulation Switch OFF, ON (0 - 1)
10 00 1z 0C	0000 000a	Bender Switch OFF, ON (0 - 1)
10 00 1z 0D	0000 000a	Control Slider Swtch (UPPER1) OFF, ON (0 - 1)
10 00 1z 0E	0000 000a	Control Slider Swtch (UPPER2) OFF, ON (0 - 1)
10 00 1z 0F	0000 000a	Control Slider Swtch (LOWER1) OFF, ON (0 - 1)

10 00 1z 10	0000 000a	Control Slider Swtch (LOWER2) (0 - 1)
10 00 1z 11	0000 aaaa	Part Assign OFF, ON (0 - 15)
00 00 00 12	Total Size	1 - 16

* SETUP External Zone

(UPPER1: z=4)
(UPPER2: z=5)
(LOWER1: z=6)
(LOWER2: z=7)

Address	Description	
10 00 1z 00	0aaa aaaa	Keyboard Range Lower (0 - 87)
10 00 1z 01	0aaa aaaa	Keyboard Range Upper A0 - UPPER (0 - 87)
10 00 1z 02	0aaa aaaa	Velocity Range Lower LOWER - C8 (1 - 127)
10 00 1z 03	0aaa aaaa	Velocity Range Upper (1 - 127)
10 00 1z 04	0aaa aaaa	Velocity Sensitivity (1 - 127)
10 00 1z 05	0aaa aaaa	Velocity Max -63 - +63 (1 - 127)
10 00 1z 06	0aaa aaaa	Keyboard Transpose (16 - 112)
10 00 1z 07	0000 000a	Zone Switch -48 - +48 (0 - 1)
10 00 1z 08	0000 000a	Damper Switch OFF, ON (0 - 1)
10 00 1z 09	0000 000a	FC1 Switch OFF, ON (0 - 1)
10 00 1z 0A	0000 000a	FC2 Switch OFF, ON (0 - 1)
10 00 1z 0B	0000 000a	Modulation Switch OFF, ON (0 - 1)
10 00 1z 0C	0000 000a	Bender Switch OFF, ON (0 - 1)
10 00 1z 0D	0000 000a	Control Switch (MPX) OFF, ON (0 - 1)
10 00 1z 0E	0000 000a	Control Slider Switch (UPPER1) OFF, ON (0 - 1)
10 00 1z 0F	0000 000a	Control Slider Switch (UPPER2) OFF, ON (0 - 1)
10 00 1z 10	0000 000a	Control Slider Switch (LOWER1) OFF, ON (0 - 1)
10 00 1z 11	0000 000a	Control Slider Switch (LOWER2) OFF, ON (0 - 1)
10 00 1z 12	0000 00aa	Transmit Port ALL,OUT1,OUT2,USB (0 - 3)
10 00 1z 13	0000 aaaa	Transmit Channel (0 - 15)
10 00 1z 14	0000 000a	Transmit Bank Select MSB Switch 1 - 16 (0 - 1)
10 00 1z 15	0aaa aaaa	Transmit Bank Select MSB (CC# 0) OFF, ON (0 - 127)
10 00 1z 16	0000 000a	Transmit Bank Select LSB Switch (0 - 1)
10 00 1z 17	0aaa aaaa	Transmit Bank Select LSB (CC# 32) OFF, ON (0 - 127)
10 00 1z 18	0000 000a	Transmit Program Change Switch (0 - 1)
10 00 1z 19	0aaa aaaa	Transmit Program Change# OFF, ON (0 - 127)
10 00 1z 1A	0000 000a	Transmit Level Switch (0 - 1)
10 00 1z 1B	0aaa aaaa	Transmit Level (CC# 7) OFF, ON (0 - 127)
10 00 1z 1C	0000 000a	Transmit Pan Switch (0 - 1)
10 00 1z 1D	0aaa aaaa	Transmit Pan(CC# 10) OFF, ON (0 - 127)
10 00 1z 1E	0000 000a	Transmit Coarse Tune Switch L64 - R63 (0 - 1)
10 00 1z 1F	0aaa aaaa	Transmit Coarse Tune OFF, ON (16 - 112)
10 00 1z 20	0000 000a	Transmit Fine Tune Switch -48 - +48 (0 - 1)
10 00 1z 21	0aaa aaaa	Transmit Fine Tune OFF, ON (14 - 114)
10 00 1z 22	0000 000a	Transmit Mono/Poly Switch -50 - +50 (0 - 1)
10 00 1z 23	0000 00aa	Transmit Mono/Poly OFF, ON (0 - 1)
10 00 1z 24	0000 000a	Transmit Portamento Switch MONO, POLY (0 - 1)
10 00 1z 25	0000 000a	Transmit Portamento Switch Value OFF, ON (0 - 1)
10 00 1z 26	0000 000a	Transmit Portamento Time Switch OFF, ON (0 - 1)
10 00 1z 27	0aaa aaaa	Transmit Portamento Time (0 - 127)
10 00 1z 28	0000 000a	Transmit Cutoff Switch (0 - 1)
10 00 1z 29	0aaa aaaa	Transmit Cutoff OFF, ON (0 - 127)
10 00 1z 2A	0000 000a	Transmit Resonance Switch -64 - +63 (0 - 1)
10 00 1z 2B	0aaa aaaa	Transmit Resonance OFF, ON (0 - 127)
10 00 1z 2C	0000 000a	Transmit Attack Time Switch -64 - +63 (0 - 1)
10 00 1z 2D	0aaa aaaa	Transmit Attack Time OFF, ON (0 - 127)
10 00 1z 2E	0000 000a	Transmit Decay Time Switch -64 - +63 (0 - 1)
10 00 1z 2F	0aaa aaaa	Transmit Decay Time OFF, ON (0 - 127)
10 00 1z 30	0000 000a	Transmit Release Time Switch -64 - +63 (0 - 1)
10 00 1z 31	0aaa aaaa	Transmit Release Time OFF, ON (0 - 127)
10 00 1z 32	0000 000a	Transmit Pitch Bend Range Switch (0 - 1)
10 00 1z 33	0aaa aaaa	Transmit Pitch Bend Range OFF, ON (0 - 48)
10 00 1z 34	0000 000a	Transmit Modulation Depth Switch (0 - 1)
10 00 1z 35	0aaa aaaa	Transmit Modulation Depth OFF, ON (0 - 127)
		0 - 100 Cent

10 00 1z 36	0000 000a	Transmit Chorus Level Switch	(0 - 1) OFF, ON
10 00 1z 37	0aaa aaaa	Transmit Chorus Level	(0 - 127)
10 00 1z 38	0000 000a	Transmit Reverb Level Switch	(0 - 1) OFF, ON
10 00 1z 39	0aaa aaaa	Transmit Reverb Level	(0 - 127)
10 00 1z 3A	0000 000a	Transmit Control Change 1 Switch	(0 - 1) OFF, ON
10 00 1z 3B	0aaa aaaa	Transmit Control Change 1 Number	(0 - 127)
10 00 1z 3C	0aaa aaaa	Transmit Control Change 1 Value	(0 - 127)
10 00 1z 3D	0000 000a	Transmit Control Change 2 Switch	(0 - 1) OFF, ON
10 00 1z 3E	0aaa aaaa	Transmit Control Change 2 Number	(0 - 127)
10 00 1z 3F	0aaa aaaa	Transmit Control Change 2 Value	(0 - 127)
00 00 00 40	Total Size		

* SETUP Part
(p: Part Number(0-F) Part1: p=0, Part2: p=1... Part16:p=f)

Address	Description		
10 00 2p 00	0000 aaaa	Receive Channel	(0 - 15) 1 - 16
10 00 2p 01	0000 000a	Mute Switch	(0 - 1) OFF, ON
10 00 2p 02	0aaa aaaa	Tone Bank Select MSB (CC# 0)	(0 - 127)
10 00 2p 03	0aaa aaaa	Tone Bank Select LSB (CC# 32)	(0 - 127)
10 00 2p 04	0aaa aaaa	Tone Program Change#	(0 - 127)
10 00 2p 05	0aaa aaaa	Part Level (CC# 7)	(0 - 127)
10 00 2p 06	0aaa aaaa	Part Pan (CC# 10)	(0 - 127) L64 - 63R
10 00 2p 07	0aaa aaaa	Coarse Tune	(16 - 112) -48 - +48
10 00 2p 08	0aaa aaaa	Fine Tune	(14 - 114) -50 - +50
10 00 2p 09	0000 00aa	Mono/Poly	(0 - 2) MONO, POLY, MONO/LEGATO
10 00 2p 0A	000a aaaa	Pitch Bend Range	(0 - 24)
10 00 2p 0B	0000 000a	Portamento Switch	(0 - 1) OFF, ON
#10 00 2p 0C	0000 aaaa	Portamento Time	(0 - 127)
10 00 2p 0E	0aaa aaaa	Cutoff	(0 - 127) -63 - +63
10 00 2p 0F	0aaa aaaa	Resonance	(0 - 127) -63 - +63
10 00 2p 10	0aaa aaaa	Attack Time	(0 - 127) -63 - +63
10 00 2p 11	0aaa aaaa	Decay Time	(0 - 127) -63 - +63
10 00 2p 12	0aaa aaaa	Release Time	(0 - 127) -63 - +63
10 00 2p 13	0aaa aaaa	Chorus Amount	(0 - 127)
10 00 2p 14	0aaa aaaa	Reverb Amount	(0 - 127)
10 00 2p 15	0aaa aaaa	MPX Type	(0 - 125)
10 00 2p 16	0000 000a	Part MPX Switch	(0 - 1) OFF, ON
10 00 2p 17	0000 000a	Receive Bank Select Switch	(0 - 1) OFF, ON
10 00 2p 18	0000 000a	Receive Program Change Switch	(0 - 1) OFF, ON
10 00 2p 19	0000 000a	Receive Bender Switch	(0 - 1) OFF, ON
10 00 2p 1A	0000 000a	Receive Modulation Switch	(0 - 1) OFF, ON
10 00 2p 1B	0000 000a	Receive Volume Switch	(0 - 1) OFF, ON
10 00 2p 1C	0000 000a	Receive Pan Switch	(0 - 1) OFF, ON
10 00 2p 1D	0000 000a	Receive Hold-1 Switch	(0 - 1) OFF, ON
10 00 2p 1E	0000 000a	Receive Expression	(0 - 1) OFF, ON
00 00 00 1F	Total Size		

* SETUP ToneWheel Backup
(t: ToneWheel Number, ToneWheel 1: t=0..ToneWheel 10: t=9

Address	Description		
10 00 3t 00	0000 00aa	Percussion Harmonic	(0 - 2) OFF, 2ND, 3RD
10 00 3t 01	0000 000a	Percussion Decay	(0 - 1) SLOW, FAST
10 00 3t 02	0000 aaaa	Harmonic Bar 16'	(0 - 8)
10 00 3t 03	0000 aaaa	Harmonic Bar 5-1/3'	(0 - 8)
10 00 3t 04	0000 aaaa	Harmonic Bar 8'	(0 - 8)
10 00 3t 05	0000 aaaa	Harmonic Bar 4'	(0 - 8)
10 00 3t 06	0000 aaaa	Harmonic Bar 2-2/3'	(0 - 8)
10 00 3t 07	0000 aaaa	Harmonic Bar 2'	(0 - 8)
10 00 3t 08	0000 aaaa	Harmonic Bar 1-3/5'	(0 - 8)
10 00 3t 09	0000 aaaa	Harmonic Bar 1-1/3'	(0 - 8)
10 00 3t 0A	0000 aaaa	Harmonic Bar 1'	(0 - 8)
00 00 00 0B	Total Size		

■ 10進数と 16進数の対応表

(16 進数表記の数字の後ろには “H” を付けています。)

MIDI では、データ値や、エクスクループ・メッセージのアドレスやサイズには、7 ビットごとの 16 進表記が使用されます。10 進表記との対応表は次のとおりです。

D	H	D	H	D	H	D	H
0	00H	32	20H	64	40H	96	60H
1	01H	33	21H	65	41H	97	61H
2	02H	34	22H	66	42H	98	62H
3	03H	35	23H	67	43H	99	63H
4	04H	36	24H	68	44H	100	64H
5	05H	37	25H	69	45H	101	65H
6	06H	38	26H	70	46H	102	66H
7	07H	39	27H	71	47H	103	67H
8	08H	40	28H	72	48H	104	68H
9	09H	41	29H	73	49H	105	69H
10	0AH	42	2AH	74	4AH	106	6AH
11	0BH	43	2BH	75	4BH	107	6BH
12	0CH	44	2CH	76	4CH	108	6CH
13	0DH	45	2DH	77	4DH	109	6DH
14	0EH	46	2EH	78	4EH	110	6EH
15	0FH	47	2FH	79	4FH	111	6FH
16	10H	48	30H	80	50H	112	70H
17	11H	49	31H	81	51H	113	71H
18	12H	50	32H	82	52H	114	72H
19	13H	51	33H	83	53H	115	73H
20	14H	52	34H	84	54H	116	74H
21	15H	53	35H	85	55H	117	75H
22	16H	54	36H	86	56H	118	76H
23	17H	55	37H	87	57H	119	77H
24	18H	56	38H	88	58H	120	78H
25	19H	57	39H	89	59H	121	79H
26	1AH	58	3AH	90	5AH	122	7AH
27	1BH	59	3BH	91	5BH	123	7BH
28	1CH	60	3CH	92	5CH	124	7CH
29	1DH	61	3DH	93	5DH	125	7DH
30	1EH	62	3EH	94	5EH	126	7EH
31	1FH	63	3FH	95	5FH	127	7FH

D : decimal (10 進表記)

H : hexadecimal (16 進表記)

※ MIDI チャンネル、プログラム・チェンジなどの 10 進表記は、前表の 10 進数に 1 を足した値になっています。

※ 7ビットごとの 16 進表記では、1 バイトのデータで表せる値は最大 128 段階です。それ以上の分解能のデータは複数のバイトを使います。例えば、aa bbH と 2 バイトの 7 ビットごとの 16 進表記された値は、aa x 128 + bb となります。

※ ±の符号のある値は、00H = -64, 40H = ± 0, 7FH = +63 となり、10 進表記には上表の 10 進数から 64 引いた値を使います。2 バイトの場合は、00 00H = -8192, 40 00H = ± 0, 7F 7FH = +8191 となり、例えば、aa bbH を 10 進表記すると aa bbH - 40 00H = aa x 128 + bb - 64 x 128 となります。

※ 「nibbled」と書かれたデータの場合は、4 ビットごとの 16 進表記が使用されます。0a 0bH と 2 バイトのニブル表記された値は、a x 16 + b となります。

<例 1 > 5AH の 10 進表記は？

前表より 5AH = 90 となります。

<例 2 > 7 ビットごとの 16 進表記された値 12 34H の 10 進表記は？

前表より 12H = 18, 34H = 52 ですから

18 x 128 + 52 = 2356

となります。

<例 3 > 0A 03 09 0D とニブル表記された値の 10 進表記は？

前表より 0AH = 10, 03H = 3, 09H = 9, 0DH = 13 ですから

((10 x 16 + 3) x 16 + 9) x 16 + 13 = 41885

となります。

<例 4 > 10 進数表記の 1258 をニブル表記すると？

16) 1258

16) 78 ...10

16) 4 ...14

0 ...4

前表より 0 = 00H, 4 = 04H, 14 = 0EH, 10 = 0AH ですから

00 04 0E 0AH

となります。

MIDI インプリメンテーション

■実際の MIDI メッセージの例

<例 1> 92 3E 5F

9n はノート・オンのステータスで、n は MIDI チャンネル・ナンバーです。2H = 2, 3EH = 62, 5FH = 95 ですから、これは MIDI CH = 3、ノート・ナンバー 62 (音名は D4)、ベロシティー 95 のノート・オン・メッセージです。

<例 2> CE 49

CnH はプログラム・チェンジのステータスで、n は MIDI チャンネル・ナンバーです。EH = 14, 49H = 73 ですから、これは MIDI CH = 15、プログラム・ナンバー 74 (GS では Flute) のプログラム・チェンジ・メッセージです。

<例 3> EA 00 28

EnH はピッチ・ベンド・チェンジのステータスで、n は MIDI チャンネル・ナンバーです。第 2 バイト (00H = 0) がピッチ・ベンド値の下位バイト、第 3 バイト (28H = 40) が上位バイトですが、ピッチ・ベンド値は 40 00H (= 64 x 128 + 0 = 8192) を 0 とする符号のある値ですから、この場合のピッチ・ベンド値は、28 00H - 40 00H = 40 x 128 + 0 - (64 x 128 + 0) = 5120 - 8192 = -3072 ビッチ・ベンド・センシティビティーが 2 半音になっているとすると、-8192 (00 00H) で -200 セントだけピッチを変化させますから、この場合は -200 x (-3072) ÷ (-8192) = -75 セントのピッチ・ベンドを MIDI CH = 11 に指示していることになります。

<例 4> B3 64 00 65 00 06 0C 26 00 64 7F 65 7F

BnH はコントロール・チェンジのステータスで、n は MIDI チャンネル・ナンバーです。コントロール・チェンジは、第 2 バイトがコントローラー・ナンバー、第 3 バイトはそのパラメーターの値です。MIDI では、ランニング・ステータスといって、同じステータスのメッセージが連続する場合は、2 つめ以降のステータスを省略してもよいことになっていますから、このメッセージは以下の情報が順番に送られています。

B3	64 00	MIDI CH = 4 に RPN パラメーター・ナンバーの下位バイト :	00H
(B3)	65 00	MIDI CH = 4 に RPN パラメーター・ナンバーの上位バイト :	00H
(B3)	06 0C	MIDI CH = 4 にパラメーター値の上位バイト :	0CH
(B3)	26 00	MIDI CH = 4 にパラメーター値の下位バイト :	00H
(B3)	64 7F	MIDI CH = 4 に RPN パラメーター・ナンバーの下位バイト :	7FH
(B3)	65 7F	MIDI CH = 4 に RPN パラメーター・ナンバーの上位バイト :	7FH

つまり、MIDI CH = 4 の RPN パラメーター・ナンバー 00 00H に 0C 00H のパラメーター値を送り、その後 RPN パラメーター・ナンバー 7F 7FH に設定するメッセージです。

RPN パラメーター・ナンバー 00 00H の機能はピッチ・ベンド・センシティビティーで、パラメーター値の上位バイトが半音単位を示しています。この例ではパラメーター値の上位バイトは 0CH = 12 ですから、ピッチ・ベンドの最大変化幅を ± 12 半音 (1 オクターブ) に設定しています。(GS 音源ではピッチ・ベンド・センシティビティーの下位バイトは無視されますが、どの機器でも正しく動作させるために下位バイト (パラメーター値は 0) もいっしょに送りましょう。)

RPN や NRPN は一度パラメーター・ナンバーを設定すると、その後同一チャンネルに送られたデータ・エントリーがすべて有効になってしまうため、必要なパラメーター値を送った後でパラメーター・ナンバーを 7F 7FH に設定して誤動作を防止することが推奨されています。最後の (B3) 64 7F (B3) 65 7F はそのためのものです。

曲データ (例えばスタンダード MIDI ファイルのデータ) 中では<例 4>のように多くのイベントをランニング・ステータスで記述することは好ましくありません。曲中で、ポーズ／早送り／巻き戻し、などの操作を行った場合に、シーケンサーが正しいステータスを出力できず、音源が誤った解釈をしてしまう可能性があります。すべてのイベントにそれぞれステータスを付けるようにしてください。

また、RPN や NRPN はパラメーター・ナンバーの設定とパラメーター値の送信が正しい順序で行われなければなりません。シーケンサーによっては、同一 (または近接した) クロックに記述されたイベントの送信順序がデータに記載されている順序と変わってしまうものもありますから、各イベントの時刻を (TPQN = 96 で 1-Tick, TPQN = 480 なら 5-Ticks 程度) ずらして記述するのがよいでしょう。

※ TPQN : Ticks Per Quarter Note (4 分音符あたりのティック数)

■エクスクルーシブ・メッセージの例とチェックサムの計算

ローランドのエクスクルーシブ・メッセージ (RQ1, DT1) では、メッセージが正しく受信できているかどうかのチェックを行うために、データの後ろ (F7 の前) にチェックサムを付けてメッセージを送ります。チェックサムの値は、送られるエクスクルーシブ・メッセージのアドレス、データ (またはサイズ) によって決まります。

●チェックサムの計算のしかた

(16 進表記の数字の後ろには H を付けています。)

チェックサムは、アドレス、サイズ、およびチェックサム自身を加算した値の下位 7 ビットがゼロになる値です。

具体的な計算は、送りたいエクスクルーシブ・メッセージのアドレスは aa bb cc ddH、データまたはサイズが ee ffH とすると、以下のようになります。

aa + bb + cc + dd + ee + ff = 合計
合計 ÷ 128 = 商 … 余り
128 - 余り = チェックサム

<例 1> CHORUS TYPE を DELAY に設定する (DT1) 場合

「パラメーター・アドレス・マップ」(P.158) より、テンポラリー・セットアップのスタート・アドレスは 10 00 00 00H、セットアップ・コーラスオフセット・アドレスは 07 00H、CHORUS TYPE のアドレスは 00 00H ですからアドレスは

10 00 00 00H
07 00H
+) 00 00H
10 00 07 00H

DELAY はパラメーター値 02H ですから

F0	41	10	00 00 03	12	10 00 04 00	02	??	F7
(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	アドレス	データ	チェックサム	(6)

(1) エクスクルーシブ・ステータス (2) ID ナンバー (Roland) (3) デバイス ID (17)
(4) モデル ID (RD-700SX) (5) コマンド ID (DT1) (6) EOX

次にチェックサムの計算をします。

10H + 00H + 07H + 00H + 02H = 16 + 0 + 7 + 0 + 2 = 25 (sum)
25 (合計) ÷ 128 = 0 (商) … 25 (余り)
チェックサム = 128 - 25 (余り) = 103 = 67H

したがって、F0 41 10 00 00 03 12 10 00 07 00 02 67 F7 が送信するメッセージです。

<例 2> テンポラリー・セットアップのデータを取り出す (RQ1) 場合

※ ユーティリティの Bulk Dump Temporary を行ったときに転送されるのと同じデータが取り出されます。

「パラメーター・アドレス・マップ」(P.158) より、テンポラリー・セットアップのスタート・アドレスは次のように割り付けられています。

10 00 00 00H Setup Common
:
10 00 39 00H Setup Tone Wheel 10 Backup

トーン・ホイール・バックアップのサイズは 00 00 00 0BH ですから、セットアップ・トーン・ホイール・バックアップ 10 のスタート・アドレスにそのサイズを加算すると

10 00 39 00H
+) 00 00 00 0BH
10 00 39 0BH

となります。したがって、取り出すデータのサイズは

10 00 39 0BH
-) 10 00 00 00H
00 00 39 0BH

F0	41	10	00 00 03	11	10 00 00 00	00 00 39 0B	??	F7
(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	アドレス	データ	チェックサム	(6)

(1) エクスクルーシブ・ステータス (2) ID ナンバー (Roland) (3) デバイス ID (17)
(4) モデル ID (RD-700SX) (5) コマンド ID (RQ1) (6) EOX

チェックサムを<例 2>と同様に計算すると、F0 41 10 00 00 03 11 10 00 00 00 00 00 39 0B 2C F7 が送信するメッセージです。

■ ASCII コード対応表

RD-700SX では、セットアップ・ネームを扱うとき、以下に示すような ASCII コードを用います。

D	H	Char	D	H	Char	D	H	Char
32	20H	SP	64	40H	@	96	60H	`
33	21H	!	65	41H	A	97	61H	a
34	22H	"	66	42H	B	98	62H	b
35	23H	#	67	43H	C	99	63H	c
36	24H	\$	68	44H	D	100	64H	d
37	25H	%	69	45H	E	101	65H	e
38	26H	&	70	46H	F	102	66H	f
39	27H	`	71	47H	G	103	67H	g
40	28H	(	72	48H	H	104	68H	h
41	29H	)	73	49H	I	105	69H	i
42	2AH	*	74	4AH	J	106	6AH	j
43	2BH	+	75	4BH	K	107	6BH	k
44	2CH	,	76	4CH	L	108	6CH	l
45	2DH	-	77	4DH	M	109	6DH	m
46	2EH	.	78	4EH	N	110	6EH	n
47	2FH	/	79	4FH	O	111	6FH	o
48	30H	0	80	50H	P	112	70H	p
49	31H	1	81	51H	Q	113	71H	q
50	32H	2	82	52H	R	114	72H	r
51	33H	3	83	53H	S	115	73H	s
52	34H	4	84	54H	T	116	74H	t
53	35H	5	85	55H	U	117	75H	u
54	36H	6	86	56H	V	118	76H	v
55	37H	7	87	57H	W	119	77H	w
56	38H	8	88	58H	X	120	78H	x
57	39H	9	89	59H	Y	121	79H	y
58	3AH	:	90	5AH	Z	122	7AH	z
59	3BH	;	91	5BH	[	123	7BH	{
60	3CH	<	92	5CH	\	124	7CH	
61	3DH	=	93	5DH	]	125	7DH	}
62	3EH	>	94	5EH	^			
63	3FH	?	95	5FH	_			

D : decimal

H : hexadecimal

※ SPはスペースです。

ファンクション...		送	信	受	信	備	考
ベーシック チャンネル	電源ON時 設定可能	1~16 1~16		1~16 1~16			記憶可能
モード	電源ON時 メッセージ 代用	モード3 モノ、ポリ *****		モード3 モード3, 4 (M=1)			*2
ノート ナンバー	: 音域	0~127 *****		0~127 0~127			
ペロシテイ	ノート・オン ノート・オフ	☐ ☐ 8n V=64		☐ ☐			
アフター タッチ	キー別 チャンネル別	X ☐ *5		☐ ☐	*4 *4		
ピッチ・ベンド		☐		☐	*1		
コントロール チェンジ	0, 32	☐	*1	☐	*1	バンク・セレクト モジュレーション ブレス・タイプ フット・タイプ ポルタメント・タイム データー・エントリー ポリユーム バランス パンポット エクスプレッション 汎用操作子1 汎用操作子2 汎用操作子3 汎用操作子4 ホールド1 ポルタメント ソステヌート ソフト レガート・フット・スイッチ ホールド2 サウンド・バリエーション レゾナンス	
	1	☐	*5	☐	*1		
	2	☐	*5	☐	*5		
	4	☐		☐	*5		
	5	☐		☐			
	6, 38	☐		☐			
	7	☐	*5	☐	*1		
	8	☐		☐	*5		
	10	☐	*5	☐	*1		
	11	☐	*5	☐	*5		
	16	☐	*5	☐	*5		
	17	☐	*5	☐	*5		
	18	☐	*5	☐	*5		
	19	☐	*5	☐	*5		
	64	☐		☐	*1		
	65	☐		☐			
	66	☐		☐			
	67	☐		☐			
	68	☐	*5	☐	*5		
	69	☐	*5	☐	*5		
	70	☐	*5	☐	*5		
	71	☐		☐			

[illegible]

主な仕様

RD-700SX：デジタル・ピアノ（GM2 システム対応）

●鍵盤

88 鍵（プログレッシブ・ハンマー・アクション鍵盤）

●パート数

16 パート

●最大同時発音数

128 音

●波形メモリー

128M バイト（16 ビット・リニア換算）

●拡張スロット

SRX エクスパンション・ボード：2 スロット

●音色数

ノーマル音色：208

トーン・ホイール音色：10

GM2 音色：256

リズム・セット：5

GM2 リズム・セット：9

●セットアップ数

100

●内蔵フラッシュ・メモリ容量

約 1M バイト（1000K バイト）

●エフェクト

マルチエフェクト：2 系統 125 種類

リバーブ：6 種類

コーラス：3 種類

サウンド・コントロール（3 バンド・コンプレッサー）

3 バンド・デジタル・イコライザー

●アルペジオ

128 スタイル

●リズム・パターン

185 パターン

●コントローラー

ゾーン・レベル・スライダー 4 本（アサインابل）

イコライザーつまみ

リバーブつまみ

コーラスつまみ

マルチエフェクト・コントロールつまみ

ピッチ・ベンド／モジュレーション・レバー

●ディスプレイ

128 × 64 ドット（バックライト付グラフィック LCD）

●接続端子

ヘッドホン端子：ステレオ標準タイプ

アウトプット端子（L/MONO、R）：標準タイプ

アウトプット端子（L、R）：XLR タイプ

ペダル端子（DAMPER、FC1、FC2）：TRS 標準タイプ

MIDI 端子（IN、OUT1、OUT2、THRU）

USB 端子（ファイル転送及び MIDI に対応）

AC インレット

●電源

AC100V（50/60Hz）

●消費電力

12W

●外形寸法

1,414（幅）× 374（奥行）× 143（高さ）mm

●質量

24.5kg

●付属品

取扱説明書

CD-ROM（RD USB Driver）

ダンパー・ペダル（DP-8）

電源コード

保証書

ローランド ユーザー登録カード

●別売品

ウエーブ・エクスパンション・ボード：SRX シリーズ

キーボード・スタンド：KS-17

ペダル・スイッチ：DP-2

ダンパー・ペダル：DP-8、DP-10

フット・スイッチ：BOSS FS-5U、

FS-6（TRS 標準ジャックは使用できません）

エクスプレッション・ペダル：EV-5、EV-7

※ 製品の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

索引

A

AC インレット	14
Ambience	70
AMP Type	74
Arp Accent (Arpeggio)	95
Arp Hold	95
Arp Octave Range	95
Arp Velocity (Arpeggio)	95
Arp Zone (Arpeggio)	95
[ARPEGGIO]	12
Arpeggio Hold	95
[ARPPEGIO]	44
ATK (アタック・タイム)	64
Attack Time	
EXTERNAL ゾーン	64
Sound Control	86
Tone Info	69

B

B.R (バンド・レンジ)	65
BALANCED OUT L/R 端子	14
Bank Select LSB	61
Bank Select MSB	61
Bend Range	
EXTERNAL ゾーン	65
Zone Info	69
Bulk Dump SETUP	97
Bulk Dump Temporary	97

C

C.T (コース・チューン、EXTERNAL ゾーン)	65
C1 (MFX Control)	84
Ch	60
Chorus Amount (Tone Info)	68
Chorus Type	85
[CHORUS/DELAY]	41
[CHORUS/DELAY] つまみ	12
CHORUS/DELAY [DEPTH] つまみ	12
CHORUS [DEPTH] つまみ	42
CHO (コーラス)	63
Clock Out (システム)	78
Coarse Tune	
EXTERNAL ゾーン	65
Tone Info	69
CONTRAST つまみ	24
MULTI EFFECTS [CONTROL] つまみ	12, 50, 82
Control	82
Control Channel (システム)	78
Control Knob	83
[CONTROL/ZONE LEVEL]	12
CURSOR	13, 28
Cutoff	
E.PIANO EDIT	74
EXTERNAL ゾーン	64
Piano Edit	73
Tone Info	69
CUT (カットオフ)	64

D

Damper (ダンパー・ペダル・ポラリティー)	79
DCY (ディケイ・タイム)	64
[DEC]	13, 28
Decay Time	
E.PIANO EDIT	74
EXTERNAL ゾーン	64
Piano Edit	73
Tone Info	69
DEMO PLAY	29
[DEPTH] つまみ (CHORUS)	42
[DEPTH] つまみ (REVERB)	41
Device ID (システム)	78
Display Mode (システム)	79
Distance (Mic)	71
Dp (ダンパー・スイッチ)	
EXTERNAL ゾーン	65
Zone Info	67

E

[ENTER]	13
[E.PIANO]	13, 30
E. ピアノ・エディット	73
[EDIT]	13, 27, 75
Effect Depth	74
Effect Rate	74
Effect Type	74
Effects	74, 83
EQ	
E.Piano Edit	74
Piano Edit	71
EQ Frequency	
E.Piano Edit	74
PIANO EDIT	71
EQ Gain	
E.PIANO EDIT	74
Piano Edit	71
EQ Mode (システム)	77
EQ Q	
E.Piano Edit	74
Piano Edit	71
EQ SW	
E.PIANO EDIT	74
Piano Edit	71
EQUALIZER	43
EQUALIZER [ON/OFF]	12
[EQ] マーク	27
EXPANSION [A]、[B]	13, 33
[EXTERNAL/INTERNAL]	12, 27, 59 ~ 61, 63
EXTERNAL ゾーン	26, 62 ~ 63
EXTERNAL 画面	27

F	
F.T (ファイン・チューン)	65
F1 (FC1 スイッチ)	
EXTERNAL ゾーン	65
Internal Zone	67
F2 (FC2 スイッチ)	
EXTERNAL ゾーン	65

Zone Info	67
Factory Reset	23
Factory Reset All	99
Factory Reset Current	99
FC1	
FC1 ペダル・アサイン	77, 82
FC1 ペダル・ポラリティー (システム)	79
FC1 スイッチ	
EXTERNAL ゾーン	65
Zone Info	67
FC2	
FC2 ペダル・アサイン	77, 82
FC2 ペダル・ポラリティー (システム)	79
FC2 スイッチ	
EXTERNAL ゾーン	65
Zone Info	67
File Delete	89
File Utility/USB	87
Fine Tune	
EXTERNAL ゾーン	65
Tone Info	69
FX1 (Zone Info)	66
FX2 (Zone Info)	66

H

Harmonic Bar	52
[HIGH] つまみ	12

I

[INC]	13, 28
Initialize (Piano Edit)	73
Internal Part	26, 90
INTERNAL ゾーン	26

K

Key Range	
Arpeggio	95
EXTERNAL ゾーン	64
V-Link	97
Zone Info	67
アルペジオ・キー・レンジ	95
Key Touch	80 ~ 81
Piano Edit	71
Key Touch Offset	72, 81

L

LCD コントラスト	24
Level (Sound Control)	86
Lid	71
Load SETUP File	88
Local ON/OFF (V-Link)	97
Local Switch	101
[LOW] つまみ	12
Lowest No (V-Link)	97
LSB	61
LW1 (ZONE LEVEL スライダー)	
EXTERNAL ゾーン	65
Zone Info	67
LW2 (ZONE LEVEL スライダー)	
EXTERNAL ゾーン	65

Zone Info	67
LWR (キー・レンジ・ロー)	
EXTERNAL ゾーン	64
Zone Info	67

M

「M:」マーク	78
M.D (モジュレーション・デプス)	65
M/P (Mono/Poly)	64
Master Tune	25
Master Volume (システム)	77
MAX (ベロシティー・マックス)	65
Max (ベロシティー・マックス)	67
Md (モジュレーション・スイッチ)	
EXTERNAL ゾーン	65
Zone Info	67
MFX	66, 68, 84
MFX Control	84
MFX Source	84
MFX Struct	84
MFX Switch (Part Parameter)	91
MFX Type (Tone Info)	68
MFX1 Dest	84
MFX1 Source	
Edit	84
Zone Info	66
MFX2 Source	
Edit	84
Zone Info	66
Mic Type	71
Micro Tune	72
[MID FREQ] つまみ	12
[MID LEVEL] つまみ	12
MIDI	58, 101
MIDI 端子	14, 58
接続	19
送信チャンネル	60
MIDI OUT Channel	60
MIDI Out Channel (Rhythm)	93
MIDI OUT PORT	59
MIDI OUT Port	59
MIDI Out Port (Rhythm)	93
MIDI インプリメンテーション・チャート	164
MIDI モード	104, 106
Modulation Depth	65
Mono/Poly	64
EXTERNAL ゾーン	64
Tone Info	69
Motif (アルペジオ・モチーフ)	94
MSB	61
MULTI EFFECTS	50
MULTI EFFECTS [CONTROL] つまみ	12, 50
MULTI EFFECTS [ON/OFF]	12, 50
MULTI EFFECTS [CONTROL] つまみ	82
M:	78

N

Nuance (Piano Edit)	70
[NUM LOCK]	13, 27, 32

O

Octave Range (アルペジオ・オクターブ・レンジ)	95
ONE TOUCH	30
ONE TOUCH [E. PIANO]	73
ONE TOUCH [PIANO]	26, 70
OUT	59
OUTPUT L (MONO) /R 端子	14
Output (コーラス)	85

P

[POWER ON] スイッチ	14
P.A (パート・アサイン)	67
P.T (ポルタメント・タイム)	65
PAN	
EXTERNAL ゾーン	63
Part Parameter	90
Zone Info	66
Pan (Part Parameter)	90
Part	
Part Parameter	90
Tone Info	68
Part Assign	67
Part Mode (システム)	79
Part Parameter	90
Part Switch (Part Parameter)	91
Patrn (Rhythm Pattern)	92
PB (ペンダー・スイッチ)	
EXTERNAL ゾーン	65
Zone Info	67
PC (EXTERNAL ゾーン)	61
[PD] マーク	27
Pedal Mode (システム)	77
Pedal Polarity (システム)	79
PEDAL 端子	14
Perc (パーカッション)	52
PHONES 端子	14
[PIANO]	13, 30
Portamento Switch	
EXTERNAL ゾーン	65
Tone Info	69
Portamento Sw (ポルタメント・スイッチ)	
Tone Info	69
Portamento Time	
EXTERNAL ゾーン	65
Tone Info	69
POR (ポルタメント・スイッチ)	65
[POWER ON] スイッチ	21
Program Change	61

R

Ratio (Sound Control)	86
Rec Mode	101
Rec Setting	101
Receive Channel	90
Release Time	
E.PIANO EDIT	74
EXTERNAL ゾーン	64
Piano Edit	73
Sound Control	86

Tone Info	69
REL (リリース・タイム)	64
Resonance	72
E.PIANO EDIT	74
EXTERNAL ゾーン	64
Tone Info	69
Resonance Depth	72
Resonance Level	72
Resonance Pitch	72
RES (レゾナンス)	64
REVERB	41
[REVERB]	12, 41
Reverb	
EXTERNAL ゾーン	63
Reverb Amount (Tone Info)	68
Reverb Level	70
Reverb Type	85
REVERB [DEPTH] つまみ	12, 41
REV (リバーブ)	63
Rhy Accent	92
Rhy Set	92
Rhy Set Change	92
Rhy/Arp Duration	93
Rhy/Arp Grid	93
Rhythm/Arpeggio	91
[RHYTHM/SONG]	12, 46, 48
Rx GM/GM2 System ON (システム)	80
Rx GS Reset (システム)	80
Rx Modulation	91
Rx.Bank Select	91
Rx.Bender	91
Rx.Expression	91
Rx.Hold-1	91
Rx.Pan	91
Rx.Program Change	91
Rx.Volume	91

S

Save SETUP File	87
[SETUP]	13, 54
Slider Assign	83
Sns (ペロシティー・センス)	67
EXTERNAL ゾーン	65
INTERNAL ゾーン	67
SOUND CONTROL	42
[SOUND CONTROL]	42
[SOUND CONTROL] つまみ	12
Sound Control	86
[SPLIT]	12, 36
Split	36
Split Freq H	86
Split Freq L	86
SRX シリーズ	33
Stereo Width	70
Stretch Tune (システム)	80
String Resonance	71
Style (Arpeggio)	94
Sympathetic Resonance	72

System 76

T

Temperament Key (システム) 79
 Temperament (システム) 79
 Tempo
 Arpeggio 94
 Rhythm 92
 Threshold (Sound Control) 86
 Tone
 INTERNAL ゾーン 66
 Part Parameter 90
 Tone Info 68
 Zone Info 66
 Tone Info 68
 Tone Modify 73 ~ 74
 Tone Remain (システム) 78
 TONE SELECT ボタン 13, 28, 31
 Tone Wheel Mode 51
 TRA
 EXTERNAL ゾーン 64
 Zone Info 66
 [TRANPOSE] 12, 40
 Transpose 40, 64
 TW-Organ 音色 26, 51
 Type
 MFX 84
 Micro Tune 72
 Sound Control 86

U

UP1 (ZONE LEVEL スライダー)
 EXTERNAL ゾーン 65
 INTERNAL ゾーン 67
 UP2 (ZONE LEVEL スライダー)
 EXTERNAL ゾーン 65
 INTERNAL ゾーン 67
 UPR (キー・レンジ・アップパー)
 EXTERNAL ゾーン 64
 INTERNAL ゾーン 67
 USB 104
 USB Driver 106
 USB Setting 104
 USB ストレージ・モード 104
 USB ドライバー 106
 USB 端子 14
 接続 19
 User CC1 65
 Utility 97

V

Velo Delay Sens 81
 Piano Edit 72
 Velo Keyfolw Sens 81
 Piano Edit 72
 Velocity 72, 81
 Piano Edit 72
 アルペジオ・ペロシティー 95
 Velocity Delay Sens 72, 81

Velocity Keyfollow Sens 72, 81
 Velocity Max 65
 (ペロシティー・マックス) 67
 Velocity Sensitivity
 EXTERNAL Zone 65
 INTERNAL ゾーン 67
 V-LINK 96, 104
 [V-LINK] 96
 V-Link Mode 97
 V-Link OUT Port 97
 V-Link Tx Channel 97
 Voice Reserve 91
 VOL
 EXTERNAL ゾーン 63
 Zone Info 66
 Volume
 INTERNAL ゾーン 66
 Part Parameter 90
 Rhythm 92
 VOLUME スライダー 12, 22
 VRL
 ペロシティー・レンジ・ロワー (INTERNAL ゾーン) 67
 VRL (ペロシティー・レンジ・ロワー)
 EXTERNAL ゾーン 64
 VRU (ペロシティー・レンジ・アップパー)
 EXTERNAL ゾーン 64
 Zone Info 67

W

[WRITE] 13, 27, 56

Z

Zone 26
 Zone Info 66
 ZONE LEVEL スライダー 12, 39, 62
 EXTERNAL ゾーン 65
 INTERNAL ゾーン 67
 Zone Info 67
 ZONE LEVEL スライダー (EXTERNAL ゾーン) 65
 ZONE LEVEL スライダー (INTERNAL ゾーン) 67
 ZONE SELECT ボタン 13, 38
 ZONE SWITCH 12, 39, 62

あ

Rx エクスプレッション	91
Rx GS リセット (システム)	80
Rx GM/GM2 システム・オン	80
Rx パン	91
Rx パンク・セレクト	91
Rx プログラム・チェンジ	91
Rx ベンダー	91
Rx ホールド1	91
Rx ボリューム	91
Rx モジュレーション	91
アウトプット・セレクト (コーラス)	85
アタック・タイム	
EXTERNAL ゾーン	64
Tone Info	69
アルペジオ	44
アルペジオ・オクターブ・レンジ	95
アルペジオ・キー・レンジ	95
アルペジオ・スタイル	94, 146
アルペジオ・ゾーン	95
アルペジオ・ベロシティ	95
アルペジオ・ホールド	95
アルペジオ・モチーフ	94
アルペジオ演奏	44
アンビエンス	70
アンプ・タイプ	74

い

EQ モード (システム)	77
イコライザー	43
E. ピアノ・エディット	74
ピアノ・エディット	71
イニシャライズ (ピアノ・エディット)	73

う

ウェーブ・エクスパンション・ボード	15 ~ 17, 33
ウェーブ・エクスパンション・ボード音色名対応表	34

え

エディット	75
エディット・モード	75
エフェクト	74
エフェクト/パラメーター	112
FC2 ペダル・アサイン	77, 82
FC1 ペダル・アサイン	77, 82
FC1 ペダル・ポラリティー (システム)	79
FC2 ペダル・ポラリティー (システム)	79
MFX1 Source	
Edit	84
Zone Info	66
MFX2 Source	
Zone Info	66
Edit	84
MFX コントロール	84
MFX スイッチ	91
MFX ソース	84
MFX Type	68
MFX1 デスト	84

エラー・メッセージ	111
-----------------	-----

お

オルガン音色	52
音量	77
EXTERNAL ゾーン	62 ~ 63
INTERNAL ゾーン	39
Part Parameter	90
Zone Info	66
内部パート	66, 90
リズム	92

か

カーソル・ボタン	28
外部 MIDI 機器	101 ~ 103
カットオフ	
E. ピアノ・エディット	74
EXTERNAL ゾーン	64
Tone Info	69
ピアノ・エディット	73
カバー (ウェーブ・エクスパンション・ボード)	16

き

キー・タッチ	80
ピアノ・エディット	71
キー・タッチ・オフセット	72, 81
キー・レンジ	
EXTERNAL ゾーン	64
V-Link	97
Zone Info	67

く

クロック・アウト (システム)	78
クロック・ソース	78

け

鍵盤タッチ	80
-------------	----

こ

工場出荷時の設定に戻す	22, 99
コース・チューン	
EXTERNAL ゾーン	65
Tone Info	69
コーラス	41
EXTERNAL ゾーン	63
Tone Info	68
コーラスの設定	83
コーラス・タイプ	85
コーラス・パラメーター	138
故障かな?と思ったら	108
コントロール・チャンネル (システム)	78
コントロール・ノブ	83

さ

サウンド・コントロール	42, 86
-------------------	--------

し

システムの設定	76
受信チャンネル	90
ショート・カット	149

初期状態にする（ワンタッチ・ピアノ）	73
シンパセティック・レゾナンス	72

す

スタイル（アルペジオのスタイル）	45
ステレオ・ウィドゥス	70
ストリング・レゾナンス	71
ストレージ・モード	104 ~ 105
ストレッチ・チューン（システム）	80
スプリット	36
スプリット・ポイント	37
スライダー・アサイン	83

せ

接続	19
MIDI シーケンサー	101
MIDI 機器	19, 103
USB	19, 105
電源コード	18
ペダル	20
セットアップ	54, 148
セットアップに記憶する	56
セットアップを呼び出す	54
セットアップ・ファイル	87
セットアップ画面	27

そ

送信チャンネル	60
ゾーン	26

た

ダンパー・スイッチ	
Zone Info	67
ダンパー・スイッチ（EXTERNAL ゾーン）	65
ダンパー・ペダル	14
ダンパー・ペダル・ポラリティー（システム）	79

ち

チャンネル	60
チューニング	25
EXTERNAL ゾーン	65
調律法	79

て

ディケイ・タイム	
E. ピアノ・エディット	74
Tone Info	69
ピアノ・エディット	73
ディケイ・タイム（EXTERNAL ゾーン）	64
ディスプレイ	24
ディスプレイ・モード（システム）	79
ディレイ	41
デバイス ID	78
デバイス ID ナンバー	78
デモ曲	29
電源	21
電源コード	18
テンペラメント・キー（システム）	79
テンペラメント（システム）	79

テンポ	
アルペジオ	45, 94
ソング	49
リズム	47, 92
テン・キー	28

と

トーン	26, 31, 35, 140
Part Parameter	90
Tone Info	68
Zone Info	66
トーン・ホイール・モード	26, 51
トーン・ホイール画面	26, 51
トーン・モディファイ	73 ~ 74
トーン・リメイン（システム）	78
トーン（INTERNAL ゾーン）	66
トーン画面	26
トランスポーズ	40, 64
EXTERNAL ゾーン	64
Zone Info	66

な

内部パート（Internal Part）	90
内部パートの設定	90

に

ニュアンス	70
-------------	----

は

パーカッション	52
パート	26
内部パート	26
Part Parameter	90
Tone Info	68
パート・アサイン	67
パート・スイッチ	91
パート・モード（システム）	79
ハーモニック・パー	51 ~ 52
パターン（リズム・パターン）	47
パネル・ロック	53
バルク・ダンプ	97
パン	
EXTERNAL ゾーン	63
Part Parameter	90
Zone Info	66
バンク・セレクト	61

ひ

ピアノ演奏	30
ピアノ・エディット	70
ピッチ・ベンド	42
ピッチ・ベンド/モジュレーション・レバー	13, 42

ふ

ファイン・チューン	
EXTERNAL ゾーン	65
Tone Info	69
ファクトリー・リセット	22, 99
ファンクション・ボタン	27

フィート	51
フェイバリット・セットアップ	54 ~ 55
プログラム・チェンジ	61

へ

ペダル	19, 82
Pedal モード (システム)	77
ペダル・ポラリティー (システム)	79
ヘッドホン	14
ペロシティー	81
EXTERNAL ゾーン	65
ピアノ・エディット	72
ペロシティー・キーフォロー・センス Piano Edit	72
ペロシティー・キーフォロー・センス	81
ペロシティー・センス EXTERNAL Zone	65
INTERNAL ゾーン	67
ペロシティー・ディレイ・センス	72
ペロシティー・ディレイ・センス	81
ペロシティー・マックス	67
ペロシティー・レンジ・アッパー EXTERNAL ゾーン	64
Zone Info	67
ペロシティー・レンジ・ロー EXTERNAL ゾーン	64
ベンダー・スイッチ EXTERNAL ゾーン	65
Zone Info	67
ベンド・レンジ EXTERNAL ゾーン	65
Tone Info	69

ほ

ボイス・リザーブ (Part Parameter)	91
ボリューム	77
内部パート	66, 90
EXTERNAL ゾーン	62 ~ 63
INTERNAL ゾーン	39, 66
Part Parameter	90
Zone Info	66
リズム	92
ポルタメント	65, 69
ポルタメント・スイッチ EXTERNAL ゾーン	65
Tone Info	69
ポルタメント・タイム EXTERNAL ゾーン	65
Tone Info	69

ま

マイクロ・チューン	72
マスター・チューニング	25
マスター・ボリューム (システム)	77
マルチエフェクト	50, 66, 68, 84

み

MIDI	58, 101
MIDI 受信の設定	90

も

目的別索引	174
モジュレーション	42
モジュレーション・スイッチ EXTERNAL ゾーン	65
Zone Info	67
モジュレーション・デプス	65
モノ/ポリ EXTERNAL ゾーン	64
Tone Info	69

ゆ

ユーティリティー	97
----------------	----

り

リズム	46, 91
リズム・アクセント	92
リズム・セット	32, 92, 143
リズム・セット・チェンジ	92
リズム・パターン	92, 147
リズム/アルペジオ	91
リズム/アルペジオ・グリッド	93
リズム/ソング/アルペジオ画面	27, 46, 48
リバーブ	41
EXTERNAL ゾーン	63
Tone Info	68
ピアノ・エディット	70
リバーブの設定	83
リバーブ・タイプ	85
リバーブ・パラメーター	139
リリース・タイム E. ピアノ・エディット	74
EXTERNAL ゾーン	64
Sound Control	86
Tone Info	69
ピアノ・エディット	73

れ

レシーブ・スイッチ	91
レシーブ・チャンネル	90
レゾナンス	72
E. ピアノ・エディット	74
Tone Info	69
レゾナンス (EXTERNAL ゾーン)	64
Rec セッティング	101
Rec モード	101

ろ

ローカル・スイッチ	101 ~ 102
ロータリー	52
録音 外部 MIDI 機器に録音する	101

わ

ワンタッチ画面	26
---------------	----

目的別索引

この索引は、RD-700SX の鍵盤で演奏する際の主な設定項目を取り上げています。

※ 「[EDIT] : aaa : bbb」は「エディット画面 aaa の bbb のパラメーター」を表します。

音量に関する設定

- 全体の音量を変える VOLUME スライダー (P.22)
..... [EDIT] : 0. System : Master Volume (P.77)
- ゾーンごとに音量を変える
..... ZONE LEVEL スライダー (P.39)
..... [Zone Info] : Volume (P.66)
- 内部パートごとに音量を変える
..... [EDIT] : 6. Part Parameter : Volume (P.90)

鍵盤タッチ、ベロシティーに関する設定

- 鍵盤のタッチを変える [EDIT] : 1. Key Touch (P.80)
- INTERNAL ゾーンごとにベロシティーの効き具合を変える
..... [Zone Info] : Velocity Sens (P.67)
..... [Zone Info] : Velocity Max (P.67)
..... [Zone Info] : Velocity Range (P.67)

コントロールに関する設定

- ゾーンごとにペダルやベンダーを効かないようにする
..... [Zone Info] : ** Switch (P.67)
- MULTI EFFECTS [CONTROL] つまみの機能を変える
..... [EDIT] : 2. Control : Control Knob Assign (P.83)
- ペダルの機能を変える
..... [EDIT] : 2. Control : FC1/FC2 Pedal Assign (P.82)
- スライダーの機能を変える
..... [EDIT] : 2. Control : Slider Assign (P.83)

鍵域（キー・レンジ）に関する設定

- INTERNAL ゾーンの鍵域を設定する
..... [Zone Info] : Key Range (P.67)

EQ（イコライザー）に関する設定

- セットアップを切り替えても EQ が変わらないようにする [EDIT] : 0. System : EQ Mode (P.77)
- EQ を設定する EQUALIZER つまみ (P.43)
..... PIANO EDIT : EQ (P.71)
..... E. PIANO EDIT : EQ (P.74)

ピッチ、音高に関する設定

- 全体のピッチを変える
..... [EDIT] : 0. System : Master Tune (P.25)
- 鍵盤全体をトランスポーズする
..... [TRANPOSE] (P.40)
- トーンごとに音高を変える
..... [Tone Info] : Coarse Tune (P.69)
..... [Tone Info] : Fine Tune (P.69)
..... [EDIT] : 0. System : Stretch Tune (P.80)
- INTERNAL ゾーンごとに音高を変える
..... [Zone Info] : Transpose (P.66)
- EXTERNAL ゾーンごとに音高を変える
..... [EXTERNAL/INTERNAL] : Transpose (P.64)
- 調律法を変える
..... [EDIT] : 0. System : Temperament (P.79)
- ピアノ音色の鍵ごとの音高を変える
..... PIANO EDIT : Micro Tune (P.72)

エフェクト（リバーブ、コーラス、マルチエフェクト）に関する設定

- 全体のリバーブ量を変える Reverb つまみ (P.41)
- トーンごとにリバーブ量を変える
..... [Tone Info] : Reverb Amount (P.68)
- ピアノ音色のリバーブを変える
..... PIANO EDIT : Reverb Level (P.70)
- リバーブのタイプを変える
..... [EDIT] : 3. Effects : Reverb Type (P.85)
- 全体のコーラス量を変える Chorus つまみ (P.41)
- トーンごとにコーラス量を変える
..... [Tone Info] : Chorus Amount (P.68)
- コーラスのタイプを変える
..... [EDIT] : 3. Effects : Chorus Type (P.85)
- マルチエフェクトのタイプを変える
..... [EDIT] : 3. Effects : MFX Type (P.84)
- トーンごとにマルチエフェクトを変える
..... [Tone Info] : MFX Type (P.68)
- マルチエフェクトをかけるパートを指定する
..... [EDIT] : 3. Effects : MFX Source/Dest (P.84)
- パートごとにマルチエフェクトのオン／オフを設定する
..... [EDIT] : 6. Part Parameter : MFX Switch (P.91)

お問い合わせの窓口

- ローランド製品全般に関するお問い合わせ先

デジタル・ピアノ、シンセサイザー、デジタル・レコーダー、BOSSエフェクターなど

お客様相談センター **050-3101-2555**

- コンピューター・ミュージック関連製品に関するお問い合わせ先

オーディオ&MIDIインターフェース、DTM音源モジュール、DTMソフトウェアなど

DTMホットライン **050-3101-2570**

電話受付時間： 午前10時～午後5時（日曜および弊社規定の休日を除く）

※IP電話からおかけになって繋がらない場合には、お手数ですが、電話番号の前に“0000”（ゼロ4回）をつけてNTTの一般回線からおかけいただくか、携帯電話をご利用ください。

※上記窓口の名称、電話番号等は、予告なく変更することがありますのでご了承ください。

- 修理に関するお問い合わせ先

商品をお求めの販売店か、保証書封筒裏面にある「修理の窓口」
（サービスの窓口）に記載のサービスステーションへご相談ください。

- 最新サポート情報

よくある質問への回答、各種ソフトウェアのダウンロード、最新の動作確認情報など

ローランド・サポート **<http://www.roland.co.jp/cs/>**

製品情報やイベント／キャンペーン情報など

ローランド・ホームページ **<http://www.roland.co.jp/>**

'05. 10.1 現在

取扱説明書の英語版（有料）をご希望の方は、販売店にお問い合わせください。

If you should require an English Owner's Manual (at a modest fee), please contact an authorized Roland distributor.

この取扱説明書は再生紙を使用しています。